

# F-05B

ISSUE DATE:

10.4

NAME:

PHONE NUMBER:

MAIL ADDRESS:

取扱説明書

<sup>NTT</sup>  
docomo

目次/注意事項

ご使用前の確認

電話

連絡先/PIM機能

あんしん設定

メール

ブラウザ

スキャナ

カメラ

便利な機能

ファイルの管理/パソコンとのデータ同期

端末管理

データ通信/WLAN

文字入力

ネットワークサービス

付録/困ったときには

索引

## ドコモ W-CDMA・無線LAN方式

このたびは、「F-05B」をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

ご利用の前に、あるいはご利用中に、この取扱説明書およびその他のオプション機器に添付の個別取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。取扱説明書に不明な点がございましたら、取扱説明書裏面の「お問い合わせ先」までお問い合わせください。

F-05Bは、お客様の有能なパートナーです。大切にお取り扱いの上、末長くご愛用ください。

### FOMA端末のご使用にあたって

- FOMA端末は無線を利用しているため、トンネル・地下・建物の中などで電波の届かない場所、屋外でも電波の弱い場所およびFOMAサービスエリア外ではご使用になれません。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしのよい場所であってもご使用になれない場合があります。なお、電波が強くアンテナアイコンが4本表示されている状態で、移動せずに使用している場合でも通話が切れることがありますので、ご了承ください。
- 公共の場所、人の多い場所や静かな場所などでは、まわりの方の迷惑にならないようにご使用ください。
- FOMA端末は電波を利用している関係上、第三者により通話を傍受されるケースもないとはいえません。しかし、W-CDMA・無線LAN方式では秘話機能をすべての通話について自動的にサポートしますので、第三者が受信機で傍受したとしても、ただの雑音としか聞き取れません。
- FOMA端末は、音声をデジタル信号に変換して無線による通信を行っていることから、電波状態の悪い場所へ移動するなど、送信されてきたデジタル信号を正確に復元できない場合には、実際の音声と異なって聞こえる場合があります。
- お客様ご自身でFOMA端末に登録された情報内容（連絡先、予定表、仕事、伝言メモ、音声メモ、ボイスメモなど）は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いいたします。FOMA端末の故障や修理、機種変更やその他の取り扱いなどによって、万が一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 大切なデータはmicroSDカードに保存することをおすすめします。また、パソコンをお持ちの場合は、ActiveSyncなどを利用してOutlookの連絡先やメール、予定表などの情報をパソコンに転送・保管できます。

- お客様はSSL/TLSをご自身の判断と責任においてご利用することを承諾するものとします。  
お客様によるSSL/TLSのご利用にあたり、ドコモおよび別掲の認証会社はお客様に対しSSL/TLSの安全性などに関し何ら保証を行うものではなく、万が一何らかの損害が発生したとしても一切責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。  
認証会社：日本ベリサイン株式会社、サイバートラスト株式会社、GMOグローバルサイン株式会社、RSAセキュリティ株式会社、セコムトラストシステムズ株式会社
- このFOMA端末は、FOMAプラスエリアおよびFOMAハイスピードエリアに対応しております。
- このFOMA端末は、ドコモの提供するFOMAネットワーク以外ではご使用になれません。  
The FOMA terminal can be used only via the FOMA network provided by DOCOMO.

### はじめてFOMA端末をお使いになる方へ

本FOMA端末が「はじめてのFOMA端末」という方は、まず、本書を以下の順序でお読みください。FOMA端末をお使いいただくための準備と基本的な操作を、ひとつおご理解いただくことができます。

1. 「安全上のご注意」を確認しましょう→P6
2. 電池パックをセットし、充電しましょう→P39
3. 電源を入れましょう→P46
4. 本体のキーなどの役割を確認しましょう→P26
5. 画面に表示されるマーク(アイコン)の意味を確認しましょう→P29
6. メニューの操作方法を確認しましょう→P29
7. 電話のかけかた/受けかたを確認しましょう→P50、54

本書についての最新情報は、ドコモのホームページよりダウンロードできます。

- 「取扱説明書 (PDFファイル)」ダウンロード  
<http://www.nttdocomo.co.jp/support/trouble/manual/download/index.html>
- ※ URLおよび掲載内容については、将来予告なしに変更することがあります。

# 本書の見かた／引きかた

知りたい機能をすぐに探すことができるように、本書は次の検索方法を用意しています。

## メニュー一覧から

▶ P162

F-05Bの画面に表示されるメニューから探します。メニュー一覧には、お買い上げ時の設定内容を記載しています。

## 表紙インデックスから

▶ 表紙

表紙のインデックスを使って、本書をめくりながら探します。  
※P2～3で例をあげて説明しています。

## 目次から

▶ P4

機能ごとに章で分類された目次から探します。

## 索引から

▶ P188

機能名や知りたい項目のキーワード、サービス名で探します。

- この「F-05B取扱説明書」の本文中においては、「F-05B」を「FOMA端末」と表記させていただいております。あらかじめご了承ください。
- 本書の中ではmicroSDカードを使用した機能の説明をしていますが、その機能のご利用にあたっては、別途microSDカードが必要です。  
microSDカードについて→P116
- 本書に掲載されている画面およびイラストはイメージです。実際の製品とは異なる場合があります。
- 本書は主にお買い上げ時の設定をもとに説明しています。設定を変更していると、FOMA端末の表示や動作が本書の記載と異なる場合があります。
- 本書内の「認証操作」という表記は、端末暗証番号（パスワード）を入力する操作を行う操作を表しています。  
端末暗証番号（パスワード）→P70
- 本書の内容を一部、または全部を無断転載することは、禁止されています。
- 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。

# 本書の見かた／引きかた

「端末ロック」を例に記載ページを探す方法を説明します。

## メニュー一覧 から探すとき

FOMA端末の画面に表示される言葉から探すことができます。



ロック	パスワード	パスワード入力が必要になるまでの時間	無効		
		パスワードの種類	数字の		P72
		パスワード確認入力	空		
パワーマネージメント	バッテリー				

## 表紙インデックス から探すとき

表紙→章扉→機能の説明ページという順でインデックスを頼りに探すことができます。章扉には詳しい目次も掲載されています。

目次/注意事項	■■■■
ご使用前の確認	■■■■
電話	■■■■
連絡先/PIM機能	■■■■
<b>あんしん設定</b>	■■■■
メール	■■■■
ブラウザ	■■■■
スキャナ	■■■■

<b>あんしん設定</b>	
FOMA端末で利用する確認番号	70
PINコードを設定する	71
他の人が使用できないようにする	72
キーロックを無効にする	73
遠隔ダイヤルロックをかける	73
証明書を確認する	74
通話・通信機能のオン/オフを切り替える	74
その他の「あんしん設定」一覧	75

機能名称  
索引にはこの名称を  
記載しています。

機能の概要説明と  
補足

代表的な  
操作方法

### ◆ 端末ロック 他の人が使用できないようにする

他人が不正にFOMA端末を使用できないように、操作時に認証操作が必要になる端末ロックをかけます。

端末ロック中に緊急通報（110番、119番、118番）を行うには、緊急通報番号を入力して[OK]を押します。  
※ ロック解除の端末認証番号（パスワード）入力画面で、緊急通報番号を入力することもできます。入力した番号は「●」で表示されます。  
※ FOMAカードが挿入されていない場合、緊急通報はできません。

### ◆ 端末ロックの動作内容を設定する（端末ロックの設定）

端末ロックを「オン」にするには、ロック解除後の無操作状態から再ロックされるまでの時間と端末認証番号（パスワード）を設定する必要があります。

1 [設定] ▶ [ロック]

2 各項目を設定 ▶ [OK] ▶ [はい]

パスワード入力が必要になるまでの時間：選択すると、端末ロック解除後の無操作状態から再ロックされるまでの時間と、パスワードが設定・変更できるようになります。  
(再ロックまでの時間：1分、5分、10分、15分、30分)

72 あしん設定

表紙インデックスに対応したインデックス

### ◆ 端末ロックをオンにする

1 [設定] ▶ [ロック]

端末ロックがかかり、ホーム画面に[ロック]が表示されます。  
解除する：画面上の[ロック]をスライド▶ 認証操作

### ▼ お知らせ

- 端末ロック中でも次の機能は利用できます。
  - 電話を受ける
  - SMS、電子メールの受信
  - [音量アップ] (Volume Up) / [音量ダウン] (Volume Down) を押して音量調節
  - キーロック
- 端末ロック中でも、アラーム設定がされている場合はアラーム画面が表示され、アラーム音が鳴ります。

### キーロック

### キー操作を無効にする

2 伝言メモを選択して[F2] [再生] または[F3]

### ◆ 伝言メモのサブメニューを利用する

伝言メモ一覧画面で[F2] [メニュー] を押すと、次の機能を利用できます。

一件削除	選択している伝言メモの削除
全件削除	すべての伝言メモの削除
発信	発信者番号を通知してきた伝言メモの相手に電話をかける

操作に関する補足  
説明

機能についての  
詳細説明や知って  
いると便利な情報

サブメニュー  
[F2] を押して利用  
できる機能を説明し  
ています。

\* ページはイメージです。本文中のページとは異なります。

## キーと操作手順の表記について

本書で使用しているキーのイラストは「各部の名称と機能」に記載しています。→P26  
また、本書では操作手順を次のように表記しています。

表記の例	意味
[設定] (2秒以上)	[設定] を2秒以上押し続ける
[設定] ▶ [時計とアラーム] ▶ [時刻] ▶ 各項目を設定 ▶ [OK]	ホーム画面で[設定]を押した後、[設定] → [時計とアラーム] → [時刻] を順に選択し、各項目の設定を終了させた後、[OK]を押す

# 目次

■ FOMA端末のご使用にあたって .....	表紙裏
■ 本書の見かた／引きかた .....	1
■ 安全上のご注意 (必ずお守りください) ....	6
■ 材質一覧 .....	13
■ 取り扱い上のご注意 .....	14
■ 防水／防塵性能 .....	18
■ 本体付属品および主なオプション品 .....	24

## ご使用前の確認 ..... 25

各部の名称と機能 ホーム画面について タッチパネルの使いかた スタートメニューから機能呼び出す スタートメニューのアイコン位置を変更する FOMAカードを使う 電池パックの取り付けかた／取り外しかた 充電する 電池残量の確認のしかた 本FOMA端末におけるLED点灯について 電源を入れる／切る 日付と時刻を設定する 相手に自分の電話番号を通知する 自分の電話番号などを確認する オーナー情報を編集する

## 電話..... 49

電話をかける 通話履歴を利用して電話をかける 1回の通話ごとに発信者番号を通知／非通知にする スピードダイヤルを利用して発信する 連絡先から電話をかける プッシュ信号 (DTMF) を送信する 国際電話 (WORLD CALL) ハンズフリーを利用する 電話を受ける 通話中に相手の声の音量を調節する 着信音量やスピーカー音量を調節する 公共モード (ドライブモード) を利用する 公共モード (電源OFF) を利用する 着信を音で知らせる 電話から鳴る音を消す 伝言メモ など

## 連絡先／PIM機能..... 59

連絡先に登録する 連絡先の内容を確認する 連絡先の内容を変更する 連絡先を削除する 連絡先情報を送信する 仕事を登録する 仕事の内容を変更する 仕事を削除する 仕事のオプション設定 仕事の内容を確認する 仕事を送信する 予定を登録する 予定表を表示する 予定表のオプション設定 予定の内容を変更する 予定を削除する 予定を送信する

## あんしん設定..... 69

FOMA端末で利用する暗証番号 PINコードを設定する 他人が使用できないようにする キー操作を無効にする 遠隔ダイヤルロックをかける 証明書を確認する 通話・通信機能のオン／オフを切り替える その他の「あんしん設定」一覧

## メール..... 77

メールについて メールを使うために必要な設定をする 電子メールを作成して送信する ファイルを添付する 作成中のメールを保存しておき、あとで送信する メールを受信する メールに返信する メールを転送する メールを削除する パケット通信回線を切断する 添付ファイルを確認する／保存する メールアカウント内のメールBOXを操作する SMSについて SMSを作成して送信する SMSを受信したときは Windows Liveを利用する

## ブラウザ ..... 89

ブラウザを使うための準備 Internet Explorer Mobileを利用する パケット通信回線を切断する

## スキャナ ..... 95

スキャナ操作方法 スキャナの読み取り範囲

## カメラ ..... 99

カメラをご使用になる前に カメラを使用する 静止画を撮影する 動画を撮影する など

## 便利な機能 ..... 107

Adobe Reader LEを利用する 電卓として使う GPSを利用する アラーム メモを利用する など

## ファイルの管理/パソコンとのデータ同期 ..... 113

ファイルを管理する microSDカードを使う データを検索する ActiveSync/Windows Mobileデバイスセンターでできること

## 端末管理 ..... 123

障害を引き起こすデータからFOMA端末を守る プログラムをインストールする メモリ使用量を確認する パーティション情報を確認する カスタマーフィードバックについて エラー報告について FOMA端末を強制終了する 登録データを一括して削除する など

## データ通信/WLAN ..... 133

パケット通信を利用する インターネット経由で社内LANに接続する WLAN機能を利用する Bluetooth機能を利用する 赤外線通信を利用する ドメインへの登録 mopera U

## 文字入力 ..... 145

文字を入力する(キー操作) 文字を入力する(文字入力パッド) ATOKを設定する

## ネットワークサービス ..... 151

利用できるネットワークサービス 留守番電話サービス キャッチホン 転送でんわサービス 迷惑電話ストップサービス 番号通知お願いサービス OFFICEED など

## 付録/困ったときには ..... 161

メニュー一覧 マルチアクセスの組み合わせ FOMA端末から利用できるサービス オプション品・関連機器のご紹介 こんな表示が出たら 故障かな?と思ったら バーコードサンプル保証とアフターサービス ソフトウェアを更新する 主な仕様 携帯電話機の比吸収率(SAR)について 輸出管理規制 知的財産権について Windows® phoneの製品情報について

## 索引 ..... 187

索引

## 安全上のご注意（必ずお守りください）

- ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は、大切に保管してください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。

■ 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

 <b>危険</b>	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
 <b>警告</b>	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
 <b>注意</b>	この表示は、取り扱いを誤った場合、「傷害を負う可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される」内容です。

■ 次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

 禁止	禁止（してはいけないこと）を示します。
 分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。
 濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
 水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
 指示	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示します。
 電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

■ 「安全上のご注意」は次の6項目に分けて説明しています。

FOMA端末、電池パック、アダプタ、卓上ホルダ、FOMAカードの取り扱い（共通）.....	7
FOMA端末の取り扱い.....	8
電池パックの取り扱い.....	9
アダプタ、卓上ホルダの取り扱い.....	10
FOMAカードの取り扱い.....	12
医用電気機器近くでの取り扱い.....	12

## ◆FOMA端末、電池パック、アダプタ、卓上ホルダ、FOMAカードの取り扱い（共通）

### ⚠危険



禁止

火のそば、直射日光の当たる場所、炎天下の車内などの高温の場所で使用、保管、放置しないでください。

火災、やけど、けがの原因となります。



禁止

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れてください。火災、やけど、けが、感電の原因となります。



分解禁止

分解、改造をしないでください。火災、やけど、けが、感電の原因となります。



水濡れ禁止

水や飲料水、ペットの尿などで濡らさないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。  
防水性能については下記をご参照ください。→P18「防水／防塵性能」



指示

FOMA端末に使用する電池パックおよびアダプタは、NTTドコモが指定したものを使用してください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

### ⚠警告



禁止

強い衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。



禁止

充電端子や外部接続端子に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）を接触させないでください。また、内部に入れてください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。



禁止

使用中や充電中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。

火災、やけどの原因となります。



指示

ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する場所に立ち入る場合は必ず事前にFOMA端末の電源を切り、充電をしている場合は中止してください。

ガスに引火する恐れがあります。



指示

使用中、充電中、保管時に、異臭、発熱、変色、変形など、いまままでと異なるときは、直ちに次の作業を行ってください。

- ・電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜く。
- ・FOMA端末の電源を切る。
- ・電池パックをFOMA端末から取り外す。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

### ⚠注意



禁止

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。

落下して、けがの原因となります。



禁止

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所には、保管しないでください。

火災、やけど、感電の原因となります。



指示

子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教えてください。また、使用中においても、指示どおりに使用しているかをご確認ください。

けがなどの原因となります。



指示

乳幼児の手の届かない場所に保管してください。

誤って飲み込んだり、けがなどの原因となったりします。



指示

FOMA端末をアダプタに接続した状態で長時間連続使用される場合には特にご注意ください。

温度の高い部分に直接長時間触れるとお客様の体質や体調によっては肌に赤みやかゆみ、かぶれなどが生じたり、低温やけどの原因となる恐れがあります。

## ◆ FOMA端末の取り扱い

### ⚠ 警告



禁止

赤外線ポートを目に向けて送信しないでください。

目に悪影響を及ぼす原因となります。



禁止

赤外線通信使用時に、赤外線ポートを赤外線装置のついた家電製品などに向けて操作しないでください。

赤外線装置の誤動作により、事故の原因となります。



禁止

ライトの発光部を人の目に近づけて点灯発光させないでください。

視力障害の原因となります。また、目がくらんだり驚いたりしてけがなどの事故の原因となります。



禁止

FOMA端末内のFOMAカードやmicroSDカード挿入口に水などの液体や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。



禁止

自動車などの運転者に向けてライトを点灯しないでください。

運転の妨げとなり、事故の原因となります。



指示

航空機内や病院など、使用を禁止された区域では、FOMA端末の電源を切ってください。

電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。また、自動的に電源が入る機能を設定している場合は、設定を解除してから電源を切ってください。

医療機関内における使用については各医療機関の指示に従ってください。また、航空機内での使用などの禁止行為をした場合、法令により罰せられます。



指示

ハンズフリーに設定して通話する際や、着信音が鳴っているときなどは、必ずFOMA端末を耳から離してください。

また、イヤホンマイクをFOMA端末に装着し、ゲームや音楽再生をする場合は、適度なボリュームに調節してください。

音量が大きすぎると難聴の原因となります。

また、周囲の音が聞こえにくいと、事故の原因となります。



指示

心臓の弱い方は、着信バイブレータ（振動）や着信音量の設定に注意してください。

心臓に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上で使用ください。

医用電気機器などに悪影響を及ぼす原因となります。



指示

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、FOMA端末の電源を切ってください。

電子機器が誤動作するなどの悪影響を及ぼす原因となります。

※ ご注意いただきたい電子機器の例  
補聴器、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器など。

植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、当該の各医用電気機器メーカーもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。



指示

万が一、ディスプレイ部やカメラのレンズを破損した際には、割れたガラスや露出したFOMA端末の内部にご注意ください。

ディスプレイ部やカメラのレンズの表面には、プラスチックパネルを使用しガラスが飛散りにくい構造となっておりますが、誤って割れた破損部や露出部に触れますと、けがの原因となります。

## ⚠️ 注意



禁止

ストラップなどを持ってFOMA端末を振り回さないでください。本人や他の人に当たり、けがなどの事故の原因となります。



禁止

FOMA端末が破損したまま使用しないでください。火災、やけど、けが、感電の原因となります。



禁止

誤ってディスプレイを破損し、液晶が漏れた場合には、顔や手などの皮膚につけないでください。失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。液晶が目や口に入った場合には、すぐにきれいな水で洗い流し、直ちに医師の診断を受けてください。また、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにアルコールなどで拭き取り、石鹸で水洗いしてください。



禁止

自動車内で使用する場合、自動車メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上で使用ください。車種によっては、まれに車載電子機器に悪影響を及ぼす原因となりますので、その場合は直ちに使用を中止してください。



指示

お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。→「材質一覧 (P13)」



指示

ディスプレイを見る際は、十分明るい場所で、画面からある程度の距離をとってご使用ください。視力低下の原因となります。

## ◆ 電池パックの取り扱い

- 電池パックのラベルに記載されている表示により、電池の種類をご確認ください。

表示	電池の種類
Li-ion 00	リチウムイオン電池

## ⚠️ 危険



禁止

端子に針金などの金属類を接触させないでください。また、金属製ネックレスなどと一緒を持ち運んだり、保管したりしないでください。電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。



禁止

電池パックをFOMA端末に取り付けるときは、電池パックの向きを確かめ、うまく取り付けできない場合は、無理に取り付けしないでください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。



禁止

火の中に投下しないでください。電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。



禁止

釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。



指示

電池パック内部の液体が目の中に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。

失明の原因となります。

### 警告



禁止

落下による変形や傷などの異常が見られた場合は、絶対に使用しないでください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。



指示

電池パックが漏液したり、異臭がするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。

漏液した液体に引火し、発火、破裂の原因となります。



指示

ペットが電池パックに噛みつかないようにご注意ください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

### 注意



禁止

一般のゴミと一緒に捨てないでください。

発火、環境破壊の原因となります。不要となった電池パックは、端子にテープなどを貼り、絶縁してからドコモショップなど窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市町村の指示に従ってください。



禁止

濡れた電池パックを使用したり充電したりしないでください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。



指示

電池パック内部の液体が漏れた場合は、顔や手などの皮膚につけないでください。

失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。

液体が目や口に入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。

また、目や口に入った場合は、洗浄後直ちに医師の診断を受けてください。

### ◆アダプタ、卓上ホルダの取り扱い

#### 警告



禁止

アダプタのコードが傷んだら使用しないでください。

火災、やけど、感電の原因となります。



禁止

ACアダプタや卓上ホルダは、風呂場などの湿気の多い場所では使用しないでください。

火災、やけど、感電の原因となります。



禁止

DCアダプタはマイナスアース車専用です。プラスアース車には使用しないでください。

火災、やけど、感電の原因となります。



禁止

雷が鳴り出したら、アダプタには触れないでください。  
感電の原因となります。



禁止

コンセントやシガーライターソケットにつながれた状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、身体の一部に触れさせないでください。  
火災、やけど、感電の原因となります。



禁止

アダプタのコードの上に重いものをのせないでください。  
火災、やけど、感電の原因となります。



禁止

コンセントにACアダプタを抜き差しするときは、金属製ストラップなどの金属類を接触させないでください。  
火災、やけど、感電の原因となります。



濡れ手禁止

濡れた手でアダプタのコード、卓上ホルダ、コンセントに触れないでください。  
火災、やけど、感電の原因となります。



指示

指定の電源、電圧で使用してください。

また、海外で充電する場合は、海外で使用可能なACアダプタで充電してください。

誤った電圧で使用すると火災、やけど、感電の原因となります。

ACアダプタ：AC100V

DCアダプタ：DC12V・24V（マイナースアース車専用）

海外で使用可能なACアダプタ：  
AC100V～240V（家庭用交流コンセントのみに接続すること）



指示

DCアダプタのヒューズが万が一切れた場合は、必ず指定のヒューズを使用してください。

火災、やけど、感電の原因となります。指定ヒューズに関しては、個別の取扱説明書でご確認ください。



指示

電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。

火災、やけど、感電の原因となります。



指示

ACアダプタをコンセントに差し込むときは、確実に差し込んでください。

火災、やけど、感電の原因となります。



指示

アダプタをコンセントやシガーライターソケットから抜く場合は、アダプタのコードを無理に引っ張らず、電源プラグを持って抜いてください。

火災、やけど、感電の原因となります。



電源プラグを抜く

長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜いてください。

火災、やけど、感電の原因となります。



電源プラグを抜く

万が一、水などの液体が入った場合は、直ちにコンセントやシガーライターソケットから電源プラグを抜いてください。

火災、やけど、感電の原因となります。



電源プラグを抜く

お手入れの際は、電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜いて行ってください。

火災、やけど、感電の原因となります。

## ◆ FOMAカードの取り扱い

### ⚠注意



指示

FOMAカードを取り外す際は切断面にご注意ください。  
けがの原因となります。

## ◆ 医用電気機器近くでの取り扱い

- 本記載の内容は「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末等の使用に関する指針」（電波環境協議会）に準ずる。

### ⚠警告



指示

医療機関の屋内では次のことを守って使用してください。

- 手術室、集中治療室（ICU）、冠状動脈疾患監視病室（CCU）にはFOMA端末を持ち込まないでください。
- 病棟内では、FOMA端末の電源を切ってください。
- ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は、FOMA端末の電源を切ってください。
- 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。
- 自動的に電源が入る機能が設定されている場合は、設定を解除してから電源を切ってください。



指示

満員電車の中など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、FOMA端末の電源を切ってください。

電波により植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を装着されている場合は、装着部からFOMA端末は22cm以上離して携行および使用してください。

電波により植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどにご確認ください。

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

## ◆材質一覧

使用箇所	材質	表面処理	
外装ケース	ABS樹脂 エラストマー樹脂	なし	
ディスプレイパネル	PETフィルム	表面ハードコート	
ダイヤルキー マルチカーソル キー スタートキー OK/メール キー F1キー F2キー	シート部 PET樹脂 ボタン部 PC樹脂	なし なし	
サイドキー VolumeUp/ Downキー キーロックキー スキャナトリガキー	ABS樹脂	なし	
外部接続端子 キャップ	本体	PC+ABS樹脂	なし
	屈曲部	エラストマー樹脂	なし
	止水部	PC樹脂	なし
	Oリング	合成ゴム (EPDM)	なし
外部接続端子	ステンレス鋼	金メッキ	
赤外線ポート	アクリル樹脂	表面ハードコート	
スキャナ/カメラ	アクリル+PC樹脂	表面ハードコート	
ネジキャップ	エラストマー樹脂	なし	
充電端子	ステンレス鋼	金メッキ (下地ニッケルメッキ)	
ストラップ取付口	ステンレス鋼	なし	

使用箇所	材質	表面処理	
リアカバー	樹脂	ABS樹脂	なし
	内部金属	ステンレス鋼	なし
	内部防水ゴム	シリコンゴム	なし
	ネジ	ステンレス鋼	なし
電池収納部	ロックバー	ステンレス鋼	なし
	ネジ	ステンレス鋼	なし
	電池端子	りん青銅	金メッキ (下地ニッケルメッキ)
	SDストッパー	ABS樹脂	なし
	SIMホルダー	POM樹脂	なし
電池収納部	ラベル	PET樹脂	なし
電池パック	樹脂部	PC樹脂	なし
	ラベル	PET樹脂	なし
	端子部	ガラスエポキシ基板	金メッキ (下地ニッケルメッキ)

## 取り扱い上のご注意

### ◆ 共通のお願い

- F-05Bは防水／防塵機能を有していますが、FOMA端末内部に水や粉塵を侵入させたり、付属品、オプション品に水や粉塵を付着させたりしないでください。
  - FOMA端末は外部接続端子キャップをしっかりと閉じ、リアカバーを取り付けてロックした状態でIPX5、IPX7の防水性能およびIP5Xの防塵性能を有していますが、完全な防水／防塵というわけではありません。雨の中や、水滴や汚れなどがついたままの電池パックの取り付け／取り外しや、外部接続端子キャップおよびリアカバーの開閉は行わないでください。水が浸入して内部が腐食したり、故障の原因となったりします。また、付属品、オプション品は防水／防塵性能を有していません。調査の結果、これらの水漏れや粉塵の侵入による故障と判明した場合、保証対象外となります。なお、保証対象外ですので修理を実施できる場合でも有料修理となります。
- お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。
  - 乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。
  - ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミにすることがあります。
  - アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。
- 端子は時々乾いた綿棒などで清掃してください。
  - 端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れたり充電不十分の原因となったりしますので、端子を乾いた綿棒などで拭いてください。また、清掃する際には端子の破損に十分ご注意ください。
- エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。
  - 急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。

- FOMA端末や電池パックなどに無理な力がかからないように使用してください。
  - 多くのものが詰まった荷物の中に入れてたり、衣類のポケットに入れて座ったりするとディスプレイ、内部基板、電池パックなどの破損、故障の原因となります。また、外部接続機器を外部接続端子（イヤホンマイク端子）に差した状態の場合、コネクタ破損、故障の原因となります。
- FOMA端末、アダプタ、卓上ホルダに添付されている個別の取扱説明書をよくお読みください。
- ディスプレイは金属などで擦ったり引っかいたりしないでください。
  - 傷つくことがあり故障、破損の原因となります。

### ◆ FOMA端末についてのお願い

- タッチパネルの表面を強く押ししたり、爪やボールペン、ピンなど先の尖ったもので操作しないでください。
  - タッチパネルが破損する原因となります。
- 極端な高温、低温は避けてください。
  - 温度は5℃～35℃、湿度は45%～85%の範囲でご使用ください。
- 一般の電話機やテレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、悪影響を及ぼす原因となりますので、なるべく離れた場所でご使用ください。
- お客様ご自身でFOMA端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管して下さるようお願いいたします。
  - 万が一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- FOMA端末を落したり、衝撃を与えたりしないでください。
  - 故障、破損の原因となります。
- 外部接続端子に外部接続機器を接続する際に斜めに差したり、差した状態で引っ張ったりしないでください。
  - 故障、破損の原因となります。
- 使用中、充電中、FOMA端末は温かくなりますが、異常ではありません。そのままご使用ください。

- ◆ カメラを直射日光の当たる場所に放置しないでください。
  - 素子の退色・焼付きを起こす場合があります。
- ◆ 通常は外部接続端子キャップをはめた状態でご使用ください。
  - ほこり、水などが入り故障の原因となります。
- ◆ リアカバーを外したまま使用しないでください。
  - 電池パックが外れたり、故障、破損の原因となったりします。
- ◆ microSDカードの使用中は、FOMA端末の電源を切らないでください。
  - データの消失、故障の原因となります。
- ◆ 磁気カードなどをFOMA端末に近づけないでください。
  - キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。
- ◆ FOMA端末に磁気を帯びたものを近づけないでください。
  - 強い磁気を近づけると誤動作の原因となります。

## ◆ 電池パックについてのお願い

- ◆ 電池パックは消耗品です。
  - 使用状態などによって異なりますが、十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときは電池パックの交換時期です。指定の新しい電池パックをお買い求めください。
- ◆ 充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。
- ◆ 電池パックの使用時間は、使用環境や電池パックの劣化度により異なります。
- ◆ 電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが問題ありません。
- ◆ 電池パックを保管される場合は、次の点にご注意ください。
  - 満充電状態（充電完了後すぐの状態）での保管
  - 電池残量なしの状態（本体の電源が入らない程消費している状態）での保管電池パックの性能や寿命を低下させる原因となります。保管に適した電池残量は、目安として電池アイコン表示が2本の状態をお勧めします。

## ◆ アダプタについてのお願い

- ◆ 充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。
- ◆ 次のような場所では、充電しないでください。
  - 湿気、ほこり、振動の多い場所
  - 一般の電話機やテレビ・ラジオなどの近く
- ◆ 充電中、アダプタが温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。
- ◆ DCアダプタを使用して充電する場合は、自動車のエンジンを切ったまま使用しないでください。
  - 自動車のバッテリーを消耗させる原因となります。
- ◆ 抜け防止機構のあるコンセントをご使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。
- ◆ 強い衝撃を与えないでください。また、充電端子を変形させないでください。
  - 故障の原因となります。

## ◆ FOMAカードについてのお願い

- ◆ FOMAカードの取り付け／取り外しには、必要以上に力を入れないでください。
- ◆ 他のICカードリーダー／ライターなどにFOMAカードを挿入して使用した結果として故障した場合は、お客様の責任となりますので、ご注意ください。
- ◆ IC部分はいつもきれいな状態でご使用ください。
- ◆ お手入れは、乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。
- ◆ お客様ご自身でFOMAカードに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管して下さるようお願いいたします。
  - 万が一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ◆ 環境保全のため、不要になったFOMAカードはドコモショップなど窓口にお持ちください。

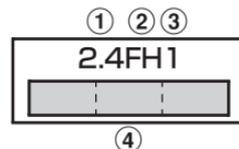
- ICを傷つけたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。  
- データの消失、故障の原因となります。
- FOMAカードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。  
- 故障の原因となります。
- FOMAカードを曲げたり、重いものをのせたりしないでください。  
- 故障の原因となります。
- FOMAカードにラベルやシールなどを貼った状態で、FOMA端末に取り付けしないでください。  
- 故障の原因となります。

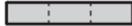
### ◆ Bluetooth機能を使用する場合のお願い

- FOMA端末は、Bluetooth機能を使用した通信時のセキュリティとして、Bluetooth標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、設定内容などによってセキュリティが十分でない場合があります。Bluetooth機能を使用した通信を行う際にはご注意ください。
- Bluetooth機能を使用した通信時にデータや情報の漏洩が発生しても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- FOMA端末では、ヘッドセット、ハンズフリー、オーディオ、ダイヤルアップ通信、オブジェクトプッシュ、シリアルポートを利用できます。また、オーディオではオーディオ/ビデオリモートコントロールも利用できる場合があります（対応しているBluetooth対応機器のみ）。

### • 周波数帯について

FOMA端末のBluetooth機能が使用する周波数帯は、端末本体の電池パック挿入部に記載されています。ラベルの見かたは次のとおりです。



- ① 2.4：2400MHz帯を使用する無線設備を表します。
- ② FH：変調方式がFH-SS方式であることを示します。
- ③ 1：想定される干渉距離が10m以下であることを示します。
- ④ ：2400MHz～2483.5MHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可であることを意味します。

### Bluetooth機器使用上の注意事項

本製品の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略します）が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、本製品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、「電源を切る」など電波干渉を避けてください。
3. その他、ご不明な点につきましては、取扱説明書裏面の「お問い合わせ先」までお問い合わせください。

## ◆ 無線LAN (WLAN) についてのお願い

### ● 無線LANについて

電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで使用しないでください。

- 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。

- テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。

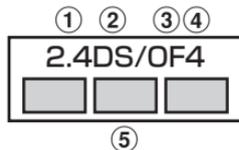
- 近くに複数の無線LANアクセスポイントが存在し、同じチャンネルを使用していると、正しく検索できない場合があります。

● 無線LANアクセスポイントや本FOMA端末に内蔵されている無線LAN (WLAN) は、セキュリティ機能に対応しておりますが、設定内容によってセキュリティが十分でない場合があります。無線LAN (WLAN) を使用した通信を行う際にはご注意ください。

● 無線LAN (WLAN) を使用した通信時にデータや情報の漏洩が発生しましても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

### ● 周波数帯について

本FOMA端末がIEEE802.11b準拠、IEEE802.11g準拠の無線LANで使用する周波数帯は、端末本体の電池パック挿入部に記載されています。ラベルの見かたは次のとおりです。



① 2.4：2400MHz帯を使用する無線設備を表します。

② DS：変調方式がDS-SS方式であることを示します。

③ OF：変調方式がOFDM方式であることを示します。

④ 4：想定される与干渉距離が40m以下であることを示します。

⑤ ：2400MHz～2483.5MHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味します。

● 航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。

### 2.4GHz機器使用上の注意事項

無線LAN搭載機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。

2. 万が一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するかご利用を中断していただいた上で、取扱説明書裏面の「お問い合わせ先」までお問い合わせいただき、混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。

3. そのほか、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、取扱説明書裏面の「お問い合わせ先」までお問い合わせください。

## ◆ 注意

- 改造されたFOMA端末は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法に抵触します。  
FOMA端末は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明等を受けており、その証として「技適マーク」がFOMA端末の銘版ラベルに表示されております。  
FOMA端末のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明等が無効となります。  
技術基準適合証明等が無効となった状態で使用すると、電波法に抵触しますので、絶対に使用されないようお願いいたします。
- 自動車などを運転中の使用にはご注意ください。  
運転中は、携帯電話を保持して使用すると罰則の対象となります。  
やむを得ず電話を受ける場合は、ハンズフリーで「かけ直す」ことを伝え、安全な場所に停車してから発信してください。
- Bluetooth機能は日本国内で使用してください。  
FOMA端末のBluetooth機能は日本国内での無線規格に準拠し認定を取得しています。  
海外でご使用になると罰せられることがあります。
- 無線LAN (WLAN) 機能は日本国内で使用してください。  
FOMA端末の無線LAN機能は日本国内での無線規格に準拠し認定を取得しています。  
海外でご使用になると罰せられることがあります。

## 防水／防塵性能

F-05Bは、外部接続端子キャップをしっかり閉じ、リアカバーを取り付けてロックした状態で、次の防水性能を有します。

- IPX5 (旧JIS保護等級5) ※1
- IPX7 (旧JIS保護等級7) ※2

また、F-05Bは外部接続端子キャップをしっかり閉じ、リアカバーを取り付けてロックした状態でIP5X (JIS保護等級5) ※3の防塵性能を有しています。

- ※1 IPX5とは、携帯電話を設置したターンテーブルを回転させた状態で2.5m～3mの距離から最低3分間12.5L/分の直接噴流を当てた後に、電話機としての機能を有することです。
- ※2 IPX7とは、常温で水道水、かつ静水の水深1mの場所に携帯電話を静かに沈め、30分間放置後に取り出したときに電話機としての機能を有することです。
- ※3 IP5Xとは、保護度合いを指し、直径75μm以下の塵埃が入った装置に電話機を8時間入れてかかはんさせ、取り出したときに電話機の機能を有し、かつ安全を維持することを意味します。

## ◇ F-05Bが有する防水／防塵性能でできること

- 1時間の雨量が20mm程度の雨の中で、傘をささずに通話ができます。
  - 手が濡れているときやFOMA端末に水滴がついているときには、リアカバーの取り付け／取り外し、外部接続端子キャップの開閉はしないでください。
- 泥や土が付着しても、洗い流すことができます。
  - 泥や土などが付着した場合には、所定の方法で洗い流し、表面を乾いた布でよく拭いて水抜きを行った後、自然乾燥させてください。→ P21

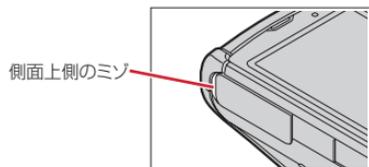
## ❖ 防水／防塵性能を維持するために

水や粉塵の侵入を防ぐために、必ず次の点を守ってください。

- 水中でFOMA端末を使用しないでください。
- 常温の水道水以外の液体をかけたり、浸けたりしないでください。
- 外部接続端子キャップは次の方法で開け閉めしてください。

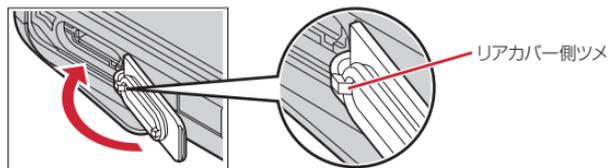
### 〈外部接続端子キャップの開けかた〉

側面上側のミゾに指を掛けて、開けてください。



### 〈外部接続端子キャップの閉じかた〉

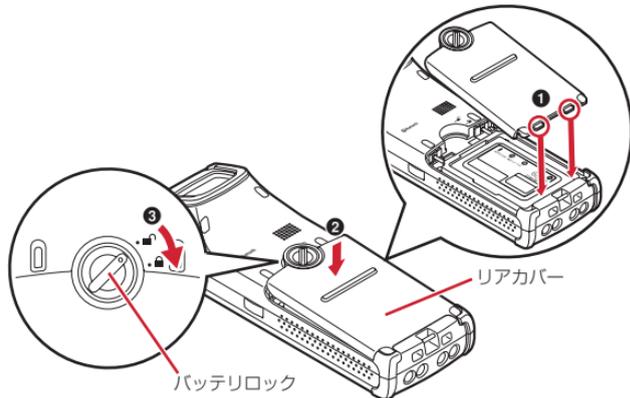
キャップ裏面リアカバー側のツメを、本体のミゾへ掛けた状態で閉じてください。さらに、キャップが浮いておらず、完全に閉じたことを確認してください。



- リアカバーの取り付けは、次の方法で行ってください。

### 〈リアカバーの取り付けかた〉

リアカバーの下の2箇所のツメをFOMA端末とリアカバーにすき間が生じないように①の方向に差し込み、②の方向に押さえながら、バッテリーロックを時計回り(③の方向)に回し、ロックして取り付けます。



※ リアカバーが浮いていないように完全に閉じたことを確認してください。また、リアカバーのバッテリーロックをロックが刻印されている方向に回し、しっかりとロックされた状態であることを確認してから使用してください。

- リアカバーは確実にロックし、外部接続端子キャップはしっかりと閉じてください。接触面に微細なゴミ（髪の毛1本、砂粒1つ、微細な繊維など）が挟まると、浸水の原因となります。
- 送話口、受話口、スピーカーなどを綿棒や尖ったものでつかないでください。
- 落下させないでください。傷の発生などにより防水／防塵性能の劣化を招くことがあります。

- 外部接続端子キャップ、内蓋のゴムパッキンは防水／防塵性能を維持する上で重要な役割を担っています。はがしたり傷つけたりしないでください。また、ゴミが付着しないようにしてください。
- 長い爪やマニキュアをしている爪で、リアカバーのロック開閉操作をする場合は充分ご注意ください。

防水／防塵性能を維持するため、異常の有無に関わらず必ず2年に1回、部品の交換が必要となります。部品の交換はFOMA端末をお預かりして有料にて承ります。ドコモ指定の故障取扱窓口にお持ちください。

### ◆ ご使用にあたっての注意事項

次のイラストで表すような行為を行わないでください。

〈例〉



せっけん／洗剤／  
入浴剤をつける



ブラシ／スポンジ  
で洗う



洗濯機で洗う



強すぎる水流を  
当てる



温泉で使う



海水をつける



プールの水に浸ける

また、次の注意事項を守って正しくお使いください。

- 付属品、オプション品は防水／防塵性能を有していません。付属の卓上ホルダにFOMA端末を取り付けた状態で使用する場合、ACアダプタを接続していない状態でも、お風呂場、シャワー室、台所、洗面所などの水周りでは使用しないでください。

- 規定（→P18）以上の強い水流（例えば、蛇口やシャワーから肌にかけて傷みを感じるほどの強さの水流）を直接当てないでください。F-05BはIPX5の防水性能を有していますが、内部に水が入り、感電や電池の腐食などの故障の原因となります。
- 万が一、塩水や海水、清涼飲料水がかかったり、泥や土などが付着したりした場合には、すぐに洗い流してください。乾燥して固まると、汚れが落ちにくくなり、傷や故障の原因となります。
- 熱湯に浸けたり、サウナで使用したり、温風（ドライヤーなど）を当てたりしないでください。
- 水道水に浸けるときは、30分以内としてください。
- プールサイドで使用するときは、その施設の規則を守って、使用してください。
- FOMA端末は水に浮きません。
- 水滴が付着したまま放置しないでください。電源端子がショートしたり、寒冷地では凍結したりして、故障の原因となります。
- 送話口、受話口、スピーカーに水滴を残さないでください。通話不良となるおそれがあります。
- リアカバーが破損した場合は、リアカバーを交換してください。破損箇所から内部に水が入り、感電や電池の腐食などの故障の原因となります。
- 外部接続端子キャップまたはリアカバーが開いている状態で水などの液体がかかった場合、内部に液体が入り、感電や故障の原因となります。そのまま使用せずに電源を切り、電池パックを外した状態でドコモ指定の故障取扱窓口へご連絡ください。
- 外部接続端子キャップ、内蓋のゴムパッキンが傷ついたり、変形したりした場合は、ドコモ指定の故障取扱窓口にてお取り替えください。

実際の使用にあたって、すべての状況での動作を保証するものではありません。また、調査の結果、お客様の取り扱いの不備による故障と判明した場合、保証の対象外となります。

## ◆ FOMA端末の洗いかた

外部接続端子キャップが開かないように押さえたまま、強くこすらず水道水で手洗いしてください。



- 規定（→P18）以上の強い水流（例えば、蛇口やシャワーから肌に当てて傷みを感じるほどの強さの水流）を直接当てないでください。
- リアカバーを取り付けてロックした状態で、外部接続端子キャップが開かないように押さえたまま、強くこすらず常温の水道水で手洗いしてください。
- ブラシやスポンジ、石鹸、洗剤などは使用しないでください。
- 泥や土が付着している場合は、まず洗面器などに溜めた水道水の中で数回ゆすって汚れを落してから、流水で洗い流してください。
- 洗い流した後は表面を乾いた布でよく拭いて、次の方法で水抜きを行った後、自然乾燥させてください。

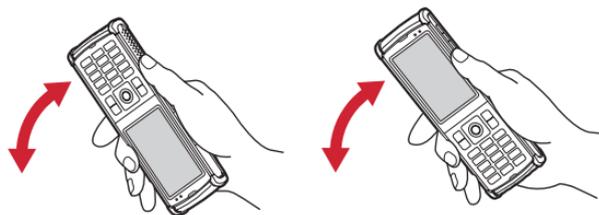
## ◆ 水抜きについて

FOMA端末を水に濡らすと、拭き取れなかった水が後から漏れてくる場合がありますので、下記の手順で水抜きを行ってください。

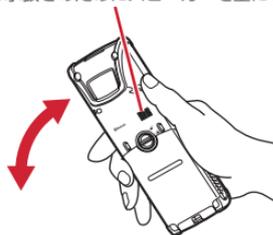
① FOMA端末表面の水分を乾いた清潔な布などでよく拭き取る。



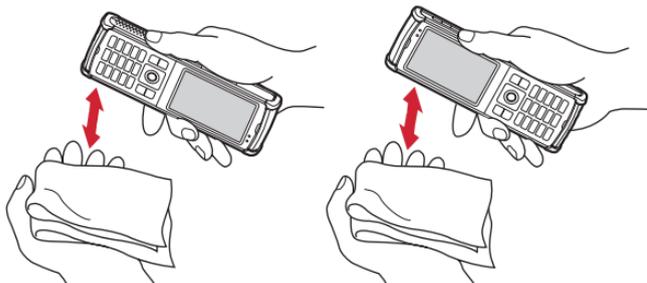
② FOMA端末の本体をしっかりと持ち、20回程度水滴が飛ばなくなるまで振る。



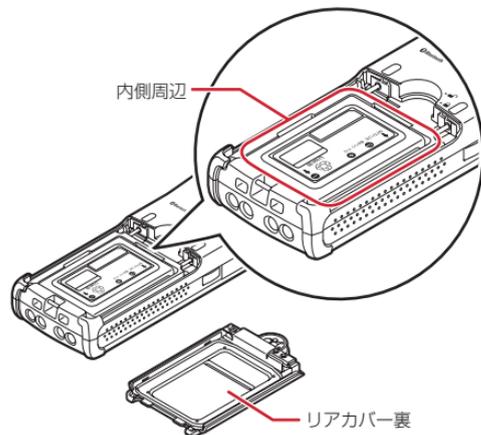
スピーカーの水抜きのためにスピーカーを上にして振る



- ③ 送話口、受話口、スピーカー、キー、充電端子などのすき間に溜まった水は、乾いた清潔な布などにFOMA端末を軽く押し当てて拭き取る。



- ④ リアカバーを取り外して、内側周辺とリアカバー裏面の水滴を拭き取り、拭き取った後にリアカバーを取り付けてロックする。
- リアカバーの取り外しかた→P39「電池パックの取り付けかた／取り外しかた」



- ⑤ FOMA端末から出てきた水分を乾いた清潔な布などで十分に拭き取り、自然乾燥させる。
- 水を拭き取った後に本体内部に水滴が残っている場合は、水が染み出ることがあります。
  - すき間に溜まった水を綿棒などで直接拭き取らないでください。

## ◆ 充電のときには

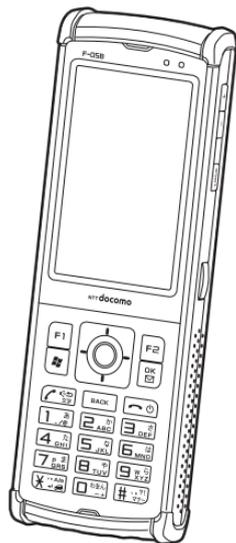
充電時、および充電後には、必ず次の点を確認してください。

- 充電時は、FOMA端末が濡れていないか確認してください。FOMA端末が濡れている状態では、絶対に充電しないでください。
- 付属品、オプション品は防水／防塵性能を有していません。
- FOMA端末が濡れている場合や水に濡れた後に充電する場合は、よく水抜きをして乾いた清潔な布などで水を拭き取ってから、付属の卓上ホルダに取り付けたり、外部接続端子キャップを開いたりしてください。
- 外部接続端子キャップを開いて充電した場合には、充電後はしっかりとキャップを閉じてください。なお、外部接続端子からの浸水を防ぐため、卓上ホルダを使用して充電することをおすすめします。
- ACアダプタ、卓上ホルダは、お風呂場、シャワー室、台所、洗面所などの水周りや水のかかる場所で使用しないでください。火災や感電の原因となります。
- 濡れた手でACアダプタ、卓上ホルダに触れないでください。感電の原因となります。

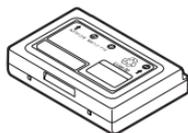
## 本体付属品および主なオプション品

### 〈本体付属品〉

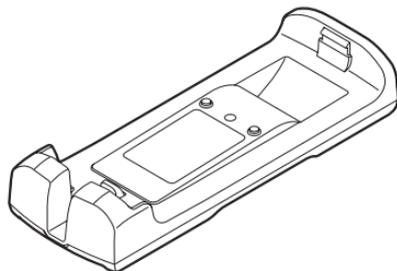
F-05B  
(リアカバー F47、保証書含む)



電池パック F15



卓上ホルダ F32  
(取扱説明書付き)



卓上ホルダ F32はお客様から回収させていただいた製品のABS樹脂をリサイクルして製造しております。

F-05B用CD-ROM

F-05Bでデータ通信をする際に必要なソフトウェアのほか、PDF版「取扱説明書」および「パソコン接続マニュアル」を収録しています。



### 〈主なオプション品〉

FOMA ACアダプタ 01/02  
(保証書、取扱説明書付き)



その他のオプション品→P171

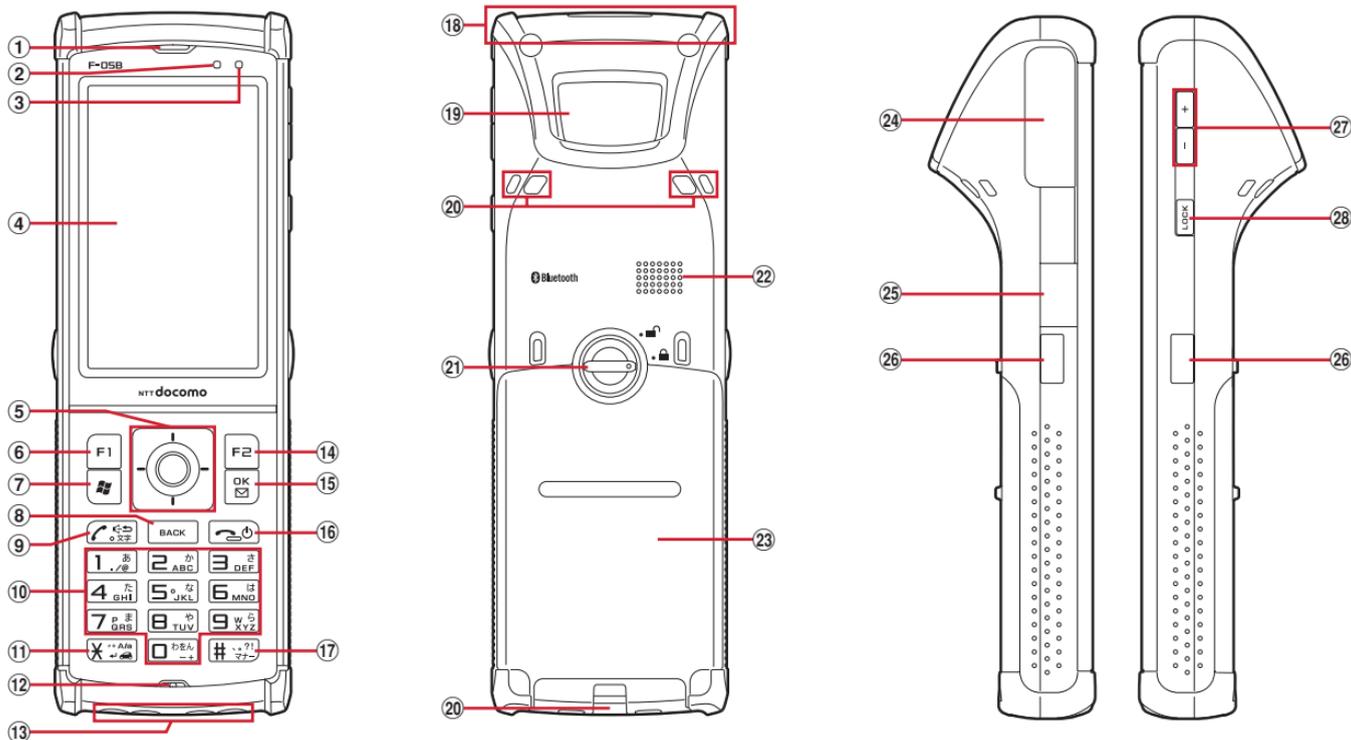
# ご使用前の確認

各部の名称と機能 .....	26
ホーム画面について .....	29
タッチパネルの使いかた .....	31
スタートメニューから機能呼び出す .....	33
スタートメニューなどのアイコン位置を変更する .....	37
FOMAカードを使う .....	37
電池パックの取り付けかた／取り外しかた .....	39
充電する .....	41
電池残量の確認のしかた .....	45
本FOMA 端末におけるLED点灯について .....	45
電源を入れる／切る .....	電源 ON / OFF 46
日付と時刻を設定する .....	46
相手に自分の電話番号を通知する .....	47
自分の電話番号などを確認する .....	47
オーナー情報を編集する .....	48

## 各部の名称と機能

ここではF-05Bの各部の名称と、キーに割り当てられている主な機能の説明をします。

• 本書の操作説明では各キーをここで説明したイラストで表しています。



- ① **受話口**  
相手の声をここから聞く
- ② **照度センサー**
- ③ **ランプ**  
電話の着信や通話中、メールの受信時、端末ロックのオン/オフなどに点灯・点滅。また充電中は赤く点灯、充電が完了すると消灯
- ④ **ディスプレイ（タッチパネル）→P31**
- ⑤ **マルチカーソルキー**  
● **決定キー**  
操作の実行  
☐ **↑キー**  
上方向へカーソル移動  
☐ **↓キー**  
下方向へカーソル移動  
☐ **←キー**  
左方向へカーソル移動  
☐ **→キー**  
右方向へカーソル移動  
※ ☐ や ☐、☐ といった表現をする場合があります。
- ⑥ **☐ F1 キー→P30**  
メニューバーの左側に表示される操作の実行  
2秒以上押す：スキャナリダイレクターのオン/オフ
- ⑦ **☐ スタートキー→P33**  
スタートメニューを表示
- ⑧ **☐ BACK** バックスペースキー  
文字の消去
- ⑨ **☐ 音声電話開始キー／ハンズフリー**  
電話をかける／受ける、文字入力欄にカーソルがあるときは入力モードの切り替え
- ⑩ **1** ～ **0** **ダイヤルキー**  
電話番号や文字の入力、メニュー項目の実行  
1秒以上押す：ホーム画面を表示中はスピードダイヤルに登録した内容を実行
- ⑪ **☒ \* / 公共モード（ドライブモード）キー**  
「\*」を入力  
1秒以上押す：ホーム画面を表示中は公共モードのオン/オフ
- ⑫ **送話口／マイク**  
自分の声をここから伝える
- ⑬ **充電端子**
- ⑭ **☐ F2 キー→P30**  
メニューバーの右側に表示される操作の実行
- ⑮ **☐ OK / メールキー→P30**  
OK / ×ボタンの実行  
1秒以上押す：メール画面を起動
- ⑯ **☐ 電源 / 終了キー**  
通話の終了、操作中の機能を閉じてホーム画面に戻る  
※ ☐ を押しても機能を閉じてホーム画面に戻らない場合は、画面に従った終了操作を行ってください。  
1秒以上押す：電源を入れる  
2秒以上押す：電源を切る
- ⑰ **☐ # / マナーモードキー**  
「#」を入力  
1秒以上押す：ホーム画面を表示中はマナーモードのオン/オフ
- ⑱ **FOMAアンテナ**  
※ FOMAアンテナは本体に内蔵されています。よりよい条件で通話するために、アンテナ部を手で覆わないようにしてお使いください。
- ⑲ **スキャナ / カメラ**  
バーコードの読み取り、静止画や動画の撮影
- ⑳ **ストラップ取付口**
- ㉑ **バッテリーロック**  
リアカバーのロックの開閉を行う
- ㉒ **スピーカー**  
着信音やスピーカーホン機能利用中の相手の声などをここから聞く
- ㉓ **リアカバー**

## ②4 外部接続端子

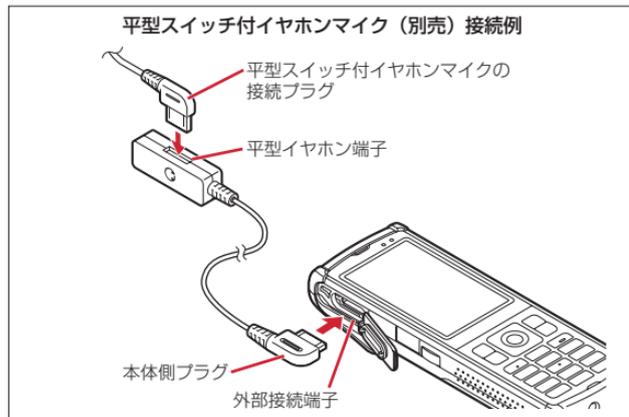
充電時およびイヤホン接続時などに使用する統合端子

※ 別売のACアダプタ、DCアダプタ、FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02、外部接続端子用イヤホン変換アダプタなどを接続できます→P171

### 〈イヤホンのご利用について〉

別売の外部接続端子対応のイヤホンを接続してください。

なお、外部接続端子に非対応のイヤホンをご利用になる場合には、別売の変換アダプタを接続してご利用ください。



## ②5 赤外線ポート→P141

赤外線で送受信

## ②6 スキャナトリガキー

バーコードなどの読み取りを行う

## ②7 [+][-] Volume Up / Downキー

スピーカーやイヤホンから出る音の音量を調整

通話中は受話音量を調整

通話中に [+ ] キーを1秒以上押す：音声メモの録音 / 停止

## ②8 [LOCK] キーロックキー

1秒以上押す：ポケットやバッグに入れてFOMA端末を持ち運ぶ際などに、キーが押されて誤動作しないようにロック

## ホーム画面について

電源を入れるとホーム画面が表示されます。ホーム画面は  を押すかスタートメニューから [ホーム] をタップして呼び出すことができます。ホーム画面では機能やアプリケーションのリストを表示させて、アイテムをタップするか、 と  で選択することで呼び出すことができます。



項目	概要
タイトルバー	FOMA端末の状態を表すアイコンが表示されます。→P29
ホーム画面	機能の選択や、アプリケーション操作などを行う画面です。
画像	タップすると、「画像とビデオ」が起動します。
音楽	タップすると、Windows Media Player 10 Mobileが起動します。
お使いになる前に	ヘルプ画面が表示されます。タップすると表示されている内容のヘルプが表示され、選択した状態で  を押すと、ヘルプ一覧画面が表示されます。
電話	選択すると、不在着信の件数が表示されます。タップすると、不在着信がある場合は不在着信相手に電話をかけます。

項目	概要
留守番電話	選択すると、留守番電話件数が表示されます。タップすると、留守番電話（1417）に電話をかけます。
時計とアラーム	日時が表示されます。タップすると、[時計とアラーム] 画面を開きます。
SMS	選択すると、SMS着信件数が表示されます。タップするとSMSメッセージ一覧を表示します。
電子メール	選択すると、電子メール着信数が表示されます。タップするとメールアカウント画面が表示されます。
予定表	選択すると、予定表の簡易内容が表示されます。タップすると、[予定表] が開きます。
お気に入り	タップすると、Internet Explorer Mobileが起動します。
メニューバー	起動中のプログラムや表示中の画面に対応するボタンが表示されます。→P30

### ◆ タイトルバーに表示されるアイコン

タイトルバーにはFOMA端末の状態を示すアイコンが表示されます。タイトルバーをタップすると、アイコンが拡大表示されます。拡大表示されたアイコンをタップすると、その機能の設定画面が起動します。

#### 通知アイコン

	不在着信→P51
	新着メール→P83
	新着SMS→P85 / 留守番電話サービスの着信通知→P152
	伝言メッセージあり→P152
	新着インスタントメッセージ
	マイクロソフト社からの通知
	パターンデータの更新失敗→P127
	ビーム受信→P140

	Bluetooth機能オン→P139
	Bluetoothヘッドセット接続中
	スピーカーホン使用中→P53
	アクセスポイント検出→P136
	アラーム動作中→P109
	キーロック中→P73
	公共モード（ドライブモード）→P55
	<b>重複通知</b> ：通知アイコンが重複している場合（アラーム動作中と不在着信など）に表示されます。タイトルバーをタップすると、隠れているアイコンを確認できます。

### ローミングアイコン

	HSDPA使用中
	3Gパケットネットワークエリア

### データアイコン

	WLAN機能オン→P136
	WLAN接続中→P136
	データ通信オフ→P74
	USBと接続中→P120、121
	パソコンと同期中→P120、121

### 電波アイコン

	電波状態→P46
	圏外→P46
	電話サービス検索中
	電話機能オフ→P74
	HSDPA接続中
	3Gパケット接続中
	HSDPA使用中
	3Gパケット使用中

	音声通話→P50
	データ通信接続中
	通話保留中→P50
	FOMAカード未挿入

### 音量アイコン

	マナーモード（パイプ）→P57
	スピーカーオフ→P54
	スピーカーオン→P54

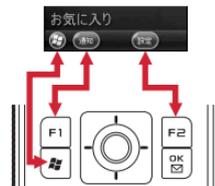
### 電池アイコン

	電池レベル→P45
	充電中→P45

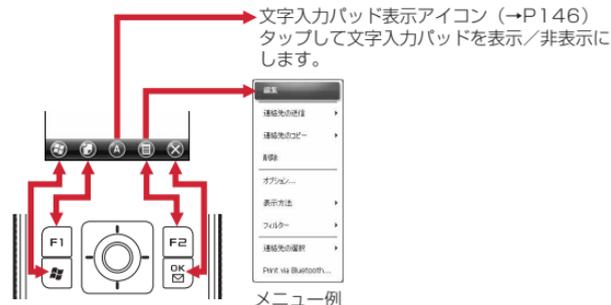
## ◆メニューバーについて

メニューバーには、起動中のプログラムや表示中の画面に対応するボタンが表示されます。ボタンをタップすると、そのとき利用できる機能やメニューを呼び出すことができます。

### ホーム画面上のメニューバー表示例



## ホーム画面以外のメニューバー表示例



各ボタンは図のキーに対応していますので、メニューバーのアイコンをタップしても、対応しているキーを押しても同様の操作が可能です。

- 表示されるメニューバーは開いている画面により変化します。

## タッチパネルの使いかた

本FOMA端末のディスプレイはタッチパネルになっています。画面に直接触れることでさまざまな操作を行うことができます。

### ❖ タッチパネル利用上のご注意

- 次の場合はタッチパネルに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。
- 異物を操作面にのせたままでの操作
  - 保護シートやシールなどを貼った操作
  - 爪やボールペン、ピンなど先の尖ったものや、指で強く押さないでください。

## ❖ タップ (項目を選択する)

画面の項目やアイコンを指で軽く叩きます。



### ■ タップ&ホールド操作

画面にタップした後、指を離さずにその地点や項目を一定時間押さえると、メニューが表示されます。



## ❖スクロールとパン操作について

スクロールやパン操作により、画面の表示を上下左右に自由に動かすことができます。

### ■スクロール

画面に表示しきれない文書などは、画面上で指を表示したい方向へスライド（軽くはじくようにする）すると、スクロールして表示できます。スクロール中に画面をタップすると、スクロールが止まります。



### ✓お知らせ

• 表示しきれない部分がある場合は、スクロールバーが表示されます。スクロールバーが表示されているときのみスクロール操作ができます。

### ■パン

指を画面に触れたまま上下左右にスライド（ドラッグ）すると、どの方向にも自由に画面を動かせます。この操作をパンと言います。境界部分に向かってドラッグすると、ホームページの文書やメッセージがパンを続けます。指を離すと止まります。



## ❖タッチパネルのタップ位置を補正する

1  ▶ [設定] ▶ [システム] ▶ [画面]

2 [配置] タブの [画面の補正] をタップした後、画面の指示に従って補正する

### ✓お知らせ

• 画面の補正中は、電話を受けることはできません。

## スタートメニューから機能呼び出す

スタートメニューから機能やアプリケーションを呼び出したり、設定を変更することができます。

お買い上げ時の設定については、「メニュー一覧」をご覧ください。→ P162

### 1 [FOMA] を押す

スタートメニューが表示されます。アイコンをタップするか、でカーソルを移動しを押して起動します。



- ① ホーム画面を表示します。
- ② FOMA端末に端末ロックをかけます。→P72
- ③ 機能やアプリケーションを起動します。

## ◆ スタートメニューに表示されるアイコンの説明

アプリケーション	概要	参照先	
ホーム	ホーム画面を表示します。	P29	
電話	電話をかけることができます。	P50	
SMS	SMSの送信・確認などができます。	P85	
電子メール	メールの送受信ができます。	P78	
連絡先	友人や知人の氏名、電話番号、勤務先、住所などを登録します。	P60	
Internet Explorer	Webページを閲覧したり、プログラムやファイルをインターネットからダウンロードできます。	P91	
予定表	会議などの予定を登録します。	P64	
設定	Bluetooth	Bluetooth機能をオンにして、他のBluetooth機と接続します。	P138
	時計とアラーム	日付と時刻の変更や特定の曜日と時刻にアラームを設定できます。	P46
	ホーム	スタートメニューとホーム画面の背景イメージや、ステータスバーとメニューバーの配色をテーマごとに変更できます。	P110
	ロック	端末ロックのパスワード設定ができます。	P72
	パワー マネジメント	バッテリー残量を表示したり、画面の電源が切れるまでの時間を設定できます。	P130
	音と通知	メール受信やアラームなどのイベントごとに通知音を設定します。	P110

アプリケーション		概要	参照先
接続	PC への USB 接続	高度なネットワーク機能の有効 / 無効の設定を行います。	P122
	PPP接続先登録	接続先のアクセスポイント名と電話番号の登録 / 削除を行います。	P144
	SMS設定	SMSの有効期間とSMSメッセージセンターの設定を行います。	—
	USBモード切替	パソコンとのUSB接続を、ActiveSyncモードまたは通常モードに切り替えます。	P122
	WLAN	WLAN接続の設定をします。	P136
	ドメインへの登録	FOMA端末を会社のドメインに登録して、社内システム管理者がFOMA端末を管理できるようにします。	P141
	ビーム	FOMA端末がBluetooth / 赤外線通信で送られてきたデータを受信できるように設定します。	P140
	メール自動受信設定	自動受信するメールアドレスを登録します。	P80
	ワイヤレス マネージャー	通話および通信機能のオン / オフを切り替えます。	P74
	接続	FOMA端末がインターネットや社内ネットワークに接続するための設定をします。	P134
発信信・通話設定	発信・着信などに関する電話の設定を行います。	P57	
個人	Bluetoothアドレス	機器名称の登録とBluetoothアドレス、対応プロファイルの確認ができます。	—

アプリケーション		概要	参照先
システム	NWサービス	留守番電話、キャッチホン、転送電話、迷惑電話ストップ、発信者番号通知お願サービスなどの設定ができます。	P152
	オーナー情報	お客様ご自身の情報やメモを入力できます。	P48
	ボタン	市販のテンキーやキーボードを接続した際、キーの「移動までの待ち時間」や「移動速度」を変更するときを使用したり、FOMA端末のボタンをプログラムに割り当てることができます。	—
	連絡先登録件数	本体とFOMAカードに登録した連絡先登録件数を表示します。	—
	電話	着信音などの電話の設定をカスタマイズしたり、ネットワークやセキュリティに関する設定ができます。	P56
	ATOK設定	変換辞書の設定や単語登録などができます。	P149
	エラー報告	エラー報告機能の有効 / 無効を設定します。この機能が有効なときプログラムエラーが発生すると、プログラムとFOMA端末の状態を示す技術データテキストファイルでログ化されます。エラーが発生したとき送信を選択すると、マイクロソフト社のテクニカルサポートセンターにログが送信されます。	P130

アプリケーション	概要	参照先
カスタマーフィードバック	Windows Mobileソフトウェアの使用状況に関する匿名情報をマイクロソフト社に送信するかどうかを設定します。	P129
スキャナ	スキャナによるバーコード読み取り動作の設定をします。	—
タスク マネージャー	実行中のアプリケーションを切り替えたり終了します。	P129
バックライト	バックライトを消すまでの時間などを設定します。	P131
バージョン情報	OSやソフトウェアのバージョンを確認したり、デバイス名などを設定できます。	P129
プログラムの削除	インストールしたプログラムを削除します。	P128
メモリ	FOMA端末および外部メディア (microSDカード) のメモリ使用状況を確認できます。	P128
リセット	FOMA端末を再起動したり、お買い上げ以降に登録したすべてのデータを消去し、FOMA端末をお買い上げ時の状態に戻します。	P131
地域	FOMA端末で表示する数値、通貨、日時を表示方法を、選択した地域ごとに設定できます。	—
情報表示	通話料金、前回通話時間、積算通話時間、装置情報を表示します。	—
暗号化	microSDカードにファイルを保存するときに、自動的に暗号化されるように設定します。	P117

アプリケーション	概要	参照先	
	画面	画面の補正や文字サイズを設定します。	P111
	端末設定	自動時刻補正設定などの端末動作の設定を行います。	P130
	管理プログラム	社内システム管理者によってインストールされたプログラムの履歴を確認します。	—
	自動電源設定	自動電源オン/オフの設定を行います。	—
	証明書	インストールされている証明書についての情報を表示します。	P74
Microsoft My Phone	連絡先や予定表、写真や音楽などをクラウド上にバックアップできます。	—	
お使いになる前に	FOMA端末の基本操作を確認できます。	—	
アラーム	日付と時刻の変更や特定の曜日と時刻にアラームを設定できます。	P109	
画像とビデオ	FOMA端末やmicroSDカードに保存されている静止画や動画の表示、整理、並べ替えができます。	P105	
Windows Media	音楽や動画を再生できます。	—	
Marketplace	Windows Marketplaceに接続し、さまざまなプログラムを購入・ダウンロードできます。	—	
Messenger	Windows Live Messengerを起動します。	—	
Microsoft My Phone	連絡先や予定表、写真や音楽などをクラウド上にバックアップできます。	—	

アプリケーション		概要	参照先
Windows Live		マイクロソフト社が提供するオンラインサービスを利用します。	P86
電卓		加算、減算、乗算、除算などの基本的な計算ができます。	P108
ゲーム	ソリティア	トランプを並べていくゲームをはじめます。	—
メモ		文字または手書きしたメモを作成します。	P111
仕事		現在の仕事の進捗や優先度などを整理できます。	P62
エクスプローラー		ファイルの整理や管理をします。	P114
ActiveSync		FOMA端末とパソコンの間で情報の同期ができます。	P118
タスク マネージャー		実行中のアプリケーションを切り替えたり終了したりします。	P129
検索		FOMA端末のMy DocumentsおよびmicroSDカード内のファイルや、連絡先やメモなどのデータに含まれる文字列を検索します。	P117
ヘルプ		ヘルプを利用します。	—
ソフトウェア更新	バージョン表示	FOMA端末のソフトウェアのバージョンを表示します。	P180
	更新開始	専用のダウンロードサイトからFOMA端末の修正用ファイルをダウンロードし、ソフトウェアの更新を行います。	P181
Adobe Reader LE		PDFファイルを表示することができます。	P108
MSN マネー		個人向けファイナンスソフトウェアを利用します。	—

アプリケーション	概要	参照先
MSN 天気予報	ネット配信しているMSN 天気予報情報を表示します。	—
SMS問合せ	SMSが届いていないかを問い合わせます。	—
URL読み込みツール	Internet Explorerを起動し、二次元バーコードを読み取ってURLの入力ができるようにします。	—
セキュリティスキャン	FOMA端末に取り込んだデータやプログラムをスキャンします。	P124
バーコード確認ツール	スキャナが正常に動作しているか確認するために使用します。	P178
リモート デスクトップ モバイル	ネットワーク接続によりWindowsパソコンの操作を行います。	—
伝言メモ/音声メモ	伝言メモ/音声メモの再生/削除を行います。	P58

## スタートメニューなどのアイコン位置を変更する

スタートメニューなどのアイコンの表示位置を移動させることができます。

- 1  ▶ 表示位置を変更したいアイコンをタップ&ホールド  
アイコンが浮いたような状態になります。



- 2 移動したい位置までアイコンをドラッグし、指を離すとアイコンが移動します。

### ✓お知らせ

- スタートメニューなど表示される項目の多い場合に、起動しやすい位置に必要な機能やアプリケーションを移動させると便利です。

## FOMAカードを使う

FOMAカード（SIMカード）とは、電話番号などのお客様情報を記録しているICカードです。

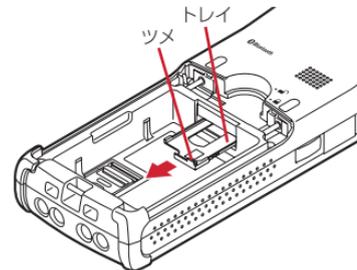
- FOMAカードを正しく取り付けていない場合や、FOMAカードに異常がある場合は、電話の発着信やメールの送受信などはできません。
- FOMAカードの取り扱いについての詳細は、FOMAカードの取扱説明書をご覧ください。

### ◆取り付けた／取り外しかた

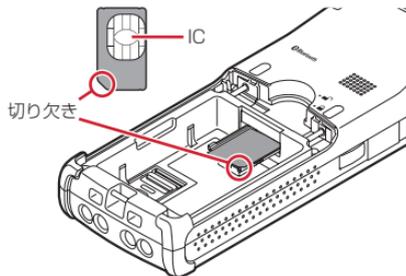
- 電源を切ってから、FOMA端末を手に持って行ってください。
- IC部分に触れたり、傷をつけたりしないようにご注意ください。
- リアカバーと電池バックの取り付けかた／取り外しかた→P39

#### ■取り付けかた

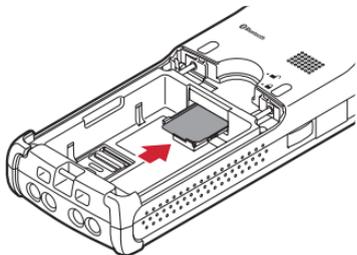
- ① ツメを引き、「カチッ」と音がするまでトレイを引き出す



- ② IC面を下にして、切り欠きの向きに合わせてFOMAカードをトレイに載せる

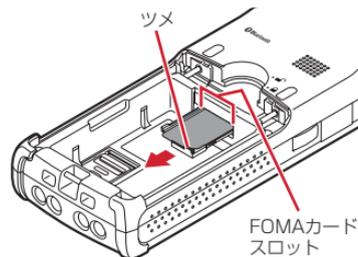


- ③ トレイを奥まで押し込む



## ■ 取り外しかた

- ① ツメを引き、「カチッ」と音がするまでトレイを引き出し、FOMAカードを静かに取り外す



## ✓お知らせ

- FOMAカードを無理に取り付けようとしたり、取り外そうとしたりすると、FOMAカードやトレイが壊れる場合があるため、ご注意ください。
- トレイが外れてしまった場合は、FOMAカードは取り外した状態で、FOMAカードスロット内部のガイドレールに合わせてまっすぐに押し込んでください。
- 本FOMA端末では、FOMAカード（青色）は使用できません。FOMAカード（青色）をお持ちの場合は、ドコモショップ窓口にてお取り替えください。

## ◆ 暗証番号

FOMAカードには、「暗証番号（PIN）」（PIN1コード）、「暗証番号（PIN）2」（PIN2コード）という2つの暗証番号があります。ご契約時はどちらも「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。→P72

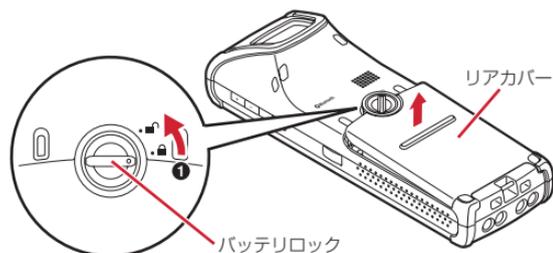
## 電池パックの取り付けかた／取り外しかた

- 電源を切ってから、FOMA端末を手に持って行ってください。
- 自動時刻補正設定を「オフ」にして日付・時刻を設定したときは、電池パックを取り外すと日付・時刻が消去される場合があります。→ P130
- リアカバーのバッテリーロックは常にロックして使用してください。ロックが開いていると、FOMA端末の電源が入りません。

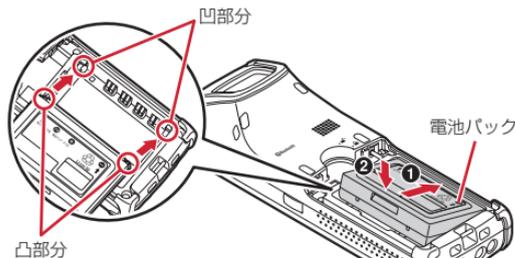
### ❖ 取り付けかた／取り外しかた

#### ■ 取り付けかた

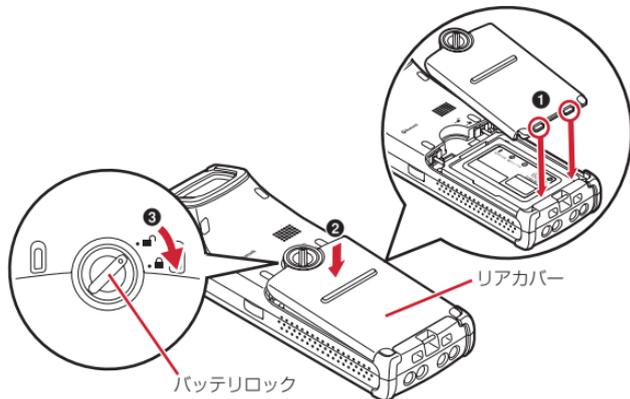
- ① リアカバーを押えながらバッテリーロックを反時計回り（①の方向）に回し、リアカバーを外す



- ② 電池パックのラベル面を上にして、電池パックの凸部分をFOMA端末の凹部分に合わせて①の方向に差し込み、②の方向に押しつけてはめ込む



- ③ リアカバーの下の2箇所のツメをFOMA端末とリアカバーにすき間が生じないように①の方向に差し込み、②の方向に押えながら、バッテリーロックを時計回り（③の方向）に回し、ロックして取り付ける

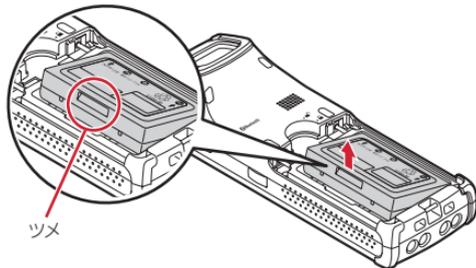


## ✓お知らせ

- 電池を取り付ける際には、トレイ、ストッパーが収納されていることを確認して取り付けを行ってください。
- リアカバーを取り付ける際に、ツメを外に出したままバッテリーロックをロックしないでください。故障の原因となります。
- 長い爪やマニキュアをしている爪で、リアカバーのロック開閉操作をする場合は充分ご注意ください。

## ■ 取り外しかた

- ① リアカバーを外す→P39
- ② 電池パックのツメを利用して、矢印方向に持ち上げて取り外す



## ✓お知らせ

- 電池パックを無理に取り付けようとすると、FOMA端末の端子が壊れる場合があります。ご注意ください。
- 上記以外の方法で取り付け/取り外しを行ったり、力を入れすぎたりすると、FOMA端末やリアカバーが破損するおそれがあります。

## ◆ 運用中での電池交換のしかた

電池の交換を行ったときに電源を切る直前の作業を再開することができます。

- あらかじめ交換電池を用意しておいてください。(30秒以内に電池交換する必要があります。)

- 1 バッテリーロックを反時計回りに回し、リアカバーを外す
- 2 ブザー音が鳴り電源が切れるまで待つ
- 3 30秒以内に電池を交換する
- 4 リアカバーを取り付け、バッテリーロックを時計回りに回して閉める
- 5  (1秒以上)

## ✓お知らせ

- 運用中での電池交換を行う場合、以下の操作や動作が終了していることを確認してください。
    - リアカバーを外した後、ブザーが鳴り終わっていること
    - FOMA端末が起動途中でないこと
    - 外部メディア (microSDカード) を挿入している場合は、起動時の外部メディアスキャンが終了していること→P126
    - 電話操作/メール送受信/データ通信を終了させていること
    - 外部機器との接続を終了していること
    - 外部接続端子からUSBケーブルを取り外していること
    - 音楽や音声データを再生中/録音中でないこと
    - 外部メディア (microSDカード) を参照中またはデータの読み込み/書き込み中でないこと
    - スキャナ/カメラの動作を終了させていること
    - GPSを使用中でないこと
- 上記動作中に電池を抜くと、それまでの作業をしていたデータなどは失われ、通常の電源を入れたときの動作となります。また、FOMA端末が再起動したり、動作が不安定になる場合があります。動作が不安定になった場合は、 キーを10秒以上押し、電源を切った後、電源を入れ直してください。

また、電池交換により通信は一旦切断されます。電源投入後は再接続されますが、使用するアプリケーションにより再接続に時間がかかったり、再接続の操作が必要となる場合があります。

- FOMAカードやmicroSDカードの取り付け／取り外し／交換をしないでください。FOMA端末が正しく動作できなくなる場合があります。
- FOMAカードやmicroSDカードの扱いは、電源を切ってから行ってください。→P46
- 電池交換時に  を2秒以上押ししたり、30秒以上電池パックを外したりしないようにご注意ください。それまでの作業をしていたデータなどが失われ通常の電源を入れたときの動作となります。→P46
- 電池パックの取り外しを短い間に（目安として約5分以内に）何度も行うとデータ保持時間が30秒よりも短くなる場合があります。
- 一度バッテリーロックを反時計回りに回してロックを解除すると、そのままもう一度ロックしてもブザー音がなり、電源が切れます。
- リアカバーを外した際は、磁石などを近づけないでください。誤動作の原因となります。
- マナーモードに関係なくブザー音が鳴ります。

## ❖ 電池パックの上手な使いかた

- 電源を入れたままでの長時間（数日間）充電はおやめください。FOMA端末の電源を入れた状態で充電が完了した後は、FOMA端末は電池パックから電源が供給されます。そのままの状態でも長時間置くと、電池パックが消費され、短い時間しか使用できずに電池アラームが鳴ってしまう場合があります。その場合はFOMA端末をACアダプタや卓上ホルダ、DCアダプタから外して、もう一度セットして充電し直してください。
- 環境保全のため、不要になった電池はNTTドコモまたは代理店、リサイクル協力店などにお持ちください。



Li-ion 00

## 充電する

お買い上げ時は、電池パックは十分に充電されていません。必ず専用のACアダプタまたはDCアダプタで充電してからお使いください。

- F-05Bの性能を十分に発揮するために、必ず電池パックF15をご利用ください。

### ❖ 充電時間（目安）

F-05Bの電源を切って、電池パックを空の状態から充電したときの時間です。電源を入れたまま充電したり、低温時に充電したりすると、充電時間は長くなります。

ACアダプタ	約240分	DCアダプタ	約240分
--------	-------	--------	-------

### ❖ 十分に充電したときの使用時間（目安）

充電のしかたや使用環境によって、使用時間は変動します。

連続待受時間	静止時：約550時間
	移動時：約440時間
連続通話時間	約440分

- 連続通話時間は、電波を正常に送受信できる状態での目安です。
- 連続待受時間は、電波を正常に受信できる状態での目安です。なお、電池パックの充電状態、機能設定状況、気温などの使用環境、利用場所の電波状態（電波が届かない、または弱い）などにより、通話や通信、待受の時間は約半分程度になる場合があります。また、通話や通信をしなくても、プログラムの起動やデータ通信、スキヤナの使用、カメラの使用、動画の再生、Windows Media Player 10 Mobileでの曲の再生などを行うと、通話や通信、待受の時間は短くなります。
- WLAN通信時の連続待受時間や連続通話時間は、アクセスポイントの設定や通信状態によって変わることがあります。

## ❖ 電池パックの寿命について

- 電池パックは消耗品です。充電を繰り返すごとに、1回で使える時間が次第に短くなります。
- 1回で使える時間がお買い上げ時に比べて半分程度になったら、電池パックの寿命が近づいていますので、早めに交換することをおすすめします。また、電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが問題ありません。
- 充電しながら通話などを長時間行いますと、電池パックの寿命が短くなる場合があります。

## ❖ 充電について

- 詳しくは、FOMA ACアダプタ 01/02 (別売)、FOMA 海外兼用ACアダプタ 01 (別売)、FOMA DCアダプタ 01/02 (別売) の取扱説明書をご確認ください。
- FOMA ACアダプタ01はAC100Vのみに対応しています。また、FOMA ACアダプタ02およびFOMA 海外兼用ACアダプタ01はAC100Vから240Vまで対応しています。
- ACアダプタのプラグ形状はAC100V用 (国内仕様) です。AC100Vから240V対応のACアダプタを海外で使用する場合は、渡航先に適合した変換プラグアダプタが必要です。なお、海外旅行用の変圧器を使用しての充電は行わないでください。

## ✓お知らせ

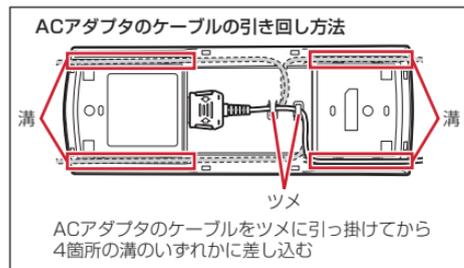
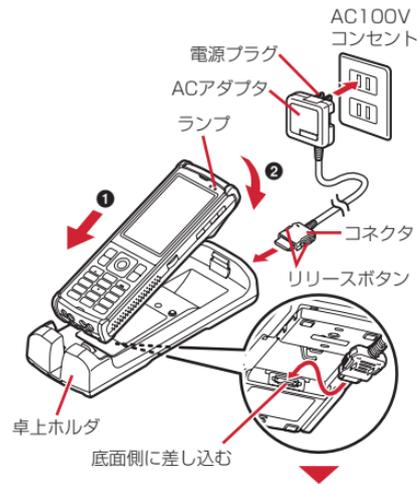
- 通話中や通信中は充電が完了しない場合があります。また、動画再生中、Windows Media Player 10 Mobile起動中、アプリケーションの動作中などに充電を開始すると、充電が完了しないことがあります。充電を完了させるには、通話や通信などを終了してから充電することをおすすめします。
- 充電中はFOMA端末や電池パック、卓上ホルダ、ACアダプタ、DCアダプタが温くなる場合がありますが、異常ではありません。ただし、充電中にポケット通信、WLAN通信を行ったりすると、FOMA端末内部の温度が上昇し、充電が正常に終了しない場合があります。また、そのまま使用していると電池を消費し、電池アラームが鳴り、自動的に電源が切れることがあります。これらの場合は、FOMA端末の温度が下がるのを待って充電を行ってください。
- 充電しながら通話や通信、その他機能の操作を長時間行うと、FOMA端末の温度が上昇して充電ランプが消えたり点滅する場合があります。その場合は、FOMA端末の温度が下がってから再度充電を行ってください。
- ご使用の状況により充電が途中で停止する場合があります。使用しているすべての機能を終了してから再度充電を行ってください。
- ACアダプタ、DCアダプタまたは卓上ホルダで充電しているときに、電話の着信があった場合、ACアダプタまたはDCアダプタを抜くと着信動作に切り替わります。

## ◆ 充電する

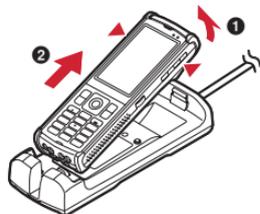
別売のACアダプタ、DCアダプタの取扱説明書もご覧ください。

### ■ 卓上ホルダとACアダプタを使って充電する

- ① ACアダプタのコネクタの矢印の表記面を上にして卓上ホルダへ差し込む
- ② 卓上ホルダ裏側のツメと溝にあわせて、ACアダプタのケーブルを引き回す
- ③ ACアダプタの電源プラグを起こし、AC100Vコンセントへ差し込む
- ④ FOMA端末の底を卓上ホルダのツメに合わせ、矢印方向(①)に差し込み、矢印方向(②)の方に押し込む
  - ランプが点灯することを確認してください。
  - 外部接続端子キャップを閉じてから取り付けてください。
  - FOMA端末は、卓上ホルダにしっかり取り付けてください。また、ストラップなどを挟まないようにご注意ください。

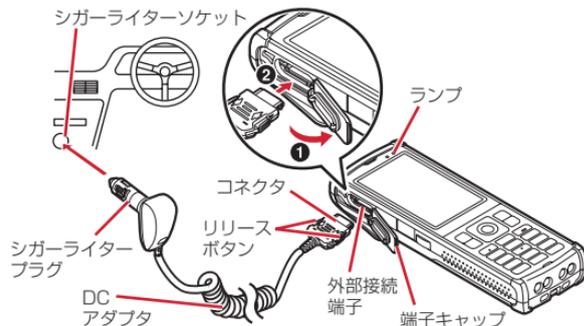
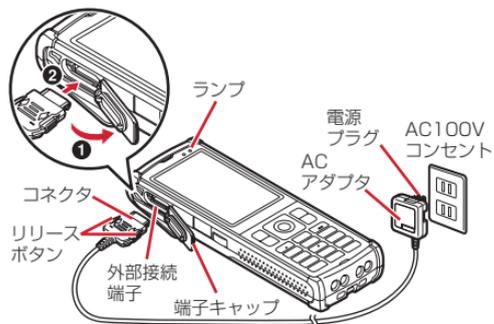


- ⑤ 充電が終わったら、卓上ホルダを押さえて、FOMA端末の図の▲の位置を持ちながら矢印方向(1)に引き上げ、矢印方向(2)の方に引き抜いて取り外す



### ■ ACアダプタまたはDCアダプタで充電する

- ① FOMA端末の外部接続端子の端子キャップを開き(1)、コネクタを矢印の表記面を上にして水平に差し込む(2)
- ② ACアダプタの場合は、電源プラグを起こし、AC100Vコンセントへ差し込む  
DCアダプタの場合は、シガーライタープラグを車のシガーライターソケットへ差し込む
- ③ 充電が終わったら、ACアダプタの場合は電源プラグをコンセントから、DCアダプタの場合はシガーライタープラグをシガーライターソケットから抜き、コネクタの両側のリリースボタンを押しながら、FOMA端末から水平に引き抜く



### ✓お知らせ

- ACアダプタやDCアダプタのコネクタを抜き差しする際は、コネクタ部分に無理な力がかからないようゆっくり確実に行ってください。取り外すときは、必ずリリースボタンを押しながら水平に引き抜いてください。無理に引き抜こうとすると故障の原因となります。
- FOMA端末を使用しないときや車から離れるときは、DCアダプタのシガーライタープラグをシガーライターソケットから外し、FOMA端末からDCアダプタのコネクタを抜いてください。

- DCアダプタのヒューズ（2A）は消耗品です。交換するときは、お近くのカー用品店などでお買い求めください。

## ❖ 充電中の動作と注意事項

充電が開始されると充電開始音が鳴り、ランプが点灯し、ディスプレイにが表示されます。充電が終わると、ランプは消灯します。

- 充電開始後、環境によってはランプが点灯しない場合がありますが、故障ではありません。しばらくたっても点灯しない場合は、FOMA端末を一度ACアダプタや卓上ホルダ、DCアダプタから外して、もう一度セットし直してから充電を行ってください。充電開始後、しばらくたっても点灯しない場合は、ドコモ指定の窓口にお問い合わせください。
- マナーモードを設定している場合や電源オフ時には、充電開始音はなりません。

## 電池残量の確認のしかた

タイトルバーに電池残量の目安を示すアイコンが表示されます。

アイコン						
電池残量	レベル4	レベル3	レベル2	レベル1	レベル0	充電中

## ❖ 電池が切れそうになると

電池アラームが鳴り、警告メッセージが表示されて少したつと、自動的に電源が切れます。警告メッセージが表示されたら、すぐに使用中のデータを保存し、充電を始めてください。

## ✓お知らせ

- 電池切れの状態でも充電を開始した場合、電源を入れてもすぐに起動しないことがあります。その場合は、FOMA端末の電源を切ったまま充電し、しばらくしてから電源を入れてください。

- 音声電話着信中に電池が切れそうになった場合、電池アラームは鳴りません。

## 本FOMA端末におけるLED点灯について

### ■ LED点灯内容一覧

LEDの光る状況		点灯パターン	点灯色
着信中		点滅（約0.5秒に1回点灯）	緑色
メール受信中		点滅（約0.5秒に1回点灯）	黄色
通話中		ゆっくり点滅（蛍点灯）	七色 <sup>*1</sup>
保留中		点滅（約0.5秒に1回点灯）	緑色
アラーム	スケジュールアラーム アラーム（目覚まし）	点滅（約0.5秒に1回点灯）	七色 <sup>*1</sup>
端末ロック	通常状態から端末ロック状態に設定時	約2～3秒間点滅	赤色
	端末ロック状態から通常状態に設定時		青色
キーロック	通常状態からキーロック状態に設定時	約2～3秒間点滅	ピンク色
	キーロック状態から通常状態に設定時		水色
充電中 <sup>*2</sup>	正常充電時	点灯	赤色
	異常充電時	点滅（約2秒に1回点灯）	
未確認の不在着信あり		約6秒ごとに点滅	ピンク色
未読の新着メールあり		約6秒ごとに点滅	黄色
未読の伝言メモあり		約6秒ごとに点滅	水色

<sup>\*1</sup> 七色は「赤→黄→緑→水色→青→紫→ピンク→赤→…」の順で点滅します。

<sup>\*2</sup> 公共モード（ドライブモード）設定中は、「充電中」以外のLEDは点灯しません。ただし「充電中」については点灯します。

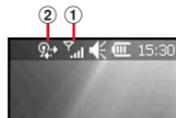
## 電源を入れる／切る

## ❖ 電源を入れる

1  (1秒以上)

起動画面の後、ホーム画面が表示されます。

- PINコードの設定を行ったり、前回電源を切る前に端末ロックを設定していた場合は、電源を入れると暗証番号 (PIN) 入力画面またはホーム画面に  が表示されますので、ロックを解除してください。
- ディスプレイ上部に表示されるアイコンで電波の受信レベルの目安が確認できます。



## ① FOMA

アイコン		 ※
受信レベル	強い ← → 弱い	FOMAサービスエリア外 や電波の届かない場所 (圏外)

※ セルフモード中の表示は  が表示されます。

## ② WLAN

アイコン		
受信レベル	接続	電波の届かない場所や接続可能なアクセスポイントがない場合

## ❖ 電源を切る

1  (2秒以上)

## ✓お知らせ

- FOMAカードが挿入されていない状態で電源を入れると、「サービスプロバイダーがサポートしている場合は、緊急電話は可能です」と表示されますが、FOMAカード未挿入時は緊急通報 (110番、119番、118番) ができません。
- 起動しているアプリケーションの状態によっては、 を2秒以上押しても電源が切れない場合があります。しばらくしても電源が切れない場合は、再度  を2秒以上押してください。再起動した場合は、起動完了後に電源を切る操作をやり直してください。

## 日付と時刻を設定する

1  ▶ [設定] ▶ [時計とアラーム] ▶ [時刻] タブ

時刻設定画面が表示されます。



## 2 タイムゾーン、日付、時刻を設定する

- タイムゾーンが「GMT+9 東京、大阪」になっていることを確認します。
- 日付欄の▼をタップして表示されるカレンダーから、今日の日付を選択します。
- 時、分、秒のそれぞれをタップして選択 (反転) し、▼/▲で時刻を合わせます。

### 3 [OK]

#### ✓お知らせ

- 時刻設定後も月あたり数秒程度の誤差が生じます。定期的に時刻補正されることをおすすめします。
- 時刻を自動的に補正するには「自動で時刻を設定する」を参照してください。→P130

## 相手に自分の電話番号を通知する

電話をかけたときに、相手の電話機に自分の電話番号（発信者番号）を表示させます。

- 発信者番号はお客様の大切な情報です。発信者番号を通知する際には、十分ご注意ください。
- 圏外では設定の操作はできません。

**1**  ▶ **[設定]** ▶ **[個人]** ▶ **[NWサービス]** ▶ **[発信者番号通知]** ▶ **[発信者番号通知設定]** ▶ **[通知する]** ▶ **[F1]**  
**[OK]**

- 通知しない場合は、「通知しない」を選択します。

設定内容を確認する：** ▶ [設定] ▶ [個人] ▶ [NWサービス]**  
**▶ [発信者番号通知] ▶ [発信者番号通知設定確認]**

#### ✓お知らせ

- 発信者番号通知は、次の方法によっても設定できます。優先順位は次のとおりです。
  - 相手の電話番号の前に、「186」または「184」をつけて発信した場合
  - 発信時に発信オプションで番号通知方法を設定していた場合
  - 発信者番号通知設定
- 電話をかけたときに番号通知をお願いする旨のガイダンスが聞こえたときは、発信者番号通知を設定するか、「186」を付けてかけ直してください。

## 自分の電話番号などを確認する

自局電話番号（ご契約電話番号）や登録した名前、電子メールアドレスなどの自局情報を確認します。

**1**  ▶ **[0]**

自局番号表示画面が表示されます。

- FOMAカードが未挿入の場合や適用していないカードを挿入した場合は、正しく表示されません。

### ◆自局番号表示のサブメニューを利用する

自局番号表示画面で **[F2]** **[メニュー]** を押すと、次の機能を利用できます。

<b>編集</b>	名前と電子メールアドレスの登録 • 端末暗証番号（パスワード）を設定している場合は、認証操作が必要になります。 • 電子メールアドレス（3件）は、新しいメールアドレスを作成した場合に登録できます。
-----------	--

#### ✓お知らせ

- 編集した名前は、オーナー情報にも反映されます。

## オーナー情報を編集する

自局情報とは別に任意の勤務先、住所、電話番号、電子メールアドレス、メモをオーナー情報として編集・保存できます。

1  ▶ **【設定】** ▶ **【個人】** ▶ **【オーナー情報】**

オーナー情報画面が表示されます。

2 各項目を設定 ▶  **【OK】**

### ✓お知らせ

• 編集した名前は、自局番号表示にも反映されます。

## 電話のかけかた

電話をかける .....	50
通話履歴を利用して電話をかける .....	通話履歴 51
1回の通話ごとに発信者番号を通知／非通知にする .....	186 / 184 51
スピードダイヤルを利用して発信する .....	スピードダイヤル 52
連絡先から電話をかける .....	52
ブッシュ信号 (DTMF) を送信する .....	53
国際電話 (WORLD CALL) .....	53
ハンズフリーを利用する .....	53

## 電話の受けかた

電話を受ける .....	54
通話中に相手の声の音量を調節する .....	受話音量 54
着信音量やスピーカー音量を調節する .....	着信音量 54

## 電話に出られないとき

公共モード (ドライブモード) を利用する .....	公共モード (ドライブモード) 55
公共モード (電源 OFF) を利用する .....	公共モード (電源 OFF) 56

## 着信音／マナーモード

着信を音で知らせる .....	56
電話から鳴る音を消す .....	マナーモード 57
電話番号が通知されない着信があったときの動作を設定する .....	発番号なし動作 57
連絡先に登録されていない番号からの着信を拒否する .....	連絡先登録外着信拒否 57
連絡先に登録していない相手からの着信をすぐに受けないようにする .....	呼出時間表示設定 58

## 伝言メモ

伝言メモ .....	58
------------	----

## 電話をかける



電話画面が表示されます。



## 2 相手の電話番号を入力する

電話番号を間違えた場合：**←**をタップまたは**[BACK]**を押す

- **←**を約1秒タップまたは**[BACK]**を約1秒押すと、入力した番号がすべて消えます。



## 4 通話が終了したら

### ✓お知らせ

- 本FOMA端末では、テレビ電話は利用できません。
- 連絡先に登録されている電話番号と入力した電話番号が一致した場合は、名前が表示されます。
- 連絡先に登録されていない、または通話履歴に記録されていない電話番号を入力した場合は、「該当なし」と表示されます。
- 通話中にディスプレイの表示が消えてしまった場合は、いずれかのキーを押すとディスプレイを再表示できます。このとき、以外のキー操作は無効です。を押してディスプレイを点灯させると、通話が切れたり、パケット通信が切断したりしますので、ご注意ください。

- ▶ [電話] をタップするか、ホーム画面で [電話] を選択し、タップしても電話画面を表示できます。

## ◆通話中画面の見かた



### ① 状態表示エリア

通信事業者名、通話相手の情報、通話時間が表示されます。

### ② スピーカーオン/オフ

ハンズフリーを利用する場合に [スピーカーオン] をタップします。  
→P53

### ミュート/ミュート解除

自分の音声相手に聞こえなくなります/聞こえるようになります

### 保留/保留解除

通話中の電話を保留します/保留を解除します

### 通話の追加

タップすると電話画面が表示され、電話番号を入力できます。

### 連絡先

連絡先の編集および新規作成ができます。

### ③ 終了

通話を終了します。

### ④ キーボード

タップすると電話画面が表示され、電話番号を入力できます。  
再度タップすると通話中画面に戻ります。

## ⑤ メニュー

タップすると、通話の保留、ミュート、スピーカーオン/オフ、連絡先に保存、メモの作成などができます。

### ✓お知らせ

・着信時に相手の番号が通知されなかった場合、状態表示エリアに「非通知設定」（非通知設定/非通知指定をした公衆電話の着信の場合）、「公衆電話」（公衆電話の着信の場合）または「通知不可能」（通知不可能の場合）と表示されます。

・通話中に[+]キーを1秒以上押すと、通話中の相手の音声を録音することができます。

録音可能な件数は4件で、1件あたりの最大録音時間は30秒です。

音声メモを確認するには、▶ [伝言メモ/音声メモ] ▶ [音声メモ一覧]

▶ 音声メモを選択して [再生] または [録音] を押します。

## 通話履歴

### 通話履歴を利用して電話をかける

#### 1 [履歴] ▶ [通話履歴]

通話履歴一覧が表示されます。

電話	あ田	12:42
①	携帯 太郎 090XXXXXXXXX携帯電話	9:20
②	携帯 太郎 090XXXXXXXXX携帯電話	8:47
③	携帯 太郎 090XXXXXXXXX携帯電話	8:46

#### ① 不在着信

不在着信があったことを示します。

#### ② 発信

電話を発信したことを示します。

#### ③ 着信

着信があったことを示します。

## 2 かけたい相手を選択する

通話履歴詳細画面が表示されます。

## 3 [履歴]

## 4 通話が終了したら [履歴]

### ✓お知らせ

・通話時間を確認するには、通話履歴一覧から通話時間を確認したい履歴を選択し [詳細] を押します。

## ◆リダイヤルする/折り返し電話

#### 1 [履歴] ▶ [履歴]

最新の通話履歴に電話をかけます。

186 / 184

### 1回の通話ごとに発信者番号を通知/非通知にする

電話をかけたときに自分の電話番号を相手の電話機に表示させることができます。

・発信者番号はお客様の大切な情報です。通知する際にはご注意ください。

・自分の電話番号を通知するかどうかを、一括して設定する方法については、「発信者番号通知」(→P47)を参照してください。

#### 1 [履歴] ▶ [1][8][6] (通知) または [1][8][4] (非通知) を入力する

## 2 相手の電話番号を入力する

## 3 [履歴]

## スピードダイヤル

### スピードダイヤルを利用して発信する

よくかける連絡先をスピードダイヤルに登録しておくと、該当するキーを1秒以上押すだけで発信できます。

スピードダイヤルは最大98件登録できます。

#### ◆スピードダイヤルに登録する

- ▶ **【スピードダイヤル】**  
スピードダイヤルリストが表示されます。
- ▶ **【新規作成】**  
連絡先を選択画面が表示されます。
- 登録する相手を選択して**   
スピードダイヤル画面が表示されます。
  - 登録する連絡先に複数の電話番号が登録されている場合は、プルダウンメニューから登録する電話番号を選択します。
- 【短縮番号】**で割り当てる番号を選択し  **【OK】**

#### ✓お知らせ

- 短縮番号1は「留守番電話」に割り当てられています。  を1秒以上押すと、留守番電話サービスセンターに電話がかかります。
- 登録する際は、短縮番号1以外の番号に割り当ててください。
- 連絡先からスピードダイヤルに登録するには、連絡先の名前を選択して ▶スピードダイヤルに登録したい電話番号にカーソルを合わせ ▶ **【スピードダイヤルに追加...】**▶ **【短縮番号】**で割り当てる番号を選択し、  **【OK】**を押しても登録できます。
- スピードダイヤルを削除するには、スピードダイヤルリストで削除する相手を選択し ▶ **【削除】**▶ **【はい】**をタップします。

#### ◆スピードダイヤルで発信する

- を押し、短縮番号が割り当てられたダイヤルキーを1秒以上押す  
登録された相手に発信されます。

#### ✓お知らせ

- 短縮番号が2桁の場合は、スピードダイヤルリストで短縮番号を選択して を押します。
- ホーム画面では、 を押す必要はありません。

### 連絡先から電話をかける

- ▶ **【連絡先】**  
連絡先一覧が表示されます。
- 発信する相手を選択する**
  - 選択した連絡先に複数の電話番号が登録されている場合は、 で発信する電話番号を選択します。
- ▶ 

#### ✓お知らせ

- 発信する相手をタップ&ホールドし、ポップアップメニューから電話をかけることもできます。

## プッシュ信号 (DTMF) を送信する

FOMA端末からプッシュ信号を送信し、チケットの予約や銀行の残高照会などのサービスを利用できます。

1 通話中に **0** ~ **9**、**\***、**#** を入力する

## 国際電話 (WORLD CALL)

「WORLD CALL」はドコモの携帯電話からご利用いただける国際電話サービスです。FOMAサービスをご契約のお客様は、ご契約時にあわせて「WORLD CALL」もご契約いただいています（ただし、不要のお申し出をされた方を除きます）。

- 通話先は世界約240の国と地域です。
- 「WORLD CALL」の料金は毎月のFOMAサービスの通信料金と合わせて請求させていただきます。
- 申込手数料は不要です。また、月額使用料は無料です。
- 一部ご利用にならない料金プランがあります。
- 「WORLD CALL」の詳細は、取扱説明書裏面の「お問い合わせ先」までお問い合わせください。
- ドコモ以外の国際電話サービス会社をご利用いただく場合は、各国際電話サービス会社に直接お問い合わせください。

1 **0 1 0** ▶ 国番号 ▶ 地域番号 (市外局番) の先頭の「0」を除いた電話番号を入力 ▶ 

- イタリアなど一部の国・地域では「0」が必要な場合があります。
- 上記の電話番号をFOMA端末の連絡先に登録できます。
- **0 0 9 1 3 0** ▶ **0 1 0** ▶ 国番号 ▶ 地域番号 (市外局番) の先頭の「0」を除いた電話番号でもかけられます。

## ❖「+」で国際電話を発信

**0** を1秒以上押すと「+」が入力されます。「+」の入力だけで、国際アクセス番号を入力しなくても国際電話がかけられます。

1 **0** (1秒以上) ▶ 国番号 ▶ 地域番号 (市外局番) の先頭の「0」を除いた電話番号を入力 ▶  ▶ **F1** **【はい】**

- イタリアなど一部の国・地域では「0」が必要な場合があります。

## ハンズフリーを利用する

### ❖スピーカーホンに切り替える

通話中の相手の音声をスピーカーから流して通話できます。

1 通話中に **【スピーカーオン】** をタップまたは 

「スピーカーオフ」が表示されます。

**スピーカーホンをオフにする場合**：**【スピーカーオフ】** をタップまたは 

### ✓お知らせ

- イヤホンを使用中にスピーカーホンをオンにしても、音声出力されるのはイヤホンからのみです。

## 電話を受ける

1 電話がかかってくる

2 

着信を拒否する場合：

- 伝言メモ設定がオンの場合、着信時にを押すと伝言メモの応答ガイダンスが流れ、相手の用件を録音できます。

3 通話が終了したら

### ✓お知らせ

- 本FOMA端末では、応答保留はできません。
- 通話中にディスプレイの表示が消えてしまった場合は、いずれかのキーを押すとディスプレイを再表示できます。このとき、以外のキー操作は無効です。を押してディスプレイを点灯させると、通話が切れたり、パケット通信が切断したりしますので、ご注意ください。
- スピーカーホンがオンになっているときは、FOMA端末に耳をあてないでください。

### ■ 着信中の表示について

- 相手の電話番号が通知されたとき  
相手の電話番号が表示されます。連絡先に登録されている電話番号と一致した場合は、名前が表示されます。

## 受話音量

### 通話中に相手の声の音量を調節する

1 通話中に (Volume Up) または (Volume Down)

### ✓お知らせ

- 通話中以外は受話音量を調節できません。
- 通話中に または を押し、受話音量のスライダーを上下にドラッグして調節することもできます。

## 着信音量

### 着信音量やスピーカー音量を調節する

電話やメールの着信音は と で調節できます。「時計とアラーム」や「予定表」のアラーム、「Windows Media Player 10 Mobile」【動画】などの再生音は で調節できます。

### ◆ 着信音の音量を調節する

着信音量の調節は基本的に (着信音量) で行います。 (スピーカー音量) は、 (着信音量) のレベルに対し補助調整として使用します。

1  または

2  (着信音量) または (スピーカー音量) のスライダーを上下にドラッグして、着信音量を調節する

## ✓お知らせ

-  (着信音量) または  (スピーカー音量) のどちらかのスライダーを一番下に設定すると音が鳴りません。  
スピーカー音量を最大にするには  (着信音量) と  (スピーカー音量) のスライダーを一番上に設定する必要があります。
-  (スピーカー音量) の [パイプ] や [オフ] を選択すると、音が鳴りません。

## ◆ 着信中に着信音を一時的に消す

1 着信中に  または 

## ◆ アラームや再生音の音量を調節する

1  または 

2  (スピーカー音量) のスライダーを上下にドラッグして、音量を調節する

## ✓お知らせ

-  (スピーカー音量) の [パイプ] や [オフ] を選択すると、音が鳴りません。

## 公共モード (ドライブモード)

### 公共モード (ドライブモード) を利用する

公共モードは、公共性の高い場所でのマナーを重視した自動応答サービスです。公共モードに設定すると、電話をかけてきた相手に運転中もしくは通話を控える必要のあるような場所 (電車、バス、映画館など) にいるため、電話に出られない旨のガイダンスが流れ、通話を終了します。番号通知お願サービスを「開始」に設定中に「非通知設定」の着信をした場合、番号通知お願ガイダンスが流れます。(公共モードのガイダンスは流れません。)

- 圏外など、電波が受信できないときでも設定/解除できます。
- 公共モード設定中でも電話をかけることができます。

1 ホーム画面表示中に  (1秒以上)

タイトルバーに  が表示されます。

着信時に「ただいま運転中もしくは携帯電話の利用を控えなければならぬ場所にいるため、電話に出られません。のちほどおかけ直してください。」というガイダンスが流れます。

**公共モード (ドライブモード) を解除する場合:** ホーム画面表示中に  (1秒以上)

## ✓お知らせ

- 公共モード設定中は、以下の音が鳴りません。
  - 電話着信音
  - 「時計とアラーム」のアラーム
  - 電池切れアラーム
  - メール、SMS着信音
  - 予定表のアラーム
-  ▶ [設定] ▶ [システム] ▶ [端末設定] ▶ [公共モード (ドライブモード)] ▶ [オン] ▶  [OK] を押しても設定できます。

## ◆ 公共モード（ドライブモード）に設定すると

お客様のFOMA端末に電話がかかってきても着信音は鳴りません。

- 電話をかけてきた相手には、運転中もしくは携帯電話の利用を控えなければならない場所にいる旨のガイダンスが流れ、通話を終了します。
- メール受信時の着信音は鳴らず、メールの受信を示すメッセージが表示されます。
- 電源が入っていない場合や画面に「Y」が表示されている場合は、公共モード（ドライブモード）のガイダンスは流れずに「Y」が表示されているときと同じガイダンスが流れます。

## 公共モード（電源OFF）

### 公共モード（電源OFF）を利用する

公共モード（電源OFF）は、公共性の高い場所でのマナーを重視した自動応答サービスです。

公共モード（電源OFF）に設定すると、電源を切っている場合の着信時に、電話をかけてきた相手に電源を切る必要がある場所（病院、飛行機、電車の優先席付近など）にいるため、電話に出られない旨のガイダンスが流れ、通話を終了します。

1  ▶  ▶      ▶ 

公共モード（電源OFF）が設定されます（ホーム画面上の変化はありません）。

公共モード（電源OFF）設定後、電源を切った際の着信時に「ただいま携帯電話の電源を切る必要がある場所にいるため、電話に出られません。のちほどおかけ直してください。」というガイダンスが流れます。

公共モード（電源OFF）を解除する場合：

 ▶  ▶      ▶ 

公共モード（電源OFF）の設定を確認する場合：

 ▶  ▶      ▶ 

## ◆ 公共モード（電源OFF）に設定すると

      にダイヤルして公共モード（電源OFF）を解除するまで設定は継続されます。電源を入れるだけでは設定は解除されません。

サービスエリア外または電波が届かないところにいる場合も、公共モード（電源OFF）ガイダンスが流れます。

- 電話をかけてきた相手には電源を切る必要がある場所にいる旨のガイダンスが流れ、通話を終了します。

## 着信音を音で知らせる

着信音のパターンやメロディ、キーボードの操作音を設定します。

1  ▶  ▶  ▶  ▶  タブ

2 サウンドに関する設定をする

[着信パターン]、[着信音]、[キーボード] を設定します。

3  [OK]

## マナーモード

### 電話から鳴る音を消す

マナーモードを設定すると、振動で着信をお知らせします。

#### 1 ホーム画面表示中に [M] (1秒以上)

タイトルバーに [M] が表示されます。

マナーモードを解除する場合： [+] または [-]、もしくはホーム画面表示中に [M] (1秒以上)

#### ✓お知らせ

- マナーモード設定中には、以下の音が鳴りません。カメラのシャッター音やビデオの開始音、終了音は鳴ります。
  - 電話着信音
  - 「時計とアラーム」のアラーム
  - 電池切れアラーム
  - 各プレイヤーの再生音（ステレオイヤホン（別売）接続時を含む）
  - メール、SMS着信音
  - 予定表のアラーム
  - 充電開始音

## 発番号なし動作

### 電話番号が通知されない着信があったときの動作を設定する

電話番号が通知されない着信があった場合、通知されない理由ごとに着信動作を設定します。

#### 1 [M] ▶ [設定] ▶ [接続] ▶ [発着信・通話設定] ▶ [発番号なし動作] ▶ 各項目を設定 ▶ [F1] [完了]

非通知設定：許可または拒否

公衆電話：許可または拒否

通知不可能：許可または拒否

## 連絡先登録外着信拒否

### 連絡先に登録されていない番号からの着信を拒否する

- 番号通知お願サービス (→P156) を併用することをおすすめします。

#### 1 [M] ▶ [設定] ▶ [接続] ▶ [発着信・通話設定] ▶ [連絡先登録外着信拒否] ▶ [オン] ▶ [F1] [完了]

オン：連絡先登録外着信拒否を設定する

オフ：連絡先登録外着信拒否を解除する

#### ❖連絡先登録外着信拒否を設定すると

連絡先に登録していない相手から着信があると、着信音が鳴らずに電話が切れ、相手には話中音が流れます。

- 不在着信として記録されます。
- 連絡先に登録している相手でも発信者番号を通知しないで電話をかけたときは、着信を拒否します。また、公衆電話や発信者番号を通知しないで発信した電話からの着信があった場合の動作は、「発番号なし動作」の設定よりも本機能の設定が優先されます。

## 連絡先に登録していない相手からの着信をすぐに受けないようにする

「ワン切り」などの迷惑電話に効果的です。

- 1  ▶ **[設定]** ▶ **[接続]** ▶ **[発着信・通話設定]** ▶ **[呼出時間表示設定]** ▶ **各項目を設定** ▶  **[完了]**

**呼出開始時間 (秒)**：着信してから呼び出しを開始するまでの時間をオフまたは1～99秒の範囲で設定

**時間内不在着信表示**：呼出時間表示で設定した時間に満たなかった不在着信を、通話履歴に表示するかどうかを設定

### ✓お知らせ

- 本機能の設定に関わらず、次の機能やサービスが設定されている場合は、それらの動作が優先されます。
  - 公共モード
  - 留守番電話サービス
  - 転送でんわサービス
  - 「発番号なし動作」の設定
- 呼出開始の時間を留守番電話サービス、転送でんわサービスの設定時間と同じ秒数に設定している場合、着信音が鳴ることがあります。

## 伝言メモ

伝言メモを起動しておくで、電話に出られないときに応答ガイダンスが流れ、相手の用件が録音されます。

- 最大4件、1件につき約30秒間録音できます。

### ❖ 伝言メモの設定をする (伝言メモ設定)

伝言メモを起動するかどうかを設定します。また、電話がかかってきてから応答ガイダンスが流れるまでの応答時間を設定します。

- 1  ▶ **[設定]** ▶ **[接続]** ▶ **[発着信・通話設定]** ▶ **[伝言メモ設定]** ▶ **各項目を設定** ▶  **[完了]**

**伝言メモ**：伝言メモのオン/オフを設定

**応答時間設定**：応答時間 (0～120秒) を選択

### ✓お知らせ

- 伝言メモが4件録音されている場合、応答時間を経過しても伝言メモは動作せず、着信音が鳴り続けます。

### ❖ 伝言メモを確認する

- 1  ▶ **[伝言メモ/音声メモ]** ▶ **[伝言メモ一覧]**

伝言メモ一覧画面が表示されます。

- 2 伝言メモを選択して  **[再生]** または 

### ❖ 伝言メモのサブメニューを利用する

伝言メモ一覧画面で  **[メニュー]** を押すと、次の機能を利用できます。

一件削除	選択している伝言メモの削除
全件削除	すべての伝言メモの削除
発信	発信者番号を通知してきた伝言メモの相手に電話をかける

## 連絡先を使う

連絡先に登録する .....	連絡先	60
連絡先の内容を確認する .....		60
連絡先の内容を変更する .....		61
連絡先を削除する .....		61
連絡先情報を送信する .....		61

## 仕事を管理する

仕事を登録する .....	仕事	62
仕事の内容を変更する .....		62
仕事を削除する .....		63
仕事のオプション設定 .....		63
仕事の内容を確認する .....		63
仕事を送信する .....		64

## スケジュールを管理する

予定を登録する .....	予定表	64
予定表を表示する .....		65
予定表のオプション設定 .....		65
予定の内容を変更する .....		66
予定を削除する .....		66
予定を送信する .....		66

## 連絡先に登録する

FOMA端末の連絡先（Outlook連絡先）と、FOMAカードの連絡先（SIMカード連絡先）に電話番号などを登録できます。

- お客様のFOMAカードを他の端末に挿入して、FOMAカードに登録した連絡先を利用できます。
- 連絡先に登録できるのは以下の内容です（「SIMカード連絡先」に登録できるのは「名前」、「電話番号」のみです）。

タブ	項目	内容
通信する	名前の追加 会社の追加	姓と名、ニックネーム、会社名、勤務先、それぞれのフリガナ、登録した連絡先の表示方法を設定します。
	画像	着信時や通信中に表示される画像を登録します。
	携帯電話番号の追加	電話番号を登録します。
	電子メールの追加	電子メールのアドレスを登録します。
	電話番号の追加	電話番号を追加します。
	電子メール／IMの追加	電子メール／IMのアドレスを登録します。
情報	着信音の設定	連絡先に個別の着信音を設定します。
	アドレスの追加	勤務先、自宅、その他の住所を登録します。
	情報の追加	役職、事業所、勤務先FAX、自宅FAX、誕生日、記念日、分類項目、Webページ、配偶者、子供、部署、秘書、上司、カスタマーID、ID番号、アカウントの情報を登録します。
メモ	—	メモを入力します。

1  ▶ [連絡先] ▶ 

連絡先の種類の選択画面が表示されます。

2 [Outlook連絡先] [SIMカード連絡先] または [電子メールグループ] [SMSグループ] を選択して 

## 3 必要な項目を入力する

- 「分類項目」を設定すると、関連のある連絡先をグループ化して管理できます。表示される分類項目から選択するか、 を押して新しい項目を作成します。
- 連絡先に画像を登録するには、[画像の選択] をタップして画像ファイルを選択するか、[カメラ] をタップして写真を撮影します。登録した画像ファイルは、この連絡先から着信したときに電話画面に表示されます。

4  [OK]

## ✓お知らせ

- 連絡先に電話番号を入力するときに、自動的に表示される市外局番を変更するには、連絡先一覧で  ▶ [オプション] を選択して  を押し、設定されている市外局番を変更します。
- 連絡先を分類項目で表示している場合、新しく作成した連絡先は表示中の分類項目に登録されます。

## 連絡先の内容を確認する

1  ▶ [連絡先]

連絡先一覧が表示されます。

2 確認する連絡先を選択して 

最新の発信履歴が、電話番号やメールアドレスなどの情報と一緒に表示されます。

## ◆ 連絡先を検索する

表示方法により検索対象が異なります。表示方法が「名前」の場合は名前が、「勤務先」の場合は勤務先が検索対象となります。

- 1  ▶ [連絡先]  
連絡先一覧が表示されます。
- 2 [1] ~ [7] タブをタップして検索対象を表示する  
• 「名前の入力」欄に入力して検索することもできます。

### ✓お知らせ

- [1] ~ [7] タブをタップ&ホールドして表示されるインデックスから、連絡先の頭文字で検索することもできます。
- 分類項目から検索するには、連絡先一覧で  ▶ [フィルター] を選択して  を押し、連絡先の [分類項目] を選択して  を押します。すべての連絡先を表示するには、[すべての連絡先] を選択して  を押します。

## 連絡先の内容を変更する

- 1  ▶ [連絡先]
- 2 変更する連絡先を選択して  ▶ [編集]
- 3 変更する項目を選択して 
- 4 変更内容を入力し、 [OK] ▶  [OK]

## 連絡先を削除する

- 1  ▶ [連絡先]
- 2 削除する連絡先を選択して 
- 3 [削除] を選択して  ▶ [はい]

## 連絡先情報を送信する

連絡先をBluetooth／赤外線通信で送信できます。

- 1  ▶ [連絡先]
- 2 送信する連絡先を選択して 
- 3  ▶ [連絡先の送信] ▶ [ビーム]  
送信先の検索が始まります。以降は画面の指示に従って操作します。

### ✓お知らせ

- Bluetooth通信で連絡先を送信するには、FOMA端末と相手先のBluetooth機能がオンになっており、検出可能なモードに設定されている必要があります。
- 赤外線で連絡先を受信するには、FOMA端末で受信設定をする必要があります。→P140

## 仕事を登録する

仕事を登録して、期限や進捗状況を管理できます。優先度やアラームを設定したり、項目別に分類したりすることもできます。

• 仕事に登録できるのは以下の内容です。

タブ	項目	内容
仕事	件名	仕事の名称を登録します。
	優先度	優先度を設定します。
	進捗状況	作業中か、終了した仕事かを設定します。
	開始日	開始日を設定します。
	期限	期限を設定します。
	パターン	1回だけの仕事か、定期的（毎週、毎月、毎年）な仕事かを設定します。
	アラーム	アラームを通知する日時を設定します。
	分類項目	関連する仕事をグループ化します。フィルターの条件として指定できます。
	秘密度	秘密にする度合いを設定します。
メモ	—	メモを入力します。

1  ▶ [仕事]

仕事の一覧が表示されます。

2  ▶ [新しい仕事]

## 3 件名を入力し、優先度、開始日、期限などを入力する

• 「分類項目」を設定すると、関連のある仕事をグループ化して管理できます。表示される分類項目から選択するか、を押して新しい項目を作成します。

4  [OK]

## ✓お知らせ

- [ここをタップして新しい仕事を追加] をタップして件名を入力すると、件名だけの仕事を登録できます。
- [ここをタップして新しい仕事を追加] が表示されないときは、仕事の一覧を表示中に  ▶ [オプション...] ▶ [仕事入力バーを表示する] にチェックを付けます。
- [パターン] で [1回] 以外を選択した場合は、「進捗状況」「開始日」「期限」を設定できません。

## 仕事の内容を変更する

1  ▶ [仕事]2 変更する仕事を選択して  ▶ 3 変更する箇所を入力し、 [OK]

## 仕事を削除する

- 1  ▶ [仕事]
- 2 削除する仕事を選択して  を押し、詳細を表示する
- 3  ▶ [削除] ▶ [はい]  
「パターン」を「1回」以外に登録した仕事を選択した場合： [メニュー] ▶ [削除] ▶ [すべて] または [今回のみ]

## 仕事のオプション設定

仕事のアラームや表示方法に関する設定を行います。

- 1  ▶ [仕事] ▶  ▶ [オプション...]
- 2 必要な項目にチェックを付け、 [OK]

新しいアイテムにアラームを設定する	新しい仕事を登録する際、開始日または期限を設定したとき、自動的にアラームを設定します。
開始日と期限を表示する	仕事を一覧表示する際、開始日と期限を表示します。
仕事入力バーを表示する	「ここをタップして新しい仕事を追加」のバーを表示します。

## 仕事の内容を確認する

### ◆ 仕事の表示方法を変更する

仕事を並べ替えたり、フィルター機能を利用したりすることができます。

- 1  ▶ [仕事] ▶  ▶ [並べ替え] または [フィルター]
- 2 該当項目を選択して 

### ✓お知らせ

- フィルター機能で絞り込んだ内容を元に戻す場合には、 ▶ [フィルター] ▶ [すべての仕事] をタップします。ただし、[作業中の仕事] または [終了した仕事] で絞り込んでいる場合は、チェックが付いている項目を再度選択してください。

### ◆ 仕事の状態を設定する

登録した仕事の状態（作業中、作業の終了）を設定できます。

- 1  ▶ [仕事]
- 2 設定する仕事のチェックを外す（作業中）またはチェックを付ける（作業の終了）

## 仕事を送信する

仕事の内容をBluetooth／赤外線通信で送信できます。

- 1  ▶ [仕事]
- 2 送信する仕事を選択して 
- 3  ▶ [ビーム...]

送信先の検索が始まります。以降は画面の指示に従って操作します。

### ✓お知らせ

- Bluetooth通信で仕事を送信するには、FOMA端末と相手先のBluetooth機能がオンになっており、検出可能なモードに設定されている必要があります。
- 赤外線の仕事を受信するには、FOMA端末で受信設定をする必要があります。→P140

## 予定表

### 予定を登録する

仕事の予定などを登録して、開始日時や終了日時などを管理できます。

- 予定表に登録できるのは以下の内容です。

タブ	項目	内容
予定	件名	名称を設定します。
	場所	場所を設定します。
	開始	開始日時を設定します。
	終了	終了日時を設定します。
	終日	終日の予定にするかどうかを設定します。
	パターン	1回だけの予定か、定期的（毎週、毎月、毎年）な予定かを設定します。
	アラーム	事前通知（開始日時よりどのくらい前に通知するか）を設定します。
	分類項目	関連する予定をグループ化します。フィルターの条件として指定できます。
	出席者	出席者を連絡表から選択します。設定した場合、入力した予定を出席者に通知できます。 ※あらかじめ出席者の連絡先に、電子メールアドレスを登録しておく必要があります。
	公開方法	予定の種類を設定します。
秘密度	秘密にする度合いを設定します。	
メモ	—	メモを入力します。

- 1  ▶ **【予定表】** ▶  ▶ **【新しい予定】**
- 2 件名を入力し、場所、開始日時や終了日時などを入力する
  - 予定の事前通知（アラーム）を行う場合は、[アラーム] を [通知] にして、通知するまでの時間を設定します。
- 3  **【OK】**

### ✓お知らせ

- 終日のイベントは、予定表の一番上に表示されます。
- ホーム画面で [予定表] を選択して  を押して設定することもできます。

## 予定表を表示する

### ◆ 表示する単位を切り替える

- 1  ▶ **【予定表】**
- 2 
  -  を押すことに、予定表の画面が切り替わります。

### ✓お知らせ

-  ▶ **【表示】** から表示する単位を切り替えることもできます。
- 月単位の表示で日付を選択すると、日単位の表示に切り替わります。
- 年単位の表示では、6週目の日付とその1週間前の日付が「/」で表示されます。

## 予定表のオプション設定

予定表の表示形式やアラームのパターンなどを設定します。

- 1  ▶ **【予定表】** ▶  ▶ **【ツール】** ▶ **【オプション...】**
- 2 **【全般】** タブと **【予定】** タブで必要な項目を設定し、 **【OK】**

タブ	項目	内容
全般	既定の画面	予定表を起動したときの表示方法を設定します。
	週の最初の曜日	カレンダーの左端を日曜日または月曜日にするかを設定します。
	週単位の表示	1週間のうち何日表示するかを設定します。
	30分単位で表示する	チェックを付けると、日単位/週単位表示での時間軸が30分単位で表示されます。
	週番号を表示する	チェックを付けると、月単位表示の左端に週番号が表示されます。
予定	新しいアイテムにアラームを設定する	チェックを付けると、予定登録時のアラームの初期値を設定できます。
	アイコンの表示	予定登録画面に表示するアイコンを設定します。
	会議出席依頼の送信方法	出席者に予定を通知する方法を設定します。

## 予定の内容を変更する

### 1 ▶ 【予定表】

- 月単位で表示している場合は、変更する予定が登録されている日付をタップして日単位の表示に切り替えてください。
- 年単位で表示している場合は、変更する予定が登録されている月名（日付の上にある1月～12月の部分）をタップして月単位の表示に変更し、該当する日付をタップして日単位の表示に切り替えてください。

### 2 変更する予定を選択して を押し、詳細を表示する

### 3 ▶ 【編集】

「パターン」を「1回」以外に登録した予定を選択した場合：[すべて] または [今回のみ]

### 4 変更する箇所を入力し、 【OK】

## 予定を削除する

### 1 ▶ 【予定表】

- 月単位で表示している場合は、削除する予定が登録されている日付をタップして日単位の表示に切り替えてください。
- 年単位で表示している場合は、変更する予定が登録されている月名（日付の上にある1月～12月の部分）をタップして月単位の表示に変更し、該当する日付をタップして日単位の表示に切り替えてください。

### 2 削除する予定を選択して を押し、詳細を表示する

### 3 ▶ 【削除】 ▶ 【はい】

「パターン」を「1回」以外に登録した予定を選択した場合：[すべて] または [今回のみ]

出席者の登録をしている場合：[はい] または [いいえ]

## 予定を送信する

### ◆ 会議出席依頼を送信する

OutlookまたはOutlook Mobileを使用している相手に電子メールで会議出席依頼を送信できます。

### 1 ▶ 【予定表】

- 月単位で表示している場合は、送信する予定が登録されている日付をタップして日単位の表示に切り替えてください。
- 年単位で表示している場合は、変更する予定が登録されている月名（日付の上にある1月～12月の部分）をタップして月単位の表示に変更し、該当する日付をタップして日単位の表示に切り替えてください。

### 2 会議出席依頼を送信する予定を選択して を押し、詳細を表示する

### 3 ▶ 【編集】

「パターン」を「1回」以外に登録した予定を選択した場合：[すべて] または [今回のみ]

## 4 [出席者] を選択して を押し、[必須出席者の追加...] または [任意出席者の追加...] を選択して を押し、出席を依頼する連絡先を追加する

- 新しい連絡先を追加する場合は、 ▶ [新しい連絡先] を選択して  を押し、連絡先の登録後に  [選択] を押します。

## 5 [OK] ▶ [OK] ▶ [はい]

予定表の内容がOutlookメールの「送信トレイ」フォルダーに保存されます。

### ✓お知らせ

- 「送信トレイ」フォルダーに保存されたメールは、次回FOMA端末をパソコンと同期させるときに出席者に送信されます。
- 相手が会議出席依頼を受信し、出席依頼者に返信をすると、相手の予定表に自動的に追加されます。
- 会議出席依頼の送信方法は、操作手順2から  ▶ [ツール] ▶ [オプション...] ▶ [予定] タブの [会議出席依頼の送信方法] で設定します。

## ◆ 予定をBluetooth / 赤外線通信で送信する

### 1 ▶ [予定表]

- 月単位で表示している場合は、送信する予定が登録されている日付をタップして日単位の表示に切り替えてください。
- 年単位で表示している場合は、変更する予定が登録されている月名（日付の上にある1月～12月の部分）をタップして月単位の表示に変更し、該当する日付をタップして日単位の表示に切り替えてください。

### 2 送信する予定を選択して を押し、詳細を表示する

### 3 ▶ [ビーム...]

送信先の検索が始まります。以降は画面の指示に従って操作します。

### ✓お知らせ

- Bluetooth通信で予定を送信するには、FOMA端末と相手先のBluetooth機能がオンになっており、検出可能なモードに設定されている必要があります。
- 赤外線で予定を受信するには、FOMA端末で受信設定をする必要があります。→P140



# あんしん設定

FOMA 端末で利用する暗証番号 .....	70
PIN コードを設定する .....	71
他の人が使用できないようにする .....	72
キー操作を無効にする .....	73
遠隔ダイヤルロックをかける .....	73
証明書を確認する .....	74
通話・通信機能のオン/オフを切り替える .....	74
その他の「あんしん設定」一覧 .....	75

## FOMA端末で利用する暗証番号

FOMA端末を便利にお使いいただくための各種機能には、暗証番号が必要な場合があります。暗証番号には、各種端末操作用の端末暗証番号（パスワード）の他、ネットワークサービスで使用するネットワーク暗証番号などがあります。用途ごとに上手に使ってFOMA端末を活用してください。

### 各種暗証番号に関するご注意

- 設定する暗証番号は「生年月日」「電話番号の一部」「所在地番号や部屋番号」などの他人にわかりやすい番号はお避けください。本FOMA端末では、「1111」や「1234」などの連続番号は端末暗証番号（パスワード）に使えません。また、設定した暗証番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。
- 暗証番号は、他人に知られないように十分ご注意ください。万が一暗証番号が他人に知られ悪用された場合、その損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- PINロック解除コードは、ご契約時にお渡しする契約申込書（お客様控え）に記載されています。PINロック解除コードを忘れてしまった場合には、ドコモ指定の窓口までお問い合わせください。
- 端末暗証番号は、「データ一括削除」を実行して暗証番号を再設定ください。→P131

## ◆端末暗証番号（パスワード）

FOMA端末には、設定や解除の際に端末暗証番号の入力が必要な機能があります。お買い上げ時には端末暗証番号は設定されていません。「端末ロックの設定」でお客様ご自身が番号を設定・変更できます。→P72

- 端末暗証番号入力画面で誤った端末暗証番号を8回入力すると、「a1b2c3」の入力を求められる画面が表示されます。画面の指示通りに入力して[OK]を押すと、端末ロック画面が表示されます。
- 「データ一括削除」を実行して、「端末ロックの設定」で、新たに端末暗証番号を設定し直すことができます。→P131
- 端末暗証番号が未設定の場合、パスワード設定、通話料金上限通知、データ一括削除については暗証番号なしに実行されますので、端末暗証番号を設定することをおすすめします。

## ◆ネットワーク暗証番号

ご注文受付時に法人名義を確認させていただく際や、各種ネットワークサービスご利用時などに必要な数字4桁の番号です。ご契約時に任意の番号を設定いただけますが、お客様ご自身で番号を変更できます。

パソコン向け総合サポートサイト「My docomo」の「docomo ID/パスワード」をお持ちの方は、パソコンから新しいネットワーク暗証番号への変更ができます。

※「My docomo」については、取扱説明書裏面の裏側をご覧ください。

## ❖暗証番号 (PIN) / 暗証番号 (PIN) 2 (SIMカード暗証番号)

FOMAカード (SIMカード) には、暗証番号 (PIN)、暗証番号 (PIN) 2という2つのSIMカード暗証番号を設定できます。ご契約時はどちらも「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。

→P72

暗証番号 (PIN) は、第三者によるFOMA端末の無断使用を防ぐため、FOMAカードを取り付ける、またはFOMA端末の電源を入れるたびに使用者を確認するために入力する4～8桁の番号です。暗証番号 (PIN) を入力することにより、発着信が可能となります。

暗証番号 (PIN) 2は、積算通話料金リセット、ユーザ証明書利用時や発行申請を行うときなどに使用する4～8桁の番号です。

- 別のFOMA端末で利用していたFOMAカードを差し替えてお使いになる場合は、以前に設定された暗証番号 (PIN) / 暗証番号 (PIN) 2をご利用ください。設定を変更されていない場合は、「0000」となります。

### ✓お知らせ

- 暗証番号 (PIN) 入力画面で、「緊急番号のみ暗証番号 (PIN) なしでかけられます。」と表示されますが、暗証番号 (PIN) 入力画面では緊急通報 (110番、119番、118番) ができません。

## ❖PINロック解除コード (PUK)

PINロック解除コードは、暗証番号 (PIN) / 暗証番号 (PIN) 2がブロックされた状態を解除するための数字8桁の番号です。お客様ご自身では変更することができません。

- PINロック解除コードの入力を連続10回間違えると、FOMAカードがブロックされます。



### ✓お知らせ

- PINロック解除コード入力画面で、「サービスプロバイダーがサポートしている場合は、緊急電話は可能です」と表示されますが、PINロック解除コード入力画面では緊急通報 (110番、119番、118番) ができません。

## PINコードを設定する

### ❖電源を入れたときに暗証番号 (PIN) を入力するかどうかを設定する

- 1 ▶ [設定] ▶ [個人] ▶ [電話] ▶ [セキュリティ] タブ
- 2 [電話使用時に暗証番号 (PIN) を要求] をタップする  
暗証番号を入力する画面が表示されます。
- 3 暗証番号を入力し、[入力] をタップする  
[電話使用時に暗証番号 (PIN) を要求] にチェックが付きます。

### ❖PIN1ロックを解除する

暗証番号 (PIN) の入力を3回連続して間違えると、FOMAカードがロックされます。PINロック解除コードを入力してロックを解除したあと、新しい暗証番号 (PIN) を設定します。

- 1 PINロック解除コード入力画面で、8桁のPINロック解除コードを入力し、[入力] をタップする
- 2 新しい暗証番号 (PIN) を入力 ▶ [入力] をタップする
- 3 新しい暗証番号 (PIN) を再入力 ▶ [入力] をタップする

#### ❖ 暗証番号 (PIN) / 暗証番号 (PIN) 2 を変更する

• 暗証番号 (PIN) を変更するには、あらかじめ [電話使用時に暗証番号 (PIN) を要求] にチェックを入れておく必要があります。

- 1  ▶ [設定] ▶ [個人] ▶ [電話] ▶ [セキュリティ] タブ
- 2 [暗証番号の変更] または [暗証番号2の変更] をタップする
- 3 古い暗証番号を入力し、[入力] をタップする
- 4 新しい暗証番号を入力し、[入力] をタップする
- 5 新しい暗証番号を再入力し、[入力] をタップする

#### ❖ PIN2ロックを解除する

暗証番号 (PIN) 2 の入力を3回連続して間違えると、FOMAカードがロックされます。PINロック解除コードを入力して、新しい暗証番号 (PIN) 2 を設定します。

- 1 PINロック解除コード入力画面で8桁のPINロック解除コードを入力 ▶ 新しい暗証番号 (PIN) 2 を入力 ▶ 新しい暗証番号 (PIN) 2 を再入力 ▶  [完了]  
PINロックを解除し、新しい暗証番号 (PIN) 2 の設定が終了します。

#### 端末ロック

#### 他の人が使用できないようにする

他人が不正にFOMA端末を使用できないように、操作時に認証操作が必要になる端末ロックをかけます。

端末ロック中に緊急通報 (110番、119番、118番) を行うには、緊急通報番号を入力して  を押します。

※ ロック解除の端末暗証番号 (パスワード) 入力画面で、緊急通報番号を入力することもできます。入力した番号は「●」で表示されます。

※ FOMAカードが挿入されていない場合、緊急通報はできません。

#### ◆ 端末ロックの動作内容を設定する (端末ロックの設定)

端末ロックを「オン」にするには、ロック解除後の無操作状態から再ロックされるまでの時間と端末暗証番号 (パスワード) を設定する必要があります。

- 1  ▶ [設定] ▶ [ロック]

- 2 各項目を設定 ▶  [OK] ▶ [はい]

パスワード入力が必要になるまでの時間：選択すると、端末ロック解除後の無操作状態から再ロックされるまでの時間と、パスワードが設定・変更できるようになります。

(再ロックするまでの時間)：0分、1分、5分、15分、30分、1時間、1.5時間、2時間、12時間、24時間

パスワードの種類：「数字の簡易パスワード」または「強力な英数字のパスワード」

パスワード：パスワードの種類に応じたパスワードを入力  
確認入力：確認のためにもう一度パスワードを入力

## ✓お知らせ

- 暗証番号 (PIN) と端末ロックの両方の機能を有効にしておくと、電源起動時にまず、端末ロック解除の端末暗証番号 (パスワード) 入力画面が表示されます。次に、暗証番号 (PIN) 入力画面が表示されます。順番に解除動作を行ってください。

## ◆ 端末ロックをオンにする

### 1

端末ロックがかかります。パスワードの種類で「数字の簡易パスワード」を選択している場合は、画面に  が表示され、「強力な英数字のパスワード」を選択している場合は、パスワード入力画面が表示されます。

「数字の簡易パスワード」の端末ロックを解除する：画面上の  をスライド▶ 認証操作

「強力な英数字のパスワード」の端末ロックを解除する：パスワード入力画面で認証操作▶  [ロックの...]

## ✓お知らせ

- 端末ロック中でも次の機能は利用できます。
  - 電話を受ける
  - SMS、電子メールの受信
  -  (Volume Up) /  (Volume Down) を押して音量調節
  - キーロック
- 端末ロック中でも、アラーム設定がされている場合はアラーム画面が表示され、アラーム音が鳴ります。

## キーロック

### キー操作を無効にする

FOMA端末をポケットやバッグに入れて持ち運ぶ際、キーおよびタッチパネルが押されて誤動作しないようにロックします。

### 1 (1秒以上)

- キーロックを設定すると、画面左下に「キーロ...」が表示されません。

解除する： (1秒以上)

## ✓お知らせ

- キーロック中でも  を押すことでかかってきた電話を受けることができます。ただし、タッチ操作では電話を受けることはできません。また、キーロック中は 、 を押すとディスプレイが点灯します。

## 遠隔ダイヤルロックをかける

FOMA端末を紛失した場合などに、あらかじめ設定した電話番号 (許可番号) から設定回数の電話をかけて遠隔操作によりFOMA端末に端末ロックをかけることができます。

- 紛失したFOMA端末の電源が入っていない場合やFOMA端末が圏外にあるときは、遠隔ダイヤルロックがかかりません。
- 遠隔ダイヤルロック機能では端末ロックがかかります。端末暗証番号 (パスワード) を設定していない場合、遠隔ダイヤルロックはかかりません。

### 1 ▶ [設定] ▶ [システム] ▶ [端末設定] ▶ [遠隔ダイヤルロック] ▶ 各項目を設定 ▶ [完了]

遠隔ダイヤルロック：オン/オフを設定

- 「オン」に設定して、次の条件設定を行います。

監視時間 (分)：遠隔操作でFOMA端末に設定回数の電話をかけてロックするまでの所要時間 (1~10分) を設定

着信回数：許可番号からロックするためにFOMA端末へ電話をかける回数 (3~10回) を設定

許可番号1~許可番号3：FOMA端末へ電話をかけてロックできる電話番号を3つまで設定

- 各許可番号を「電話番号」または「公衆電話」から選択します。「電話番号」を選択した場合に、電話番号入力欄に入力できます。
- 最終着信から設定回数の電話をかけるまでに監視時間が経過すると、着信回数はゼロに戻ります。この場合、再度設定回数電話をかけ直してください。

## 証明書

### 証明書を確認する

接続するサイトやサーバによっては、信頼性を証明する証明書を発行しています。これらのサイトなどへの接続にあたっては、証明書の取得と保存が必要になります。証明書の取得は接続したサイトやサーバの指示に従って行ってください。

取得・保存した証明書は以下の操作で確認することができます。

- 📄 ▶ **[設定]** ▶ **[システム]** ▶ **[証明書]** ▶ **タブを選択**  
 各証明書の一覧が表示されます。

タブ	表示される証明書
個人	個人を識別する証明書
中間	認証会社などから割り当てられた認証情報を証明する証明書
ルート	認証会社などが発行する認証情報を証明する証明書

### 2 証明書を選択し、タップ&ホールド▶項目を選択

表示：証明書の詳細を表示

削除：選択した証明書を削除

#### ✓お知らせ

- 証明書の主な表示内容は、証明書の発行先、発行者、有効期間の開始日、有効期間の終了日、使用目的などです。有効期限や使用目的などから証明書を管理（削除）します。

## ワイヤレス マネージャー

### 通話・通信機能のオン/オフを切り替える

電話機能や通信機能のオン/オフを切り替えます。

- 📄 ▶ **[設定]** ▶ **[接続]** ▶ **[ワイヤレス マネージャー]**  
 ワイヤレス マネージャー画面が表示されます。

### 2 設定する項目名を選択して

項目名を選択して  を押すたびに「オン」と「オフ」が切り替わります。

- 利用できない場合は、「利用不可」と表示されます。

WLAN	WLAN機能のオン/オフを切り替えます。
Bluetooth	Bluetooth機能のオン/オフを切り替えます。
電話	電話機能のオン/オフを切り替えます。

#### ✓お知らせ

- WLAN機能がオンのときには、「オン」の他に「利用可能」、「接続中」あるいはアクセスポイント名などが表示されます。
- Bluetooth機能がオンのときには、「オン」あるいは「検出可能」と表示されます。
- 電話機能のオンのときには、「オン」あるいはデータ通信時に接続したモデル名（mopera Uなど）が表示されます。

## その他の「あんしん設定」一覧

本章でご紹介した以外にも、次のようなあんしん設定に関する機能／サービスがありますのでご活用ください。

目的	機能／サービス名称	参照先
いたずら電話や悪質なセールス電話などの「迷惑電話」を着信したくない	迷惑電話ストップサービス	P155
発信者番号を通知してこない電話を着信したくない	番号通知お願いサービス	P156
必要な場合にFOMA端末のソフトウェアを更新したい	ソフトウェア更新	P180
障害を引き起こすデータからFOMA端末を守りたい	セキュリティスキャン	P124

### ✓お知らせ

- 見知らぬ着信履歴には、電話をかけ直さないようにご注意ください。特に、相手にお客様の電話番号を通知する設定にしておかけ直しは、無用なトラブルの原因となります。

#### 〈迷惑電話防止機能の優先順位〉

- 迷惑電話を防止する機能を同時に設定した場合の優先順位は次のとおりです。
  - ① 迷惑電話ストップサービス→P155
  - ② 連絡先登録外着信拒否 (→P57) または呼出時間表示設定 (→P58) / 発番号なし動作 (→P57)



## メール

メールについて .....	78
メールを使うために必要な設定をする .....	79
電子メールを作成して送信する .....	新規 81
ファイルを添付する .....	82
作成中のメールを保存しておき、あとで送信する .....	下書き保存 82
メールを受信する .....	83
メールに返信する .....	返信 83
メールを転送する .....	転送 83
メールを削除する .....	83
パケット通信回線を切断する .....	84
添付ファイルを確認する／保存する .....	84
メールアカウント内のメールBOXを操作する .....	84

## SMS

SMSについて .....	85
SMSを作成して送信する .....	SMS作成・送信 85
SMSを受信したときは .....	85

## Windows Live

Windows Liveを利用する .....	85
-------------------------	----

## メールについて

本FOMA端末で利用できるメールの種類とメールBOXについて説明します。

### ご利用料金についてのご注意

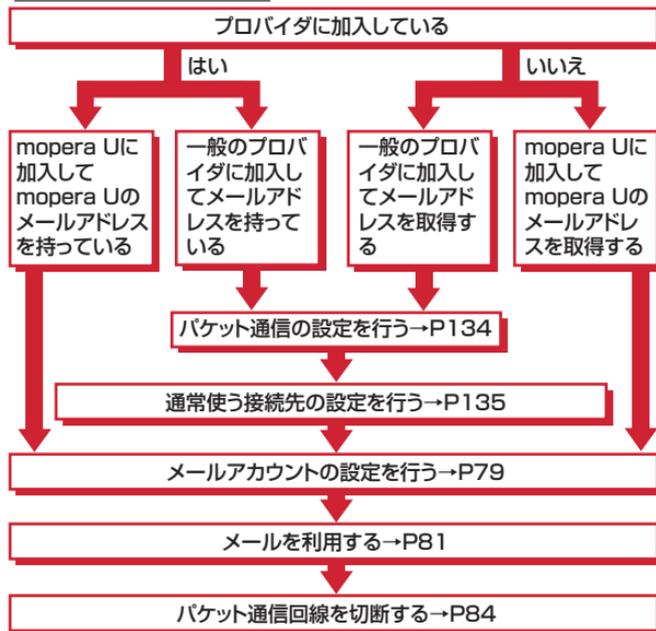
定額制サービスやWLANを利用しないでパケット通信を行う場合は、サイズの大きいファイルが添付された電子メールの送受信などデータ量の多い通信を行うと、通信料が高額になることがありますのでご注意ください。また、電子メールの送受信では、画面に表示される文字や画像以外に通信に必要なデータが含まれており、その部分も課金の対象となります。

- 本FOMA端末のメールの仕様として、端末に保存されたメール（既読／未読含む）の数が多くなると、送受信にかかる時間が長くなり、従量課金の場合は課金額が増加します。本現象を避けるためには、端末に保存されたメールを削除してください。

## ◆ メールを始めるまでの流れ

### パケット通信で接続する

(2010年4月現在)



## WLANで接続する

公衆無線LANサービスで接続する

はい

いいえ

サービスに加入する

メールアドレスの設定を行う→P79

WLANの設定を行う→P136

WLANで接続する→P138

各アカウントのメールを利用する→P79

## メールを使うために必要な設定をする

メールの送受信を行う前に、メールアカウントを設定する必要があります。

### ◆ メールアカウントを設定する

最大6件のメールアカウントを設定できます。

#### 1 [電子メール]

アカウント選択画面が表示されます。

#### 2 [電子メールの設定] を選択して [選択]

#### 3 電子メールアドレス、パスワードを入力し、 [次へ]

#### 4 [インターネットから電子メール設定を自動的に取得する] にチェックが付いていることを確認し、 [次へ]

このオプションを選択すると、手動でメール設定をしなくても、メールサーバーにより自動的に設定されます（サーバーの種類によっては、自動的に設定されない場合があります）。

#### 5 自動設定が完了したら [次へ]

**自動設定が失敗した場合：**電子メールのプロバイダの種類から [インターネット電子メール] を選択し、メールサーバーを設定する

- 受信メールサーバーと送信メールサーバーは、ご利用のプロバイダにお問い合わせください。
- 送信メールサーバーのポート番号を入力する必要がある場合は、[送信 (SMTP) メールサーバー] 欄に以下のように入力します。  
(例：mail.mopera.net:587)
- 送信メールサーバーによっては、メール送信時に異なるユーザー名とパスワードが必要となる場合があります。この場合は、[送信サーバーで認証を要求する] にチェックを付けたあと、[送信電子メールに同じ名前とパスワードを使用する] のチェックを外してください。

- ご利用のプロバイダがメールのセキュリティを高めるためにSSL/TSL接続を使用している場合、[サーバーの詳細設定] をタップし、[受信電子メールにはSSLが必要]、[送信電子メールにはSSLが必要] にチェックを付けます。[ネットワーク接続] の一覧からインターネット接続に使用するデータ接続を選択します。

## 6 名前およびアカウント表示名に入力し、 [次へ]

## 7 ユーザー名を入力し、 [次へ]

パスワードは手順3で入力しているので入力済みです（\*で表示されます）。

## 8 [完了]

メールアカウントの設定が終了します。

**自動送受信**：手動または自動でのメール受信の時間間隔を設定できます。

**全ダウンロード設定の確認**：タップすると必要に応じて以下の項目が設定可能です。

自動送受信	インターネットに自動接続し、メッセージを送受信する時間間隔を選択します。電池の減りを防ぐため、自動送受信の時間間隔をあまり短く設定しないことをおすすめします。
メッセージのダウンロード	FOMA端末にメッセージをダウンロードする日数を設定します。
[送信] をクリックしたとき送受信を実行する	送信メールを「送信トレイ」フォルダーに保存する場合はチェックを外します（お買い上げ時は、[送信] をタップするとすぐメッセージが送信される設定になっています）。チェックを外すと、  [送受信] をタップしなければメッセージは送信されません。
ローミング時に自動送受信スケジュールを使用する	インターネットに自動接続する間隔が設定されている場合、FOMA端末へのデータローミングも行えます。この方法は、接続料金がかかるため、通常はチェックを外しておくことをおすすめします。

メッセージの削除時	FOMA端末から削除したメールは、サーバー上でも削除するように設定します。
メッセージ形式	HTML形式とテキスト形式のどちらで送受信するかを設定します。
メッセージのダウンロード制限	メールのダウンロードサイズを設定します。
添付ファイルのダウンロード	[アカウントの種類] を「IMAP4」に設定した場合、添付ファイルのダウンロードサイズを設定します。

### ✓お知らせ

- ホーム画面で [電子メール] をタップして設定することもできます。

### ◆自動送受信するメールアドレスを設定する（メール自動受信設定）

自動受信するメールアドレスを登録します。

- mopera Uのメールアドレスのみ登録できます。mopera Uのメール自動受信を開始するには、ネットワーク側の設定も必要になります。mopera U（初期設定）に接続して、メール自動受信設定を行ってください。

## 1 [設定] ▶ [接続] ▶ [メール自動受信設定] ▶ 各項目を設定 ▶ [完了]

**メールアドレス**：自動受信するメールアドレスを選択

**SMSによるメール自動受信を行う**：mopera Uのメール自動受信サービスを受ける場合に選択

- メールがメールサーバーに届くと本FOMA端末にSMSが送信され、自動でメール受信が行われます（SMSは表示されません）。「送信トレイ」フォルダーにメールが保存されている場合は、メールが送信されます。

## ◆ メールアカウントのオプションを設定する

### ◇ 署名を作成する

SMSや登録した各メールアドレスのメールに挿入する署名を作成します。

- 1  ▶ [電子メール] ▶ 電子メールアドレスを選択して  [選択]
- 2  ▶ [ツール] ▶ [オプション]
- 3 [アカウント] タブ ▶ [署名]
- 4 [アカウントの選択] で署名を利用するアカウントを選択する
- 5 [このアカウントで署名を使用する] にチェックを付ける
  - 返信／転送するときに署名を挿入する場合は、[返信／転送時に使用する] にチェックを付けます。

- 6 署名を入力し、 [OK]

### ◇ その他のオプションを設定する

- 1  ▶ [電子メール] ▶ 電子メールアドレスを選択して  [選択]
- 2  ▶ [ツール] ▶ [オプション]
- 3 必要な項目を設定し、 [OK]

[アカウント] タブ	登録したアカウントの設定を変更します。新しいメールアドレスを設定するには [新しいアカウント] をタップします。
------------	--

[メッセージ] タブ	メールの返信、送信、削除、移動の設定をします。メールを開くたびにメールアドレスを選択する場合は、[メールを開く際にアカウントを選択する] にチェックを付けます。
[アドレス] タブ	送信先の設定に使用する連絡先を選択します。
[保存場所] タブ	FOMA端末とmicroSDカードの空き容量、添付ファイルのサイズを確認します。また、microSDカードに添付ファイルを保存するように設定したり、[[削除済みアイテム] を空にする] で削除済みアイテムの削除タイミングを設定したりすることもできます。

### ✓お知らせ

- 送信済メールを保管するためには、以下の設定であることを確認して下さい。
  - メールアドレスがIMAP4の場合：
    - メールオプションの「メッセージ」タブの「送信済みアイテムにコピーを保存する」にチェックを入れる
    -  ▶ [電子メール] ▶ 電子メールアドレスをタップ ▶  [メニュー] ▶ [ツール] ▶ [フォルダーの管理...] にて「送信済みアイテム」にチェックを入れる
  - メールアドレスがPOP3の場合：
    - メールオプションの「メッセージ」タブの「送信済みアイテムにコピーを保存する」にチェックを入れる
- SMSには上記設定は不要です。

### 新規

## 電子メールを作成して送信する

- HTML形式のメールは作成できません。
- 電子メールを分割して送信する機能には対応していません。

- 1  ▶ [電子メール] ▶ 電子メールアドレスを選択して  [選択]

## 2 **F2** ▶ 【新規】

### 3 宛先に電子メールアドレスを入力する

直接メールアドレスを入力する：ダイヤルキーまたは文字入力パッドを使って文字を入力する

宛先のメールアドレスを連絡先から探して入力する：**Ⓚ**▶連絡先を選択する

- 選択した連絡先に複数のメールアドレスが登録されている場合は、メールアドレスの選択画面が表示されます。一覧から宛先に入力するメールアドレスを選択します。

### 4 件名の入力欄にカーソルを合わせて件名を入力する

### 5 本文の入力欄にカーソルを合わせて本文を入力する

## 6 **F1** 【送信】

作成した電子メールが送信されます。

### ✓お知らせ

- 入力した件名の長さによっては、送信先のメール受信画面で、正しく表示されない場合があります。

## ファイルを添付する

### 1 メッセージ作成画面で**F2**▶【挿入】▶【画像】／【ボイスメモ】／【ファイル】

### 2 添付するファイルを選択する／音声を録音する

### 3 メッセージを入力し、**F1**【送信】

## 下書き保存

### 作成中のメールを保存しておき、あとで送信する

#### ◆メールを一時保存する

### 1 メール作成画面で**F2**▶【下書きに保存】

#### ◆保存したメールを選択して、編集・送信する〈フォルダー〉

### 1 **Ⓚ**▶【電子メール】▶電子メールアカウントを選択して**F1**【選択】

### 2 **F2**▶【切り替え】▶【フォルダー...】

### 3 【下書き】フォルダーを選択して**Ⓚ**

### 4 編集、送信するメールを選択して**Ⓚ**

メール作成画面に切り替わります。メールを編集して、送信します。  
→P81

## メールを受信する

電子メールは、自動受信の設定に従って、一定間隔で自動的に受信されます。手動で受信する場合は以下の操作を行います。

- 1  ▶ **【電子メール】 ▶ 電子メールアカウントを選択して**   
**【選択】**
  - 前回の操作で開いたトレイが開かれます。
  - アカウントを作成した直後は、受信トレイが開かれます。
- 2  ▶ **【送受信】**  
メールを受信します。未送信のメールがある場合は、同時に送信します。
- 3 画面左上にある **【▼】** をタップする
- 4 **【受信トレイ】 ▶ 読みたいメールを選択して**   
メールの内容が表示されます。

### ◆ 受信したメールを読む

ホーム画面の電子メールを選択すると、メールアカウント一覧画面が表示されます。未読メールのあるメールアカウントには、未読数がカッコ付きで表示されます。

## 返信

### メールに返信する

受信した電子メールに返信します。

- 1 メール表示画面で  ▶ **【返信／転送】 ▶ 返信対象を選択する**  
対象を選択すると、メール作成画面に切り替わります。メールを編集して、送信します。→P81

## 転送

### メールを転送する

- 1 メール表示画面で  ▶ **【返信／転送】 ▶ 【転送】**  
メール作成画面に切り替わります。メールを編集して、送信します。  
→P81

### メールを削除する

- 1 **【受信トレイ】 ▶ 削除するメールを選択する**
- 2  **【削除】 ▶ 【はい】**

## パケット通信回線を切断する

メールを送受信したあと、手動で回線を切断します。

- 1  ▶ [設定] ▶ [接続] ▶ [ワイヤレス マネージャー]
- 2  [メニュー] ▶ [データ接続の切断]

### ✓お知らせ

- 切断するまでインターネットに接続されたままになります。
- パケット通信中に  キーを押しても、パケット通信回線を切断できません。

## 添付ファイルを確認する／保存する

### ◆ 添付ファイルを確認する

- 1 メールを開き、ファイル名をタップする  
ファイル形式にあったアプリケーションで添付ファイルを開きます。

### ◆ 添付ファイルを保存する

- 1 メールを開き、ファイル名を1秒以上タップする
- 2 [名前を付けて保存] ▶ [保存]

### ✓お知らせ

- 「メッセージと添付ファイルをすべて取得する」とメッセージが表示された場合は、メッセージをタップするか、 ▶ [メッセージのダウンロード] をタップしてください。「次回接続して電子メールを受信するときに、メッセージとすべての添付ファイルをダウンロードします。」と表示されたら、ファイルのダウンロードが始まり、終了するとファイルが表示されます。メッセージと添付ファイルを取得する際のメッセージの表示は、メールアカウントの種類によって異なります。

## メールアカウント内のメールBOXを操作する

### ◆ メールを並べ替える

- 1 メール一覧の表示中に  ▶ [ツール] ▶ [並べ替え]  
[メッセージの種類]、[差出人]、[受信日時]、[件名] で並べ替えることができます。

### ◆ フォルダーを作成する

- 1 メール一覧の表示中に  ▶ [ツール] ▶ [フォルダーの管理]
- 2 作成先のフォルダーをタップ&ホールド ▶ [新しいフォルダー]  
作成したフォルダーの名前を変更する場合：作成したフォルダーをタップ&ホールド ▶ [名前の変更]  
作成したフォルダーを削除する場合：作成したフォルダーをタップ&ホールド ▶ [削除]
- 3 フォルダー名を入力 ▶  [OK]

## ✓お知らせ

- 「受信トレイ」フォルダーからメッセージを選択して[F2] ▶ [移動] をタップすると、新しく作成したフォルダーに選択したメッセージを移動できます。

## SMSについて

FOMA端末の電話番号で全角最大70文字（半角英数字のみの場合は160文字）まで文字メッセージを送受信できるサービスです。

### SMS作成・送信

## SMSを作成して送信する

1  ▶ [電子メール] ▶ [SMSメッセージ]

2  ▶ [新規]

- カーソルは宛先の入力欄に表示されます。

3 宛先を入力

**直接電話番号を入力する：**ダイヤルキーまたは文字入力パッドを使って入力する

- 半角数字20文字以内で入力します。21文字以上入力すると、送信時にエラーになります。

**宛先の電話番号を連絡先から探して入力する：**  ▶ 連絡先を選択する

- 選択した連絡先に複数の電話番号が登録されている場合は、電話番号の選択画面が表示されます。一覧から宛先を入力する電話番号を選択します。

4 本文の入力欄にカーソルを合わせて本文を入力する

5 

作成したSMSが送信されます。

## ✓お知らせ

- 改行コード、区点13区コードについては送信時に空白に置換されます。ただし、以下のコードについては、2区コードとしても定義されている為、空白置換はされません。

「≡」「≧」「√」「⊥」「∠」「∴」「∩」「∪」

## SMSを受信したときは

1 SMSを受信

SMSを受信すると、SMS受信音が鳴り、ランプが点滅して受信結果がホーム画面に表示されます。

受信したSMSは、「受信トレイ」フォルダーに保存されます。

受信したSMSを読む操作は、電子メールの場合と同じです。SMSの内容は、SMS表示画面に表示されます。

- 受信したメールを読む→P83

## Windows Liveを利用する

Windows Liveとは、Microsoftが提供するオンラインサービスです。Windows Liveでは、電子メールやスペースなどを利用できます。はじめてご利用になる際は、Windows Liveからサインイン（サーバへの登録）する必要があります。サインインにはWindows Live IDのアカウント（電子メールアドレス）とパスワードが必要となりますので、次のURLを参照してあらかじめパソコンなどでWindows Live IDを取得してください。

<http://www.microsoft.com/japan/mscorp/liveid/default.msp>  
(2010年4月現在)

- Windows Liveはネットワーク接続が必要なため、あらかじめFOMA端末でインターネットに接続できるように設定してください。

#### ■ パケット通信料金について

FOMAネットワーク経由でWindows Liveを利用する場合は、課金の対象となります。定額制サービスを併用しないでFOMAネットワーク経由で利用すると、通信料が高額になる場合がありますのでご注意ください。

## ◆ Windows Liveを利用する 〈Windows Live〉

### 1 ▶ [Windows Live]

サインインしていない場合は、Windows Live (サインイン前) 画面が表示されます。

- Windows Liveでサインイン済みの場合は、操作6の画面が表示されます。

### 2 [ここをクリックしてサインインします。] をタップする

Windows Liveセットアップ画面が表示されます。「使用条件」と「プライバシーに関する声明」の各リンクを選択して内容を確認してください。

### 3 [承諾] ▶ アカウント (電子メールアドレス) とパスワードを入力 ▶ [次へ]

- アカウント (電子メールアドレス) のドメインは、必要に応じて修正してください。

### 4 [次へ]

ホーム画面のレイアウトに「Windows Live」を追加しない場合は、「Windows Liveサービス」の選択を外してから  [次へ] を押します。

- ホーム画面のレイアウトを「情報キャンパス標準」または「情報キャンパス詳細」以外に設定している場合に、「Windows Liveサービス」を選択できます。

## 5 各項目を設定

- 「詳細設定」を選択すると、設定に関する詳細情報を確認できます。

**Windows Liveの知り合いの連絡先情報を携帯電話のアドレス帳に保存する：**サーバに保存した連絡先をFOMA端末に保存するかどうかを設定

- 保存するように設定すると、連絡先一覧画面にWindows Liveの連絡先が表示されます。

**重複する連絡先情報を結合する：**サーバに保存されている連絡先がFOMA端末の連絡先と重複する場合に1つの連絡先に結合するかどうかを設定

**電子メールを同期する：**サーバに保存されている電子メールをFOMA端末に保存するかどうかを設定

- 同期するように設定すると、メールアカウント一覧画面に、「Windows Live」アカウントが作成されます。

## 6 [次へ]

サーバとの同期終了後に  [完了] を押すと、Windows Live画面が表示されます。

- 画面の見かたは次のとおりです。

#### ① Windows Live Search

検索語を入力して  を押すと、パソコン用のホームページを検索できます。

#### ② Hotmail / 同期 / Messenger

カーソルを合わせて  を押すと、項目を切り替えられます。項目を起動する場合は、利用する項目を選択して  を押しします。

#### ③ 個人設定

表示名、表示メッセージ、表示アイコンが表示されます。カーソルを合わせて  を押すと、個人設定を編集できます。

## ❖ Windows Liveのサブメニューを利用する

Windows Live画面で [メニュー] をタップすると、次の機能を利用できます。

アカウントオプション	Windows Live IDのパスワードをリセット、Windows Live IDの切り替え、使用条件やプライバシーに関する声明の確認
オプション	ホーム画面にWindows Liveを表示するかどうかを設定、電子メールを同期するかどうかを設定、同期の頻度や時間を設定、同期の履歴を確認、電子メールのプレビューサイズや送信方法を設定
バージョン情報	Windows Liveのバージョンを確認



ブラウザを使うための準備 .....	90
Internet Explorer Mobile を利用する .....	Internet Explorer Mobile 91
パケット通信回線を切断する .....	94

## ブラウザを使うための準備

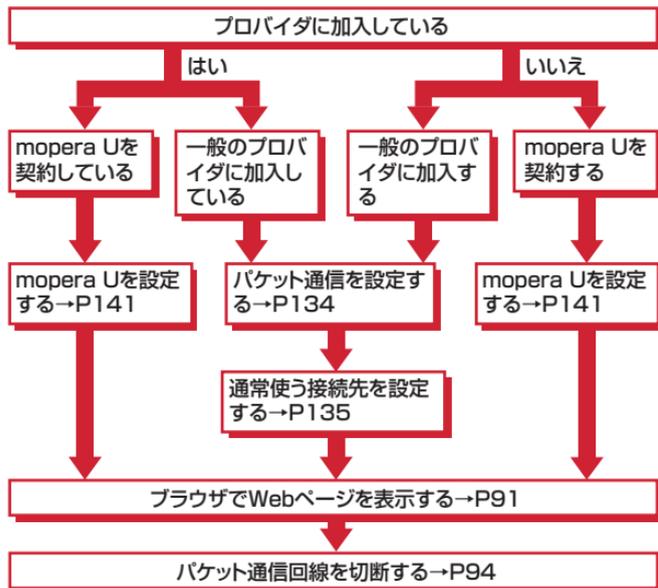
以下のブラウザを利用できます。

### • Internet Explorer Mobile→P91

本FOMA端末で使用するブラウザです。他のアプリケーションからインターネットに接続するとき、自動的に起動します。

### ◆ Webページを表示するまでの流れ

本FOMA端末では、パケット通信またはWLANによる接続でブラウザを利用できます。



### ✓お知らせ

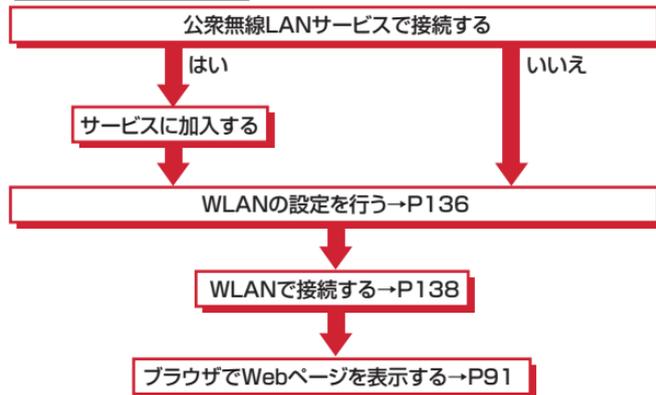
mopera Uについて

- 別途お申し込みが必要です。
- インターネット接続サービスのmopera Uにお申し込みいただいたお客様は、FOMA端末ですぐにインターネットをご利用になれます。詳しくは、ドコモのホームページをご覧ください。

### ■ WLANで接続する

- 詳しくは、「WLAN機能を利用する」(→P136)を参照してください。

### WLANで接続する



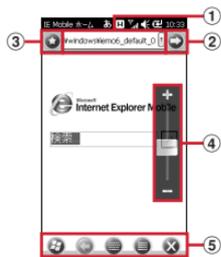
## Internet Explorer Mobileを利用する

Internet Explorer Mobileを使って、インターネットの携帯向けサイトやPCサイトを閲覧できます。

- Webページによっては、表示できない場合や、一部の文字が大きく表示されるなど正しく表示されない場合があります。

### ◆ Internet Explorer Mobileを起動する

#### 1 [Internet Explorer]



アイコン／名称	説明
① アドレスバー	URLを入力します。
②	アドレスバーに入力されているURLにアクセスし、表示を最新の情報に更新します。/URLにアクセス中に表示の移動や更新を停止します。
③	お気に入りを表示します。
④	ページを拡大／縮小します。

アイコン／名称	説明
⑤	アドレスバーや操作アイコンなどが表示されます。
	スタートメニューを表示します。
	1つ前のページに戻ります。
	文字入力パッドを表示／非表示します。
	メニューを表示します。
	Internet Explorer Mobile画面を閉じます。

#### ✓お知らせ

- ホーム画面で [お気に入り] をタップし、[Internet Explorer] をタップしても起動できます。
- 起動したブラウザは、他のアプリケーションに切り替えたり、[X] をタップしたりして画面を閉じても実行中のままになっているため、ブラウザを呼び出すと閲覧していたWebページが再表示されます。
- ブラウザの実行中にパケット通信回線を切断しても、インターネットが自動的に再接続される場合があります。電池の減りを防ぐため、インターネットの閲覧が終わったら、タスクマネージャー (→P129) でブラウザを終了してください。
- ブラウザを終了しても、パケット通信回線を切断するかタイムアウトにならない限り、インターネットに接続されたままになっています。パケット通信回線を切断するには、「パケット通信回線を切断する」(→P94) を参照してください。
- ブラウザでページ上のテキストボックスがフォーカスされている状態で を1秒以上押し続けて画面移動を行うと、スクロールして表示されるページが白画面で表示されます。このとき再度スクロールを行うと画面が正しく表示されます。

### ◆ URLを入力してWebページを表示する

- 1 Webページを表示中にアドレスバーをタップする
- 2 アドレスバーにURLを入力する
- 3 をタップする

## ✓お知らせ

- マルチカーソルキーを使ってアドレスバーにカーソルを移動することはできません。
- Webページが正しく表示されないときや動作が遅いときは、インターネットの一時ファイル（キャッシュ）を削除して、データ記憶用メモリを空けてください。→P94

## ◆履歴からWebページを表示する

- 1 Webページを表示中に **[F2]** ▶ **【履歴】**
- 2 表示するWebページを選択して **●**

## ◆お気に入りに登録してすばやく表示する

### ❖お気に入りにリンクを登録する

- 1 登録するWebページを表示中に画面上でタップ&ホールド ▶ **【お気に入りに追加】**
- 2 名前を確認／変更する
- 3 **[OK]** **[OK]**

## ✓お知らせ

- あらかじめお気に入りにフォルダーを作成しておく、操作2でリンクを登録するフォルダーを選択できます。

### ❖お気に入りフォルダーを追加する

- 1 Webページを表示中に画面上でタップ&ホールド ▶ **【お気に入り】** ▶ **[F1]**
- 2 フォルダー名を入力し、**[OK]** **[OK]**

### ❖お気に入りからWebページを表示する

- 1 Webページを表示中に **●** をタップする  
お気に入りに登録したリンクの一覧が表示されます。
- 2 表示するWebページのタイトルをタップする

### ❖お気に入りからリンクを削除する

- 1 Webページを表示中に **●** をタップ
- 2 削除するリンクを選択する
- 3 **[F2]** ▶ **【はい】**

### ◆文字サイズを変更する

- **●** が表示されているときは、アイコンをタップするか **[F2]** を押してから操作1を行ってください。

- 1 Webページを表示中に **[F2]** ▶ **【表示】** ▶ **【文字サイズ】** ▶ **【最大】** / **【大】** / **【中】** / **【小】** / **【最小】**

## ◆ Webページに表示されている画像を保存する

- 1 Webページを表示中に、保存する画像をタップ&ホールドする  
ポップアップメニューが表示されます。
- 2 [イメージを保存...] を選択して  
「画像の保存」画面が表示されます。
- 3 名前を確認/変更し、保存するフォルダーとファイル形式、保存する場所を選択する
  - [メイン メモリ] を選択すると、FOMA端末の「My Documents」フォルダー内に保存されます。
  - microSDカードをご使用の場合、[場所:] で [Storage Card] を選択すると、microSDカード内に保存することができます。
- 4 [保存] をタップする

## ◆ Webページ中のテキストをコピーする

コピーしたテキストは、他のアプリケーションなどで貼り付けて利用できます。

- 1 Webページを表示中に ▶ [コピー/貼り付け] ▶ [選択]
- 2 コピーするテキストをドラッグする  
選択したテキストが反転表示されます。
- 3  [コピー]

## ◆ Webページからデータをダウンロードする

- 1 Webページを表示中に、ダウンロードするデータのリンク(ファイル名や [ダウンロード] など) をタップする  
「ダウンロードしますか?」画面が表示されます。  
名前を付けずに保存:  [はい]  
FOMA端末の「My Documents」フォルダー内に保存されます。  
名前を付けて保存する:  [メニュー] ▶ [名前を付けて保存...] ▶ [保存]  
「名前を付けて保存...」画面では、名前、フォルダー、種類、場所を選択して保存できます。microSDカードをご使用の場合、[場所:] で [Storage Card] を選択すると、microSDカードに保存できます。

## ❖ 表示しているWebページをホーム(起動時のページ)に設定する

- 1 Webページを表示中に ▶ [ツール] ▶ [オプション] ▶ [ホームページ] ▶ [現在のページ] をタップして  
[OK]
  - [既定のホームページ] をタップして [OK] を押すと、Internet Explorer Mobileの初期画面がホームに設定されます。

## ❖ ホームに設定されているWebページを表示する

- 1 Webページを表示中に ▶ [ホームページ]

## ◆履歴やキャッシュを削除する

- 1 Webページを表示中に[F2] ▶ [ツール] ▶ [オプション] ▶ [閲覧の履歴]
- 2 [一時ファイル] / [Cookie] / [履歴] ▶ [F1] [クリア] ▶ [はい]

## ◆セキュリティを設定する

- 1 Webページを表示中に[F2] ▶ [ツール] ▶ [オプション] ▶ [プライバシーとセキュリティ]

### 2 項目を設定する

スクリプトを有効にする	チェックを外すと、安全性をより高めることができます。
Cookieを有効にする	チェックを外してCookieを受信しないようにすると、安全性をより高めることができます。
セキュリティ保護のないページに移動するときに警告する	セキュリティ保護のため、チェックを外さないことをおすすめします。

- 3 [OK] [OK]

### ✓お知らせ

- Cookieを有効にすると、Webページに入力した情報や閲覧履歴がFOMA端末に保存されるため、同じWebページへのアクセス時に前回入力した情報を再入力する手間を省けたり、ページが表示されるまでの時間が短縮されたりするなどの利便性が得られます。
- Cookieを無効にすると、一部のWebサービスが利用できなくなる場合がありますのでご注意ください。

## パケット通信回線を切断する

ブラウザを終了しても、パケット通信回線を切断するかタイムアウトにならない限り、インターネットに接続されたままになっています。パケット通信回線を切断するには、以下の操作を行ってください。

- 1 [設定] ▶ [接続] ▶ [ワイヤレス マネージャー]
- 2 [メニュー] ▶ [データ接続の切断]

### ✓お知らせ

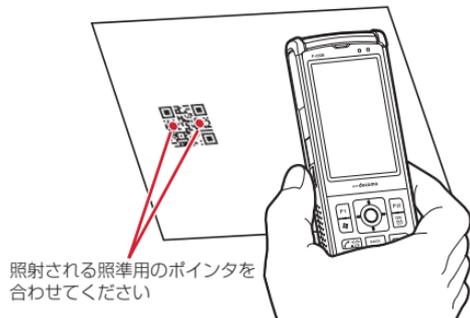
- ブラウザの実行中にパケット通信回線を切断しても、インターネットが自動的に再接続される場合があります。電池の減りを防ぐためにも、インターネットの閲覧が終わったら、タスクマネージャーでブラウザを終了してください。→P129
- WLANでインターネットに接続している場合は、必要に応じてWLAN機能を無効にしてください。→P137
- パケット通信中に[ ]キーを押しても、パケット通信回線を切断できません。

スキャナ操作方法 .....	96
スキャナの読み取り範囲 .....	97

## スキャナ操作方法

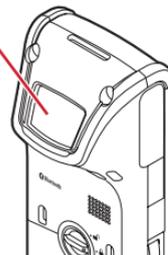
バーコードを読み取るアプリケーションを起動した後、以下の操作でバーコードを読み取ることができます。

- 1 スキャナトリガキー（左右両方、またはどちらか）を押す**  
スキャナ/カメラから、照準用の2本のポインタ（赤色光）が照射されます。
- 2 読み取るバーコードの中心にポインタを合わせる**
  - 小さいバーコードを読み取る場合は、2本のポインタの間にバーコードが入る（下図）ように合わせてください。
- 3 スキャナトリガキー（左右両方、またはどちらか）を押す**  
バーコードの読み取りが開始されます。読み取りの完了後、約3秒でポインタの照射が自動的に停止します。
  - 再度スキャナトリガキーを押すと、ポインタが照射されます。



照射される照準用のポインタを合わせてください

スキャナ/カメラ



### ❖注意

- ライトが照射されているときは、スキャナ/カメラを見つめたり、他人に向けたりしないでください。目を痛める恐れがあります。
- スキャナトリガキーを押すとライトが照射されますので、扱いにご注意ください。

### ❖メモ

- スキャナトリガキーを押し続けていても、読み取り範囲にバーコードがないと判断した場合は、約3秒で読み取り動作が止まります。
- バーコードを読み取れない場合は、バーコードとポインタの位置や、バーコードとFOMA端末の角度や距離を変えてから読み取りを行ってください。
- スキャナの読み取り範囲に複数のバーコードがある場合、FOMA端末はどのバーコードを読み取るかを特定できないため、ポインタの位置に注意して読み取りを行ってください。
- スキャナが正常に動作しているかを確認するために、バーコードサンプルを使用できます。→P178
- アプリケーションの設定によってはスキャナ操作方法や動作が異なる場合があります。
- 周囲の明るさ・外光などの環境によって、バーコードの読み取り時間や距離が異なる場合があります。

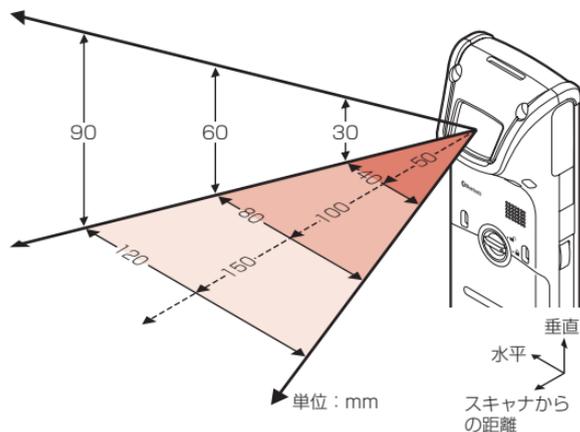
- 本FOMA端末のスカナラの読み取り範囲については、スカナラ読み取り範囲を確認してください。→P97

### ✓お知らせ

- **[F1]** (2秒以上)  
 スカナラダイレクター機能がオンになります。  
 スカナラダイレクター機能がオンの状態で任意のアプリケーションを起動し、スカナラトリガキーを押すと、起動している任意のアプリケーションにデータが読み込まれます。  
 スカナラダイレクター機能をオフにするには、再度 **[F1]** (2秒以上) を押しします。

## スカナラの読み取り範囲

読み取り範囲は以下のとおりです。



- ※ 読み取り性能は周囲の明るさ、照明の種類などの環境やバーコードの印刷状況によって異なります。
- ※ 上記はバーコードの読み取りを行った場合の画角、読み取り範囲です。
- ※ バーコードの種類と読み取り距離について  
 1D：次元バーコード (JAN標準 など)

最小モジュールサイズ	バーコードまでの距離
0.19mm	約75～130mm
0.33mm	約65～160mm

2D：二次元バーコード（QRコード など）

最小モジュールサイズ	バーコードまでの距離
0.25mm	約80～130mm
0.33mm	約70～150mm

お買い上げ時の設定にてスキャナの読み取り操作を行った場合です。  
また、「最小モジュールサイズ」とは、バーコードを構成する最小バー（一次元バーコードの場合）、あるいは、セル（二次元バーコードの場合）の大きさを意味します。

カメラをご使用になる前に .....	100
カメラを使用する .....	カメラ 100
静止画を撮影する .....	静止画撮影 101
動画を撮影する .....	動画撮影 102
事前に撮影方法を設定する .....	103
静止画を表示する .....	104
動画を再生する .....	105
静止画や動画を整理する .....	105

## 著作権・肖像権について

FOMA端末を利用して撮影または録音したもの、およびインターネットホームページ上の著作物を権利者に無断で複製、改変、編集などする行為は、個人で楽しむなどの場合を除き、著作権法上禁止されていますのでお控えください。また、他人の肖像や氏名を無断で使用、改変などすると、肖像権の侵害となる場合がありますのでお控えください。撮影または録音などしたものをインターネットホームページなどで公開する場合も、著作権や肖像権に十分ご注意ください。なお、実演や興行、展示物などでは、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影または録音などが禁止されている場合がありますのでご注意ください。



カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシー等にご配慮ください。

## カメラをご使用になる前に

### ◆ カメラのご使用について

- カメラは非常に精密度の高い技術で作られています。常時明るく見えたり暗く見えたりする画素や線もあります。また、特に光量が少ない場所での撮影では、白い線などのノイズが増えますが、故障ではありませんのであらかじめご了承ください。
- 暖かい場所や直射日光が当たる場所に長時間FOMA端末を放置したりすると、撮影した画像が劣化することがあります。
- 太陽やランプなどの強い光源を直接撮影しようとすると、画質が暗くなったり画像が乱れたりする場合があります。
- レンズの特性により、画像がゆがんで見える場合があります。
- 蛍光灯、水銀灯、ナトリウム灯などの高速で点滅している照明下で撮影すると、画面がちらついたり縞模様が現れたりするフリッカー現象が起きる場合があります。撮影のタイミングによっては画像の色合いが異なる場合があります。撮影時の明るさを調整することで、ちらつきや縞模様の軽減できる場合があります。
- カメラで撮影した画像は、実際の被写体と色味や明るさが異なる場合があります。
- カメラの操作時、スキャナ／カメラのライトが点灯・点滅します。
- スキャナ機能を起動している状態では、カメラの撮影ができません。カメラで撮影する場合、あらかじめスキャナ機能を終了させておく必要があります。

### ◆ 撮影時の留意事項

- レンズに指紋や油脂などが付くと、きれいに撮影できません。撮影前に柔らかい布で拭いてください。
- 撮影の際、レンズ部分を指などで覆わないでください。
- 手ぶれにご注意ください。FOMA端末が動かないようにしっかり持って撮影するか、FOMA端末を安定した場所に置き、セルフタイマー機能を利用して撮影することをおすすめします。タイマーモードは、静止画撮影のときだけ利用できます。
- を押してから実際に撮影されるまでに、多少の時間差があります。を押してから少しの間、FOMA端末を動かさないでください。また、速く動いている被写体を撮影すると、を押したときにディスプレイに表示されていた位置とは少しずれて撮影されることがあります。
- 動きの激しいものを動画撮影すると、映像が乱れる場合があります。
- 撮影した静止画や動画を保存する前に電池残量がなくなると、保存できません。
- カメラは電池の消費が非常に早いため、カメラを長時間起動しておいたり、撮影後に保存せず長時間放置したりしないでください。
- 設定によっては、カメラを起動してから撮影画面に映像が表示されるまでに時間がかかる場合があります。

## カメラ

### カメラを使用する

FOMA端末のカメラを使用して静止画や動画を撮影します。撮影した静止画は、電子メールに添付して送信したり、連絡先の画像として保存したりできます。また、撮影した動画は、Windows Media Player 10 Mobileを使って再生できます。

## ❖ 静止画撮影画面の見かた



静止画撮影画面（連写モード）

- ① 撮影枚数（連写モード）／シャッターが切れるまでの秒数（タイマーモード）

1/5：連写モードの場合は撮影枚数

03：タイマーモードの場合は秒数

- ② 撮影モード

標準モード

通常利用する撮影モード

連写モード

1回のシャッターで5枚の静止画を保存

タイマーモード

タイマーが作動して、5秒後にシャッターが切れる

- ③ 撮影可能枚数（999まで表示可能）
- ④ ズーム（1x、1.5x、2x）

## ❖ 動画撮影画面の見かた



動画撮影画面（スタンバイ）



動画撮影画面（撮影中）

- ① ：ビデオモード

動画撮影のとき表示

- ② 動画撮影の制限時間（99：59まで表示可能）

- ③ 撮影経過時間（秒）

動画撮影中のときだけ表示

- ④ 撮影残り時間（秒）

## 静止画撮影

### 静止画を撮影する

スキャナ／カメラを使用して静止画を撮影します。

- 撮影前に撮影方法の確認、設定ができます。→P103

- 1 [画像とビデオ] [F1] [カメラ]

静止画撮影画面が表示されます。

- 静止画撮影画面が表示されると、スキャナ／カメラ部では白いランプが点滅します。
- 操作しない状態が約30秒続くと、カメラはスタンバイになります。スタンバイになると、撮影画面が黒くなります。

- 2 被写体にカメラを向けて

シャッター音が鳴って静止画が撮影されると、撮影画像確認画面が表示されます。撮影した静止画は自動的に保存されます。

「画像とビデオ」フォルダーのファイル一覧に戻る：[F1] [カメラ]

[F1] [縮小...]

### 3 撮影した静止画を確認する

次の静止画を撮影する： **[F1]** [カメラ] ▶ 被写体にカメラを向けて



#### ✓お知らせ

- 画像サイズを「UXGA (1600×1200) とした場合、ズーム撮影はできません (画面右下のズーム表示は変わりますが、実際にはズームされません)。

### ◆ 静止画撮影のサブメニューを利用する

静止画撮影画面で、**[F2]** [メニュー] を押すと、次の機能が利用できます。

メニュー	機能
ビデオ	選択すると、動画撮影モードに切り替わります。
モード	標準、連写、タイマーモードが選択できます。
明るさ	明るさが選択できます。
解像度	撮影解像度が選択できます。
ズーム	ズームを変更できます。
全画面表示	全画面表示を選択すると、メニューバーやタスクバーが非表示になります。解除するには、 <b>[F2]</b> を押して、[全画面表示] のチェックを外してください。
オプション...	カメラ機能の各動作設定→P103

## 動画撮影

### 動画を撮影する

スキャナ/カメラを使用して動画を撮影します。

- 撮影の前に撮影方法を確認・設定しておきます。→P103

#### 1 ▶ [画像とビデオ] ▶ **[F1]** [カメラ] ▶ **[F2]** [メニュー] ▶ [ビデオ]

ビデオ撮影画面が表示されます。

- ビデオ撮影画面が表示されると、スキャナ/カメラ部では白いランプが点滅します。
- 操作しない状態が約30秒続くと、カメラはスタンバイになります。スタンバイになると、撮影画面が黒くなります。

#### 2 被写体にカメラを向けて

撮影開始音が鳴り、動画撮影が始まります。

**[画像とビデオ]** フォルダーのファイル一覧に戻る：**[F1]** [縮小...]

#### 3 撮影が終了したら

撮影終了音が鳴り、撮影待機状態になります。撮影した動画は自動的に保存されます。

**撮影を中止する**：**[F1]** [停止]

- 撮影を中止すると、中止した時点までの動画が保存されます。

**撮影を一時中断する**：**[F2]** [一時...]

- 撮影を再開するには**[F2]** [再開]

#### ✓お知らせ

- 電池残量が少ない状態で撮影すると、動画が保存されないことがあります。
- 動画撮影中に以下の操作や動作などが行われた場合は撮影が中断されます。動画は中断された時点まで保存されます。
  - アラームが実行された場合
  - または を押してホーム画面を表示した場合
  - 、 または を押したり、タイトルバーをタップした場合
  - 電話の着信やBluetooth、SMS、メールの受信を行なわれた場合
  - 運用中での電池交換を行った場合→P40

- データ通信やmicroSDカードへのアクセスなどの負荷の高い操作は、終了させてから撮影を行ってください。

## ◆ 動画撮影のサブメニューを利用する

動画撮影画面で、**[F2]** [メニュー] を押すと、次の機能が利用できます。

メニュー	機能
静止モード	選択すると、静止画撮影モードに切り替わります。
明るさ	明るさが選択できます。
画質	撮影画質が選択できます。
全画面表示	全画面表示を選択すると、メニューバーやタスクバーが非表示になります。 解除するには、 <b>[F2]</b> を押して、[全画面表示] のチェックを外してください。
オプション...	ビデオ機能の各動作設定→P103

## 事前に撮影方法を設定する

カメラを使って静止画や動画を撮影する前に、オプションの各項目を確認し、必要に応じてお買い上げ時の設定を変更してください。

**1** **[F4]** ▶ [画像とビデオ] ▶ **[F2]** [メニュー] ▶ [ツール] ▶ [オプション...] ▶ 各項目を設定 ▶ **[OK]**

タブ	項目	内容
全般	画像を電子メールで送信する際の画像のサイズ	元のサイズ、大 (640×480)、中 (320×240)、小 (160×120)
	画像を90度回転するときの回転方向	回転方向の左、右

タブ	項目	内容
スライドショー	スライドショーの表示を最適化する対象	画像 (縦)、画像 (横) <ul style="list-style-type: none"> <li>バックグラウンドでプログラムが動作中の場合は、スライドショーが起動できません。</li> </ul>
	PCに接続後アイドル状態が2分間続いた場合にスクリーンセーバーを起動する	パソコンとActiveSyncやWindows Mobileデバイスセンターで接続してFOMA端末を2分間操作しなかったときに、スライドショーをスクリーンセーバーとして動作させる/させない <ul style="list-style-type: none"> <li>充電中でない場合は、スクリーンセーバーは起動しません。</li> </ul>
カメラ	ファイル名のプレフィックスの入力	保存される静止画のファイル名 (連番) の先頭文字 <ul style="list-style-type: none"> <li>全角/半角130文字以内で入力します。</li> <li>プレフィックスに何も入力しない場合や「/」、「:」などの無効な文字を入力しようとした場合は、<b>[OK]</b> を押した時点で「ファイルのプレフィックスに無効な文字列が含まれています。」のメッセージが表示されます。</li> <li>静止画のファイル名は、指定したプレフィックス+3桁の連番になります。1つのプレフィックスで999枚撮影できます。</li> <li>動画ファイル名は、プレフィックスなしの3桁の連番になります。</li> </ul>
	ファイルの保存先	撮影した静止画および動画の保存先 <ul style="list-style-type: none"> <li>メインメモリ (本体メモリ) またはStorage Card (microSDカード) から選択します。</li> </ul>
	静止画像の圧縮レベル	高画質、標準画質、低画質
ビデオ	ビデオファイルの収録時にオーディオを含める	動画撮影時に音声を録音する/しない
	ビデオの制限時間	制限なし、15秒、30秒 <ul style="list-style-type: none"> <li>「制限なし」に設定すると、ファイルサイズが大きくなり、microSDカードに保存できない場合があります。</li> </ul>

## ❖ 撮影形式およびフォーマット

静止画および動画の撮影形式やフォーマットは次のとおりです。

- ファイル名に拡張子は表示されません。

	静止画	動画
撮影形式	JPEG	WMV
撮影フォーマット	JFIF	WMV
拡張子	.jpg	.wmv

## ❖ 静止画の撮影枚数と動画の撮影時間について

静止画の保存枚数は、画像サイズ、画質などによって変わります。FOMA端末の本体メモリやmicroSDカードに保存できる静止画の撮影枚数と動画の撮影時間は次のとおりです。

### ■ 静止画の撮影枚数（目安）

画像サイズ (縦×横ピクセル数)	本体メモリに保存できる 撮影枚数（お買い上げ時）	microSDカードに保存できる 撮影枚数（2GB）
SVGA (800×600)	999枚以上	999枚以上
UXGA (1600×1200)	999枚以上	999枚以上

- ※ 本体メモリに保存できる枚数は、本体メモリの空き容量により変化します。
- ※ 999枚以上撮影可能な場合も、撮影可能枚数は999（最大）と表示されます。
- ※ 撮影条件は、明るさ：0、ズーム：1x、静止画像の圧縮レベル：高画質です。

### ■ 動画の撮影時間（目安）

撮影モード (縦×横ピクセル数)	本体メモリに保存できる 撮影時間（お買い上げ時）	microSDカードに保存できる 撮影時間（2GB）
(400×300)	本体メモリの空き容量により変化します。	約750分

- ※ 99分59秒以上撮影可能な場合も、撮影可能時間は99分59秒（最大表示）と表示されます。
- ※ 撮影条件は、明るさ：0、ビデオファイルの収録時にオーディオを含める：ONです。
- ※ 撮影時の動画サイズや撮影条件によっては、保存に1分程度かかる場合があります。

## 静止画を表示する

本体メモリやmicroSDカードに保存した静止画を、表示します。

### 1 ▶ [画像とビデオ]

「画像とビデオ」フォルダーのファイル一覧が表示されます。

- または、前回の操作で開いたフォルダーが開かれます。

### 2 確認する画像を選択して [表示]

静止画確認画面が表示されます。

他のフォルダーにある静止画を選択する： [メニュー] ▶ [移動] ▶ [マイ デバイス] ▶ フォルダーを選択 ▶ 確認する画像を選択

microSDカードにある静止画を選択する： [メニュー] ▶ [移動] ▶ [フォルダー...] ▶ [Storage Card] ▶ 確認する画像を選択

## 動画を再生する

FOMA端末で撮影した動画を再生します。  
ファイルサイズが大きすぎると再生できないことがあります。

### 1 [画像とビデオ]

### 2 再生する動画を選択して[F1] [再生]

Windows Media Player 10 Mobileが起動し、動画が再生されません。

他のフォルダーにある動画を選択する：[F2] [メニュー] ▶ [移動]  
▶ [マイ デバイス] ▶ フォルダーを選択 ▶ 再生する動画を選択して[F1] [再生]

microSDカードにある静止画を選択する：[F2] [メニュー] ▶ [移動]  
▶ [フォルダー...] ▶ [Storage Card] ▶ 再生する動画を選択して[F1] [再生]

## 静止画や動画を整理する

「画像とビデオ」を利用して、FOMA端末やmicroSDカードに保存されている静止画や動画を閲覧したり、整理したりできます。  
本FOMA端末が対応しているファイルの種類と拡張子は以下の通りです。

種類	ファイル形式
画像	BMP、GIF、JPG、PNG
ビデオ	Windows Media Video、ASF

### 1 [画像とビデオ]

「マイ ピクチャ」フォルダーのファイル一覧が表示されます。



## ◆ 画像とビデオのメニュー

### ■ 静止画/動画の一覧でファイルを選択しているとき

項目	説明	
カメラ	カメラを起動し、撮影可能状態になります。	
送信...	選択中の静止画/動画が添付された新規メールを作成します。	
ビーム...	選択中の静止画/動画を、Bluetooth/赤外線通信で送信します。	
連絡先に保存...	選択中の静止画を連絡先に登録します。	
削除	選択中の静止画/動画を削除します。	
編集	切り取り	選択中の静止画/動画を切り取ります。
	コピー	選択中の静止画/動画をコピーします。
	貼り付け	コピーまたは切り取った静止画/動画を貼り付けます。
	新しいフォルダー	新規フォルダーを作成します。

項目	説明	
スライドショーの再生	<p>フォルダー内の静止画をスライドショーで表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>再生中に画面をタップすると、以下の操作アイコンが表示されます。</li> </ul> <p> : 表示の回転  : 再開/一時停止  : 前の静止画を表示/次の静止画を表示  : 終了 </p>	
[Home] の背景に設定する...	選択中の静止画をスタートメニューとホーム画面の背景イメージに設定します。	
移動	マイ ピクチャ	マイ ピクチャフォルダーが表示されます。
	マイ デバイス	マイ デバイスフォルダーが表示されます。
	フォルダー ...	閲覧するフォルダーを選択します。
ツール	プロパティ	静止画のプロパティを表示します。
	並び替え	名前/日付/サイズ順に並び替えます。
	オプション...	静止画をメールに添付するときの画像サイズや回転するときの方向の設定、スライドショー再生時の設定をします。

## ■ 静止画を表示しているとき

項目	説明	
ズーム※ <sup>1</sup>	選択中の静止画をズームします。	
スライドショーの再生	フォルダー内の静止画をスライドショーで表示します。	
[Home] の背景に設定する...※ <sup>2</sup>	選択中の静止画をスタートメニューとホーム画面の背景イメージにします。	
画像のビーム...	選択中の静止画をBluetooth/赤外線通信で送信します。	
保存	連絡先に保存...	選択中の静止画を連絡先に登録します。
	名前を付けて保存...	選択中の静止画に別の名前を付けて保存します。
編集	静止画を編集します。	
プロパティ	静止画のプロパティを表示します。	
オプション...	静止画をメールに添付するときの画像サイズや回転するときの方向の設定、スライドショー再生時の設定をします。	

※<sup>1</sup> 選択しているファイルによっては、ズームできない場合があります。

※<sup>2</sup> 選択しているファイルによっては、設定できない場合があります。

Adobe Reader LEを利用する .....	108
電卓として使う .....	電卓 108
GPSを利用する .....	109
指定時刻にアラームを鳴らす .....	アラーム 109
効果音を設定する .....	音設定 110
通知を音で知らせる .....	通知音設定 110
画面デザインをカスタマイズする .....	110
画面を調整する .....	111
メモを利用する .....	111

## Adobe Reader LEを利用する

Adobe Reader LEでは、パソコン上で作成したPDFファイル（PDFファイル形式のみ）を開覧できます。

### ◆ PDFファイルを開覧する

- 1  ▶ [Adobe Reader LE]  
マイ デバイス内のフォルダーとファイルが一覧表示されます。
- 2 閲覧するPDFファイルを選択し、 [開く]  
ファイルが開きます。  
**最近開いたファイルの一覧に目的のファイルがない場合：**右下にある [参照] をタップし、マイ デバイス内のフォルダーとファイルの一覧から目的のファイルを選択し、 [開く]
- 3  ▶ [終了]  
ファイルを閉じて、Adobe Reader LEを終了します。

### ◆ Adobe Reader LEのメニュー

#### ❖ 閲覧画面のメニュー

項目	説明
開く	別のPDFファイルを開きます。
Adobe Readerについて	Adobe Readerのバージョンなどの詳細情報を表示します。
終了	ファイルを閉じて、Adobe Reader LEを終了します。

#### ❖ 閲覧画面のツールメニュー

項目	説明
ズーム	表示の拡大／縮小方法を設定します。
移動	指定したページを表示します。

#### 電卓

### 電卓として使う

FOMA端末で四則演算（＋、－、×、÷）などができます。

- 10桁以内で入力します。

#### 1 ▶ [電卓]

画面上のアイコンをタップ、またはダイヤルキーや を押して操作します。

	数字を入力します。
÷	除算（÷）を行います。
×	乗算（×）を行います。
－	減算（－）を行います。
＋	加算（＋）を行います。
=	計算の実行をします。
.	小数点を入力します。
1/×	逆数計算をします。
%	パーセント計算をします。
√	平方根計算をします。
+/-	入力した数字の＋／－を切り替えます。
M	入力した数字／計算結果をメモリに保存します。 • メモリに保存すると「M」の文字が白色に表示されま す。
C	現在の計算を中止し、表示されている数字を消去します。
MC	メモリに保存した数値を消去します。
MR	メモリに保存した数値を表示します。

M+	入力値をメモリの数値に加算します。
→	入力した数字を右から1桁ずつ消去します。

## ✓お知らせ

- 0で除算すると「エラー」と表示されます。
- 計算結果が10桁（小数点を含む）を超える場合は指数表示されます。

## GPSを利用する

本FOMA端末では、GPS機能を利用できます。GPS機能に対応したソフトウェアを使用すると、現在地の確認や目的地までのルート検索などができます。

### ◆GPSの利用にあたって

- GPSシステムのご利用には十分ご注意ください。システムの不具合などにより損害が生じた場合、当社では一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- FOMA端末の故障、誤動作、不具合、あるいは停電などの外部要因（電池切れを含む）によって、測位（通信）結果の確認などの機会を逸したために生じた損害などの純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- FOMA端末は、航空機、車両、人などの航法装置として使用できません。そのため、位置情報を利用して航法を行うことによる損害が発生しても、当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 高精度の測量用のGPSとしては使用できません。そのため、位置の誤差による損害が発生しても、当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 衛星利用測位（GPS）は、米国国防総省により構築され運営されています。同省が何らかの変更を加えた場合、GPSシステムの精度や機能に影響が出る場合があります。

- ワイヤレス通信製品（携帯電話やデータ検出機など）は、衛星信号を妨害する恐れがあり、信号受信が不安定になることがあります。
- 各国・地域の法制度などにより、取得した位置情報（緯度経度情報）に基づく地図上の表示が正確でない場合があります。

### ■受信しにくい場所

GPSは人工衛星からの電波を利用しているため、以下の条件では、電波を受信できない、または受信しにくい状況が発生しますのでご注意ください。

- 建物の中や直下
- かばんや箱の中
- 密集した樹木の中や下
- 自動車、電車などの室内
- FOMA端末の周囲に障害物（人や物）がある場合
- 地下やトンネル、地中、水中
- ビル街や住宅密集地
- 高圧線の近く
- 大雨、雷などの悪天候

## アラーム

### 指定時刻にアラームを鳴らす

1 [ホーム] ▶ [アラーム] ▶ [アラーム] タブ ▶ 各項目を設定 ▶ [OK]



	項目	説明
①	アラームの有効／無効の設定	チェックを入れると、アラーム設定が有効になります。
②	アラームの詳細	タップすると [アラームの設定] 画面が開きます。 [アラームの設定] 画面では、アラーム動作時刻、アラーム設定の名前、曜日、サウンド種類、動作設定が選択できます。
③	消音時のアラーム音操作	チェックを入れると、消音時やバイブなどに設定されていても、アラーム音が再生されます。

### ✓お知らせ

- 指定した時刻になるとアラームが鳴ります。ディスプレイに通知画面が表示され、現在時刻を確認できます。(FOMA端末の状況によっては、現在時刻には設定時刻より早い時間が表示される場合があります。)
- 通知画面で を押すと、通知画面が閉じます。それ以外の操作で通知画面を閉じた場合、2分後にアラームが鳴ります。通知画面で [メニュー] を押して再通知の時間を選択すると、スヌーズ機能(再通知)を利用できます。また [すべてのアラームを消す] をタップすると、複数のアラームが鳴っているもすべての通知画面を閉じます。
- 他のプログラムが起動中は、設定時刻を過ぎてからアラームが鳴る場合があります。

## 音設定

### 効果音を設定する

アラーム通知やFOMA端末を操作するときの効果音の有効／無効を設定します。

- ▶ [設定] ▶ [音と通知] ▶ [サウンド] タブ  
音と通知画面が表示されます。
- アラーム通知や効果音を設定し、 [OK]

## 通知音設定

### 通知を音で知らせる

電話の着信音やメールの受信音など、各イベント発生時の通知音を設定します。  
音量の調節のしかたについては、「着信音やスピーカー音量を調整する」(→P54) を参照してください。

- ▶ [設定] ▶ [音と通知] ▶ [通知] タブ  
通知音設定画面が表示されます。
- [イベント] 欄をタップし、設定したいイベントを選択する
- 必要な設定を設定し、 [OK]

### 画面デザインをカスタマイズする

スタートメニューやホーム画面の背景イメージ、ステータスバー、メニューバーのデザインを、テーマごとに変更できます。

- ▶ [設定] ▶ [ホーム] ▶ [デザイン] タブ
- [デバイスのテーマを選択] の一覧からテーマをタップする
  - 背景イメージをテーマ以外の画像にしたいときは、[この画像を背景に使用する] にチェックを付けてから [参照] をタップして、参照ファイルを指定します。
- [OK]

## ◆ ホーム画面に表示する項目を設定する

- 1  ▶ [設定] ▶ [ホーム] ▶ [アイテム] タブ
- 2 ホーム画面に表示したい項目にチェックを付ける
  - 「Windows標準」以外の項目にチェックを付けると、「Windows標準」のチェックが外れます
  - 「Windows標準」にチェックを付けると、それ以外のチェックが外れます

### ■ 項目を並べ替える場合

「Windows標準」「日付」以外の項目を選択し、[上へ移動] / [下へ移動] をタップします。

## 画面を調整する

- 1  ▶ [設定] ▶ [システム] ▶ [画面]
- 2 必要な項目を設定し、 [OK]

タブ	説明
全般	タップした位置が画面の位置とずれているときは、「画面の補正」をタップし、画面設定画面に戻るまで+マークのタップを繰り返します。→P32
文字サイズ	スライダーを左右にドラッグして、文字の大きさを調整します。

## メモを利用する

### ◆ メモを作成する

手書きやキーボード入力でメモを作成できます。

### ❖ 入力モードを設定する

- 1  ▶ [メモ] ▶  / 入力するメモを選択して  ▶  ▶ 『描画』にチェック有り：絵を描いたり、手書きで文字を書いてメモを作成します。  
 ▶ 『描画』にチェック無し：ダイヤルキーまたは文字入力パッドで文字を入力してメモを作成します。

### ✓お知らせ

- 「描画」にチェックが有る状態で文字入力パッドを表示させると、「描画」のチェックが無くなります。再度絵を描いたり、手書きで文字を書いたりする場合は、 [メニュー] で「描画」にチェックを入れてください。

### ❖ メモに絵を描く（手書き）

- 1  ▶ [メモ] ▶ 
- 2 絵を描く
- 3 描画が終わったら  [OK]

### ✓お知らせ

- 描画範囲を選択する場合は、画面上でタップ&ホールドしてください。十字が表示されたら、そのままドラッグして選択できます。画面から指を離すと選択範囲が確定されます。

## ❖ メモを作成する (文字入力パッド入力)

- 1 ▶ [メモ] ▶
- 2 文字を入力し [OK]

## ◆ ボイスメモを録音／再生する

### ❖ ボイスメモを録音する

録音した音声は、音声ファイルとして登録したり、メモに音声を添付したりできます。

- 1 ▶ [メモ]  
メモ一覧が表示されます。
- 2 ▶ [録音ツールバーの表示]
  - 音声ファイルとして登録する場合は手順4に進みます。
  - メモに音声を添付する場合は手順3に進みます。
- 3   
メモ入力画面が表示されます。録音ツールバーが消えた場合は手順2を繰り返します。
- 4 (録音) をタップして録音を開始する
- 5 (停止) をタップして録音を終了する

### ✓お知らせ

- メモに音声を添付した場合は、録音終了後に [OK] をタップしてメモ一覧に戻ります。
- メモに音声を添付すると、メモ入力画面に が表示されます。
- 音声ファイルとして登録した場合もメモ一覧に表示されます。

## ❖ ボイスメモを再生する

- 1 ▶ [メモ]  
メモ一覧が表示されます。
- 2 再生したいメモをタップする  
メモ入力画面が表示されます。音声ファイルをタップした場合は録音内容が再生されます。
- 3 対象の をタップする  
録音内容が再生されます。

### ❖ メモを削除する

- 1 ▶ [メモ]
- 2 削除したいメモをタップして詳細を表示する
- 3 ▶ [ツール] ▶ [削除] ▶ [はい]

# ファイルの管理／パソコンとのデータ同期

---

ファイルを管理する .....	エクスプローラー	114
microSD カードを使う .....		116
データを検索する .....		117
ActiveSync／Windows Mobile デバイスセンターでできること .....		118

## ファイルを管理する

エクスプローラーを使って、FOMA端末やmicroSDカードに保存されているファイルのコピーや移動、削除、フォルダーの作成などを行えます。

### ◆ エクスプローラーを起動する

#### 1 [スタート] ▶ [エクスプローラー]

エクスプローラーが起動し、フォルダーとファイルの一覧が表示されます。



- ① 表示中の階層より上位の階層を表示します。
- ② フォルダーやファイルをタップして開きます。
- ③ 1つ上の階層に移動します。
- ④ 並び替えの条件を指定して、フォルダーとファイルを並び替えます。
- ⑤ エクスプローラーのメニューを表示します。

### ✓お知らせ

- エクスプローラーを使うとWindowsのシステムファイルなども表示できますが、誤ってそれらのファイルを削除したり移動すると、正常に動作できなくなる可能性があるのご注意ください。
- ファイルをタップしても開かない場合は、対応するプログラムを起動して開いてください。

### ◆ フォルダーやファイルを操作する

#### ◇ 新規フォルダーを作成する

#### 1 エクスプローラー画面で[F2] [メニュー] ▶ [新しいフォルダー]

「新しいフォルダー」が作成されます。

#### 2 フォルダー名を入力する

#### ◇ フォルダー名やファイル名を変更する

#### 1 エクスプローラー画面で、名前を変更するフォルダーまたはファイルをタップ&ホールドする

#### 2 ポップアップメニューから【名前の変更】をタップする

#### 3 新しい名前を入力する

## ❖ フォルダーやファイルを削除する

• 削除したファイルは元に戻せません（削除の取り消しはできません）。

- 1 エクスプローラー画面で、削除するフォルダーまたはファイルをタップ&ホールドする
- 2 ポップアップメニューから【削除】をタップする  
確認画面が表示されます。
- 3 【はい】をタップする

## ❖ フォルダーやファイルをコピー／移動する

- 1 エクスプローラー画面で、コピー／移動するフォルダーまたはファイルをタップ&ホールドする
- 2 ポップアップメニューから【コピー】または【切り取り】をタップする
- 3 コピー先または移動先のフォルダーを開く
- 4 画面下部の空きスペース（ファイルやフォルダーが表示されていない部分）をタップ&ホールドする
- 5 ポップアップメニューから【貼り付け】をタップする

## ◆ エクスプローラーのメニュー

項目		説明
移動	My Documents	「My Documents」フォルダーに含まれるフォルダーとファイルの一覧を表示します。
	マイ デバイス	「マイ デバイス」に含まれるフォルダーとファイルの一覧を表示します。
	フォルダー	フォルダーの階層を選択します。
	パスを開く	パスを入力してネットワーク上の共有フォルダーを開きます。一度入力したパスは、履歴から選択して開くことができます。
最新の情報に更新		最新の状態に更新します。
ファイルを選択	すべて	表示されているフォルダー内のすべてのファイルを選択します。 [すべて] を選択した状態で <b>☑</b> [メニュー] を押すと、[選択範囲の取り消し] が表示されます。 [選択範囲の取り消し] を選択すると、[すべて] の選択が取り消されます。
	複数	複数のファイルを選択します。必要なファイルだけタップしてください。
すべてのファイルを表示		チェックを付けると、隠しファイルを含めたすべてのファイルを表示します。
並べ替え		指定した条件（名前、日付、サイズ、種類）でフォルダーとファイルを並び替えます。
送信		選択したファイルをメールに添付して送信します。
ファイルをビームする		選択したファイルをBluetooth／赤外線通信で送信します。
新しいフォルダー		新規フォルダーを作成します。
名前の変更		フォルダー名やファイル名を変更します。
削除		フォルダーやファイルを削除します。
編集	元に戻す	直前に行った操作を取り消します。
	切り取り	フォルダーやファイルを切り取ります。

項目	説明
コピー	フォルダーやファイルをコピーします。
貼り付け	コピーまたは切り取ったフォルダーやファイルを貼り付けます。
ショートカットの貼り付け	コピーしたフォルダーやファイルのショートカットを貼り付けます。

## microSDカードを使う

本FOMA端末には、microSDカードやmicroSDHCカードを取り付けることができます。

- 本FOMA端末は2GBまでのmicroSDカードと8GBまでのmicroSDHCカードに対応しています（2010年4月現在）。ただし、市販されているすべてのmicroSDカードおよびmicroSDHCカードの動作を保証するものではありません。
- microSDカードのデータにアクセスしているときに、電源を切ったり衝撃を与えたりしないでください。データが壊れる恐れがあります。

### ✓お知らせ

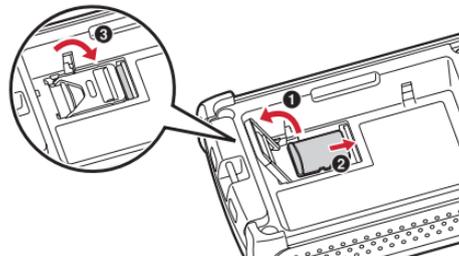
- microSDHCカードは、ご利用のパソコンでは認識しない場合があります。市販のSDHC規格対応のリーダーライターを購入してご使用いただくか、下記マイクロソフトサイトから必要な情報をダウンロードしてご使用ください。  
<http://support.microsoft.com/>

## ◆microSDカードの取り付けかた／取り外しかた

- microSDカードの取り付け／取り外しは、必ず電源を切り、リアカバーと電池パックを取り外してから行ってください。→P39

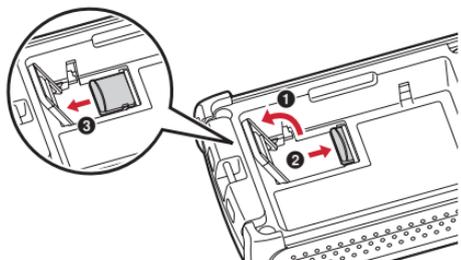
### ❖microSDカードを取り付ける

- 1 ストッパーを引き上げる (①)
- 2 microSDカードの金属端子面を下にして、図の向きで挿入口にロックされるまで差し込む (②)
- 3 ストッパーを倒す (③)



## ❖ microSDカードを取り外す

- 1 ストッパーを引き上げる (①)
- 2 microSDカードを軽く押しこんでから (②) 離す  
microSDカードが少し飛び出します。
- 3 microSDカードをまっすぐ引き出す (③)



## ◆ microSDカード保存時にファイルを暗号化する

microSDカードにファイルを保存するとき、自動的に暗号化して保存できます。暗号化したファイルは別のFOMA端末やパソコンでは開けず、本FOMA端末からのみ開くことができます。

- データ一括削除 (→P131) を行うと、暗号化されたファイルは一切読み出すことができなくなりますのでご注意ください。

- 1 ▶ [設定] ▶ [システム] ▶ [暗号化]
- 2 [メモリ カード内のファイルを暗号化する] にチェックを付ける
- 3 [OK]

## データを検索する

FOMA端末の「My Documents」フォルダーやmicroSDカード内に保存されたファイルの名前や、電子メール、予定表、連絡先、仕事などのデータ、ヘルプに含まれる文字列を検索できます。

- 1 ▶ [検索]  
検索画面が表示されます。
- 2 [検索] フィールドに検索する文字列を入力する  
ファイル名や、電子メール、予定表、連絡先、仕事などのデータに含まれる文字列を入力します。
- 3 [種類] フィールドの右にある [▼] をタップし、検索するデータの種類を選択する
- 4 [検索]  
[結果] フィールドに検索結果が表示されます。
- 5 参照するファイルやデータをタップする  
ファイルやデータが開きます。

### ✓お知らせ

- データによっては、データに含まれる文字列が検索されないものがあります。
- [検索] フィールドの右にある [▼] をタップすると、以前に入力した文字列の履歴が表示されます。再検索する場合や、文字列を一部変更して再検索する場合に利用できます。

## ActiveSync / Windows Mobileデバイスセンターでできること

ActiveSyncおよびWindows Mobileデバイスセンターは、FOMA端末にあるファイルやOutlookなどのデータをパソコンと連携して操作するためのソフトウェアです。

FOMA端末をActiveSyncまたはWindows Mobileデバイスセンターをインストールしたパソコンと接続して、以下のことができます。

### ■ パソコンとの同期

- パソコンで利用しているMicrosoft Outlookのデータ（電子メール、予定表、連絡先、仕事、メモ）を、FOMA端末のデータと同期させることができます。
- FOMA端末のお気に入り、パソコンで利用しているInternet Explorerの「モバイルのお気に入り」と同期できます。
- パソコンにWindows Media Player 10以降がインストールされている場合は、静止画、動画、音楽などのメディアファイルを同期できます。

### ■ ファイルのコピー / 移動

パソコンとFOMA端末の間で、ファイルのコピーや移動ができます。

### ■ プログラムのインストール

パソコンのCD-ROMドライブを利用するか、パソコンでプログラムをインターネットからダウンロードして、FOMA端末にインストールできます。

### ■ その他

- パソコンで表示したWebページのURLを、FOMA端末に転送できます。
- 社内ネットワークが、Exchange ActiveSyncをインストールしたMicrosoft Exchange Serverに対応している場合、FOMA端末とサーバーとの間で電子メール情報を直接同期できます。

## ✓お知らせ

- パケット通信接続中は、パソコンとの同期は行えません。あらかじめFOMA端末のパケット通信回線を切断してください。→P84
- パケット通信で接続中にパソコンとの同期を行うと、パケット通信が切断されます。
- ActiveSyncモードでパソコンとUSB接続しているときは、パケット通信をご利用になれません。
- パソコンのActiveSyncの設定で「デスクトップコンピュータに接続中にデバイスの無線接続を許可する」を選択していない場合、またはWindows Mobileデバイスセンターの設定で「PCへの接続時にデバイス上でデータ接続を許可する」を選択していない場合は、パソコンとの同期中にWLAN機能を利用できません。
- Microsoft Outlook Expressのデータは同期できません。
- FOMA端末側のOutlookメール以外の電子メール、SMSメッセージをPCに同期させることはできません。
- ActiveSyncとWindows Mobileデバイスセンターの詳しい使いかたは、ActiveSyncまたはWindows Mobileデバイスセンターのヘルプをご覧ください。

## ◆ パソコンの動作環境

お使いのパソコンのOS（オペレーティングシステム）によって、ActiveSyncまたはWindows Mobileデバイスセンターのどちらか一方をインストールします。

### ■ ActiveSyncについて

Windows XPを搭載のパソコンとFOMA端末を接続して同期させるには、ActiveSyncをパソコンにインストールします。操作や設定などの詳細については、パソコンのActiveSyncのヘルプやマイクロソフト社のホームページをご覧ください。

<http://www.microsoft.com/windowsmobile/ja-jp/default.msp>

## ■ Windows Mobileデバイスセンターについて

Windows 7またはWindows Vistaを搭載のパソコンとFOMAを接続して同期させるには、Windows Mobileデバイスセンターをパソコンにインストールします。

操作や設定などの詳細については、パソコンのWindows Mobileデバイスセンターのヘルプやマイクロソフト社のホームページをご覧ください。  
<http://www.microsoft.com/windowsmobile/ja-jp/default.mspx>

## ■ ActiveSyncをインストールするパソコン

OS	<ul style="list-style-type: none"><li>• Microsoft Windows XP Professional (ServicePack2以降)</li><li>• Microsoft Windows XP Home (ServicePack2以降)</li></ul>
アプリケーション	<ul style="list-style-type: none"><li>• 電子メール、予定表、連絡先、仕事、メモの同期に必要な<ul style="list-style-type: none"><li>• Microsoft Outlook 2007</li><li>• Microsoft Outlook XP</li><li>• Microsoft Outlook 2003</li></ul></li><li>• お気に入りの同期に必須<ul style="list-style-type: none"><li>Internet Explorer 6.0以降</li></ul></li><li>• メディアファイルの同期に必須<ul style="list-style-type: none"><li>Windows Media Player 10以降</li></ul></li></ul>
通信環境	<ul style="list-style-type: none"><li>• USBポート (USB1.1/USB2.0)</li><li>• Bluetooth通信機能</li></ul>

## ■ Windows Mobileデバイスセンター

OS	<ul style="list-style-type: none"><li>• Microsoft Windows Vista Ultimate (Service Pack 1以降)</li><li>• Microsoft Windows Vista Enterprise (Service Pack 1以降)</li><li>• Microsoft Windows Vista Business (Service Pack 1以降)</li><li>• Microsoft Windows Vista HOME Premium (Service Pack 1以降)</li><li>• Microsoft Windows Vista HOME Basic (Service Pack 1以降)</li><li>• Microsoft Windows 7 Home Premium</li><li>• Microsoft Windows 7 Professional</li><li>• Microsoft Windows 7 Ultimate</li></ul>
アプリケーション	<ul style="list-style-type: none"><li>• 電子メール、予定表、連絡先、仕事、メモの同期に必要な<ul style="list-style-type: none"><li>• Microsoft Outlook 2007</li><li>• Microsoft Outlook XP</li><li>• Microsoft Outlook 2003</li></ul></li><li>• お気に入りの同期に必須<ul style="list-style-type: none"><li>Internet Explorer 7.0以降</li></ul></li><li>• メディアファイルの同期に必須<ul style="list-style-type: none"><li>Windows Media Player 11以降</li></ul></li></ul>
通信環境	<ul style="list-style-type: none"><li>• USBポート (USB1.1/USB2.0)</li><li>• Bluetooth通信機能</li></ul>

## ◆ 必要な機器について

- USB接続でActiveSyncを利用するには、FOMA端末とパソコン以外に次の機器が必要です。
  - FOMA 充電器機能付USB接続ケーブル 02 (別売) またはFOMA USB接続ケーブル (別売)
  - ActiveSyncもしくはWindows Mobileデバイスセンター各プログラムはマイクロソフト社からダウンロードしてください。  
<http://www.microsoft.com/windowsmobile/ja-jp/default.mspix>
- USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。
- 本書ではFOMA 充電器機能付USB接続ケーブル 02を例に説明しています。

## ◆ ActiveSyncをインストールする

ActiveSyncの入手方法やインストールについては、マイクロソフト社のホームページを参照ください。

<http://www.microsoft.com/windowsmobile/ja-jp/default.mspix>

- 以下の手順でパソコンのMicrosoft Outlookを使用状態に設定してください。
  - Outlookの「ツール」メニュー ▶ 「オプション」 ▶ 「その他」タブ ▶ 「全般」の「Outlookを既定の電子メール、連絡先、予定表のプログラムにする」にチェックを付ける ▶ 「OK」をクリックする
- FOMA端末をパソコンと接続しない状態でインストールしてください。FOMA端末をパソコンに接続した状態でActiveSyncをインストールすると、インストールが最後まで完了しない場合があります。その場合は、FOMA端末をパソコンから取り外し、もう一度最初からやり直してください。
- パソコンにActiveSyncをインストール済みの場合は、USBケーブルでFOMA端末とパソコンを接続すると、同期が開始されます。

## ◆ 同期を設定する

- FOMA端末の設定をあらかじめ、次のように設定してください。
  - 「USBモード切替」を「ActiveSyncモード」に設定→P122
  - 「PCへのUSB接続」で「高度なネットワーク機能を有効にする」にチェックを付ける→P122

### 1 USBケーブルでパソコンとFOMA端末を接続する

同期セットアップウィザード画面がパソコン上に表示されます。

### 2 [次へ] をクリックする

「同期オプション」の画面が表示されます。

### 3 同期させたい項目にチェックを付ける ▶ [次へ] をクリックする

「ワイヤレス接続を許可する」の画面が表示されます。

- 同期させる項目にチェックを付けたときに確認画面が表示された場合は、[OK] をクリックします。

### 4 「デバイスがコンピュータに接続されている間の無線データ接続 (MMSまたはインターネット電話など) を許可します」にチェックを付ける ▶ [次へ] をクリック

同期セットアップウィザードの完了画面が表示されます。

- 許可しない場合は、[次へ] のみをクリックします。

### 5 [完了] をクリック

設定が保存され、同期が開始されます。

- FOMA端末とパソコンで同期されていない項目がある場合は、同期が一時中断され、統合/置換画面が表示されます。項目の対応方法にチェックを付けて [OK] をクリックすると、同期が再開されます。

## ✓お知らせ

- FOMA端末の端末ロック中にパソコンと接続すると、接続のたびに端末ロックを解除する必要があります。次回接続時にFOMA端末で解除操作を行った後、パソコンの画面に表示される自動接続画面で【はい】をクリックすると、解除操作を省略することができます。

## ◆手動で同期を開始する

FOMA端末から手動で同期を開始するには、以下の操作を行ってください。

1  ▶ [ActiveSync] ▶  【同期】

## ◆Windows Mobileデバイスセンターをインストールする

Windows Mobileデバイスセンターの入手方法やインストールについては、マイクロソフト社のホームページを参照ください。

<http://www.microsoft.com/windowsmobile/ja-jp/default.msp>

- 以下の手順でパソコンのMicrosoft Outlookを使用状態に設定してください。  
Outlookの「ツール」メニュー ▶ 「オプション」 ▶ 「その他」タブ ▶ 「全般」の「Outlookを既定の電子メール、連絡先、予定表のプログラムにする」にチェックを付ける ▶ 「OK」をクリックする
- パソコンにWindows Mobileデバイスセンターをインストール済みの場合は、USBケーブルでFOMA端末とパソコンを接続すると、同期が開始されます。
- Windows VistaおよびWindows 7搭載のパソコンにWindows Mobileデバイスセンターをインストールする場合、複数回ユーザーアカウント制御画面が表示されます。【はい】 または 【続行】 をクリックしてインストールを続けます。

## ◆同期を設定する

- FOMA端末の設定をあらかじめ、次のように設定してください。
  - 「USBモード切替」を「ActiveSyncモード」に設定→P122
  - 「PCへのUSB接続」で「高度なネットワーク機能を有効にする」にチェックを付ける→P122

### 1 USBケーブルでFOMA端末とパソコンを接続する

「マイクロソフト ソフト ウェアライセンス条項」が表示され、同意すると「Windows Mobileメンバーセンター」画面がパソコン上に表示されます。

### 2 「登録しない」をクリック

Windows Mobileデバイスセンターのセットアップ画面が表示されます。

### 3 「デバイスのセットアップ」をクリック

同期させる項目の選択画面が表示されます。

### 4 同期させる項目にチェックを付ける ▶ 「次へ」をクリック

パートナーシップをセットアップする画面が表示されます。

### 5 デバイス名を確認 ▶ 「セットアップ」をクリック

セットアップが完了すると、Windows Mobileデバイスセンター画面に戻り、同期が開始されます。

- 手動で同期する場合は、「手動で同期を開始する」を参照してください。→P121

## ◆ USB接続のモードを設定する (USBモード切替)

- 1  ▶ [設定] ▶ [接続] ▶ [USBモード切替] ▶ [ActiveSyncモード] ▶  [完了]

USB動作モードには、次のものがあります。

**ActiveSyncモード**：パソコンと同期させる

**通常モード**：FOMA端末でデータ通信を行う

## ◆ USB接続設定

パソコンとFOMA端末をFOMA USB接続ケーブル（別売）またはFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02（別売）でつないだとき、パソコンからFOMA端末に取り付けたmicroSDカードのデータを読み書きできるようにします。

- 1  ▶ [設定] ▶ [接続] ▶ [PC への USB 接続]
- 2 [高度なネットワーク機能を有効にする] にチェックを付ける
- 3  [OK]

### ✓お知らせ

- 通常モードでパソコンとUSB接続しているときは、FOMA端末からmicroSDカードにアクセスできません。
- USB接続でパソコンと同期を行う場合は、ActiveSyncモードに設定してください。→P122
- ActiveSyncモードでパソコンとUSB接続しているときは、パケット通信ができません。

障害を引き起こすデータからFOMA 端末を守る .....	セキュリティスキャン	124
プログラムをインストールする .....		127
メモリ使用量を確認する .....		128
プログラムを切り替える／終了する .....	タスクマネージャー	129
バージョン情報を確認する .....	バージョン情報	129
カスタマー フィードバックについて .....		129
エラー報告について .....		130
FOMA 端末を強制終了する .....		130
自動で時刻を設定する .....	自動時刻補正設定	130
パワー マネージメント .....	パワー マネージメント	130
バックライト .....	バックライト	131
FOMA 端末をリポート（再起動）する .....		131
登録データを一括して削除する .....	データ一括削除	131

## 障害を引き起こすデータからFOMA端末を守る

初めに、パターンデータの更新を行い、パターンデータを最新にしてください。

サイトからのダウンロードやメールなど外部からFOMA端末に取り込んだファイルを検知して、障害を引き起こす可能性を含むファイルの削除や通知を行います。

- 必ずパターンデータを最新の状態にしてからスキャンを行ってください。「パターンデータ更新を起動してください」と通知画面が表示された場合は、[OK] をタップしてパターンデータを更新してください。
- 起動中のアプリケーションはスキャンできないため必ず終了してください。終了しない場合は正しくスキャンできません。アプリケーションの終了方法は、それぞれのアプリケーション作成者にお問い合わせください。
- チェックのために使用するパターンデータは、新たな問題が発見された場合に随時バージョンアップされますので、パターンデータを更新してください。なお、自動更新設定が「有効」の場合、パターンデータがバージョンアップされたときに自動的にダウンロードと更新が行われます。
- 各障害に対応したパターンデータがFOMA端末にダウンロードされていない場合、または各障害に対応したパターンデータが存在しない場合は、本機能にて障害などの発生を防ぐことができませんのであらかじめご了承ください。
- パターンデータはFOMA端末の機種ごとにデータの内容が異なります。また、当社の都合により端末発売開始後3年を経過した機種向けパターンデータの配信は停止することがありますので、あらかじめご了承ください。

## ◆ 手で全ファイルをスキャンする

- 必ずパターンデータを最新の状態にしてからスキャンを行ってください。
- スキャンを実施する前に、すべてのアプリケーションを手動で終了してください。

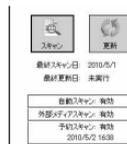
## 1 [セキュリティスキャン]

セキュリティスキャン画面が表示されます。

## 2 [メニュー] ▶ [スキャン] ▶ [OK]

外部メディア (microSDカード) が挿入されている場合: [メニュー] ▶ [スキャン] ▶ スキャン範囲を選択 ▶ [OK] ▶ [OK]

- 「スキャン範囲の選択」画面では「全メディア」「内部メディア」「外部メディア」のいずれかを選択できます。



セキュリティスキャン画面



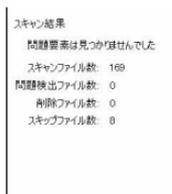
スキャン中画面

## ◆ スキャン結果の表示について

検出された問題要素によって、表示されるメッセージと操作が異なります。

### ■ 「問題要素は見つかりませんでした」が表示されたとき

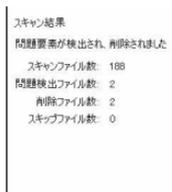
**F1** [OK] を押して画面を閉じてください。



スキャン結果画面1

### ■ 「問題要素が検出され、削除されました」が表示されたとき

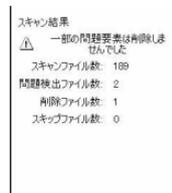
**F1** [OK] を押して画面を閉じるか、**F2** [詳細] を押して削除されたファイルの確認ができます。



スキャン結果画面2

### ■ 「一部の問題要素は削除しませんでした」が表示されたとき

**F2** [詳細] を押して削除されなかったファイルを確認します。削除されなかったファイルは障害を引き起こす可能性があるため、手動で削除することをおすすめします。



スキャン結果画面3

## ◆ スキャン機能を設定する〈スキャン機能設定〉

問題検出時の動作やスキャン機能の「有効」/「無効」を設定します。

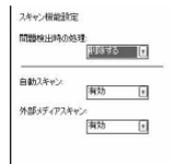
### 1 **F4** ▶ [セキュリティスキャン]

### 2 **F2** [メニュー] ▶ [スキャン機能設定] ▶ 各項目を設定

**問題検出時の処理**：問題を検出した場合、データを自動的に削除するかを設定

**自動スキャン**：ファイル更新時に自動的にスキャンするかを設定

**外部メディアスキャン**：外部メディア（microSDカード）をスキャン対象とするかを設定

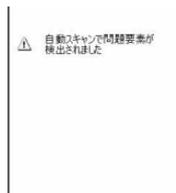


スキャン機能設定画面

## ❖ 自動的にファイルをスキャンする

自動スキャンが「有効」に設定されていると、変更やコピーが行われたファイルに対して自動的にスキャンを行います。問題要素が検出されると通知画面が表示されます。

- **[F1]** [OK] を押して画面を閉じるか、**[F2]** [詳細] を押して削除されたファイルの確認ができます。



自動スキャン検出通知画面

## ❖ 自動的に外部メディアのファイルをスキャンする (外部メディアスキャン)

外部メディアスキャンが「有効」に設定されていると、外部メディア (microSDカード) がFOMA端末に取り付けられた際に外部メディア (microSDカード) の全ファイルに対して自動的にスキャンを行います。



外部メディアスキャン中画面

## ◆ 自動スキャン結果の表示について (自動スキャン結果)

1 **[F4]** ▶ [セキュリティスキャン]

2 **[F2]** [メニュー] ▶ [自動スキャン結果]

## ◆ 指定した時刻に全ファイルをスキャンする (スキャン予約)

スキャン予約を「有効」に設定していると、指定した時刻に外部メディア (microSDカード) を含むFOMA端末内の全ファイルに対してスキャンを行います。

1 **[F4]** ▶ [セキュリティスキャン]

2 **[F2]** [メニュー] ▶ [スキャン予約]

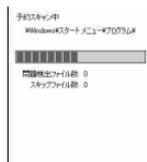
**スキャン予約**: スキャン予約の「有効 (繰り返し)」または「無効」を設定

**時間**: スキャンを実施する時間を設定

**曜日**: スキャンを実施する曜日を設定



スキャン予約画面



予約スキャン中画面

3 **[F1]** [OK]

## ◆ パターンデータを更新する〈パターンデータ更新〉

セキュリティスキャン画面の「更新」をタップする他、メニューからパターンデータを更新できます。

- 1 [🔍] ▶ [セキュリティスキャン]
- 2 [☰] [メニュー] ▶ [パターンデータ更新] ▶ [[はい]] ▶ [[はい]]

- ・パターンデータの更新が必要ないときは「パターンデータは最新です」と表示されます。そのままお使いください。

## ◆ 自動でパターンデータを更新する〈自動更新設定〉

パターンデータの自動更新を「有効」に設定すると、新たな問題が発見された場合、自動的にFOMA端末内のパターンデータを更新するよう設定できます。

- 1 [🔍] ▶ [セキュリティスキャン]
- 2 [☰] [メニュー] ▶ [自動更新設定] ▶ [有効] ▶ [[はい]] ▶ [[はい]]

### ✓お知らせ

- ・パターンデータ更新の際、お客様のFOMA端末固有の情報（機種や製造番号など）が、自動的にサーバー（当社が管理するスキャン機能用サーバー）に送信されます。当社は送信された情報を、スキャン機能以外の目的には利用いたしません。
- ・FOMA端末の日付（年月日）を正しく設定しておいてください。
- ・次の場合はパターンデータを更新できません。
  - 圏外にいる
  - セルフモード中
  - FOMAカードが未挿入
  - 時計を設定していない
  - ActiveSync接続中
  - FOMAパケット通信接続中

- ・パターンデータの更新に失敗した場合、タイトルバーに🔍が表示されますので、パターンデータの更新をやり直してください。

## ◆ パターンデータのバージョンを確認する〈バージョン表示〉

- 1 [🔍] ▶ [セキュリティスキャン]
- 2 [☰] ▶ [バージョン表示]



バージョン表示画面

## プログラムをインストールする

お買い上げの後にプログラムをインストールしたり、インストールしたプログラムを削除したりできます。

## ◆プログラムをインストールする

パソコンと同期してFOMA端末にコピーしたプログラムや、microSDカードにコピーしたプログラム、インターネットでダウンロードしたプログラムをインストールします。

- .exeや.cabファイルをFOMA端末に展開することでインストールできます。詳しいインストール方法は、プログラムの提供者の説明に従ってください。

インストールしたプログラムが自動的にパケット通信を行う場合があります。パケット通信の接続が開始された場合は、パケット通信回線を切断する(→P94)か、タイムアウトにならない限り、接続されたままとまりますのでご注意ください。

### ✓お知らせ

- プログラムのインストールは安全であることを確認の上、自己責任において実施してください。ウイルスへの感染や各種データの破壊などが発生する場合があります。
- 万が一、お客様がインストールを行ったプログラムなどにより各種動作不良が生じた場合、当社では責任を負いかねます。この場合、保証期間内であっても有償修理となります。
- お客様がインストールを行ったプログラムなどにより自己または第三者へ不利益が生じた場合、当社では責任を負いかねます。

## ◆プログラムを削除する〈プログラムの削除〉

FOMA端末にインストールしたプログラムを削除します。

- お買い上げの後にインストールしたプログラムが削除できます。

1  ▶ [設定] ▶ [システム] ▶ [プログラムの削除] ▶ 削除するプログラムにカーソルを合わせる ▶ [削除] ▶ [はい] ▶  [OK]

### ✓お知らせ

- 削除方法の詳細については、プログラム開発元にお問い合わせください。

## メモリ使用量を確認する

FOMA端末およびFOMA端末に取り付けた外部メディア（microSDカード）のメモリ使用状況を確認できます。

### ◆FOMA端末のメモリ空き容量を確認する

FOMA端末のデータ記憶用メモリとプログラム実行用メモリの使用状況を確認できます。

- FOMA端末の動作が遅くなったり、プログラムの動作が不安定になったりした場合は、実行中のプログラムを終了するなどして、プログラムの実行用メモリの空き容量を確保してください。
- データ記憶用のメモリの空き容量が極度に低下すると、連絡先などへの登録や、ファイルやフォルダーの操作ができなくなることがあります。不要なファイルを削除してください。

1  ▶ [設定] ▶ [システム] ▶ [メモリ] ▶ [メイン] タブ

### ✓お知らせ

- メモリ画面下部に表示されている「サイズの大きいファイルを検索できません。」の「検索」をタップし、検索画面で「検索」をタップすると、64KBより大きいファイルの一覧が表示されます。

### ◆外部メディアのメモリ空き容量を確認する

FOMA端末に取り付けた外部メディア（microSDカード）のメモリ使用状況を確認できます。

1  ▶ [設定] ▶ [システム] ▶ [メモリ] ▶ [メモリカード] タブ

- 外部メディア（microSDカード）は、「storage Card」として表示されます。

## ◆メモリの空き容量を増やす

以下の方法で利用可能なメモリの空き容量を増やすことができます。

- 現在使用していないプログラムを終了する→P129
- Internet Explorer Mobileの一時ファイルや履歴を削除する→P94
- 不要なファイルを削除する→P115
- 使用していないプログラムを削除する→P128

### タスクマネージャー

## プログラムを切り替える／終了する

タスクマネージャーを起動して、実行中のプログラムを確認したり、切り替えたり、終了させることができます。

起動したプログラムは、終了させるまで起動したままになっています。実行中のプログラムが多くなるとメモリ不足になり、FOMA端末の動作が遅くなります。使っていないプログラムは、タスクマネージャーを使って終了させてください。

## ◆プログラムを切り替える

- 1  ▶ [タスク マネージャー]  
実行中のプログラムの一覧が表示されます。
- 2 切り替えたいプログラムを選択する
- 3  ▶ [メニュー] ▶ [切り替え]

## ◆プログラムを終了する

- 1  ▶ [タスク マネージャー]  
実行中のプログラムの一覧が表示されます。
- 2 終了したいプログラムを選択し、 [終了]  
■ 実行中のすべてのプログラムを終了する場合  
実行中のプログラム一覧画面で、 [メニュー] ▶ [すべてのタスクの終了] ▶ [はい] をタップします。

### バージョン情報

## バージョン情報を確認する

お使いのFOMA端末に組み込まれているOSのバージョン情報を確認できます。

- Windows Mobileの現在のバージョンを確認できます。

- 1  ▶ [設定] ▶ [システム] ▶ [バージョン情報] ▶ [バージョン] タブ

## カスタマー フィードバックについて

ソフトウェアの改善に役立てるため、マイクロソフト社にソフトウェア使用状況に関する匿名情報を提供するかどうかを設定します。

- 1  ▶ [設定] ▶ [システム] ▶ [カスタマー フィードバック]
- 2 [フィードバックを送信する (推奨)] または [フィードバックを送信しない] をタップする
- 3  [OK]

### ✓お知らせ

- フィードバック情報は、ActiveSyncまたはWindows Mobileデバイスセンターでパソコンと同期中、またはWLAN接続中に送信されるため、データ料金はかかりません。

## エラー報告について

エラー報告を有効にすると、プログラムエラーが発生したとき、マイクロソフト社のテクニカルサポートセンターに匿名でエラー情報を送信します。

- 1  ▶ [設定] ▶ [システム] ▶ [エラー報告]
- 2 [エラー報告を有効にする (推奨)] または [エラー報告を無効にする] をタップする
- 3  [OK]

## FOMA端末を強制終了する

データが正常に表示されなかったり、タップやキー操作が正しく動かない場合は、強制終了操作を試してみてください。強制終了操作を行うと編集中のデータは失われますが、保存したデータは失われません。

- 1  (10秒以上)

### ✓お知らせ

- 電子メール受信後、数分以内にFOMA端末を強制終了すると、受信したメールがFOMA端末に保存されることがあります。その場合は、再度メール受信を行ってください。→P83
- 各種プログラムのインストールや設定変更の直後にFOMA端末の強制終了をすると、プログラムのインストールや設定変更がされないことがあります。その場合は再度プログラムのインストールや設定変更を行ってください。

## 自動時刻補正設定

### 自動で時刻を設定する

ドコモのネットワーク経由で受信される時刻情報をもとに、時刻を自動補正します。

- 1  ▶ [設定] ▶ [システム] ▶ [端末設定] ▶ [自動時刻補正設定] ▶ [オン] ▶  [完了]

### ✓お知らせ

- 「オン」にすると、電源を入れたときなどに時刻を補正します。ただし、FOMAカードを取り付けていない場合や電波状態によっては、補正されません。
- 「オフ」にすると、次の機能を正しくご利用になれない場合があります。
  - SSL/TLS通信 (認証)
  - ユーザー証明書の操作
  - アラーム、予定表 (データの送受信や予定表データの表示含む)
  - 送信メール、未送信メール、メール送信履歴の日時
  - ダウンロードしたデータやファイルの保存日時
  - 通話履歴、伝言メモ/音声メモ
  - 静止画や動画、音声ファイル、スキャナで読み取ったデータのファイル名日時

## パワー マネージメント

### パワー マネージメント

指定された時間により画面の電源を切りバッテリーの消費を抑えます。

- 1  ▶ [設定] ▶ [パワー マネージメント] ▶ [詳細設定] タブ ▶ 各項目を設定 ▶  [OK]

バッテリー使用時：チェックにより設定を有効にします。

使用されなくなってから画面の電源を切るまでの時間：1分、2分、3分、4分、5分

外部電源使用時：チェックにより設定を有効にします。  
使用されなくなってから画面の電源を切るまでの時間：1分、2分、5分、10分、15分、30分

### ✓お知らせ

- ディスプレイが消灯しているときに、いずれかのキーを押すとディスプレイは点灯します。このとき、以外のキー操作は無効です。を押してディスプレイを点灯させると、通話が切れたり、ポケット通信が切断したりしますので、ご注意ください。

## バックライト

### バックライト

指定された時間により画面のバックライトを切りバッテリーの消費を抑えます。

- 1  ▶ **[設定]** ▶ **[システム]** ▶ **[バックライト]** ▶ **[バッテリー]** タブ ▶ **各項目を設定** ▶ **[外部電源]** タブ ▶ **各項目を設定** ▶  **[OK]**

#### [バッテリー] タブ

バックライトを消すまでのアイドル時間：チェックにより設定を有効にします。

10秒、30秒、1分、2分、3分、4分、5分

ボタンを押したときまたは画面をタップしたときにバックライトをつける：チェックにより設定を有効にします。

#### [外部電源] タブ

バックライトを消すまでのアイドル時間：チェックにより設定を有効にします。

1分、2分、3分、4分、5分、6分、7分、8分、9分、10分

ボタンを押したときまたは画面をタップしたときにバックライトをつける：チェックにより設定を有効にします。

## FOMA端末をリポート（再起動）する

データが正常に表示されないときや、タップやキー操作が正しく働かない場合は、リポート動作で正常な状態に戻ることがあります。リポート動作を行うと編集中のデータは失われますが、保存したデータは失われません。

- 1  ▶ **[設定]** ▶ **[システム]** ▶ **[リセット]** ▶ **[リポート]** ▶ **[はい]**

FOMA端末がリポート（再起動）します。

## データ一括削除

### 登録データを一括して削除する

FOMA端末に保存、登録、設定したデータを一括して削除します。

- 社内のWLAN環境でお使いの場合は、設定の内容が消去されます。本機能を実行する前にネットワーク管理者にお問い合わせください。
- データ一括削除の対象となる機能は、お買い上げ時の状態に戻ります。
- 次に示す機能の設定・登録・保存内容は削除されるか、またはお買い上げ時の状態に戻ります。

項目		
メール	Internet Explorer	スピードダイヤル
通話履歴	伝言メモ	音声メモ
ボイスメモ	連絡先	ActiveSync
仕事	予定表	Messenger
Windows Live	Windows Media player 10 Mobile	電卓
ソリティア	セキュリティスキャン	タスクマネージャー
エクスプローラー	プログラムの削除	画像とビデオ
バックライト	ホーム画面	公共モード (ドライブモード)

項目		
セルフモード	端末ロック	端末ロックの設定
遠隔ダイヤルロック	証明書	暗号化
発着信・通話設定 (項目内のすべての設定)	通話中の着信動作選択	USSD登録
応答メッセージ登録	OFFICEED (「エリア表示設定」のみ)	時計とアラーム (項目内のすべての設定)
ビーム	Bluetooth	バケット接続設定
VPN	PCへのUSB接続	USBモード切替
SMS設定 (「有効期間」のみ)	メール自動受信設定	通話料金上限通知
前回通話時間	積算通話時間	パワーマネージメント
表示設定	オーナー情報	自局番号表示 (自局電話番号を除く)
単語登録	変換学習データ	FOMA端末に保存した 各種データ
作成したフォルダー スキャナ	変更したフォルダー名	WLAN環境設定

## 1 ▶ [設定] ▶ [システム] ▶ [リセット] ▶ [データ一括削除] ▶ 認証操作 ▶ [はい]

再起動中にデータが一括削除されます。

- 端末暗証番号 (パスワード) を設定していない場合は、認証操作画面は表示されません。

### ✓お知らせ

- 次のデータは削除されません。また、お買い上げ時の設定に戻せません。  
- FOMAカードやmicroSDカードに保存、登録、設定されているデータ

### • 強制的にデータを一括削除する

万が一、FOMA端末がフリーズするなどそれ以上操作ができなくなった場合、を10秒以上押し続けることにより強制終了させることができます。

再度起動しても状況が改善しない場合には、次の操作により強制的にデータを一括削除して、操作できる状態に戻すことができます。ただし、保存していたデータは削除され、設定内容はお買い上げ時の状態になりますので、ご注意ください。

1. 電源を切る→P46

2. 画面左下に「CLEANBOOT」という文字が表示されるまで 、、の3つのキーを同時に押し続ける

- 「CLEANBOOT」という文字が表示されるまでの時間は約5秒です。

※ 社内などのWLAN環境でお使いの方は、操作する前に必ずネットワーク管理者にご相談ください。

パケット通信を利用する .....	134
インターネット経由で社内LANに接続する .....	VPN 135
WLAN機能を利用する .....	136
Bluetooth機能を利用する .....	138
赤外線通信を利用する .....	141
ドメインへの登録 .....	141
mopera U .....	141

## パケット通信を利用する

### ■ パケット通信とは

送受信したデータ量に応じて課金される通信方法で、少ないデータ量を高速でやりとりする場合に適しています。ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」など、FOMAパケット通信に対応したアクセスポイントを利用することで、受信最大7.2Mbps、送信最大384Kbpsの高速パケット通信ができます。また、FOMAネットワークに接続された社内LANにアクセスし、データの送受信を行うこともできます。

※ 通信環境やネットワークの混雑状況の影響により通信速度が変化する、ベストエフォート方式による提供です。

※ 受信最大7.2Mbps、送信最大384Kbpsは規格上の最大値で、実際の通信速度はネットワークの混み具合や通信環境により異なります。

※ FOMAハイスピードエリア外やHIGH-SPEEDに非対応のアクセスポイントへの接続時は、通信速度が遅くなる場合があります。

### ✓お知らせ

- ActiveSyncモードでパソコンとUSB接続しているときは、パケット通信をご利用になれません。USB接続の設定を通常モードにするか、FOMA端末からFOMA USB接続ケーブル（別売）またはFOMA 充電機能付USB接続ケーブル O2（別売）を外してください。
- データ容量の大きいファイルやデータなどを送受信した場合、通信料が高額になりますので、ご注意ください。定額制サービスのご利用をおすすめします。
- FOMAハイスピードエリア以外では、通信速度が遅くなる場合があります。
- 64Kデータ通信には対応していません。

### ■ mopera Uについて

- 別途お申し込みが必要です。
- インターネット接続サービスのmopera Uにお申し込みいただいたお客様は、FOMA端末ですぐにインターネットをご利用になれます。詳しくは、ドコモのホームページをご覧ください。

## ◆ パケット通信を設定する

アクセスポイント名（APN）やユーザ名、パスワードなど、接続に必要な情報は、ご利用のインターネット事業者またはネットワーク管理者にご確認ください。

### 1 [設定] ▶ [接続] ▶ [接続]

[設定] タブが表示されます。

### 2 [新しいモデム接続の追加] をタップする

### 3 [接続名]、[モデムの選択] を入力し、[次へ]

[モデムの選択] で「回線交換」を選択：PDP-TYPE=PPPでの接続となります。

[モデムの選択] で「HSDPA/3G」を選択：PDP-TYPE=IPでの接続となります。



### 4 ダイヤルする番号またはアクセスポイント名を入力し、[次へ]

### 5 [ユーザー名]、[パスワード]、[ドメイン] を入力し、[完了]

- インターネット事業者またはネットワーク管理者が指定した情報を画面の指示に従って入力してください。

## ◆接続先の設定を編集する

- 1 **[設定]** ▶ **[接続]** ▶ **[接続]** ▶ **[既存の接続を管理]** をタップ
- 2 設定内容を変更する接続先をタップし、**[編集]**
- 3 画面の指示に従って、入力されている情報を修正し、修正が完了したら **[完了]**

## ◆設定した接続先を削除する

- 1 **[設定]** ▶ **[接続]** ▶ **[接続]** ▶ **[既存の接続を管理]** をタップ
- 2 削除する接続先をタップ&ホールド ▶ **[削除]**

## ◆通常使う接続先を設定する

インターネットや電子メールを使用するとき自動的に接続するネットワーク（アクセスポイント）を、通常使う接続先に指定しておきます。

- 1 **[設定]** ▶ **[接続]** ▶ **[接続]** ▶ **[詳細設定]** タブ
- 2 **[ネットワークの選択]** をタップする  
ネットワーク管理画面が表示されます。
- 3 **[インターネットに自動的に接続するプログラムの接続方法]** から接続先を選択する
  - ご利用のインターネット接続プロバイダがmopera Uの場合は、**[mopera U]** を選択します。
- 4 **[編集]** をタップする
- 5 一覧から通常接続するアクセスポイントにチェックを付けて、**[OK]**

## VPN

### インターネット経由で社内LANに接続する

VPN（Virtual Private Network）は、インターネット経由で自宅のパソコンや社内ネットワーク（イントラネット）へ安全にアクセスするための接続方法です。公衆網であるインターネット上に仮想的な専用回線を用意し、暗号化したデータを送受信することで、第三者によるデータの盗聴や改ざんなどを防ぎます。

- ホスト名またはIPアドレス、VPNの種類、ユーザ名、パスワードなど、接続に必要な情報は、ネットワーク管理者にご確認ください。
- インターネットを利用できるように、「パケット通信を設定する」（→ P134）を参照して、あらかじめ接続先の設定を行ってください。

- 1 **[設定]** ▶ **[接続]** ▶ **[接続]**
- 2 **[既定の社内ネットワーク設定]** の **[新しいVPNサーバー接続の追加]** をタップする
- 3 **必要な情報を入力する**
  - 名前（一覧に表示する接続名）、ホスト名/IP、VPNの種類を入力して **[次へ]** をタップし、次画面で必要な情報を入力してください。
  - IPアドレスやDNSサーバーアドレスを手動で入力する場合は、**[詳細設定]** をタップして入力し、**[OK]** を押してください。
- 4 **[完了]**

### ✓お知らせ

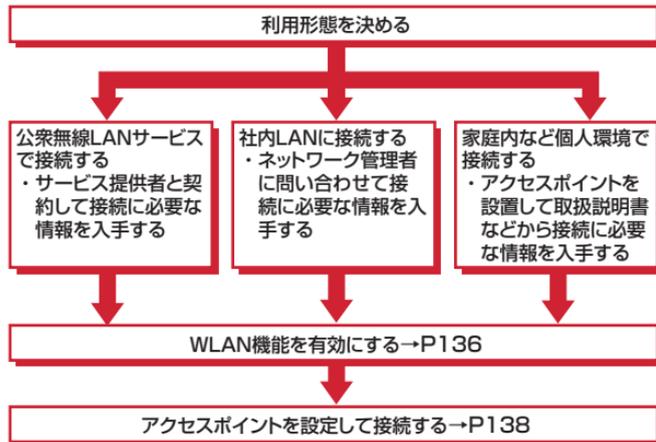
- 「新しいVPNサーバー接続の追加」を行うと、「既定の社内ネットワーク設定」のメニュー項目は、「新しいVPNサーバー接続の追加」がなくなり「VPNサーバーの編集」、「既存の接続を管理」が表示されます。

## WLAN機能を利用する

本FOMA端末のWLAN機能を利用して、自宅や社内ネットワークの無線アクセスポイントに接続できます。また、公衆無線LANサービスのアクセスポイントに接続して、メールやインターネットを利用できます。ドコモ公衆無線LANサービス（有料）にご加入いただくと、空港、駅、ファーストフード店、カフェなどで、無線による最大54Mbps\*の高速インターネットアクセスが可能になります。詳しくはドコモのホームページをご覧ください。

\* 理論値であり、実効速度は通信環境や電波状況、接続する端末の仕様などにより異なります。

### ■ アクセスポイントに接続するまでの流れ



### ■ Bluetooth対応機器との電波干渉について

本FOMA端末の無線LANとBluetooth対応機器は同一周波数帯（2.4GHz）を使用するため、無線LAN機能やBluetooth機能を搭載した機器の近辺で使用すると電波干渉が発生し、通信速度の低下や、雑音や接続不能の原因になる場合があります。この場合、以下の対策を行ってください。

- 無線LAN対応機器とBluetooth対応機器は、10m以上離してください。
- 10m以内で使用する場合は、無線LAN対応機器またはBluetooth対応機器の電源を切ってください。

### ◆ WLAN機能を有効にする

- 1 [設定] ▶ [接続] ▶ [ワイヤレス マネージャー]
- 2 [WLAN] をタップする  
WLAN機能が有効になると、タイトルバーに **W** が表示され、自動で近くの利用可能な無線アクセスポイントを検出します。  
**接続するアクセスポイントが検出されなかった場合**：「アクセスポイントを設定する」（→P137）を参照してください。  
**接続するアクセスポイントが検出された場合**：タイトルバーに **W** が表示され、アクセスポイント（ネットワーク）を自動で検出したことを知らせるメッセージ画面が表示されます。以下の操作でアクセスポイントに接続できます。
- 3 [インターネット設定（またはVPN経由）] または [社内ネットワーク設定] を選択し、**[F1]** [接続]  
• 「複数のネットワークが検出されました」という画面が表示された場合は、ネットワーク（アクセスポイント）を選択して **[F1]** [OK] を押してから、この操作を行います。
- 4 ネットワークキーを入力し、**[F1]** [接続]

## ◆ WLAN機能を無効にする

WLANに接続しないときは、電池の減りを防ぐため、WLAN機能を「オフ」(無効)にしてください。

- 1  ▶ [設定] ▶ [接続] ▶ [ワイヤレス マネージャー]
- 2 [WLAN] をタップして [オフ] を表示させる

### ❖ 自動的にWLAN機能を無効にする

アクセスポイントに未接続のまま一定時間が過ぎると、WLAN機能が無効になるように設定できます。

- 1  ▶ [設定] ▶ [接続] ▶ [WLAN]
- 2  [メニュー] ▶ [詳細設定]
- 3 [次の時間未接続の場合、WLANをオフにする] の一覧からWLANが無効になるまでの時間を選択する
- 4  [OK]

## ◆ アクセスポイントを設定する

[ワイヤレス] タブ画面で、SSID (ネットワーク名) やセキュリティの種類などの接続情報を登録したり、ホーム・アクセスポイントを設定したりできます。

- 接続に必要な情報は、お使いのWLANアクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。社内ネットワークの無線アクセスポイントに接続する場合は、必要な情報をネットワーク管理者にご確認ください。
- お使いのWLANアクセスポイントが、MACアドレスを登録している機器のみと接続するように設定されているときは、FOMA端末のMACアドレスをWLANアクセスポイントに登録してください。MACアドレスは、 ▶ [設定] ▶ [システム] ▶ [情報表示] ▶ [装置情報] 内のWLAN MACアドレスで確認できます。

- 1  ▶ [設定] ▶ [接続] ▶ [WLAN]



[ワイヤレス] タブ設定画面

**アクセスポイントを編集する場合:** [ワイヤレス] タブ画面で設定を変更するアクセスポイントを選択して  ▶ 編集を行い  [次へ] ▶ 編集を行い  [完了]

- 変更内容が保存され、自動的にアクセスポイントへの接続を開始します。

**アクセスポイントを削除する場合:** [ワイヤレス] タブ画面で削除するアクセスポイントを1秒以上タップ ▶ [設定の削除]

- 2  [メニュー] ▶ [新しい設定の追加...]
- 3 ネットワーク名 (SSID) を入力して接続先を選択し、 [次へ]
  - SSIDは最大32文字の半角英数字で入力してください。
- 4 認証の種類と暗号化の種類を選択し、ネットワークキーを入力してキーインデックスを選択し、 [次へ]
- 5 必要に応じて [IEEE 802.1x ネットワークアクセスコントロールを使用] にチェックを付けてEAPの種類を選択し、 [完了]

## ◆ アクセスポイントを指定して接続する

- 1 [ワイヤレス] タブ設定画面 (→P137) で接続するアクセスポイントを選択し、**[F1]** [接続]

タイトルバーにが表示されます。

## ◆ ネットワークアダプタの情報を設定する

WLAN接続に使用するネットワークアダプタの情報 (IPアドレスやDNSサーバーアドレスなど) を設定します。

- 1  ▶ [設定] ▶ [接続] ▶ [WLAN] ▶ [ネットワークアダプ...] タブ
- 2 ネットワークカードの接続先として [インターネット設定] または [社内ネットワーク設定] を選択する
- 3 [tiwlnapi1] をタップする
- 4 [サーバー割り当てのIPアドレスを使用する] または [指定したIPアドレスを使用する] を選択する
  - [指定したIPアドレスを使用する] を選択した場合、ネットワーク管理者が指定したIPアドレスなどを入力します。

## 5 [OK]

### ✓お知らせ

- 操作4で [指定したIPアドレスを使用する] を選択してIPアドレスを入力すると、WLAN機能を無効にしても、パケット通信によるインターネット接続ができなくなる場合があります。その場合、操作4で [サーバー割り当てのIPアドレスを使用する] を選択すると、パケット通信で接続できるようになります。
-  ▶ [設定] ▶ [接続] ▶ [ワイヤレス マネージャー] ▶  [メニュー] ▶ [WLANの設定] でも設定できます。

## ◆ 接続を切断する

- 1 ワイヤレス マネージャー画面で、WLANをオフにします。→P137 [WLAN機能を無効にする]

## Bluetooth機能を利用する

本FOMA端末のBluetooth機能を利用して、近くにあるBluetooth対応機器と無線でデータをやりとりできます。Bluetooth対応イヤホンマイクやワイヤレスヘッドホンと接続すると、ハンズフリーで通話したり、ワイヤレスで音楽を聴いたりできます。

- Bluetoothのプロファイルを確認するには、 ▶ [設定] ▶ [個人] ▶ [Bluetoothアドレス] を参照してください。
- 設定や操作方法については、接続するBluetooth対応機器の取扱説明書もご覧ください。
- すべてのBluetooth対応機器とワイヤレス接続を保証するものではありません。

### ■ Bluetooth機能使用時のご注意

良好な接続を行うために、以下の点にご注意ください。

- 本FOMA端末と他のBluetooth対応機器とは、見通し距離10m以内で接続してください。周囲の環境 (壁、家具など) や建物の構造によっては、接続可能距離が極端に短くなる場合があります。
- 他の機器 (電気製品、AV機器、OA機器など) から2m以上離れて接続してください。特に電子レンジの使用時は影響を受けやすいため、必ず3m以上離してください。近づいていると、他の機器の電源が入っているときに正常に接続できないことがあります。また、テレビやラジオに雑音が入ったり、映像が乱れたりすることがあります。

### ■ 無線LAN対応機器との電波干渉について

本FOMA端末のBluetooth機能と無線LAN対応機器は同一周波数帯(2.4GHz)を使用するため、無線LAN対応機器の近辺で使用すると電波干渉が発生し、通信速度の低下や、雑音や接続不能の原因になる場合があります。この場合、以下の対策を行ってください。

- Bluetooth対応機器と無線LAN対応機器は、10m以上離してください。
- 10m以内で使用する場合は、Bluetooth対応機器または無線LAN対応機器の電源を切ってください。

### ■ Bluetooth機能のモードについて

Bluetooth機能には以下の3種類のモードがあります。

モード	説明
オン	登録されているBluetooth対応機器に接続できます。また、本FOMA端末の通信範囲内にあるBluetooth対応機器を検出できます。
オフ	Bluetooth機能を無効にします。
検出可能	Bluetooth機能がオンのときに実行できるモードで、通信範囲内にあるBluetooth対応機器から本FOMA端末を検出可能な状態にします。

### ■ Bluetoothパスコードについて

Bluetoothパスコードは、接続するBluetooth対応機器どうしがはじめて通信するとき、相手機器を確認して、お互いに接続を許可するための認証用コードです。送信側と受信側の双方で同一のパスコード(最大16文字の半角英数字)を入力する必要があります。

#### ✓お知らせ

- パスコードの入力が省略される場合があります。

### ◆ Bluetooth機能を有効(オン)にする

1  ▶ [設定] ▶ [Bluetooth] ▶ [モード] タブ

2 [Bluetooth をオンにする] にチェックを付ける

チェックを外すと無効(オフ)になります。  
FOMA端末を検出可能モードにする場合、[このデバイスを他のデバイスからも検出できるようにする] にチェックを付けます。

3  [OK]

#### ✓お知らせ

- Bluetooth通信で接続しないときは、電池の減りを防ぐため、Bluetooth機能をオフにしてください。
- Bluetooth機能のオン/オフ設定は、電源を切っても変更されません。
- Bluetooth機能はFOMA端末の電源を切った状態では使用できません。
- ワイヤレス マネージャーでオン/オフ、または検出可能/オフを切り替えることもできます。→P74

### ◆ パートナーシップを確立する

本FOMA端末と相手機器との間で安全にデータのやりとりが行えるように、パートナーシップを確立します。

- あらかじめ本FOMA端末のBluetooth機能を有効(オン)にしてください。
- 相手機器を本FOMA端末から10m以内に設置してください。

1  ▶ [設定] ▶ [Bluetooth]

2 [デバイス] タブ ▶ [新しいデバイスの追加]

検索に応答した機器が表示されます。

3 一覧から接続する相手機器を選択し、 [次へ]

4 パスコードを入力し、 [次へ]

- 最大16文字の半角英数字で入力してください。

## 5 相手機器でパートナーシップを受け入れる操作を行う

「デバイスが追加されました」画面が表示されます。

- 本FOMA端末で入力したのと同じパスコードを入力してください。

## 6 **[F1]** [完了]

## 7 一覧から相手機器をタップする

「パートナーシップの設定」画面が表示されます。

## 8 使用するサービスにチェックを付けて、**[F2]** [保存]

### ❖ 相手機器からのパートナーシップ要求を受け入れる

## 1 **[🔍]** ▶ [設定] ▶ [Bluetooth] ▶ [モード] タブ

## 2 [このデバイスを他のデバイスからも検出できるようにする] にチェックを付ける

## 3 接続を要求するメッセージ画面が表示されたら [はい] をタップする

## 4 パスコードを入力し、**[F2]** [次へ]

「デバイスが追加されました」画面が表示されます。

## 5 **[F1]** [完了]

## 6 [デバイス] タブをタップし、一覧から相手機器をタップする

「パートナーシップの設定」画面が表示されます。

## 7 使用するサービスにチェックを付けて、**[F2]** [保存]

### ◆ パートナーシップを削除する

## 1 **[🔍]** ▶ [設定] ▶ [Bluetooth] ▶ [デバイス] タブ

## 2 削除する相手機器をタップ&ホールドする ▶ [削除] ▶ [はい]

### ◆ ビームでデータを送受信する

- あらかじめ本FOMA端末のBluetooth機能を有効（オン）にし、検出可能モードにしてください。→P139
- データ受信側の相手機器を本FOMA端末から10m以内に設置してください。

### ❖ ビーム受信を設定する

Bluetooth／赤外線通信で送られてきたデータを、本FOMA端末で受信するように設定します。

## 1 **[🔍]** ▶ [設定] ▶ [接続] ▶ [ビーム]

## 2 [すべての着信ビームを受信する] にチェックを付ける

## 3 **[🔍]** [OK]

### ❖ ビームでデータを受信する

## 1 データの受信を通知するメッセージ画面で**[F1]** [はい]

- メッセージ画面が閉じてしまった場合は、[通知] をタップすると再表示します。

### ✓お知らせ

- ビーム (Bluetooth) で2件以上連続で受信して保存待ち状態になった場合、**[F1]** [すべて...] を押して「すべてを保存」とするか、**[F2]** [すべて...] を押して「すべて破棄」を選択します。

## ◆ビームでデータを送信する

連絡先、予定表、仕事などのデータや、静止画、動画などのファイルを、他のBluetooth対応のパソコンなどに送信できます。

〈例〉連絡先をビームで送信する

- 1 送信する連絡先を選択し、**[F2]**
- 2 **[連絡先の送信]** ▶ **[ビーム]**
- 3 デバイスの一覧から受信側の相手機器をタップする

## 赤外線通信を利用する

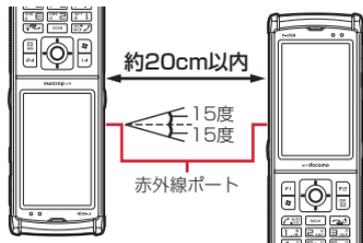
### ■ 赤外線通信を使って送受信する

赤外線通信機能が搭載された他のFOMA端末や携帯電話、パソコンなどとデータの送受信ができます。

- 赤外線通信の受信を行うには、「ビーム受信を設定する」を参照してください。→P140

### ■ 赤外線通信を行うには

- 相手の機器とは、約20cm以内の距離で通信を行ってください。また、データの送受信が終わるまで、本FOMA端末と相手側の赤外線ポートを向かい合わせたまま動かさないでください。
- 赤外線放射角度は中心から15度以内です。



## ✓お知らせ

- 直射日光が当たる場所や蛍光灯の真下などでは、赤外線通信を正常に行えないことがあります。
- 赤外線通信機能は、すべての外部機器との接続性を保証するものではありません。使用する環境や、相手側機器のハードウェアおよびソフトウェア特性などにより、接続できない場合があります。
- 赤外線送信が失敗した場合は、相手の機器で受信操作をやり直してから、本FOMA端末で送信操作を行ってください。

## ドメインへの登録

FOMA端末を会社のドメインに登録して、社内ネットワーク管理者がFOMA端末を管理できるように設定できます。

- 1 **[設定]** ▶ **[接続]** ▶ **[ドメインへの登録]**
- 2 **[登録]** ▶ 画面の指示に従って登録する
  - 登録に必要な情報は、ネットワーク管理者にご確認ください。

## mopera U

mopera Uをご利用いただくために必要な設定内容（ID、パスワード、メールアドレスなど）は、最初は自動的に割り振られます。ご自身の初期設定値をご確認いただき、ご利用しやすいよう設定内容を変更してください。

## ◆ mopera Uの設定内容を変更する

- サイト接続中の画面はイメージです。表示内容など、実際の画面と異なる場合があります。
- WLAN機能およびBluetooth機能を無効（オフ）にしてから、本機能をご利用ください。

1  ▶ **【設定】 ▶ 【接続】 ▶ 【接続】**

2 **【既存の接続を管理】 をタップ**

3 **【mopera U（初期設定）】 をタップ**  **【OK】**

通常利用する接続先が通信料無料の接続先（0120.mopera.ne.jp）に変更されます。

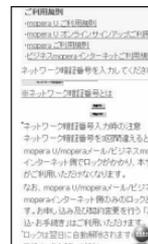


4  ▶ **【Internet Explorer】 ▶ アドレスを入力** 

ブラウザを起動させてアドレスバーにアドレス（http://start.mopera.net/）を入力し、「mopera U初期設定サイト」に接続します。

5 **ネットワーク暗証番号を入力し、【同意する】 をタップする**

- ネットワーク暗証番号の入力を3回間違えるとロックがかかります。解除方法については、ドコモインフォメーションセンターまたはドコモ指定窓口にお問い合わせください。
- はじめて「mopera U初期設定サイト」に接続した場合は、「お知らせメール設定」画面が表示され、ネットワーク暗証番号入力画面は表示されません。「お知らせメール設定」画面に従って操作を行ってください。



ドコモインフォメーションセンター  
ドコモの携帯番号からの場合：（局番なしの）151（無料）  
※ 一般電話などからはご利用になれません。  
一般電話などからの場合： 0120-800-000  
※ 携帯電話、PHSからもご利用になれます。

6 **ユーザID、パスワード、メールアドレスなど、変更する項目の【変更】をタップする**

## 7 変更内容を入力し、[更新] をタップする

- 入力した値に問題が無い場合は、更新された内容が表示されます。



## 8 [OK] をタップする

設定内容の変更が終了します。再度このページに接続しても、次回から設定内容は表示されません。変更した内容はメモしてください。



## 9 [初期設定へ] をタップする

初期設定画面に戻ります。ユーザIDやパスワードなど、個別に設定し直す必要がありますので、変更する項目の回数だけ、変更操作を行ってください。



### ✓お知らせ

- 設定を終えたら、通常使う接続先を元に戻してください。→P135

### ◆ mopera Uをご利用になれないときは

mopera Uをご利用になれない場合は、以下をご確認ください。

状況	対処方法
mopera Uのアクセスポイントに接続できない	再度、ご契約の内容をお確かめください。ご契約内容を確認後、通常使う接続先を設定してください。→P135
mopera Uには接続されているが、インターネットに接続できない	通常利用する接続先が「mopera U（初期設定）」に変更されたままの場合があります。接続先を、通常使う接続先に変更してください。→P135
mopera Uの内容変更途中で電源を切ってしまった	再度、mopera Uの設定内容を変更してください。→P142

状況	対処方法
mopera Uの内容 変更を中断したい	中断するには以下の方法があります。 <ul style="list-style-type: none"><li>• ブラウザを終了する</li><li>• 回線を切断する</li></ul> 中断した場合、通常利用する接続先が「mopera U（初期設定）」に変更されたままです。接続先を、通常使う接続先に変更してください。→P135

## ◆ PPP接続設定を行う

PPP接続でデータ通信を行う場合に設定します。

- mopera Uなどの場合は、設定の必要はありません。

1  ▶ **[設定]** ▶ **[接続]** ▶ **[PPP接続先登録]** ▶  **[メニュー]** ▶ **[追加]** ▶ **[アクセスポイント名 (APN)]** を入力 ▶  **[完了]**

### ✓お知らせ

- 「パケット通信を設定する」において「モデムの選択」で「回線交換」を選択した場合に、PPP接続先登録を行ってください。→P134

文字を入力する（キー操作） .....	146
文字を入力する（文字入力パッド） .....	146
ATOKを設定する .....	ATOK 設定 149

## 文字を入力する（キー操作）

### ◆ キー操作から文字を入力する

1つのキーに複数の文字が割り当ててあり、キーを押して文字を切り替えて入力します。

- 1 文字を入力する位置にカーソルを合わせ、入力する文字キーを押します。
- 2 推測変換候補が表示されるので候補から選択する場合は **Q** を、変換する場合は **Q** を押します。  
候補選択：**Q**を押すと推測変換候補の欄にカーソルが表示されますので、入力する文字列を選択したら **Q** を押し、[閉じる] が選択された状態で **Q** を押してください。  
変換：文字が変換されます。違う文字に変換したい場合は、再度 **Q** か **Q** を押すと、変換一覧が表示されますので、変換する文字列を選択して **Q** を押してください。

### ✓お知らせ

- **Q**：文字入力欄にカーソルがある場合に **Q** を押すと、文字入力モードが切り替わります。
  - **あ**：ひらがなが入力されます。
  - **ア**：半角カタカナが入力されます。
  - **ab**：英小文字が入力されます。
  - **Ab**：1文字目が英大文字、2文字目から英小文字が入力されます。
  - **AB**：英大文字が入力されます。
  - **12**：半角数字が入力されます。
- **BACK**：候補選択の取り消し、文字の削除（入力確定後）
- **≡**：濁点、半濁点の付加や大文字／小文字の切り替えや改行（入力確定後）

## 文字を入力する（文字入力パッド）

文字入力パッド表示アイコンが表示されている画面でアイコンをタップし、表示された文字入力パッドから目的の文字を入力することができます。文字パッドを閉じるときは、再度文字入力パッド表示アイコンをタップします。



### ✓お知らせ

- 文字入力パッドで入力する文字は、文字入力パッドで表示されている文字をタップすることにより入力を行います。タイトルバーに表示されている文字入力モードには依存しません。

## ◆文字入力パッドから文字を入力する

1 文字を入力する位置にカーソルを合わせ、文字入力パッドで入力する文字をタップします。

2 推測変換候補が表示されるので候補から選択する場合は入力する文字列をタップし、変換の場合は【変換】をタップします。

候補選択：【閉じる】をタップしてください。入力する候補が表示されていない場合は、画面をスクロールさせて候補を探してください。

変換：文字が変換されます。違う文字に変換したい場合は、再度【変換】をタップすると変換一覧が表示されますので、変換する文字列をタップし、【閉じる】をタップしてください。

## ◆入力モードを切り替える

入力モードには、以下の6種類があります。

- ひらがな／カタカナ
- ローマ字／かな
- 手書き検索
- 手書き入力
- 定型文
- 文字一覧

## ◆ひらがな／カタカナ方式で入力する

1 文字入力パッド表示アイコンをタップ&ホールドし、【ひらがな／カタカナ】をタップする

2 文字入力パッドで入力する文字をタップする

- ひらがなを入力する場合は【かな】を、カタカナを入力する場合は【カナ】をタップします。
- 小文字を入力する場合は【小字】をタップします。
- 文字を漢字に変換する場合は【変換】をタップし、入力する漢字をタップします。



## ◆ローマ字／かな方式で入力する

1 文字入力パッド表示アイコンをタップ&ホールドし、【ローマ字／かな】をタップする

2 文字入力パッドで入力する文字をタップする

- ひらがなを入力する場合は【かな】を、カタカナを入力する場合は【カナ】をタップします。
- 文字を漢字に変換する場合は【変換】をタップし、入力する漢字をタップします。



## ◆ 手書き検索を使って入力する

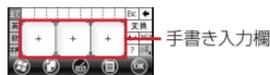
手書き入力で書き込んだ文字の画数が多いなどの理由で、正しく認識されない場合は、手書き検索が便利です。

- 1 文字入力パッド表示アイコンをタップ&ホールドし、[手書き検索]をタップする
- 2 手書き入力欄に文字を書き込む  
書き込んだ文字の認識候補が一覧表示されます。
- 3 候補の中から入力する文字をタップする



## ◆ 手書き入力方式で入力する

- 1 文字入力パッド表示アイコンをタップ&ホールドし、[手書き入力]をタップする
- 2 手書き入力欄に文字を書き込む
  - [全て]をタップすると、ひらがな/カタカナ/英字/数字/記号すべての文字の候補が表示されます。英字/数字だけを入力する場合は、[英]または[数]をタップします。



## ◆ 定型文を入力する

定型文や顔文字、飾り罫などを入力できます。

- 1 文字入力パッド表示アイコンをタップ&ホールドし、[定型文]をタップする
- 2 カテゴリを選択し、一覧から入力する定型文などをタップする
  - [一覧]をタップすると一覧の表示方法を変更できます。
  - [編集]をタップすると「定型文編集ツール」が表示され、定型文の追加/変更/削除ができます。



## ◆ 文字一覧から入力する

文字コード表から文字や記号を入力できます。

- 1 文字入力パッド表示アイコンをタップ&ホールドし、[文字一覧]をタップする
- 2 [シフトJIS]または[Unicode]を選択する
- 3 文字カテゴリを選択し、一覧から入力する文字をタップする



## ATOKを設定する

1  ▶ [設定] ▶ [システム] ▶ [ATOK設定]

2 [プロパティ...] をタップする

## ◆ 後変換候補を設定する

[Space/変換] をタップして変換したときの候補の一覧に、全角カタカナや半角カタカナなど、変換した文字を追加するかしないかの設定ができます。

1  ▶ [設定] ▶ [システム] ▶ [ATOK設定] ▶ [プロパティ...] ▶ [入力・変換] タブ

2 各後変換候補のチェックを付ける、またはチェックを外す

半角カタカナの場合



半角カタカナの変換候補が表示されます。

半角カタカナの場合



半角カタカナの変換候補は表示されません。

3  [OK]

## ◆ 変換辞書による文字変換

推測変換を有効にすると、文字を入力することに候補の絞り込みができます。また、横画面/縦画面ごとに候補提示行数を変更できます。



## ◆ 推測変換の設定を無効にする

1  ▶ [設定] ▶ [システム] ▶ [ATOK設定] ▶ [プロパティ...] ▶ [推測変換] タブ

2 [推測変換を有効にする] のチェックを外し、 [OK]

## ◆ よく使う単語をあらかじめ登録する〈単語登録〉

よく使う単語をあらかじめユーザー辞書に登録しておく、その読みを入力して変換したときに優先して表示するようにできます。

## ❖ 新しい単語を登録する

- 1  ▶ [設定] ▶ [システム] ▶ [ATOK設定] ▶ [プロパティ...] ▶ [学習] タブ
- 2 [登録単語の編集...] ▶  [編集] ▶ [登録...]  
単語登録画面が表示されます。
- 3 [単語] に登録する単語を入力する  
入力できる文字数は全角25文字、または、半角50文字までです。
- 4 [読み] に読みかたを入力する  
入力できる文字数は全角、半角ともに16文字までです。
- 5 [品詞] を選択し、[OK] をタップする



## ❖ 登録した単語を削除する

- 1  ▶ [設定] ▶ [システム] ▶ [ATOK設定] ▶ [プロパティ...] ▶ [学習] タブ ▶ [登録単語の編集...]
- 2 削除する単語を選択する
- 3  [編集] ▶ [削除] ▶ [はい]  
選択した単語が単語一覧から削除されます。

## ◆ 使用する辞書を設定する

FOMA端末にインストールされている辞書を、文字の変換時に使用する辞書として設定できます。

- 1  ▶ [設定] ▶ [システム] ▶ [ATOK設定] ▶ [プロパティ...] ▶ [辞書] タブ
- 2 [基本辞書] または [補助辞書] 一覧で使用する辞書にチェックを付ける
- 3  [OK]

## ◆ 学習した内容をリセットする (学習データのリセット)

学習データは、一度入力した文字列を自動的に記憶し、変換時の候補として表示されます。学習データをリセットすると、学習内容が消去され、お買い上げ時の状態に戻ります。

- 1  ▶ [設定] ▶ [システム] ▶ [ATOK設定] ▶ [プロパティ...] ▶ [学習] タブ
- 2 [学習データのリセット] ▶ [はい]  
学習データがお買い上げ時の状態に戻ります。

# ネットワークサービス

利用できるネットワークサービス .....	152
留守番電話サービス .....	152
キャッチホン .....	154
転送でんわサービス .....	154
迷惑電話ストップサービス .....	155
番号通知お願いサービス .....	156
OFFICEED .....	156
通話中着信設定 .....	通話中着信設定 156
電話中に電話がかかってきたときの対応方法を選択する .....	通話中の着信動作選択 157
遠隔操作を設定する .....	遠隔操作設定 157
デュアルネットワークサービス .....	デュアルネットワークサービス 157
ガイドンスを日本語と英語で切り替える .....	英語ガイドンス 158
ドコモへのお問い合わせ .....	158
サービスを登録して利用する .....	USSD登録 159

## 利用できるネットワークサービス

本FOMA端末では、以下のドコモのネットワークサービスをご利用いただけます。

- ネットワークサービスについて詳しくは、『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』をご覧ください。

サービス名	月額使用料	お申し込み	参照先
留守番電話サービス	有料	必要	P152
キャッチホン	有料	必要	P154
転送でんわサービス	無料	必要	P154
迷惑電話ストップサービス	無料	不要	P155
番号通知お願いサービス	無料	不要	P156
発信者番号通知	無料	不要	P47
公共モード（ドライブモード）	無料	不要	P55
公共モード（電源OFF）	無料	不要	P56
OFFICEED	有料	必要	P156
通話中着信設定	無料	不要	P156
通話中の着信動作選択	無料	不要	P157
遠隔操作設定	無料	不要	P157
デュアルネットワーク	有料	必要	P157
英語ガイダンス	無料	不要	P158
サービスダイヤル	無料	不要	P158
USSD登録	無料	不要	P159

### ✓お知らせ

- サービスエリア外や電波の届かない場所では、ネットワークサービスの設定はできません。
- お申し込み方法については、ドコモ指定の窓口までお問い合わせください。

- 本書では、各ネットワークサービスの概要を、FOMA端末のメニューを使って操作する方法で説明しています。

## 留守番電話サービス

FOMAの電波が届かない場所にいるとき、電源が入っていないとき、設定した呼出時間内に応答しなかったときなどに、電話をかけてきた相手に応答メッセージでお答えし、お客様に代わって伝言メッセージをお預かりするサービスです。

- 留守番電話サービスの対象は、FOMAの電話番号にかかってきた電話のみです。
- 伝言メモを同時に設定しているとき、留守番電話サービスを優先させるためには、伝言メモの応答時間よりも留守番電話サービスの呼出時間を短く設定してください。
- 留守番電話サービスが開始のときに、かかってきた電話に応答しなかった場合は、不在着信として記録されます。
- 伝言メッセージは1件あたり3分間、20件まで録音でき、最大72時間保存されます。
- 本FOMA端末では、伝言メッセージが録音されると、送信元に「留守番電話システム」、本文に「VM:XX」（Xは伝言メッセージの件数）と入力された通知SMSを受信します。
  - ※ 受信したSMSを削除しても、伝言メッセージは削除されません。
  - ※ お客様ご自身の操作により留守番電話サービスセンターの伝言メッセージを確認、保存、または削除した場合も、自動的にSMSが届きます。
- 「着信通知開始」設定をオンにしている状態で留守番電話サービスを利用すると、送信元に「DoCoMo SMS」、本文に着信の日時と電話番号が入力された着信通知SMSを受信します。電話番号は発信番号をそのまま表示します。

## ◆ 留守番電話サービスの基本的な流れ

ステップ1：サービスを開始に設定する

ステップ2：電話をかけてきた相手が伝言を録音する

ステップ3：伝言メッセージを再生する

### 1 [設定] ▶ [個人] ▶ [NWサービス] ▶ [留守番電話] ▶ メニュー項目を選択して操作する

メニュー項目	機能と操作
留守番電話サービス開始	▶ [F1] [はい] ▶ [F1] [はい] ▶ 呼出時間を入力 ▶ [F1] [OK] • 呼出時間を「0秒」に設定すると、通話履歴には記録されません。
留守番呼出時間設定	▶ 呼出時間を入力 ▶ [F1] [OK] • 呼出時間を「0秒」に設定すると、通話履歴には記録されません。
留守番サービス停止	▶ [F1] [はい]
留守番設定確認	現在の留守番電話サービスの設定を確認します。 • 留守番設定確認画面で、[F2] [メニュー] を押して設定を変更できます。
留守番メッセージ再生	▶ [F1] [はい] ▶ 音声ガイダンスに従って操作する • ホーム画面で表示される件数は新しい伝言メッセージを再生するときにガイダンスで案内される件数です。保存した伝言メッセージの件数は含まれません。
留守番サービス設定	音声ガイダンスを聞きながら、留守番電話サービスを設定します。 ▶ [F1] [はい] ▶ 音声ガイダンスに従って操作する
メッセージ問合せ	伝言メッセージがあるかどうかを確認します。

メニュー項目	機能と操作
着信通知開始	FOMA端末の電源が入っていないときやFOMA圏外有的时候に着信があった場合、再び電源が入ったときや圏内になったときに、着信があったことをSMSで通知します。 ▶ [F1] [はい] ▶ [F1] [はい] または [F2] [いいえ] • [F1] [はい] を押すと、発信者番号通知の着信のみ通知します。 • [F2] [いいえ] を押すと、すべての着信を通知します。
着信通知停止	▶ [F1] [はい]
着信通知開始設定確認	現在の着信通知の設定を確認します。
表示消去	表示件数を消します。 ▶ [F1] [はい]

### ✓お知らせ

- メッセージ問合せを行うと通知SMSを受信し、ホーム画面に件数が表示されます。伝言メッセージ（保存した伝言メッセージを除く）がある場合も表示されます。

## キャッチホン

電話の通話中に別の電話がかかってきたときに、通話中着信音でお知らせし、現在の電話を保留にして新しい電話に出ることができます。また、通話中の電話を保留にして、別の相手へ電話をかけることもできます。

- キャッチホンの対象は、FOMAの電話番号にかかってきた電話のみです。
- キャッチホンを利用する場合は、あらかじめ通話中の着信動作選択を「通常着信」にしてください。他の設定になっている場合は、キャッチホンを開始しても通話中にかかってきた電話に応答することはできません。
- 通話中にかかってきた別の電話に出るときは、次の操作を行います。  
☞ または [F1]：現在の通話を保留にし、かかってきた電話に応答する  
☞：現在の通話が切断される。☞ または [F1] を押し電話に応答する
- キャッチホン中は、☞ を押すまたは「切り替え」をタップするたびに通話相手を切り替えられます。
- 通話中に別の相手に電話をかける場合は、ダイヤルキーを押して電話番号を入力し、☞ を押します。

☞ ▶ [設定] ▶ [個人] ▶ [NWサービス] ▶ [キャッチホン] ▶ メニュー項目を選択して操作する

メニュー項目	機能と操作
キャッチホンサービス開始	▶ [F1] [はい]
キャッチホンサービス停止	▶ [F1] [はい]
キャッチホンサービス設定確認	現在の設定を確認します。

## 転送でんわサービス

FOMAの電波が届かない場所にいるとき、電源が入っていないとき、設定した呼出時間内に応答しなかったときなどに、かかってきた電話を転送するサービスです。

- 伝言メモを同時に設定しているとき、転送でんわサービスを優先させるためには、伝言メモの応答時間よりも転送でんわサービスの呼出時間を短く設定してください。
- 転送でんわサービスが開始のときに、かかってきた電話に応答しなかった場合は、不在着信として記録されます。

### ◆ 転送でんわサービスの基本的な流れ

ステップ1：転送でんわサービスを開始に設定する

ステップ2：転送先の電話番号を登録する

ステップ3：お客様のFOMA端末に電話がかかる

ステップ4：電話に出ないと指定した転送先に転送される

☞ ▶ [設定] ▶ [個人] ▶ [NWサービス] ▶ [転送でんわ] ▶ メニュー項目を選択して操作する

メニュー項目	機能と操作
転送サービス開始	▶ [F1] [はい] ▶ [F1] [はい] ▶ 転送先電話番号を入力 ▶ [F1] [OK] ▶ [F1] [はい] ▶ 呼出時間を入力 ▶ [F1] [OK] • 転送先電話番号入力画面で [F2] [メニュー] ▶ [連絡先] を選択すると、連絡先から電話番号を選択できます。 • 呼出時間を「0秒」に設定すると、通話履歴には記録されません。
転送サービス停止	▶ [F1] [はい]

メニュー項目	機能と操作
転送先変更	転送先を変更します。 ▶ 転送先電話番号を入力 ▶ <b>F1</b> [OK] ▶ <b>F1</b> [[はい]] • 転送先電話番号入力画面で <b>F2</b> [メニュー] ▶ [連絡先] を選択すると、連絡先から電話番号を選択できます。
転送先通話中時設定	転送先の電話が通話中などで転送できないときに、留守番電話サービスで応答するように設定します。 ▶ <b>F1</b> [[はい]]
転送サービス設定確認	現在の設定を確認します。

## ◆ 転送ガイダンスの有／無を設定する

- 1 4 2 9 ▶ **F1** ▶ 音声ガイダンスに従って操作する

## 迷惑電話ストップサービス

いたずら電話などの迷惑電話を着信しないように拒否するサービスです。着信拒否登録すると、以後の着信を自動的に拒否し、相手にはガイダンスで応答します。

- 着信拒否登録できる電話番号は、FOMAの電話番号にかかってきた番号のみです。
- 着信拒否登録した電話番号から電話がかかってきても、着信音は鳴りません。通話履歴にも記録されません。

- 1 **F1** ▶ [設定] ▶ [個人] ▶ [NWサービス] ▶ [迷惑電話ストップ] ▶ メニュー項目を選択して操作する

メニュー項目	機能と操作
迷惑電話着信拒否登録	最後に着信応答した電話番号を着信拒否に登録します。 ▶ <b>F1</b> [[はい]] • 通話していない不在着信などは登録の対象になりません。
電話番号指定拒否登録	指定した電話番号を着信拒否に登録します。 ▶ <b>F1</b> [[はい]] ▶ 着信拒否電話番号を入力 ▶ <b>F1</b> [OK] ▶ <b>F1</b> [[はい]] • 着信拒否電話番号入力画面で <b>F2</b> [メニュー] ▶ [連絡先] を選択すると、連絡先から電話番号を選択できます。
迷惑電話全登録削除	▶ <b>F1</b> [[はい]]
迷惑電話1登録削除	最後に登録した電話番号を1件削除します。同様の操作を繰り返し行うことにより、最後に登録した順より1件ずつ削除することができます。 ▶ <b>F1</b> [[はい]]
拒否登録件数確認	現在の登録状態を確認します。

## 番号通知お願いサービス

電話番号を通知してこない電話に対して、番号通知のお願いをガイダンスで応答し、自動的に電話を切るサービスです。

- 番号通知お願いサービスの対象は、FOMAの電話番号にかかってきた電話のみです。
- 番号通知お願いサービスによって着信しなかった電話は、通話履歴に記録されません。

1  ▶ [設定] ▶ [個人] ▶ [NWサービス] ▶ [番号通知お願いサービス] ▶ メニュー項目を選択して操作

メニュー項目	機能と操作
番号通知お願いサービス開始	▶  [はい]
番号通知お願いサービス停止	▶  [はい]
番号通知お願いサービス設定確認	現在の設定を確認します。

## OFFICEED

「OFFICEED」は指定されたIMCS（屋内基地局設備）で提供されるグループ内定額サービスです。

- ご利用には、別途お申し込みが必要です。
- 詳細はドコモの法人向けサイト（<http://www.docomo.biz/html/service/officeed/>）をご確認ください。

1  ▶ [設定] ▶ [個人] ▶ [NWサービス]

2 [次へ...] ▶ [OFFICEED] ▶ メニュー項目を選択して操作する

メニュー項目	機能と操作
エリア表示設定	▶ [オン] または [オフ] ▶  [OK]
圏外転送開始	▶  [はい]
圏外転送停止	▶  [はい]
圏外転送設定確認	▶  [はい] で現在の設定を確認します。

## 通話中着信設定

### 通話中着信設定

通話中の着信動作選択を開始/停止したり、設定内容を確認したりします。

1  ▶ [設定] ▶ [個人] ▶ [NWサービス] ▶ [通話中着信設定] ▶ メニュー項目を選択して 

メニュー項目	機能と操作
通話中着信設定開始	通話中着信設定を開始します。
通話中着信設定停止	通話中着信設定を停止します。
通話中着信設定確認	現在の設定を確認します。

## 通話中の着信動作選択

### 電話中に電話がかかってきたときの対応方法を選択する

キャッチホンをご契約されているお客様の通話中にかかってきた電話にどのように対応するかを設定できます。

- 通話中の着信動作選択を利用する場合は、あらかじめ通話中着信設定を開始にしてください。

#### 1 [設定] ▶ [個人] ▶ [NWサービス] ▶ [通話中の着信動作選択] ▶ 項目を選択 ▶ [F1] [完了]

- 通常着信：キャッチホンが開始のときはキャッチホンが動作し、停止のときは通話中の電話を終了してかかってきた電話に応答する
- 着信拒否：通話中にかかってきた電話の着信を拒否する
- 着信を拒否した場合は、不在着信として記録されます。

## 遠隔操作設定

### 遠隔操作を設定する

留守番電話サービスや転送でんわサービスなどを、プッシュ式の一般電話や公衆電話、ドコモの携帯電話などから操作できるようにします。

#### 1 [設定] ▶ [個人] ▶ [NWサービス] ▶ [遠隔操作設定] ▶ メニュー項目を選択して操作する

メニュー項目	機能と操作
遠隔操作開始	▶ [F1] [[はい]]
遠隔操作停止	▶ [F1] [[はい]]
遠隔操作設定確認	現在の設定を確認します。

## デュアルネットワークサービス

### デュアルネットワークサービス

お使いになっているFOMA端末の電話番号で、mova端末をご利用いただけるサービスです。FOMAとmovaのサービスエリアに応じた使い分けが可能です。

- FOMA端末とmova端末を同時には利用できません。
- デュアルネットワークサービスの切り替え操作は、利用不可状態の端末から行ってください。

#### 1 [設定] ▶ [個人] ▶ [NWサービス] ▶ [次へ...] ▶ [デュアルネットワーク] ▶ メニュー項目を選択して操作する

メニュー項目	機能と操作
デュアルネットワーク切替	mova端末に切り替えていたデュアルネットワークサービスを、FOMA端末に切り替えます。 ▶ [F1] [[はい]] ▶ ネットワーク暗証番号を入力 ▶ [F1] [OK]
デュアルネットワーク状態確認	現在の設定を確認します。

## ガイドンスを日本語と英語で切り替える

留守番電話サービスなどの各種ネットワークサービス設定時のガイドンスや、FOMA圏外などの音声ガイドンスを英語に設定することができます。

- 1 **[設定] ▶ [個人] ▶ [NWサービス] ▶ [次へ...]**  
**▶ [英語ガイドンス] ▶ メニュー項目を選択して操作する**

メニュー項目	機能と操作
ガイドンス設定	発信時と着信時のガイドンス言語の言語を日本語または英語に切り替えます。 <b>発信時の設定</b> ▶ <b>[F1] [はい]</b> ▶ 項目を選択 ▶ <b>[F1] [OK]</b> <b>日本語</b> ：発信時に自分が聞くガイドンスを日本語に設定 <b>英語</b> ：発信時に自分が聞くガイドンスを英語に設定 <b>着信時の設定</b> ▶ <b>[F1] [はい]</b> ▶ 項目を選択 ▶ <b>[F1] [OK]</b> <b>日本語</b> ：着信時に相手が聞くガイドンスを日本語に設定 <b>日本語+英語</b> ：着信時に相手が聞くガイドンスを日本語→英語の順に設定 <b>英語+日本語</b> ：着信時に相手が聞くガイドンスを英語→日本語の順に設定
ガイドンス設定確認	現在の設定を確認します。

### ✓お知らせ

- 発信者と着信者が本サービスを利用している場合、発信者側の発信時の設定が着信者側の設定より優先されます。

## ドコモへのお問い合わせ

ドコモ総合案内・受付や故障の問い合わせ先へ電話をかけることができます。

- お使いのFOMAカードによっては、表示される項目が異なる場合や表示されない場合があります。

- 1 **[設定] ▶ [個人] ▶ [NWサービス] ▶ [次へ...]**  
**▶ [サービスダイヤル] ▶ メニュー項目を選択して操作する**

メニュー項目	機能と操作
ドコモ故障問合せ	ドコモ指定の故障取扱窓口に電話をかけます。 ▶ <b>[F1] [はい]</b>
ドコモ総合案内・受付	ドコモ総合案内・受付に電話をかけます。 ▶ <b>[F1] [はい]</b>

## サービスを登録して利用する

ドコモから新しいネットワークサービスが追加されたときに、そのサービスをメニューに登録して利用します。

- 1 **[設定]** ▶ **[個人]** ▶ **[NWサービス]** ▶ **[次へ...]**  
▶ **[USSD登録]** ▶ **登録する項目を選択して** **[F2]** **[メニュー]** ▶ **[編集]**

**登録したサービスを利用する**：利用するサービスを選択

**登録したサービスを削除する**：削除するサービスを選択して **[F2]** **[メニュー]** ▶ **[1件削除]** または **[全件削除]** ▶ **[はい]**

- 2 **各項目を設定** ▶ **[F1]** **[登録]**

**USSDコード**：ドコモから通知されるサービスコードを入力

- サービスコードとはネットワークサービスの設定などを行うためのコードです。FOMA端末ではUSSDコードとして登録します。

**名称**：名称（サービス名）を入力

- 全角／半角20文字以内で入力します。



# 付録／困ったときには

メニュー一覧 .....	162
マルチアクセスの組み合わせ .....	169
FOMA 端末から利用できるサービス .....	171
オプション品・関連機器のご紹介 .....	171
こんな表示が出たら .....	<b>エラーメッセージ一覧</b> 173
故障かな?と思ったら .....	176
バーコードサンプル .....	178
保証とアフターサービス .....	179
ソフトウェアを更新する .....	<b>ソフトウェア更新</b> 180
主な仕様 .....	182
携帯電話機の比吸収率 (SAR) について .....	183
輸出管理規制 .....	184
知的財産権について .....	184
Windows® phone の製品情報について .....	185

## メニュー一覧

を押して表示されるスタートメニューの一覧から選択できる項目です。

・赤文字は、設定リセットを行うと、お買い上げ時の状態に戻る項目です。

### ■ ホーム

メニュー	お買い上げ時	参照先
ホーム	—	P29

### ■ 電話

メニュー	お買い上げ時	参照先
スピードダイヤル	留守番電話 (1417)	P52
通話履歴	—	P51
通話	—	P50

### ■ SMS

メニュー	お買い上げ時	参照先
SMSメッセージ	SMSメッセージ	P85

### ■ 電子メール

メニュー	お買い上げ時	参照先
電子メールの設定	—	P79

### ■ 連絡先

メニュー	お買い上げ時	参照先
連絡先	—	P60

### ■ Internet Explorer

メニュー	お買い上げ時	参照先
ホームページ	既定のホームページ	P93
履歴	—	P92

### ■ 予定表

メニュー	お買い上げ時	参照先
予定表	—	P64

### ■ 設定

メニュー		お買い上げ時	参照先
Bluetooth	デバイス	—	P139 P140
	モード	Bluetoothをオンにする	無効
		このデバイスを他のデバイスからも検出できるようにする	
	COMポート	—	—
SIM Access	Remote SIM Access	有効	—
時計とアラーム	時刻	タイムゾーン	GMT+9 東京、大阪
		日付	2010/01/01
		時刻	12:00:00
	アラーム	6:00	無効
6:00		無効	
6:00		無効	
	デバイスがサイレントまたはバイブに設定されていてもアラーム音を再生する	無効	

メニュー		お買い上げ時		参照先
ホーム	デザイン	デバイスのテーマを選択	Classic Blue	P110
		この画像を背景に使用する	無効	
	アイテム	アイテム一覧	Windows標準	P111
[Home] 画面の表示		有効 4時間後		
ロック	パスワード	パスワード入力が必要になるまでの時間	無効	P72
		パスワードの種類	数字の簡易パスワード	
		パスワード	空欄	
		確認入力	空欄	
パワーマネージメント	バッテリー		—	—
	詳細設定	バッテリー使用時	有効	P130
		使用されなくなつてから画面の電源を切るまでの時間	1分	
外部電源使用時	有効			
音と通知	サウンド	各種イベント	有効	P110
		プログラム	有効	
		通知	有効	
		画面をタップしたとき	有効/大	
		ボタンを押したとき	有効/大	

メニュー		お買い上げ時		参照先
	通知	イベント	電話：着信通知	P110
		着信/ボタン	標準の着信音	
		着信音	Ring01-WindowsPhone	
		再生/停止	—	
接続	PCへのUSB接続	高度なネットワーク機能を有効にする	有効	P122
		PPP接続先登録	アクセスポイント/電話番号	空欄
	SMS設定	有効期間	3日	—
		SMSメッセージセンター	空欄	—
	USBモード切替	USB動作モード	通常モード	P122
	WLAN	ワイヤレス	空欄	P136
		ネットワークアダプタ	ネットワークカードの接続先：社内ネットワーク設定 アダプターをタップして設定を変更します：tiwlnapi1	P138
	ドメインへの登録		—	P141
	ビーム	すべての着信ビームを受信する	無効	P140
	メール自動受信設定	メールアドレス	空欄	P80
SMSによるメール自動受信を行う		無効		
ワイヤレス マネージャー	すべて	—	P74	
	WLAN	オフ		
	Bluetooth	オフ		
	電話	オン		
接続	設定	—	P134	
	詳細設定	—	P135	
発着信・通話設定	発着信なし動作	非通知設定：許可 公衆電話：許可 通知不可能：許可	P57	
	通話保留音設定	通話保留音設定：ENTERTAINER	—	

メニュー	お買い上げ時	参照先
エニーキーアンサー設定	着信応答に全てのキーを使用する：無効	—
連絡先登録外着信拒否	連絡先登録外着信拒否：オフ	P57
通話詳細設定	ノイズキャンセラ：オン 通話品質アラーム：アラームオフ 再接続アラーム：アラームオフ	—
伝言メモ設定	伝言メモ：オフ 応答時間設定：13	P58
呼出時間表示設定	呼出開始時間（秒）：オフ 時間内不在着信表示：表示しない	P58
イヤホン	着信音出力先：イヤホンのみ イヤホンスイッチ設定：オフ	—
発着信詳細設定：プレフィックス設定	プレフィックス1の番号：184 プレフィックス2の番号：186 プレフィックス3の番号：009130010 プレフィックス4～：空欄	—
発着信詳細設定：国際ダイヤル設定	自動付加設定：自動付加する 国際電話設定：国際ダイヤル1 国際ダイヤル1 名称：World Call 国際ダイヤル1 番号：009130010 国際ダイヤル2 名称：空欄 国際ダイヤル2 番号：空欄 国際ダイヤル3 名称：空欄 国際ダイヤル3 番号：空欄	—
発着信詳細設定：サブアドレス設定	サブアドレス設定：オン	—

メニュー	お買い上げ時	参照先		
個人	Bluetoothアドレス	機器名称	F05B	—
		ビーム受信に認証（パスコード）が必要	無効	
		Bluetoothアドレス	Bluetoothをオンにしてください	
		対応プロファイル	OPP/SPP/DUN/HSP/HFP A2DP/AVRCP/HID/GAP/GOEP/PBAP	
	NWサービス	留守番電話	留守番呼出時間設定：10	P152
		キャッチホン	—	P154
		転送でんわ	—	P154
		発信者番号通知	通知しない	P47
		番号通知お願ひサービス	—	P156
		通話中着信設定	通話中の着信動作選択：通常着信	P156
		通話中の着信動作選択	—	P157
		迷惑電話ストップ	—	P155
		遠隔操作設定	—	P157
		デュアルネットワーク	—	P157
英語ガイドダンス	—	P158		
サービスダイヤル	—	P158		
応答メッセージ登録	—	—		
USSD登録	—	P159		
OFFICEED	エリア表示設定：オフ	P156		
オーナー情報	オーナー情報	名前：空欄 勤務先：空欄 住所：空欄 電話番号：空欄 電子メール：空欄	P48	
	メモ	メモ：空欄	—	

メニュー		お買い上げ時	参照先
ボタン	プログラムボタン	1. ボタンの選択 Windows: <スタートメニュー> OK/mail: <OK/閉じる TRG-L: <なし> TRG-R: <なし>	—
		2. プログラムの割り当て <スタートメニュー>	—
	上/下コントロール	—	—
	連絡先登録件数	—	—
電話	サウンド	着信パターン: 標準の着信音 着信音: Ring01-WindowsPhone キーボード: 操作音 (短)	P56
	セキュリティ	暗証番号 (PIN) のセキュリティ: 電話使用時に暗証番号 (PIN) 要求: 無効 暗証番号の変更: — 暗証番号2の変更: —	P71
	サービス	—	—
	ネットワーク	ネットワークの選択: 自動	—
システム	ATOK設定	変換・変換タブ 変換候補の追加: — 全角カタカナ: 有効 全角無変換: 有効 半角カタカナ: 有効 半角無変換: 有効 候補ウィンドウに文字種情報を表示する: 有効	P149
		推測変換タブ 推測変換を有効にする: 有効 横画面タブ: — 未入力時は候補提示しない: 無効 候補提示行数: 2 縦画面タブ: — 未入力時は候補提示しない: 無効 候補提示行数: 3	P149
	学習タブ	学習: する/しない: する [学習データのリセット]: — [単語登録の編集...]: 初期データなし	P149

メニュー		お買い上げ時	参照先	
メニュー	辞書タブ	基本辞書タブ 拡張辞書: — 単漢字辞書: 無効 補助辞書タブ 補助辞書: — 文例辞書: 有効	P150	
		バージョン情報	—	
	エラー報告	エラー報告を有効にする (推奨)	P130	
	カスタマーフィードバック	フィードバックを送信しない	P129	
	スキャナ	バーコード	NW-7: 有効 Code39: 有効 ITF: 有効 JAN/EAN/UPC: 有効 Code128: 有効 EAN128: 有効 Code93: 有効 DataMatrix: 有効 MaxiCode: 有効 PDF417: 有効 QR-Code: 有効 カスタマバーコード: 有効 GS1 DataBar: 無効 Composite: 無効	—
			動作	コードマークを付加する: 有効 デコード時間: 500 トリガタイムアウト: 3000 読み取り範囲 縦: 80% 横: 100% 中心読みを行う: 有効 タイム優先モードを使用する: 無効 ミラーイメージラベルを読む: 無効 読み取り座標出力: 出力しない
		コード変換	コントロールコード [Hex]: 01 任意キャラクタ: 空欄 HEX: 無効	—
		複数読み取り	複数読み取り数: 1 読み取りデータ出力順序: 無効	—
	カメラ	AGCなど自動にする: 有効 シャッタースピード: 1/125 AGC (11-240): 90 ストロボの種類: OFF (可変)	—	

メニュー		お買い上げ時	参照先
タスクマネージャー		—	P129
バックライト	バッテリー	バックライトを消すまでのアイドル時間：有効／10秒 ボタンを押したときまたは画面をタップしたときにバックライトをつける：有効	P131
	外部電源	バックライトを消すまでのアイドル時間：有効／1分 ボタンを押したときまたは画面をタップしたときにバックライトをつける：有効	
バージョン情報	バージョン	Windows Mobile 6.5 Professional	P129
	デバイスID	デバイス名：F05B 説明：空欄	—
	著作権	—	—
プログラムの削除		—	P128
メモリ	メイン	—	P128
	メモ리카ード	—	P128
リセット	リポート	—	P131
	データ一括削除	—	P131
地域	地域	日本語（日本）	—
	数値	小数点の記号：. 小数点以下の桁数：2 桁区切り記号：. 区切る桁数：3 区切り記号：. 負の符号：- 負の値の形式：-1.1 0の表示：0.7 単位：センチ	—
	通貨	通貨記号：¥ 通貨記号の位置：¥1.1 小数点の位置：. 小数点以下の桁数：0 桁区切り記号：. 区切る桁数：3 負の値の形式：-¥1.1	—

メニュー		お買い上げ時	参照先
	時刻	時刻の形式：H:mm:ss 区切り記号：: 午前の記号：午前 午後の記号：午後	—
	日付	短い形式：yy/MM/dd 区切り記号：/ 長い形式：yyyy年M月d日 カレンダーの種類：西暦（日本）	—
情報表示	通話料金：通話料金表示	—	—
	通話料金：積算通話料金表示	—	—
	通話料金：通話料金上限通知	通知設定：オフ 料金上限：空欄 アラーム時間：10	—
	前回通話時間	—	—
	積算通話時間	—	—
	装置情報	—	—
暗号化	メモ리카ード内のファイルを暗号化する	無効	P117
画面	全般	画面の補正：—	P111
	文字サイズ	文字サイズの調整：最小を1として2/5段階目	
端末設定	自動時刻補正設定	自動時刻補正：オン	P130
	バックライト輝度	ディスプレイの明るさ：自動	—
	キーバックライト	キーバックライト：自動	—
	遠隔ダイヤルロック	遠隔ダイヤルロック：オフ 監視時間（分）：3 着信回数：5 許可番号1：なし 許可番号2：なし 許可番号3：なし	P73
	マナーモード	オフ	—
	公共モード（ドライブモード）	オフ	—

メニュー		お買い上げ時	参照先
	セルフモード	オフ	—
管理プログラム		—	—
自動電源設定	自動電源オフ	自動電源オフ：オフ 時刻：8:00 繰り返し：オフ	—
	自動電源オン	自動電源オン：オフ 時刻：8:00 繰り返し：オフ	—
証明書	個人	—	P74
	中間	—	
	ルート	証明書30点	
Microsoft My Phone		—	—

## ■ お使いになる前に

メニュー	お買い上げ時	参照先
電話をかける	—	P50
日付と時刻の設定	—	P46
電子メールの設定	—	P79
デバイスのパスワードの設定	—	P72
Bluetoothヘッドセットの設定	—	—
PCとの同期の設定	—	P118
背景の設定	—	P110
着信音の設定	—	P110
音楽の転送	—	—
オンラインヘルプとノウハウ	—	—
[お使いになる前に]の追加/削除	—	—

## ■ アラーム

メニュー	お買い上げ時	参照先
アラーム	—	P109
時刻	—	P46

## ■ 画像とビデオ

メニュー	お買い上げ時	参照先
カメラ	—	P100

メニュー	お買い上げ時	参照先
(コンテンツ)	Flower、Waterfall...	—

## ■ WindowsMedia

メニュー	お買い上げ時	参照先
WindowsMedia	—	—

## ■ MarketPlace

メニュー	お買い上げ時	参照先
MarketPlace	—	—

## ■ Messenger

メニュー	お買い上げ時	参照先
Messenger	—	—

## ■ Microsoft My Phone

メニュー	お買い上げ時	参照先
Microsoft My Phone	—	—

## ■ Windows Live

メニュー	お買い上げ時	参照先
Windows Live	—	P85

## ■ 電卓

メニュー	お買い上げ時	参照先
電卓	—	P108

## ■ ゲーム

メニュー	お買い上げ時	参照先
ソリティア	—	—

## ■ メモ

メニュー	お買い上げ時	参照先
メモ	—	P111

## ■ 仕事

メニュー	お買い上げ時	参照先
仕事	—	P62

## ■ エクスプローラー

メニュー	お買い上げ時	参照先
エクスプローラー	—	P114

## ■ ActiveSync

メニュー	お買い上げ時	参照先
ActiveSync	—	P118

## ■ タスクマネージャー

メニュー	お買い上げ時	参照先
タスクマネージャー	—	P129

## ■ 検索

メニュー	お買い上げ時	参照先
検索	種類：すべてのデータ	P117

## ■ ヘルプ

メニュー	お買い上げ時	参照先
ヘルプ	—	—

## ■ ソフトウェア更新

メニュー	お買い上げ時	参照先
バージョン表示	—	P180
更新開始	—	P181

## ■ Adobe Reader LE

メニュー	お買い上げ時	参照先
Adobe Reader LE	—	P108

## ■ MSN マネー

メニュー	お買い上げ時	参照先
MSN マネー	—	—

## ■ MSN 天気予報

メニュー	お買い上げ時	参照先
MSN 天気予報	—	—

## ■ SMS 問合せ

メニュー	お買い上げ時	参照先
SMS 問合せ	—	—

## ■ URL 読み込みツール

メニュー	お買い上げ時	参照先
URL 読み込みツール	—	—

## ■ セキュリティスキャン

メニュー	お買い上げ時	参照先
セキュリティスキャン	—	P124

## ■ バーコード確認ツール

メニュー	お買い上げ時	参照先
バーコード確認ツール	—	P178

## ■ リモート デスクトップ モバイル

メニュー	お買い上げ時	参照先
リモート デスクトップ モバイル	—	—

## ■ 伝言メモ / 音声メモ

メニュー	お買い上げ時	参照先
伝言メモ一覧	—	P58
音声メモ一覧	—	P51

## マルチアクセスの組み合わせ

現在実行中の動作ごとに発生、実行する処理の動作可否を次に示します。

現在の通信状態		新たに発生した通信								
		FOMA通信								Bluetoothダイヤルアップ
		FOMA電話		SMS		パケット通信		外部USB通信		
		発信	着信	送信	受信	発信	着信	発信	着信	
FOMA通信	FOMA電話中	△※1	△※1、2	○	○	○	×	○	○	
	SMS送受信中	○	○	○※3	○※3	○	×	○	○	○
	パケット通信中 (IP/PPP)	○	○	○	○	△※7	×	×	×	△※8
	パソコンなどとUSB接続して通信中	○	○	○	○	×	×	×	×	×
	パソコンなどとBluetooth接続してダイヤルアップ通信中	△※4	△※4	○	○	×	×	×	×	×
WLAN通信	ブラウザ/メール通信中	○	○	○	○	△※6	×	○	○	○

○：新たに通信を実行できます。

×

△：条件により新たに通信を実行できます。

※1 キャッチホンを開始に設定している場合、通話中に別の相手に電話をかけたり受けたりできます。

※2 留守番電話サービス、転送でんわサービスをご利用の場合は、各サービスで対応できます。

※3 送信どうし、または受信どうしは実行できません。また送信と受信を同時にできない場合があります。

※4 FOMA電話発信した際にダイヤルアップは切断されます。FOMA電話着信した場合、着信中はダイヤルアップ接続が継続されますが、応答して通話状態になると切断します。

※5 FOMA電話中にBluetooth接続されたPCからダイヤルアップを行うと失敗します。FOMA電話は継続されます。

※6 WLAN接続と同時にFOMAパケット通信を行うためには以下の条件が必要となります。

① WLANとFOMAを別の種別のネットワークとして設定する

② 複数アプリケーションにおいて、接続するネットワークを異なるものに設定する

※7 パケット通信中に別の発信が発生する操作を行った場合は、先発の呼を切断後、新たに発信を行います。

※8 パケット通信は切断されます。

現在の通信状態		新たに発生した通信
		WLAN通信
		ブラウザ／メール通信
FOMA通信	FOMA電話中	○
	SMS送受信中	○
	パケット通信中 (IP／PPP)	△※ <sup>2</sup>
	パソコンなどとUSB接続して通信中	○
	パソコンなどとBluetooth接続してダイヤルアップ通信中	○
WLAN通信	ブラウザ／メール通信中	△※ <sup>1</sup>

○：新たに通信を実行できます。

△：条件により新たに通信を実行できます。

※<sup>1</sup> 異なるアプリケーションであれば同時通信可能です。

※<sup>2</sup> WLAN接続と同時にFOMAパケット通信を行うためには以下の条件が必要となります。

①WLANとFOMAを別の種別のネットワークとして設定する

②複数アプリケーションにおいて、接続するネットワークを異なるものに設定する

## FOMA端末から利用できるサービス

FOMA端末から利用できるサービス	電話番号
番号案内サービス (有料：案内料+通話料) (電話番号の案内を希望されないお客様については案内していません)	(局番なし) 104
電報の発信 (有料：電報料)	(局番なし) 115
時報サービス (有料)	(局番なし) 117
天気予報 (有料)	知りたい地域の市外局番+177
警察への緊急通報	(局番なし) 110
消防・救急への緊急通報	(局番なし) 119
海上で事件・事故が起きたときの緊急通報	(局番なし) 118
災害用伝言ダイヤル (有料)	(局番なし) 171
コレクトコール (有料：案内料+通話料)	(局番なし) 106

### ✓お知らせ

- 番号案内 (104) をご利用の際には、案内料100円 (税込105円) に加えて通話料がかかります。また、目や上肢などの不自由な方には、無料でご案内をしております。詳細は一般電話から116番 (NTT営業窓口) までお問い合わせください (2010年4月現在)。
- コレクトコール (106) をご利用の際には、電話を受けた方に、通話料と1回の通話ごとの取扱手数料90円 (税込94.5円) ががかかります (2010年4月現在)。
- FOMA端末から110番・119番・118番通報の際は、発信場所が特定できません。警察、消防機関側から確認などの電話をする場合があるため、携帯電話からかけていることと電話番号を伝えてから、明確に現在地を伝えてください。また、通報は途中で通話が切れないように移動せず通報し、通報後はすぐに電源を切らず10分程度は着信のできる状態にしておいてください。

- おかけになった地域により、管轄の消防署、警察署に接続されない場合があります。接続されない場合は、お近くの公衆電話または一般電話からおかけください。
- 一般電話の転送電話をご利用のお客様に、転送先を携帯電話に指定した場合、一般電話または携帯電話の設定によって携帯電話が通話中、サービスエリア外および電源を切っているときでも発信者には呼出音が聞こえることがあります。
- 116番 (NTT営業窓口)、ダイヤルQ2、伝言ダイヤル、クレジット通話などのサービスはご利用できませんのでご注意ください。ただし、一般電話または公衆電話からFOMA端末へおかけになる際の自動クレジット通話は利用できます。

## オプション品・関連機器のご紹介

FOMA端末にさまざまな別売りのオプション品を組み合わせることで、パーソナルからビジネスまでさらに幅広い用途に対応できます。なお、地域によってお取り扱いしていない商品もあります。詳細は、ドコモ指定の窓口へお問い合わせください。また、オプション品の詳細については各機器の取扱説明書などをご覧ください。

- FOMA DC アダプタ 01 / 02
- FOMA AC アダプタ 01 / 02<sup>\*1</sup>
- FOMA 海外兼用ACアダプタ 01
- FOMA 乾電池アダプタ 01<sup>\*2</sup>
- 車載ハンズフリーキット 01<sup>\*3</sup>
- FOMA 車載ハンズフリー接続ケーブル 01
- 電池パック F15
- 卓上ホルダ F32
- リアカバー F47
- FOMA USB接続ケーブル<sup>\*4</sup>
- FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02<sup>\*4</sup>
- 平型スイッチ付イヤホンマイク P01<sup>\*5</sup> / P02<sup>\*5</sup>
- 平型ステレオイヤホンセット P01<sup>\*5</sup>
- イヤホンジャック変換アダプタ P001<sup>\*5</sup>

- スイッチ付イヤホンマイク P001<sup>※6</sup>／P002<sup>※6</sup>
- ステレオイヤホンセット P001<sup>※6</sup>
- イヤホンターミナル P001<sup>※6</sup>
- FOMA室内用補助アンテナ<sup>※7</sup>
- FOMA室内用補助アンテナ（スタンドタイプ）<sup>※7</sup>
- 骨伝導レシーバマイク 01／02
- Bluetoothヘッドセット F01<sup>※8</sup>
- Bluetoothヘッドセット用ACアダプタ F01
- ワイヤレスイヤホンセット P01<sup>※8</sup>
- ワイヤレスイヤホンセット 02
- イヤホンマイク 01
- ステレオイヤホンマイク 01
- FOMA 補助充電アダプタ 01<sup>※2、9</sup>
- 外部接続端子用イヤホン変換アダプタ 01
- イヤホン変換アダプタ 01

※1 ACアダプタの充電方法について→P43

※2 卓上ホルダ F32とは併用できません。

※3 F-05Bを充電するには、FOMA車載ハンズフリー接続ケーブル 01  
が必要です。

※4 USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。

※5 F-05Bと接続するには外部接続端子用イヤホン変換アダプタが必要  
です。

※6 F-05Bと接続するには、イヤホンジャック変換アダプタP001と外  
部接続端子用イヤホン変換アダプタが必要です。

※7 日本国内で使用してください。

※8 オプション品の操作により電話をかけることはできません。

※9 F-05Bの電池残量によっては、満充電状態にならない場合がありま  
す。

## こんな表示が出たら

FOMA端末に表示される主なエラーメッセージを50音順に示します。

- エラーメッセージ内の「(数字)」または「(XXX)」は、各種サーバから送信されたエラーを区別するためのコードです。
- **アカウント設定を保存できませんでした**  
エラーが発生したため、アカウント設定を登録できませんでした。操作し直してください。
- **移動機本体のメモリがいっぱいです**  
FOMA端末本体の保存領域が不足しています。FOMA端末内のSMSや不要なファイルなどを削除してください。
- **音声メモを再生することができません**  
着信中の場合や音声メモファイルの読み込みに失敗したため、選択した音声メモを再生できませんでした。操作し直してください。
- **書換え失敗しました Rewrite failed**  
ソフトウェアの書き換えに失敗しました。ドコモ指定の故障取扱窓口までお越しください。また、社内をご利用の場合は、ネットワーク管理者にご相談ください。
- **機器名称は半角で16文字以内、全角で8文字以内で入力してください**  
制限文字数を超えているため、機器名称を登録できませんでした。制限文字数内で入力し直してください。
- **原因不明のエラーのため接続できません。接続の設定を確認したり、設定を変更するには、[設定]をタップします。**  
問題が解決しない場合は、製造元のマニュアルに従ってモバイルデバイスをリセットしてからやり直してください。  
USB接続やWLAN、Bluetooth通信中に、パケット通信を利用しようとした場合、あるいは圏外に移動した場合などに表示されます。電波状態、または続けて表示されるエラーメッセージ(原因)を確認してください。問題が解決しない場合は、リセットしてからやり直してください。
- **圏外です**  
FOMA圏外のため、電話の発信、ネットワークサービスの操作、またはSMS問い合わせができませんでした。
- **圏外のためソフトウェアの更新を開始できません**  
電波の届かない所かFOMAサービスエリア外にいたため、実行できません。
- **更新結果未送信のため起動できません 終了します**  
ソフトウェア更新の結果が未送信のため、ソフトウェア更新機能は使用できません。しばらく待ってから操作しなおしてください。
- **更新ファイルにエラーがあります 終了します**  
更新ファイルにエラーがある、適切な暗号化が実施されていない、または更新ファイルが壊れているため、更新ファイルのダウンロードを中止しました。
- **SIMカードが見つからないか、無効です。**  
あと0回試行できます。  
サービスプロバイダーがサポートしている場合は、緊急電話は可能です。  
FOMAカードが挿入されていない、またはFOMAカードを挿入したままPINロック解除コードの残り入力回数が0回となった状態です。PINロック解除コードの残り回数が0回となった場合は、ドコモ指定窓口にお問い合わせください。  
なお、PINロックを解除するか、FOMAカードを挿入しないと緊急通報(110番、118番、119番)を含め音声発信できません。
- **SIMカードがブロックされています。PUKを入力してください。あとn回試行できます。**  
サービスプロバイダーがサポートしている場合は、緊急電話は可能です。  
暗証番号(PIN)の入力を連続3回間違えたため、暗証番号(PIN)がブロックされました。PINロック解除コードを入力してください。  
なお、PINロックを解除しないと緊急通報(110番、118番、119番)を含め音声発信できません。

● **このカードは認識できません**

FOMAカードが正しく取り付けられていないか、異常があります。FOMAカードを確認してください。→P37

● **最大文字数を超えました**

送信可能な文字数を超えているため、SMSを送信できませんでした。

● **サーバーとの通信でエラーが発生しました 終了します**

ソフトウェア更新のためのサーバーとの通信が失敗しました。操作し直してください。

● **サーバータイムアウトが発生しました 終了します**

ソフトウェア更新のためのサーバーとの通信で、タイムアウトが発生しました。操作し直してください。

● **システムエラーです 終了します**

エラーが発生したため、ソフトウェア更新ができませんでした。操作し直してください。

● **しばらくお待ちください**

- ・ 電話をかけた相手から着信を拒否されました。
- ・ 通信規制中のため、SMS問合せができませんでした。しばらくしてから操作し直してください。
- ・ ネットワーク側でパケット通信が規制されています。しばらくしてから操作し直してください。

● **しばらくお待ちください (パケット)**

ネットワーク側でパケット通信が規制されています。しばらくしてから操作し直してください。

● **受信者を認識できないか、アドレスが無効です。メッセージを送信しますか？**

宛先に「\*」[#]が含まれているため、SMSを送信できませんでした。[いいえ]をタップし、メールアドレスを確認してから、操作し直してください。

● **すべてのデータは受け渡せません**

読み取りデータの連絡先情報(名前、フリガナ、またはニックネーム)、メール情報(件名)、またはお気に入り情報(サイト名)が半角256文字以上のため、256文字目以降の情報が削除されました。

● **積算料金が既定の上限に達したため通話が切断されました**

通話料金上限通知で設定した料金を超えたため、通話中の電話が切断されました。

● **積算料金が既定の上限に達したため保留中の通話が切断されました**

マルチ接続中に通話料金上限通知で設定した料金を超えたため、保留中の電話が切断されました。

● **積算料金が既定の上限に達しているため発信できません**

通話料金が通話料金上限通知で設定した料金を超えたため、電話を発信できませんでした。

● **ソフトウェア更新が失敗しました 再起動します**

ソフトウェア更新に失敗しました。操作し直してください。

● **通信のためソフトウェア更新を開始できません**

通信を終了してから、ソフトウェア更新を実行してください。

● **伝言メモを再生することができません**

着信中の場合や伝言メモファイルの読み込みに失敗したため、選択した伝言メモを再生できませんでした。操作し直してください。

● **電池残量不足です 終了します**

ソフトウェア更新のためのサーバーとの通信開始時、あるいは書き換え開始時に、電池残量不足であったため、実行ませんでした。充電してから、操作し直してください。

● **問合せできませんでした**

SMSの問い合わせに失敗しました。しばらくしてから操作し直してください。

● **バージョン情報を表示できませんでした**

エラーが発生したため、バージョン情報の取得に失敗しました。操作し直してください。

● **'XXX (ファイル名)' を移動できませんでした**

フォルダーまたはファイルを移動する際にエラーが発生しました。メモリ容量が不足していることがあります。メモリ容量を確保してから、操作し直してください。

● **フォルダに保存できるのは最大999ファイルまでです。ファイルを別の場所に保存するか、いくつかのファイルを削除してください。**

最大のファイル数を超過して静止画または動画を保存しようとした。静止画の場合は、プレフィックスを変更すると新たに999枚保存できます。それ以外の場合は、ファイルを別の場所に移動・保存するか、余分なファイルを削除してください。

● **不正な更新ファイルです 終了します**

デジタル証明書による署名がない、またはデジタル証明書が不正と判断されたため、更新ファイルのダウンロードを中止しました。

● **古い暗証番号 (PIN) が正しくありません。もう一度古い暗証番号 (PIN) を入力してください。**

あとn回試行できます。

- ・ 入力した暗証番号 (PIN) / 暗証番号 (PIN) 2が正しくありませんでした。暗証番号 (PIN) / 暗証番号 (PIN) 2を入力し直してください。
- ・ 入力力は3回まで試行できます。

- **他のアプリケーションが接続中のため更新できません** 接続を解除し、再度パターンデータ更新を実行してください  
ActiveSync接続中、FOMA/パケット接続中のため、パターンデータ更新ができませんでした。通信を終了してから、操作し直してください。
- **保存領域が不足しています** ファイルを保存できませんでした  
FOMA端末のメモリ容量が不足しているため、読み取ったコードを保存できませんでした。
- **メールアドレスが指定されていません**  
メールアドレスが指定されていないため、メール自動受信設定を登録できませんでした。メールアドレスを登録し、メールアドレスを指定してから操作し直してください。
- **メールの自動受信に失敗しました (サーバー接続失敗)**  
メールサーバーへの接続に失敗したため、メールの自動受信ができませんでした。手動によるメールの送受信を行ってください。
- **メールの自動受信に失敗しました (メールソフト起動失敗)**  
メールのプログラムの起動に失敗したため、メールの自動受信ができませんでした。手動によるメールの送受信を行ってください。
- **メッセージの送受信中に以下のエラーが発生しました :**  
**SMSメッセージを送信できません**  
SMS発信時に表示される通知画面 (圏外、規制中、本体メモリフル、FOMAカードフル、FOMAカードのSMS情報無効、最大文字数超過) で、約2秒間何も操作をしない場合に表示されます。通知画面の内容を対処してから、操作し直してください。
- **料金情報の読込ができませんでした**  
通話料金情報の読み込みに失敗しました。操作し直してください。
- **録音件数がいっぱいのため録音できません**  
音声メモがすでに4件録音されているため、録音できませんでした。
- **10~10000YENを設定してください**  
通話料金上限通知の料金上限が設定範囲外に設定しようとしてしました。
- **80桁を超える番号は発信できません**  
80桁を超える電話番号を入力したため、電話を発信できませんでした。
- **FOMAカード (UIM) が異常です**  
FOMAカードが正しく取り付けられていないか、異常があるため、SMS送信またはSMS問合せができませんでした。FOMAカードを確認してください。→P37
- **FOMAカード (UIM) が未挿入です**  
FOMAカードが挿入されていないため、SMS送信またはSMS問合せができませんでした。FOMAカードを挿入してください。→P37
- **FOMAカード (UIM) のSMSがいっぱいです**  
FOMAカードの保存領域が不足しています。FOMAカード内のSMSを削除してください。
- **FOMAカード (UIM) のSMS情報が無効です**  
SMSを利用できないカードが挿入されているため、SMS問合せができませんでした。FOMAカードを挿入してください。→P37
- **FOMAカード (UIM) を挿入してください**  
FOMAカードが挿入されていません。→P37
- **FOMAカード (UIM) を挿入してください 終了します**  
FOMAカードが正しく取り付けられていないか、破損している可能性があります。
- **PINロック解除コードがロックされています**  
PINロック解除コードがロックされているため、自局番号表示を表示できませんでした。ドコモ指定窓口にお問い合わせください。
- **SMSアカウントから電子メール受信者にメッセージを送信することはできません。**メッセージを取り消し、電子メールアドレスを選択してからやり直してください。  
宛先が認識できない/無効と表示されている画面で、**[F1] [はい]** を押してSMSを送信しようとしてしました。**[F2] [OK]** を押し、メールアドレスを確認してから、操作し直してください。

## 故障かな？と思ったら

まず初めに、ソフトウェアを更新する必要があるかをチェックして、必要な場合にはソフトウェアを更新してください。→ P180

- ・気になる症状のチェック項目を確認しても症状が改善されないときは、取扱説明書裏面の「お問い合わせ先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお気軽にご相談ください。

### ■ 電源

#### ● FOMA端末の電源が入らない

- ・電池パックが正しく取り付けられていますか。→P39
- ・電池切れになっていませんか。→P45
- ・電源ボタンを10秒以上押しで電源を切った後、電源が入りますか？→P130

### ■ 充電

#### ● 充電ができない（ランプが点灯しない、または点滅する）

- ・電池パックが正しく取り付けられていますか。→P39
- ・アダプタの電源プラグがコンセントまたはシガーライターソケットに正しく差し込まれていますか。→P43
- ・アダプタとFOMA端末が正しくセットされていますか。→P43
- ・ACアダプタ（別売）をご使用の場合、ACアダプタのコネクタがFOMA端末または卓上ホルダにしっかりと接続されていますか。→P43
- ・卓上ホルダを使用する場合、FOMA端末の充電端子は汚れていませんか。汚れたときは、端子部分を乾いた布、綿棒などで清掃してください。
- ・充電しながら通話や通信、その他機能の操作を長時間行うと、FOMA端末の温度が上昇して充電ランプが点滅する場合があります。その場合は、FOMA端末の温度が下がってから再度充電を行ってください。

### ■ 端末操作

#### ● 操作中・充電中に熱くなる

- ・操作中や充電中などには、FOMA端末や電池パック、アダプタ（充電器含む）が温かくなることがありますが、安全上問題ありませんので、そのままご使用ください。

#### ● 電池の使用時間が短い

- ・圏外の状態で長い時間放置されるようなことはありません。圏外時は通信可能な状態にできるよう電波を探するため、より多くの電力を消費しています。
- ・電池パックの使用時間は、使用環境や劣化度により異なります。
- ・電池パックは消耗品です。充電を繰り返すごとに、1回で使える時間が次第に短くなっていきます。十分に充電しても購入時に比べて使用時間が極端に短くなった場合は、指定の電池パックをお買い求めください。

#### ● 電源断・再起動が起きる

- ・電池パックの端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れることがあります。汚れたときは、電池パックの端子を乾いた布、綿棒などで拭いてください。

### ● キーを押しても動作しない

- ・端末ロックを起動していませんか。→P72
- ・遠隔ダイヤルロックを起動していませんか。→P73

### ● キーを押したときの画面の反応が遅い

- ・FOMA端末に大量のデータが保存されているときや、FOMA端末とmicroSDカードの間で容量の大きいデータをやりとりしているとときに起きる場合があります。

### ● FOMAカードが認識されない

- ・FOMAカードを正しい向きで挿入していませんか。→37

### ● タッチパネル操作にて、別のところが押されてしまう

- ・タッチパネルの補正を行ってください。→P32

## ■ 通話

### ● ダイアルキーを押しても発信できない

- ・端末ロックを起動していませんか。→P72
- ・遠隔ダイヤルロックを起動していませんか。→P73
- ・ワイヤレス マネージャーで電話をオフしていませんか。→P74

### ● 着信音が鳴らない

- ・着信音の音量を「バイブ」または、「オフ」にしていませんか。→P54
- ・公共モード、マナーモードを起動していませんか。→P55、57
- ・留守番電話サービスまたは転送でんわサービスの呼出時間を「0秒」にしていませんか。→P152、154
- ・伝言メモ応答時間設定を「0秒」にしていませんか。→P58

### ● 通話ができない（場所を移動しても「圏外」の表示が消えない、電波の状態は悪くないのに発信または着信ができない）

- ・電源を入れ直すか、電池またはFOMAカードを入れ直してください。→P37、46
- ・電波の性質により、「圏外ではない」「電波状態は「電波状況を示すアンテナアイコンが4本」を表示している」状態でも発信や着信ができない場合があります。場所を移動してかけ直してください。→P46
- ・発信番号なし動作、呼出時間表示設定、連絡先登録外着信拒否を設定していませんか。
- ・電波の込み具合により、多くの人が集まる場所では電話やメールが混み合い、つながりにくい場合があります。その場合は「しばらくお待ちください」と表示され、話中音が流れます。場所を移動するか、時間をずらしてかけ直してください。

### ● 通話中、相手の声が聞こえにくい、相手の声が大きすぎる

- ・受話音量を変更していませんか。→P54

## ■ 画面

### ● ディスプレイが暗い

- ・画面オフ時間設定をしていませんか。→P130
- ・照明／キーバックライト設定の明るさ調整を変更していませんか。→P131

## ■ カメラ

### ● カメラで撮影した静止画や動画がぼやける

- ・カメラのレンズにくもりや汚れが付着していないかを確認してください。

## ■ メール

### ● 添付ファイルが削除されて画像を見ることができない

- ・「添付ファイルのダウンロード」設定を確認してください。→P79

## ■ Bluetooth機能

### ● Bluetooth通信対応機器と接続ができない／サーチしても見つからない

- ・Bluetooth通信対応機器（市販品）側を機器登録待ち受け状態にしてから、FOMA端末側から機器登録を行う必要があります。登録済みの機器を削除して再度機器登録を行なう場合には、Bluetooth通信対応機器（市販品）、FOMA端末双方で登録した機器を削除してから機器登録を行ってください。→P138

### ● ハンズフリー機器などの外部機器を接続した状態でFOMA端末から発信できない。

- ・相手が電話に出ない、圏外などの状態で複数回発信すると、その番号へ発信できなくなる場合があります。その場合は、FOMA端末の電源を一度切ってから、再度電源を入れ直してください。→P46

## バーコードサンプル

スキャナが正常に動作しているかを確認するために使用します。  
スキャナの使用方法につきましては、「スキャナ操作方法」(→P96) をご確認ください。

### ◆ 確認用バーコードスキャナプログラムの実行

- 1  ▶ [バーコード確認ツール]  
確認用バーコードスキャナプログラムが起動します。
  - 2 スキャナトリガキー（左右両方、またはどちらか）を押す  
スキャナ/カメラから、照準用の2本のポインタ（赤色光）が照射されます。
  - 3 読み取るバーコードの中心にポインタを合わせる
    - 小さいバーコードを読み取る場合は、2本のポインタの間にバーコードが入るようにしてください。
  - 4 スキャナトリガキー（左右両方、またはどちらか）を押す  
バーコード読み取りが行われます。  
正常に読み取りが行われるとブザーが鳴ると同時に振動し、バーコード情報が表示されます。  
読み取りの完了後、約3秒でポインタの照射が自動的に停止します。
    - 再度スキャナトリガキーを押すと、ポインタが照射されます。
  - 5 画面右下の [×] または   
画面を閉じて確認用バーコードスキャナプログラムが終了します。
- 読取処理ができない場合  
スキャナの距離を調整し、再度実施してください。

### ◆ 一次元バーコードサンプル

NW7



読み取れる情報「(13) NA0123456789A」

JAN標準



読み取れる情報「(14) A 4901234567894」

### ◆ 二次元バーコードサンプル

QRコード



読み取れる情報「(17) Q123456789ABCDEFG」

### ◆ 注意

本取扱説明書の印刷状態や経年劣化により、バーコード自体が読み取りにくくなる場合があります。

## 保証とアフターサービス

### ❖保証について

- FOMA端末をお買い上げいただくと、保証書が付いていますので、必ずお受け取りください。記載内容および『販売店名・お買い上げ日』などの記載事項をお確かめの上、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げいただいた販売店へお申し付けください。無料保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
- この製品は付属品を含め、改良のため予告なく製品の全部または一部を変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- FOMA端末の故障、修理やその他お取り扱いによって連絡先などに登録された内容が変化、消失する場合があります。万が一に備え、連絡先などの内容はメモなどに控えをお取りくださるようお願いいたします。また、FOMA端末の修理などを行った場合、ブラウザにてダウンロードした情報は、一部を除き著作権法により修理済みのFOMA端末などに移行を行っておりません。
  - ※ 本FOMA端末は、連絡先やプログラムの利用するデータをmicroSDカードに保存していただくことができます。

### ❖アフターサービスについて

#### ■調子が悪い場合は

修理を依頼される場合は、この取扱説明書の「故障かな?と思ったら」をご覧になってお調べください(→P176)。それでも調子がよくないときは、取扱説明書裏面・お問い合わせ先にご連絡の上、ご相談ください。

#### ■お問い合わせの結果、修理が必要な場合は

ドコモ指定の故障取扱窓口にご持参いただけます。ただし、故障取扱窓口の営業時間内の受付となります。また、ご来店時には必ず保証書をご持参ください。なお、故障の状態によっては修理に日数がかかる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

#### ■保証期間内は

- 保証書の規定に基づき無料で修理を行います。
- 故障修理を実施の際は、必ず保証書をお持ちください。保証期間内であっても保証書の提示がないもの、お客様のお取り扱い不良(液晶画面・コネクタなどの破損)による故障、損傷などは有料修理となります。
- ドコモの指定以外の機器および消耗品の使用に起因する故障は、保証期間内であっても有料修理となります。

#### ■以下の場合も、修理できないことがあります。

- 故障受付窓口にて水濡れと判断した場合(例:水濡れシールが反応している場合)
- お預かり検査の結果、水濡れ、結露・汗などによる腐食が発見された場合や内部の基板が破損・変形していた場合(外部接続端子・液晶などの破損や筐体亀裂の場合においても修理ができない可能性があります)
  - ※ 修理を実施できる場合でも保証対象外になりますので有料修理となります。

#### ■保証期間が過ぎたときは

- ご要望により有料修理いたします。

#### ■部品の保有期間は

- FOMA端末の補修用性能部品(機能を維持するために必要な部品)の最低保有期間は、製造打ち切り後6年間を基本としております。ただし、故障箇所によっては修理部品の不足などにより修理ができない場合もございますので、あらかじめご了承ください。また、保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能なことがありますので、取扱説明書裏面・お問い合わせ先へお問い合わせください。

#### ■お願い

- FOMA端末および付属品の改造はおやめください。
  - 火災・けが・故障の原因となります。
  - 改造が施された機器などの故障修理は、改造部分を元の状態に戻すことをご了承いただいた上でお受けいたします。ただし、改造の内容によっては故障修理をお断りする場合があります。

- 以下のような場合は改造とみなされる場合があります。
  - 液晶部やボタン部にシールなどを貼る
  - 接着剤などによりFOMA端末に装飾を施す
  - 外装などをドコモ純正品以外のものに交換するなど
- 改造が原因による故障・損傷の場合は、保証期間内であっても有料修理となります。
- FOMA端末に貼付されている銘版シールは、はがさないでください。銘版シールには、技術基準を満たす証明書の役割があり、銘版シールが故意にはがされたり、貼り替えられた場合など、銘版シールの内容が確認できないときは、技術基準適合の判断ができないため、故障修理をお受けできない場合がありますので、ご注意ください。
- 各種機能の設定や積算通話時間などの情報は、FOMA端末の故障・修理やその他お取り扱いによってクリア（リセット）される場合があります。お手順をおかけしますが、この場合は再度設定を行ってくださるようお願いいたします。
- FOMA端末の下記の箇所に磁気を発生する部品を使用しています。キャッシュカードなど磁気の影響を受けやすいものを近づけますとカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。  
使用箇所：受話口、スピーカー、送話口/マイク、リアカバー
- 本端末は防水性能を有しておりますが、FOMA端末内部が濡れたり湿気を帯びてしまった場合は、すぐに電源を切って電池パックを外し、お早めに故障取扱窓口へご来店ください。ただし、FOMA端末の状態によって修理できないことがあります。

#### 連絡先およびダウンロード情報などについて

- FOMA端末を機種変更や故障修理をする際に、お客様が作成されたデータまたは外部から取り込まれたデータあるいはダウンロードされたデータなどが変化、消失などする場合があります。これらについて当社は一切の責任を負いません。また、当社の都合によりお客様のFOMA端末を代替品と交換することにより修理に代えさせていただきます場合がありますが、その際にはこれらのデータなどは一部を除き交換後の製品に移し替えることはできません。

## ソフトウェア更新

### ソフトウェアを更新する

FOMA端末のソフトウェアを更新する必要があるかどうかネットワークに接続してチェックし、必要な場合にはパケット通信<sup>\*</sup>を使ってソフトウェアをダウンロードし、ソフトウェアを更新する機能です。FOMA端末を操作する上で重要な部分であるソフトウェアを更新することで、FOMA端末の機能・操作性を向上させることができます。ソフトウェア更新が必要な場合は、ドコモのホームページでご案内させていただきます。

※ ソフトウェア更新を行う場合のパケット通信料は無料です。

※ 現在のFOMA端末のソフトウェアバージョンは、以下の操作で確認できます。

 ▶ [ソフトウェア更新] ▶ [バージョン表示]

### ✓お知らせ

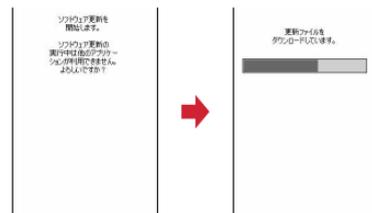
- ソフトウェア更新は、FOMA端末に登録された連絡先、カメラ画像、ダウンロードデータなどのデータを残したまま行えますが、お客様のFOMA端末の状態（故障、破損、水濡れなど）によってはデータの保護ができない場合がありますので、あらかじめご了承ください。必要なデータはバックアップを取っていただくことをおすすめします。ただし、ダウンロードデータなどバックアップが取れないデータがありますので、あらかじめご了承ください。
- ソフトウェア更新中は電池パックを外さないでください。更新に失敗することがあります。
- ソフトウェア更新は、電池をフル充電して、電池残量が十分にある状態で実行してください。
- 次の場合はソフトウェア更新を実行できません。
  - FOMAカードが挿入されていないとき
  - 電池がフル充電されていないとき
  - 電源が切れているとき
  - 圏外が表示されているとき
  - 通話中
  - 他の機能を実行しているとき
  - PIN1コード入力中

- PIN1コードロック中
  - セルフモード中
  - パソコンとつないだバケット通信中
- ソフトウェア更新（ダウンロード、書き換え）には時間がかかる場合があります。
- ・【電話使用時に暗証番号（PIN）を要求】がチェックされた状態のときソフトウェア更新を実行すると、ソフトウェア書き換え終了後の自動再起動時には暗証番号（PIN）入力画面が表示されません。
  - ・ソフトウェア更新中は、電話の発信、着信、各種通信機能およびその他の機能を利用できません。
  - ・ソフトウェア更新は、電波が強く、アンテナアイコンが4本表示されている状態（)で、移動せずに実行することをおすすめします。
  - ・ソフトウェアダウンロード中に電波状態が悪くなったり、ダウンロードが中止された場合は、もう一度電波状態のよい場所でソフトウェア更新を行ってください。
  - ・ソフトウェア更新の際、お客様のFOMA端末固有の情報（機種や製造番号など）が自動的にサーバ（当社が管理するソフトウェア更新用サーバ）に送信されます。当社は送信された情報をソフトウェア更新以外の目的には利用いたしません。
  - ・ソフトウェア更新に失敗するなどして一切の操作ができなくなった場合は、たいへんお手数ですがドコモ指定の故障取扱窓口までお越しいただきますようお願いいたします。

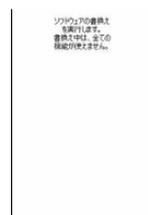
## ◆ FOMA端末で更新する

ダウンロードに時間がかかる場合があります。なお、ダウンロードに通信料は発生しません。

- 1  ▶ **【ソフトウェア更新】** ▶ **【更新開始】** ▶  **【はい】**
- サーバ接続中の画面が表示され、引き続き更新ファイルダウンロード画面が表示されます。



- 2 ダウンロードが完了すると、ソフトウェア更新の開始確認画面が表示されます。



### 3 ダウンロード完了後、約3秒後に自動的に書き換え開始

[OK] をタップすると、すぐに書き換えを開始します。更新ファイルの検証画面が表示され、更新ファイルの検証が成功すると、書き換えが開始されます。「検証中」→「確認中」→「更新中」と表示され、最後に更新完了画面が表示されます。



## 主な仕様

### ■ 本体

品名	F-05B	
サイズ	高さ約154mm×幅約51mm×厚さ約20mm (最厚部：約37mm)	
質量	約180g (電池パック装着時)	
連続待受時間※1、2	静止時：約550時間 移動時：約440時間	
連続通話時間※2、3	約440分	
充電時間※4	ACアダプタ：約240分 DCアダプタ：約240分	
液晶部	種類	TFT
	サイズ	約2.8inch
	発色部	65,536色
	ドット数	横240ドット×縦400ドット
撮像素子	種類	CMOS
	サイズ	1/3.0inch
	有効画素数	約200万画素
カメラ部	記録画素数 (最大時)	約200万画素
	デジタルズーム	最大約2.0倍 (3段階) (静止画撮影時のみ)
記録部	静止画記録枚数 ※5	本体メモリの空き容量に依存
	静止画ファイル形式	JPEG
	動画ファイル形式	WMV

音楽再生	WMA	連続再生時間約920分 (バックグラウンド再生対応)
	MP3	連続再生時間約920分 (バックグラウンド再生対応)

- ※1 連続待受時間とは、電波を正常に受信できる状態での時間の目安です。なお、電池の充電状態、機能設定状況、気温などの使用環境、利用場所の電波状態（電波が届かないか弱い場合など）などにより、待受時間は約半分程度になる場合があります。静止時の連続待受時間とは、電波を正常に受信できる静止状態での平均的な利用時間です。移動時の連続待受時間とは、FOMA端末を閉じて、電波を正常に受信できるエリア内で「静止」「移動」と「圏外」を組み合わせた状態での平均的な利用時間です。
- ※2 WLAN通信時の連続待受時間や連続通話時間は、アクセスポイントの設定や通信状態によって変わることがあります。
- ※3 連続通話時間とは、電波を正常に送受信できる状態で通話に使用できる時間の目安です。
- ※4 充電時間は、FOMA端末の電源を切って、電池パックが空の状態から充電したときの目安です。FOMA端末の電源を入れて充電した場合、充電時間は長くなります。
- ※5 静止画記録枚数の表示は、画像の解像度やファイルサイズに関係なく本体メモリの空き容量に依存しているため、1000枚以上保存できた場合も「999」枚と表示されます。

#### ■ 電池パック

使用電池	リチウムイオン電池
公称電圧	DC3.7V
公称容量	1,800mAh

## 携帯電話機の比吸収率（SAR）について

この機種F-05Bの携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準に適合しています。この技術基準は、人体頭部のそばで使用する携帯電話機などの無線機器から送出される電波が人間の健康に影響を及ぼさないよう、科学的根拠に基づいて定められたものであり、人体側頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR：Specific Absorption Rate）について、これが2W/kg<sup>\*</sup>の許容値を超えないこととしています。この許容値は、使用者の年齢や身体の大きさに関係なく十分な安全率を含んでおり、世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が示した国際的なガイドラインと同じものとなっています。

すべての機種の携帯電話機は、発売開始前に、電波法に基づき国の技術基準に適合していることの確認を受ける必要があります。この携帯電話機F-05BのSARの値は0.604W/kgです。この値は、財団法人テレコムエンジニアリングセンターによって取得されたものであり、国が定めた方法に従い、携帯電話機の送信電力を最大にして測定された最大の値です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。また、携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、次のホームページをご覧ください。

総務省のホームページ

<http://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm>

社団法人電波産業会のホームページ

<http://www.arib-emf.org/>

ドコモのホームページ

<http://www.nttdocomo.co.jp/product/sar/>

富士通のホームページ

<http://www.fmwORLD.net/product/phone/sar/>

※ 技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第14条の2）で規定されています。

## 輸出管理規制

本製品及び付属品は、日本輸出管理規制（「外国為替及び外国貿易法」及びその関連法令）の適用を受ける場合があります。本製品及び付属品を輸出する場合は、お客様の責任及び費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省へお問い合わせください。

## 知的財産権について

### ◆ 著作権について

音楽、映像、コンピュータ、プログラム、データベースなどは著作権法により、その著作物および著作権者の権利が保護されています。こうした著作物を複製することは、個人的にまた家庭内で使用する目的のみ行うことができます。上記の目的を超えて、権利者の了解なくこれを複製（データ形式の変換を含む）、改変、複製物の譲渡、ネットワーク上での配信などを行うと、「著作権侵害」「著作者人格権侵害」として損害賠償の請求や刑事処罰を受けることがあります。本製品を使用して複製などをなされる場合には、著作権法を遵守のうえ、適切なご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。また、本製品にはカメラ機能が搭載されていますが、本カメラ機能を使用して記録したものにつきましても、上記と同様の適切なご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。

### ◆ 肖像権について

他人から無断で写真を撮られたり、撮られた写真を無断で公表されたり、利用されたりすることがないように主張できる権利が肖像権です。肖像権には、誰にでも認められている人格権と、タレントなど経済的利益に着目した財産権（パブリシティ権）があります。したがって、勝手に他人やタレントの写真を撮り公開したり、配布したりすることは違法行為になりますので、適切なカメラ機能のご使用を心がけてください。

## ❖ 商標について

本書に記載している会社名、製品名、各社の商標または登録商標です。

- 「FOMA」「WORLD CALL」「mova」「mopera」「デュアルネットワーク」「セキュリティスキャン」「公共モード」「OFFICEED」「IMCS」「mopera U」「セキュリティスキャン」および「FOMA」ロゴはNTTドコモの商標または登録商標です。
- Bluetooth®とそのロゴマークは、Bluetooth SIG, INCの登録商標で、株式会社NTTドコモはライセンスを受けて使用しています。その他の商標および名称はそれぞれの所有者に帰属します。
- 「キャッチホン」は日本電信電話株式会社の登録商標です。
- AdobeおよびAdobe Reader LE、FlashはAdobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国またはその他の国における登録商標または商標です。
- McAfee®、マカフィー®は米国法人McAfee, Inc.またはその関係会社の米国またはその他の国における登録商標です。
- microSDHCロゴはSD-3C, LCCの商標です。
- フリーダイヤルサービス名称とフリーダイヤルロゴマークはNTTコミュニケーションズ株式会社の登録商標です。
- 「ATOK」は株式会社ジャストシステムの登録商標です。「ATOK」は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、その他権利は株式会社ジャストシステムおよび各権利者に帰属します。
- 本製品のソフトウェアの一部に、Independent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。
- Microsoft®、Windows®、Windows Vista®、Windows Mobile®、Windows® phone、Windows Media®、ActiveSync®、Outlook®、Excel®、PowerPoint®、Windows Live™、Microsoft® My Phone、Windows® Marketplace for MobileおよびInternet Explorer®は、米国MicroSoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Microsoft Wordは、米国MicroSoft Corporationの商品名称です。
- QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- その他本文中に記載されている会社および商品名は、各社の商標または登録商標です。



## ❖ Windowsの表記について

本書では各OS（日本語版）を以下のように略して表記しています。

- Windows 7は、Microsoft® Windows® 7 (Starter、Home Basic、Home Premium、Professional、Enterprise、Ultimate) の略です。
- Windows Vistaは、Windows Vista® (Home Basic、Home Premium、Business、Enterprise、Ultimate) の略です。
- Windows XPは、Microsoft® Windows® XP Professional operating systemまたはMicrosoft® Windows® XP Home Edition operating systemの略です。

## Windows® phoneの製品情報について

Windows® phoneおよびWindows Mobile 6.5 アプリケーションについては、「マイクロソフト Windows® phoneホーム」で情報をご覧ください。

<http://www.microsoft.com/windowsmobile/ja-jp/default.msp>



---

索引 .....	188
----------	-----

# 索引

## 索引の使いかた

機能名やキーワードを列挙した索引には、「五十音目次」としての機能もあります。なお、「登録」「削除」などの操作については、まず第一階層（太字）の機能名やキーワードで検索したのち、第二階層の索引項目から探してください。

〈例〉電子メールを受信したいとき

電子メール	
削除	83
下書き	82
下書き保存	82
受信	83
受信音	110

ア行		カ行		サ行	
アイコン	29	外部接続端子	28	公共モード（ドライブモード）	55
アフターサービス	179	学習データのリセット	150	更新	181
アラーム	109	カスタマー フィードバック	129		
仕事	62	画像とビデオ	105	サービスダイアル	158
予定表	64	カメラ	27, 100	仕事	62
暗号化	117	静止画撮影	101	オプション設定	63
暗証番号	70	静止画撮影画面の見かた	101	確認	63
暗証番号 (PIN)	71	動画撮影	102	削除	63
暗証番号 (PIN) 2	71	動画撮影画面の見かた	101	状態の設定	63
一次元バーコードサンプル	178	画面		送信	64
インターネット	91	画面の補正	111	登録	62
英語ガイドランス	158	文字サイズの変更	111	表示方法の変更	63
エクスプローラー	114	キー操作から文字を入力	146	変更	62
エラー報告	130	キーロック	73	自動時刻補正設定	130
遠隔操作設定	157	キーロックキー	28	自分の電話番号を確認	47
オーナー情報	48	キャッチホン	154	デュアルネットワークサービス	157
音設定	110	強制終了	130	充電	41
音と通知	110	強制的にデータを一括削除	132	充電時間	41
オプション品・関連機器	171	検索	117	充電端子	27
音声電話開始キー	27	公共モード（電源OFF）	56	受話音量	54

受話口	27
証明書	74
署名	81
スキャナ	96
スキャナの操作方法	96
スキャナの読み取り範囲	97
スキャナトリガキー	28
スクロール	32
スタートキー	27
スタートメニュー	33
デザインの變更	110
スピーカー	27
スピーカー音量	54
スピードダイヤル	52
静止画撮影	101
静止画撮影画面	101
静止画を表示する	104
赤外線通信	141
赤外線ポート	28
セキュリティスキャン	124
設定	162
接続	163
時計とアラーム	162
ロック	163
Bluetooth	162
送話口	27
ソフトウェア更新	180
更新	181

## 夕行

タスクマネージャー	129
タッチパネル	31
タップ&ホール操作	31
タップ位置の補正	32
単語登録	150
端末暗証番号 (パスワード)	70, 72
端末ロック	72
オン	73
解除	73

設定	72
着信音	56
着信音設定	56
着信音量	54
着信履歴	51
通話時間	51
通話中着信設定	156
通話中の着信動作選択	157
通話履歴	51
ディスプレイ	27
データー一括削除	131
電源ON/OFF	46
電源/終了キー	27
電子メール	
削除	83
下書き	82
下書き保存	82
受信	83
受信音	110
新規	81
新規作成	81
設定	79
送信	81
転送	83
添付ファイルの確認/保存	84
フォルダ	82
返信	83
メールBOX操作	84
転送でんわサービス	154
電卓	108
電池バック	39
運用中での電池交換のしかた	40
充電	43
寿命	42
使用時間	41
使用時間の目安	41
電池残量の確認	45
取り付けかた/取り外しかた	39

電話	
スピードダイヤル	52
着信音	110
通話履歴	51
電話を受ける	54
電話をかける	50
連絡先から	52
動画撮影	102
動画撮影画面	101
動画の再生	105
ドメインへの登録	141

## ナ行

二次元バーコードサンプル	178
日本輸出管理規制/米国再輸出管理規制	184
入力モード	147
定型文	148
手書き検索	148
手書き入力方式	148
ひらがな/カタカナ方式	147
文字一覧	148
ローマ字/かな方式	147
ネットワーク暗証番号	70
ネットワークサービス	152
ネットワーク設定	134

## ハ行

バーコード	96, 178
バーコード確認ツール	178
バーコードサンプル	178
一次元バーコードサンプル	178
確認用バーコードスキャナプログラム	178
二次元バーコードサンプル	178
バージョン情報	129
バケット通信	134
削除	135
設定	134, 135
編集	135
バケット通信回線の切断	84, 94

パスワード→端末暗証番号 (パスワード)	
バックスペースキー	27
バックライト	131
発信者番号通知設定	47
設定内容の確認	47
発信者番号通知/非通知	51
186/184	51
発信履歴	51
発信番号なし動作	57
パワー マネージメント	130
番号通知お願ひサービス	156
ハンズフリー	53
パン操作	32
ビーム	
仕事を送信	64
データの送受信	140
連絡先情報を送信	61
比吸収率 (SAR)	183
日付と時刻の設定	46
フォルダー	114
不在着信	51
プッシュ信号 (DTMF) の送信	53
ブラウザ	90
Internet Explorer Mobile	91
プログラム	
インストール	127
プログラムの削除	128
変換辞書	149
ホーム画面	29
保証	179

## マ行

マイク	27
マナーモード	57
マナーモードキー	27
マルチアクセス	169
マルチカーソルキー	27
迷惑電話ストップサービス	155
メール	78

メールキー	27
メールBOX	84
並べ替え	84
フォルダーの作成	84
メニュー	
メニュー一覧	162
メニューバー	30
メモ	111
再生	112
削除	112
作成	111
手書き	111
入力モードの設定	111
文字入力パッド入力	112
録音/再生	112
メモリ使用量	128
外部メディア	128
FOMA端末	128
文字入力	146
文字入力パッドから文字を入力	146

## ヤ行

予定表	
オプション設定	65
削除	66
送信	66
登録	64
表示	65
変更	66
呼出時間表示設定	58

## ラ行

ランプ	27
リダイヤル	51
レポート	131
留守番電話サービス	152
連絡先	
確認	60
削除	61

送信	61
登録	60
変更	61
連絡先登録外着信拒否	57

## ワ行

ワイヤレス マネージャー	74
--------------	----

## 英数字・記号

ACアダプタ	41
ActiveSync	118
Adobe Reader LE	108
ATOK設定	149
Bluetooth機能	138
DCアダプタ	41
FOMAアンテナ	27
FOMAカード	37
暗証番号	38, 71
取り付けかた/取り外しかた	37
GPS	109
Internet Explorer Mobile	91
お気に入りにリンクを登録	92
画像の保存	93
起動	91
セキュリティの設定	94
データのダウンロード	93
テキストのコピー	93
履歴やキャッシュの削除	94
URL	91
JAN標準	178
microSDカード	116
mopera U	141
NW7	178
OFFICEED	156
PINロック解除コード	71
PIN1コード→暗証番号 (PIN)	
PIN2コード→暗証番号 (PIN) 2	
QRコード	178
SAR	183

SIMカード→FOMAカード	
SIMカード暗証番号.....	71
設定.....	71
変更.....	72
SMS	
作成.....	85
受信.....	85
送信.....	85
USSD登録.....	159
Volume Up/Downキー.....	28
VPN.....	135
Windows Mobileデバイスセンター.....	118
WLAN機能.....	136
WLAN設定.....	137

# MEMO

「ドコモeサイト」では住所変更、料金プラン変更などの各種お手続き、資料請求を承っております。

**パソコンから** My docomo (<http://www.mydocomo.com/>) ⇒ 各種お申込・お手続き

※パソコンからご利用になる場合、「docomo ID/パスワード」が必要となります。

※「ネットワーク暗証番号」および「docomo ID/パスワード」をお持ちでない方・お忘れの方は、取扱説明書裏面の「お問い合わせ先」にご相談ください。

※ご契約内容によりご利用になれない場合があります。

※システムメンテナンスなどにより、ご利用になれない場合があります。

## マナーもいっしょに携帯しましょう

### こんな場合は必ず電源を切りましょう

#### ■ 使用禁止の場所にいる場合

航空機内、病院内では、必ずFOMA端末の電源を切ってください。

※ 医用電気機器を使用している方がいるのは病棟内だけではなく、ロビーや待合室などでも、必ず電源を切ってください。

#### ■ 満員電車の中など、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着した方が近くにいる可能性がある場合 植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器に悪影響を与えるおそれがあります。

### こんな場合は公共モードに設定しましょう

#### ■ 運転中の場合

運転中の携帯電話を手で保持しての使用は罰則の対象となります。

※ やむを得ず電話を受ける場合には、ハンズフリーで「かけ直す」ことを伝え、安全な場所に停車してから発信してください。

#### ■ 劇場・映画館・美術館など公共の場所にいる場合

静かにするべき公共の場所でFOMA端末を使用すると、周囲の方への迷惑になります。

### 使用する場所や声・着信音の大きさに注意しましょう

■ レストランやホテルのロビーなどの静かな場所でFOMA端末をご使用になる場合は、声の大きさに気を付けましょう。

■ 街の中では、通行の妨げにならない場所で使用しましょう。

### プライバシーに配慮しましょう

！ カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

### こんな機能が公共のマナーを守ります

かかってきた電話に応答しない設定や、FOMA端末から鳴る音を消す設定など、便利な機能があります。

#### ● 公共モード（ドライブモード／電源OFF）

電話をかけた相手には運転中もしくは通話を控える必要のあるような場所にいるため、電話に出られない旨のガイダンスを流し、通話を終了します。→P55、56

#### ● 伝言メモ

電話に出られない場合に、電話をかけた相手の用件を録音します。→P58

#### ● バイブ

電話がかかってきたことを振動でお知らせします。→P54

#### ● マナーモード

キー確認音や着信音などFOMA端末から鳴る音をすべて消します。→P57

この印刷物はリサイクルに配慮して製本されています。不要となった際、回収、リサイクルに出しましょう。

## お問い合わせ先

ドコモの法人向けサイト  
**docomo Business Online**

パソコンから <http://www.docomo.biz>

※システムメンテナンスなどにより、ご利用になれない場合があります。



マナーもいっしょに携帯しましょう。

○公共の場所で携帯電話をご利用の際は、周囲の方への心くばりを忘れずに。



Li-ion 00

環境保全のため、不要になった電池は  
NTTドコモまたは代理店、リサイクル  
協力店などにお持ちください。

販売元 株式会社NTTドコモ  
製造元 富士通株式会社

10.4 (1.1版)  
CA92002-6151

# F-05B

## パソコン接続マニュアル

データ通信 .....	1
ご利用になる前に .....	2
データ転送 (OBEX™ 通信) の準備の流れ .....	3
データ通信の準備の流れ .....	4
パソコンと FOMA 端末を接続する .....	5
FOMA 通信設定ファイル (ドライバ) をインストールする .....	6
Bluetooth® 接続を準備する .....	8
データ通信の設定をする .....	10
AT コマンド .....	19

### ■ パソコン接続マニュアルについて

本マニュアルでは、F-05B でデータ通信をする際に必要な事項についての説明をはじめ、CD-ROM 内の「FOMA 通信設定ファイル」のインストール方法などを説明しています。

お使いの環境によっては操作手順や画面が一部異なる場合があります。

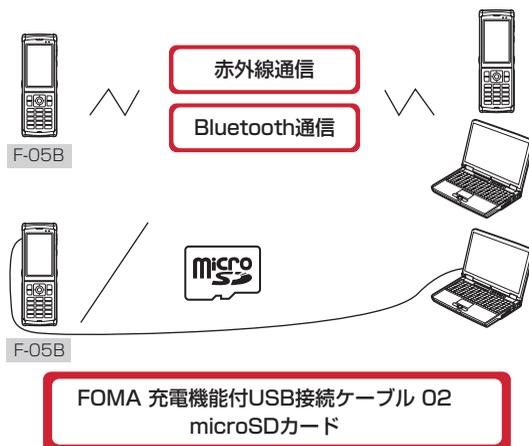
## データ通信

FOMA端末とパソコンを接続して利用できる通信形態は、データ転送（OBEX™通信）、パケット通信に分類されます。

- パソコンと接続してパケット通信を行ったり、電話帳などのデータを編集したりするには、付属のCD-ROMからドライバのインストールや各種設定を行う必要があります。
- FOMA端末は、FAX通信やRemote Wakeupには対応していません。
- ドコモのPDAのsigmarion IIIと接続してデータ通信が行えます。ただし、ハイスピードエリア対応の高速通信には対応していません。

### データ転送（OBEX™通信）

画像や音楽、電話帳、メールなどのデータを、他のFOMA端末やパソコンなどとの間で送受信します。



### パケット通信

インターネットに接続してデータ通信（パケット通信）を行います。

送受信したデータ量に応じて課金されるため、メールの送受信など、比較的少ないデータ量を高速でやりとりする場合に適しています。ネットワークに接続していても、データの送受信を行っていないときには通信料がかからないため、ネットワークに接続したまま必要なときにデータを送受信するという使いかたができます。

ドコモのインターネット接続サービスmopera Uなど、FOMAパケット通信に対応したアクセスポイントを利用して、受信最大7.2Mbps、送信最大384kbpsの高速パケット通信ができます。通信環境や混雑状況の影響により通信速度が変化するベストエフォート方式による提供です。

画像を含むホームページの閲覧やデータのダウンロードなど、データ量の多い通信を行った場合には通信料が高額になりますのでご注意ください。

- ※ FOMAハイスピードエリア外やHIGH-SPEEDに対応していないアクセスポイントに接続するとき、またはドコモのPDAのsigmarion IIIなどHIGH-SPEEDに対応していない機器をご利用の場合、通信速度が遅くなることがあります。
- ※ Bluetooth接続の場合、FOMA端末の通信速度はハイスピード用の通信速度になりますが、Bluetooth機器間の通信速度に限界があるため、最大速度では通信できない場合があります。
- ※ 受信最大7.2Mbps、送信最大384kbpsとは技術規格上の最大値であり、実際の通信速度を示すものではありません。実際の通信速度は、ネットワークの混み具合や通信環境により異なります。

## ご利用になる前に

### 動作環境

データ通信を利用するためのパソコンの動作環境は、次のとおりです。パソコンのシステム構成により異なる場合があります。

項目	必要環境
パソコン本体	PC/AT互換機 USBケーブル接続の場合：USBポート（USB仕様1.1 / 2.0に準拠） Bluetooth接続の場合：Bluetooth標準規格Ver.1.1、Ver.1.2またはVer.2.0 + EDRIに準拠（ダイヤルアップネットワーキングプロファイル） ディスプレイ解像度800×600ドット、High Color16ビット以上を推奨
OS（各日本語版）	Windows XP、Windows Vista、Windows 7
必要メモリ	Windows XP：128MB以上                      Windows Vista：512MB以上 Windows 7：32ビット版1GB以上、64ビット版2GB以上
ハードディスク容量	5MB以上の空き容量

- 動作環境の最新情報については、ドコモのホームページにてご確認ください。
- OSをアップグレードした場合の動作は保証いたしかねます。
- 動作環境によってはご使用になれない場合があります。また、上記の動作環境以外でのご使用について、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- CD-ROMをパソコンにセットすると、警告画面が表示される場合があります。この警告は、Internet Explorerのセキュリティの設定によるもので、使用には問題ありません。「はい」をクリックしてください。  
※ お使いのパソコンの環境により異なる場合があります。

### 必要な機器

FOMA端末とパソコン以外に、次の機器が必要です。

- FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02（別売）またはFOMA USB接続ケーブル（別売）
- 付属のCD-ROM「F-05B用CD-ROM」
- ※ パソコン用のUSBケーブルはコネクタ部の形状が異なるため利用できません。
- ※ USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。
- ※ Bluetooth接続の場合は、FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02またはFOMA USB接続ケーブルは必要ありません。

### ご利用時の留意事項

#### インターネットサービスプロバイダの利用料

パソコンでインターネットを利用する場合、ご利用になるインターネットサービスプロバイダ（以降プロバイダ）の利用料が必要です。この利用料は、FOMAサービスの利用料とは別に直接プロバイダにお支払いいただきます。詳細はご利用のプロバイダにお問い合わせください。

- ドコモのインターネット接続サービスmopera Uがご利用いただけます。mopera Uはお申し込みが必要な有料サービスです。

#### 接続先（プロバイダなど）

パケット通信を行うときはパケット通信対応の接続先をご利用ください。

- DoPaのアクセスポイントには接続できません。
- moperaのサービス内容および接続設定方法については、moperaのホームページをご覧ください。  
<http://www.mopera.net/mopera/index.html>

## ユーザー認証

接続先によっては、接続時にユーザー認証が必要な場合があります。その場合は、通信ソフトまたはダイヤルアップネットワークでIDとパスワードを入力して接続してください。IDとパスワードはプロバイダまたは社内LANなど接続先のネットワーク管理者から付与されます。詳細はプロバイダまたはネットワーク管理者にお問い合わせください。

## パケット通信の条件

日本国内で通信を行うには、次の条件が必要です。

- FOMAサービスエリア内であること
- アクセスポイントがFOMAパケット通信に対応していること
- Bluetooth接続の場合は、パソコンがBluetooth標準規格Ver.1.1、Ver.1.2またはVer.2.0 + EDRに準拠（ダイヤルアップネットワーキングプロファイル）していること

※ 上記の条件が整っていても、基地局が混雑していたり、電波状態が悪かったりするときは通信できない場合があります。

## CD-ROMを利用する

付属のCD-ROMには、FOMA端末でデータ通信をご利用になる際のソフトウェアや、PDF版「区点コード一覧」などが収録されています。

## データ転送（OBEX™通信）の準備の流れ

FOMA 充電機能付USB接続ケーブル O2（別売）をご利用になる場合には、FOMA通信設定ファイルをインストールしてください。

FOMA通信設定ファイルをダウンロード、インストールする

- 付属のCD-ROMからインストール
- ドコモのホームページからダウンロードし、インストール



データ転送

## データ通信の準備の流れ

パソコンとUSBケーブル接続またはBluetooth接続をして、パケット通信を利用する場合の準備について説明します。

### USBケーブル接続の場合

- ① FOMA通信設定ファイルをダウンロード、インストールする→P6
  - ・ 付属のCD-ROMからインストール
  - ・ ドコモのホームページからダウンロードし、インストール
- ② パソコンとFOMA端末を接続する→P5
- ③ FOMA通信設定ファイルを確認する→P6

### Bluetooth接続の場合

- ① Bluetooth接続を準備する→P8
- ② モデムの確認をする→P9

データ通信の設定をする→P10

通信を実行する

## FOMA通信設定ファイル

USBケーブルでパソコンと接続してパケット通信を行う場合は、FOMA通信設定ファイルをインストールする必要があります。

## Bluetooth接続を利用する

Bluetooth対応パソコンとFOMA端末をBluetooth接続して、データ通信を行います。

- 詳しくは、「Bluetooth接続を準備する」をご覧ください。→P8

## インストール／アンインストール前の注意点

- 操作を始める前に他のプログラムが動作中でないことを確認し、動作中のプログラムがある場合は終了してください。
- ※ ウイルス対策ソフトを含む、Windows上に常駐しているプログラムも終了します。  
例：タスクバーに表示されているアイコンを右クリックし、「閉じる」または「終了」をクリックします。
- FOMA通信設定ファイルのインストール／アンインストールを行う場合は、必ずパソコンの管理者権限を持ったユーザーで行ってください。それ以外のユーザーで行うとエラーになる場合があります。パソコンの管理者権限の設定操作については、各パソコンメーカーやマイクロソフト社にお問い合わせください。
- 「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたときは、次の操作を行います（Windows XPでは表示されません）。
  - Windows 7：「はい」をクリックするか、パスワードを入力して「OK」をクリック
  - Windows Vista：「許可」または「続行」をクリックするか、パスワードを入力して「OK」をクリック
- パソコンの操作方法または管理者権限の設定などについては、パソコンの取扱説明書をご覧ください。

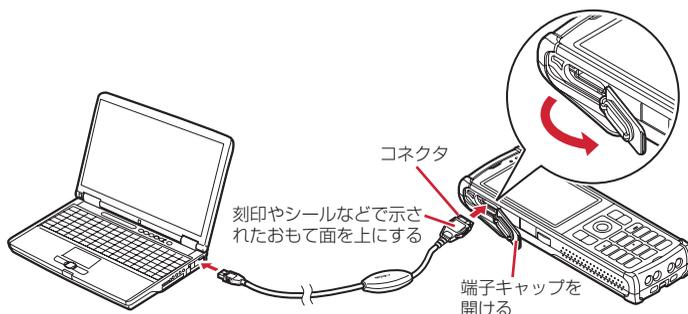
## パソコンとFOMA端末を接続する

ここでは取り付け／取り外し方法を説明します。FOMA通信設定ファイルのインストールは行いません。→P6

- FOMA通信設定ファイルのインストール前にパソコンに接続すると、USBケーブルが差し込まれたことを自動的に認識してドライバが要求されますが、「キャンセル」をクリックして終了してください。
- パソコンとFOMA端末は、電源が入っている状態で接続してください。
- 本マニュアルでは、FOMA 充電機能付USB接続ケーブル O2（別売）での場合を例に説明しています。

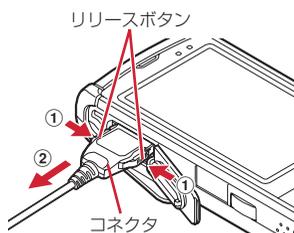
### USBケーブルを取り付ける

- 1 USBケーブルのコネクタをFOMA端末の外部接続端子に差し込む
- 2 USBケーブルのパソコン側のコネクタをパソコンのUSBポートに差し込む



### 取り外しかた

- 1 USBケーブルのコネクタのリリースボタンを押し (①)、FOMA端末から引き抜く (②)



- 2 パソコンからUSBケーブルを取り外す

### お知らせ

- FOMA端末からUSBケーブルを抜き差しする際は、コネクタ部分に無理な力がかからないように注意してください。取り外すときは、必ずリリースボタンを押しながら水平に引き抜いてください。無理に引き抜こうとすると故障の原因となります。
- データ通信中にUSBケーブルを取り外さないでください。データ通信が切断され、誤動作やデータ消失の原因となります。

## FOMA通信設定ファイル（ドライバ）をインストールする

FOMA端末とパソコンをUSBケーブルで接続してデータ通信を行う場合は、FOMA通信設定ファイル（ドライバ）が必要です。使用するパソコンにFOMA端末を初めて接続する前に、あらかじめインストールしておきます。

インストール方法には、インストーラを利用する方法と、CD-ROM内のフォルダを指定して手動でインストールする方法があります。

- 操作する前に、必ず「インストール／アンインストール前の注意点」をご覧ください。→P4
- Bluetooth接続の場合は、FOMA通信設定ファイルのインストールは必要ありません。

### インストーラからインストールする

- 操作5でFOMA端末をパソコンに接続する旨のメッセージが表示されるまで、FOMA端末を接続しないでください。

〈例〉Windows 7にインストールするとき

- 1 CD-ROMをパソコンにセット
- 2  (スタート) をクリック→「コンピュータ」をクリック→「DVD／CD-ROMドライブ (D:)」をダブルクリック→「F05B\_USB\_Driver」をダブルクリック
- 3 「F05Bst.exe」アイコンをダブルクリック
- 4 「インストール開始 (I)」をクリック
- 5 FOMA端末をパソコンに接続する旨のメッセージが表示されたら、FOMA端末をパソコンに接続
  - ・ FOMA端末は電源が入った状態で接続してください。
- 6 インストール完了画面で「OK」をクリック

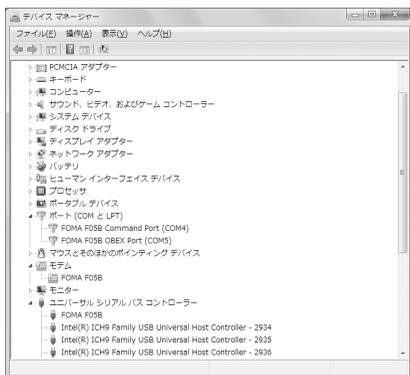
### FOMA通信設定ファイルを確認する

- FOMA端末がパソコンに正しく認識されていない場合、設定および通信はできません。

〈例〉Windows 7で確認するとき

- 1  (スタート) → 「コントロールパネル」 → 「システムとセキュリティ」 → 「システム」カテゴリ内にある「デバイスマネージャー」を順にクリック
  - Windows Vistaのとき
    -  (スタート) → 「コントロールパネル」 → 「システムとメンテナンス」 → 「デバイスマネージャー」を順にクリック
  - Windows XPのとき
    - ① 「スタート」 → 「コントロールパネル」 → 「パフォーマンスとメンテナンス」 → 「システム」を順にクリック
    - ② 「システムのプロパティ」画面の「ハードウェア」タブをクリック→「デバイスマネージャー」をクリック

## 2 各デバイスの種類をダブルクリック→次のデバイス名が登録されていることを確認



- デバイスの種類とデバイス名は次のとおりです。表示される順番はOSにより異なります。
  - ポート (COMとLPT) :
    - FOMA F05B Command Port (COMx) ※
    - FOMA F05B OBEX Port (COMx) ※
  - モデム : FOMA F05B
  - ユニバーサルシリアルバスコントローラまたはUSB (Universal Serial Bus) コントローラ : FOMA F05B
- ※ xはパソコンの環境により、異なった数字が表示されます。

## FOMA通信設定ファイルをアンインストールする

- 操作する前に、必ず「インストール／アンインストール前の注意点」をご覧ください。→P4
- 操作する前に、パソコンからFOMA端末を取り外してください。

〈例〉Windows 7、Windows Vistaでアンインストールするとき

### 1 (スタート) → 「コントロールパネル」 → 「プログラム」 カテゴリ内にある「プログラムのアンインストール」を順にクリック

#### ■ Windows XPのとき

「スタート」 → 「コントロールパネル」 → 「プログラムの追加と削除」を順にクリック

### 2 「FOMA F05B USB」を選択して「アンインストールと変更」(Windows XPの場合は「変更と削除」)をクリック

### 3 「FOMA F05B Uninstaller」と表示されていることを確認して「はい」をクリック

アンインストールを開始します。

### 4 「FOMA F05B ドライバを削除しました」画面が表示されたら「OK」をクリック

## お知らせ

- 削除画面で「FOMA F05B USB」が表示されていないときは、再度「FOMA通信設定ファイルをインストールする」の操作を行った後に、アンインストールを行ってください。→P6

## Bluetooth<sup>®</sup>接続を準備する

Bluetooth対応パソコンとFOMA端末をBluetooth接続して、データ通信を行います。

- パソコンの操作方法については、ご使用になるパソコンの取扱説明書をご覧ください。

### データ通信時のBluetooth機能での接続先を登録する

Bluetooth機能を利用してデータ通信を行うには、moperaなどの接続先を登録しておきます。

- 1  → 「設定」 → 「接続」 → 「PPP接続先登録」と順に選択
- 2  【メニュー】 → 「追加」と選択し、「アクセスポイント名 (APN) :」に接続名を入力  
「アクセスポイント名 (APN) :」欄に接続先名を入力します。(例:「mopera.net」または「mopera.ne.jp」)
- 3  【完了】  
接続先が登録されます。Bluetoothで接続する場合、接続先の「電話番号」をメモしておいてください。
- 4  【完了】

### FOMA端末とパソコンを接続する

パソコンとFOMA端末をお互いに機器登録します。

- 機器登録が終了すると、次回の接続時に機器登録は必要ありません。接続方法については、ご利用になる機器の取扱説明書を参照してください。

- 1  → 「設定」 → 「Bluetooth」 → 「モード」 タブ → 「このデバイスを他のデバイスからも検出できるようにする」にチェックを入れる →  【OK】
- 2 パソコンからBluetooth機器の検索・登録操作を行う  
FOMA端末の画面に、デバイス追加の確認画面が表示されます。
  - ・パソコンからの操作については、ご利用になる機器の取扱説明書を参照してください。
- 3 「はい」をタップ→パスコードを入力 →  【次へ】  
機器登録が完了すると、FOMA端末とパソコンがBluetooth機能で接続されます。
  - ・接続通知の画面が表示された場合は、しばらくすると画面が閉じます。設定を行う場合は、 「詳細設定」を選択してください。
- 4  【完了】

### お知らせ

- ・パソコンにFOMA端末を登録する場合、パソコンが複数の機器を検索したときは、機器名称でFOMA端末を判別してください。パソコンが同一名称の機器を複数検索したときは、機器アドレスで判別してください。

## モデムの確認をする

- FOMA端末がパソコンに正しく認識されていない場合、設定および通信はできません。パソコンでご使用になるモデムのモデム名や、ダイヤルアップ接続用に設定されたCOMポート番号を確認します。

〈例〉Windows 7で確認するとき

**1**  (スタート) → 「コントロールパネル」 → 「システムとセキュリティ」 → 「システム」カテゴリ内にある「デバイスマネージャー」を順にクリック

■ Windows Vistaのとき

 (スタート) → 「コントロールパネル」 → 「システムとメンテナンス」 → 「デバイスマネージャー」を順にクリック

■ Windows XPのとき

① 「スタート」 → 「コントロールパネル」 → 「パフォーマンスとメンテナンス」 → 「システム」を順にクリック

② 「システムのプロパティ」画面の「ハードウェア」タブをクリック → 「デバイスマネージャー」をクリック

**2** 各デバイスの種類をダブルクリック → モデム名またはCOMポート番号を確認

- ・ 「モデム」、「ポート (COMとLPT)」の下にモデム名またはCOMポート番号が表示されます。

## 接続を終了する

データ通信を終了するには、Bluetooth通信を切断します。切断方法については、ご利用になる機器の取扱説明書を参照してください。

- FOMA端末から切断する場合は、 → 「設定」 → 「Bluetooth」を順に選択し、「モード」タブで「Bluetoothをオンにする」のチェックを外します。

## データ通信の設定をする

ダイヤルアップ接続の設定を行う方法について説明します。

### ダイヤルアップネットワークの設定の流れ

- データ通信の準備の流れ→P4
- 操作する前に、必ずパソコンとFOMA端末が正しく接続されていることを確認してください。

#### 接続先 (APN) を設定する\*→P10

- 接続先がmopera Uまたはmoperaの場合、設定は不要です。



#### 発信者番号の通知／非通知を設定する\*→P12

- 必要に応じて設定してください。



#### ダイヤルアップネットワークの設定をする

- Windows 7、Windows Vistaで設定する場合→P13
- Windows XPで設定する場合→P15

※ 設定するには、ATコマンドを入力するための通信ソフトが必要です。

ここではWindows XPに添付されている「ハイパーターミナル」を使った設定方法を説明します。Windows 7、Windows Vistaは「ハイパーターミナル」に対応していません。Windows 7、Windows Vistaの場合は、各OSに対応したソフトを使って設定してください（ご使用になるソフトの設定方法に従ってください）。

### 接続先 (APN) を設定する

#### 接続先 (APN) と登録番号 (cid)

パケット通信の接続先 (APN) は、USB接続の場合はFOMA端末の登録番号 (cid) 1～10、Bluetooth接続の場合は登録番号 (cid) 1～20に別々に設定できます。お買い上げ時、USB接続のcid1にはmoperaに接続するためのAPN[mopera.ne.jp] (PPP接続)、cid2にはmopera Uに接続するためのAPN [mopera.net] (PPP接続)、cid3にはmopera Uに接続するためのAPN [mopera.net] (IP接続) が登録されています。その他のプロバイダや社内LANに接続する場合は、USB接続ではcid5～7に、Bluetooth接続ではcid1～20にAPNを登録してください。

● 接続先 (APN) については、プロバイダまたはネットワーク管理者にお問い合わせください。

- USBケーブル接続とBluetooth接続は、それぞれ個別に接続先 (APN) を設定する必要があります。
- パケット通信時にUSBケーブル接続とBluetooth接続を切り替える場合は、再度接続先 (APN) を設定する必要があります。
- 接続先の設定は、パケット通信用の電話帳登録として考えられます。接続先の設定項目をFOMA端末の電話帳と比較すると、次のようになります。

接続先の設定項目	FOMA端末の電話帳の登録項目
登録番号 (cid)	登録番号 (メモリ番号)
APN	相手の電話番号

● 登録したcidはダイヤルアップ接続設定での接続番号となります。

また、Bluetoothで接続する場合のcidは、P8「データ通信時のBluetooth機能での接続先を登録する」でFOMA端末に表示された電話番号のcidを利用します。

## 接続先 (APN) を設定する

〈例〉 Windows XPで設定するとき

**1** 「スタート」をクリック→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「通信」を順に選択して「ハイパーターミナル」をクリック

**2** 「名前」に接続先名など任意の名名を入力→「OK」をクリック



- 「名前」に次の記号 (半角文字) は使用できません。  
¥/:\*?<>|”

**3** 「電話番号」に実在しない電話番号 (「0」など) を入力→「接続方法」を選択→「OK」をクリック



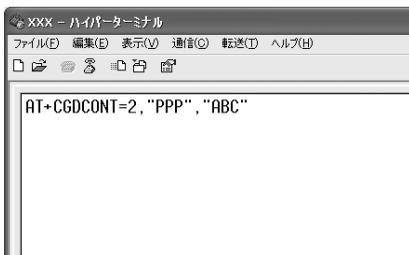
- 「市外局番」はパソコンの環境により異なります。接続先 (APN) の設定とは関係ありませんので、変更不要です。
- 「接続方法」は次のように設定します。  
USBケーブル接続の場合：「FOMA F05B」を選択  
Bluetooth接続の場合：「ご使用のBluetoothリンク経由標準モデム」または「Bluetooth機器メーカーが提供しているBluetoothモデム」を選択

**4** 「接続」画面で「キャンセル」をクリック

**5** 接続先 (APN) を「AT+CGDCONT=<cid>,"PPP",<APN>」の形式で入力→

<cid> : 5~7 (USB接続)、1~20 (Bluetooth接続) の範囲で任意の番号

<APN> : 接続先 (APN)



- +CGDCONTコマンド→P25「ATコマンドの補足説明」
- コマンドを入力しても画面に表示されない場合は、ATE1と入力し、を押します。

6 「OK」と表示されていることを確認して「ファイル」をクリック→「ハイパーターミナルの終了」をクリック

7 切断の確認で「はい」をクリック→保存の確認で「いいえ」をクリック

## 発信者番号の通知／非通知を設定する

パケット通信時の発信者番号の通知／非通知を一括して設定します。

発信者番号はお客様の大切な情報です。通知する際には十分にご注意ください。

● mopera Uまたはmoperaを利用する場合、「非通知」に設定すると接続できません。

〈例〉Windows XPで設定するとき

1 「接続先（APN）の設定」の操作1～4を実行

2 発信者番号の通知／非通知を「AT\*DGPIR=<n>」の形式で入力→

<n>: 0~2

0 : そのまま接続（お買い上げ時）

1 : 184を付けて接続（非通知）

2 : 186を付けて接続（通知）



• コマンドを入力しても画面に表示されない場合は、ATE1と入力し、を押します。

3 「OK」と表示されていることを確認して「ファイル」をクリック→「ハイパーターミナルの終了」をクリック

4 切断の確認で「はい」をクリック→保存の確認で「いいえ」をクリック

## ダイヤルアップネットワークでの通知／非通知設定について

ダイヤルアップネットワークの設定でも、接続先の番号に186（通知）／184（非通知）を付けられます。

● \* DGPIR コマンド、ダイヤルアップネットワークの設定の両方で設定を行った場合の発信者番号の通知／非通知は次のとおりです。

ダイヤルアップネットワークの設定 (<cid>=3の場合)	* DGPIR コマンドによる設定	設定なし	非通知	通知
*99***3#		通知	非通知	通知
184*99***3#			非通知	
186*99***3#			通知	

# ダイヤルアップネットワークを設定する

## Windows 7、Windows Vistaで設定する

1  (スタート) → 「コントロールパネル」 → 「ネットワークとインターネット」カテゴリ内にある「ネットワークの状態とタスクの表示」を順にクリック

■ Windows Vistaのとき

 (スタート) → 「接続先」を順にクリック

2 「新しい接続またはネットワークのセットアップ」をクリック

■ Windows Vistaのとき

「接続またはネットワークをセットアップします」をクリック

3 「ダイヤルアップ接続をセットアップします」を選択して「次へ」をクリック



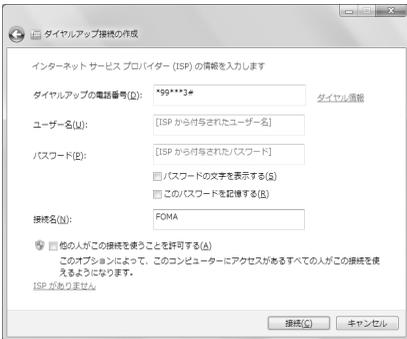
■ 「どのモデムを使いますか？」画面が表示されたとき

USBケーブル接続の場合：「FOMA F05B」をクリック

Bluetooth接続の場合：「ご使用のBluetoothリンク経由標準モデム」または「Bluetooth機器メーカーが提供しているBluetoothモデム」をクリック

4 「ダイヤルアップの電話番号」に接続先の電話番号（\*99\*\*\*<cid>#）を半角で入力→「ユーザー名」を入力→「パスワード」を入力→「接続名」を入力して「接続」をクリック

<cid>：P11「接続先（APN）を設定する」で登録したcid番号



• mopera Uまたはmoperaへ接続する場合は次のように入力します。

接続先	電話番号
mopera U（IP接続）	*99***3#
mopera U（PPP接続）	*99***2#
mopera（PPP接続）	*99***1#

• Bluetoothで接続する場合は、P8「データ通信時のBluetooth機能での接続先を登録する」でFOMA端末に表示された接続先の電話番号のcidを入力します。

• 接続先がmopera Uまたはmoperaの場合、「ユーザー名」「パスワード」は空欄でもかまいません。  
• 「接続名」の先頭に.（半角文字のピリオド）は使用できません。また、次の記号（半角文字）は使用できません。  
¥ / : \* ? < > |

## 5 接続中の画面で「スキップ」をクリック

- ここではすぐに接続せずに、設定だけを行います。

## 6 「接続の使用準備ができました」画面で「閉じる」をクリック

### ■ Windows Vistaのとき

- ① 「インターネット接続テストに失敗しました」画面で「接続をセットアップします」をクリック
- ② 「閉じる」をクリック

## 7 「ネットワークと共有センター」画面で、左側上部に表示されている「アダプターの設定の変更」をクリック

### ■ Windows Vistaのとき

- (スタート) → 「接続先」を順にクリック

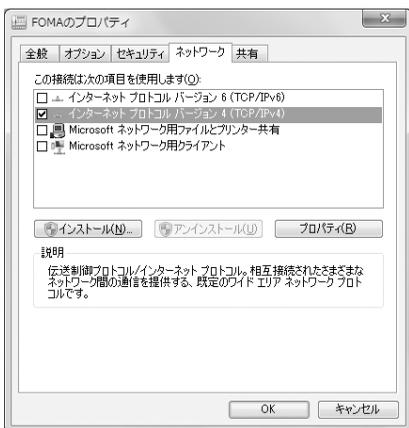
## 8 作成した接続先を右クリックして「プロパティ」をクリック

## 9 「全般」タブの各項目の設定を確認



- パソコンに複数のモデムが接続されているときは、次のように設定します。  
USBケーブル接続の場合：「接続の方法」で「モデム-FOMA F05B」のみを選択します。  
Bluetooth接続の場合：「接続の方法」で「モデム- (ご使用のBluetoothリンク経由標準モデム)」または「モデム- (Bluetooth機器メーカーが提供しているBluetoothモデム)」を選択します。
- 選択したモデム以外は非選択 (  ) にしてください。
- 「接続の方法」に表示されたモデムに割り当てられるCOMポート番号は、お使いのパソコンの環境により異なります。
- 「ダイヤル情報を使う」を非選択 (  ) にします。

## 10 「ネットワーク」タブをクリック→各項目を画面例のように設定



- 「インターネットプロトコルバージョン6 (TCP/IPv6)」を非選択 (  ) にします。
- プロバイダなどからIPおよびDNS情報の設定が指示されている場合は、「インターネットプロトコルバージョン4 (TCP/IPv4)」を選択し「プロパティ」をクリックして、各種情報を設定してください。
- プロバイダなどから「QoSパケットスケジューラ」および、その他の項目についての指示がある場合は、必要に応じて選択/非選択を設定してください。

## 11 「オプション」タブをクリック→「PPP設定 (G)」をクリック

## 12 すべての項目を非選択 ( ) にして「OK」をクリック



## 13 「OK」をクリック

通信を実行する→P17

### Windows XPで設定する

1 「スタート」をクリック→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「通信」を順に選択して「新しい接続ウィザード」をクリック

2 「新しい接続ウィザードの開始」画面で「次へ」をクリック

3 「インターネットに接続する (C)」を選択して「次へ」をクリック

4 「接続を手動でセットアップする (M)」を選択して「次へ」をクリック

5 「ダイヤルアップモデムを使用して接続する (D)」を選択して「次へ」をクリック

#### ■ 「デバイスの選択」画面が表示されたとき

USBケーブル接続の場合：「モデム-FOMA F05B」を選択して「次へ」をクリック

Bluetooth接続の場合：「モデム- (ご使用のBluetoothリンク経由標準モデム) 」または「モデム- (Bluetooth機器メーカーが提供しているBluetoothモデム) 」を選択して「次へ」をクリック

6 「ISP名」に任意の接続名を入力→「次へ」をクリック



- 「ISP名」の先頭に、(半角文字のピリオド) は使用できません。また、次の記号 (半角文字) は使用できません。  
¥ / : \* ? < > | "

7 「電話番号」に接続先の電話番号 (\*99\*\*\*<cid>#) を半角で入力→「次へ」をクリック

<cid> : P11 「接続先 (APN) を設定する」で登録したcid番号

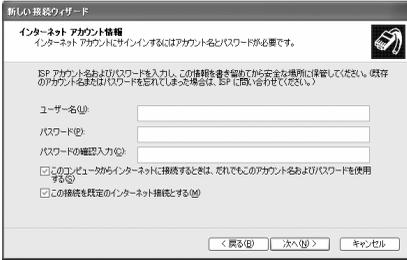


- mopera Uまたはmoperaへ接続する場合は次のように入力します。

接続先	電話番号
mopera U (IP接続)	*99***3#
mopera U (PPP接続)	*99***2#
mopera (PPP接続)	*99***1#

- Bluetoothで接続する場合は、P8 「データ通信時のBluetooth機能での接続先を登録する」でFOMA端末に表示された接続先の電話番号のcidを入力します。

## 8 「ユーザー名」を入力→「パスワード」を入力→「パスワードの確認入力」を入力→各項目を画面例のようにすべて選択して「次へ」をクリック



- 接続先がmopera Uまたはmoperaの場合、「ユーザー名」「パスワード」「パスワードの確認入力」は空欄でもかまいません。

## 9 「新しい接続ウィザードの完了」画面で「完了」をクリック

## 10 「スタート」をクリック→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「通信」を順に選択して「ネットワーク接続」をクリック

## 11 作成した接続先アイコンを選択して「ファイル」をクリック→「プロパティ」をクリック

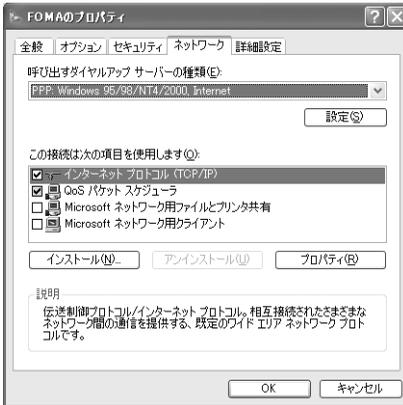


## 12 「全般」タブの各項目の設定を確認



- パソコンに複数のモデムが接続されているときは、次のように設定します。  
USBケーブル接続の場合：「接続方法」で「モデム-FOMA F05B」のみを選択します。  
Bluetooth接続の場合：「接続方法」で「モデム-（ご使用のBluetoothリンク経由標準モデム）」または「モデム-（Bluetooth機器メーカーが提供しているBluetoothモデム）」を選択します。
- 選択したモデム以外は非選択（）にしてください。
- 「接続方法」に表示されたモデムに割り当てられるCOMポート番号は、お使いのパソコンの環境により異なります。
- 「ダイヤル情報を使う」を非選択（）にします。

### 13 「ネットワーク」タブをクリック→各項目を画面例のように設定→「設定」をクリック



- 「この接続は次の項目を使用します」の「QoS パケットスケジューラ」は設定を変更できませんので、そのままにしてください。
- プロバイダなどからIPおよびDNS情報の設定が指示されている場合は、「インターネットプロトコル (TCP/IP)」を選択し「プロパティ」をクリックして、各種情報を設定してください。

### 14 すべての項目を非選択 ( ) にして「OK」をクリック



### 15 「OK」をクリック 通信を実行する→P17

## ダイヤルアップ接続で通信を実行する

通信の実行や切断について説明します。

〈例〉Windows 7のとき

#### 1 パソコンとFOMA端末を接続

USBケーブル接続の場合→P5

Bluetooth接続の場合→P8

#### 2 (スタート) → 「コントロールパネル」 → 「ネットワークとインターネット」のカテゴリ内にある「ネットワークの状態とタスクの表示」を順にクリック

##### ■ Windows Vistaのとき

(スタート) → 「接続先」を順にクリック→接続先を選択して「接続」をクリック

##### ■ Windows XPのとき

「スタート」をクリック→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「通信」を順に選択して「ネットワーク接続」をクリック→接続アイコンをダブルクリック

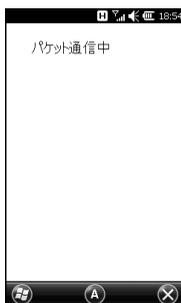
### 3 「ユーザー名」を入力→「パスワード」を入力→「ダイヤル」をクリック



- mopera Uまたはmoperaを利用する場合、「ユーザー名」「パスワード」は空欄でもかまいません。
- 設定中に「ユーザー名」の入力や「パスワード」の保存をした場合、入力は不要です。
- 接続完了画面が表示された場合は「閉じる」をクリックしてください。

### お知らせ

- USBケーブル接続の場合、FOMA 端末にはパケット通信を実行すると発信中画面が表示され、接続すると次の画面が表示されます。



- パソコンに表示される通信速度は、実際の通信速度とは異なる場合があります。
- 接続アイコン作成時のFOMA端末を接続した場合のみ、通信が行えます。

### 通信を切断する

パソコンのブラウザを終了しただけでは切断されない場合があります。確実に切断するには、次の操作を行ってください。

〈例〉Windows 7のとき

#### 1 タスクトレイの をクリック→切断する接続名をクリック→「切断」をクリック

##### ■ Windows Vistaのとき

タスクトレイの  を右クリック→「切断」を選択して切断する接続先をクリック

##### ■ Windows XPのとき

タスクトレイのダイヤルアップアイコンをクリック→「切断」をクリック

## ATコマンド

ATコマンドとは、パソコンでFOMA端末の各機能を設定するためのコマンド(命令)です。FOMA端末はATコマンドに準拠し、さらに拡張コマンドの一部や独自のATコマンドをサポートしています。

● ATコマンドは、FOMA端末とパソコンをUSBケーブルで接続した場合のみ利用できます。

### ATコマンドの入力形式

ATコマンドは、コマンドの先頭に必ず「AT」を付けて、半角英数字で入力してください。

〈例〉 ATDコマンドでmopera Uに接続するとき

ATD\*99\*\* \* \*3#

リターンマーク：Enterキーを押します。コマンドの区切りになります。

パラメータ：コマンドの内容です。

コマンド：コマンド名です。

ATコマンドは、コマンドに続くパラメータを含めて、必ず1行で入力します。1行とは最初の文字から  を押した直前までの文字のことで、「AT」を含む最大256文字入力できます。

### ATコマンドの入力モード

ATコマンドでFOMA端末を操作する場合は、パソコンをターミナルモードにしてください。ターミナルモードとは、パソコンを1台の通信端末のように動作させるモードです。ターミナルモードにすると、キーボードから入力された文字がそのまま通信ポートに送られ、FOMA端末を操作できます。

#### ● オフラインモード

FOMA端末が待受の状態です。通常ATコマンドでFOMA端末を操作する場合は、この状態で操作します。

#### ● オンラインデータモード

FOMA端末が通信中の状態です。この状態のときにATコマンドを入力すると、送られてきた文字をそのまま通信先に送信して、通信先のモデムを誤動作させる場合がありますので、通信中はATコマンドを入力しないでください。

#### ● オンラインコマンドモード

FOMA端末が通信中の状態でも、ATコマンドでFOMA端末を操作できる状態です。その場合、通信先との接続を維持したままATコマンドを実行し、終了すると再び通信が続けられます。

#### ■ オンラインデータモードとオンラインコマンドモードを切り替えるとき

FOMA端末をオンラインデータモードからオンラインコマンドモードに切り替えるには、次の方法があります。

・ +++コマンドまたはS2レジスタに設定したコードを入力します。

・ 「AT&D1」に設定されているときに、RS-232C\*のER信号をOFFにします。

※ USBインタフェースにより、RS-232Cの信号線がエミュレートされていますので、通信アプリケーションによるRS-232Cの信号線制御が有効になります。

また、オンラインコマンドモードからオンラインデータモードに切り替えるには、「ATO



上段：コマンド	下段：実行例	説明
ATS6=<n>		ダイヤルするまでのポーズ時間（秒）を設定できますが、動作しません。 n=2~10（お買い上げ時n=5） ATS6?: 現在の設定を表示
ATS6=5 <input type="checkbox"/>	OK	
ATS8=<n>		カンマダイヤルするまでのポーズ時間（秒）を設定できますが、動作しません。 n=0~255（お買い上げ時n=3） ATS8?: 現在の設定を表示
ATS8=3 <input type="checkbox"/>	OK	
ATS10=<n>	※1	自動切断の遅延時間（1/10秒）を設定できますが、動作しません。 n=1~255（お買い上げ時n=1） ATS10?: 現在の設定を表示
ATS10=1 <input type="checkbox"/>	OK	
ATV<n>	※1	リザルトコードの表示方法を設定します。 n=0: 数字表示    n=1: 英文字表示（お買い上げ時） ATV0を実行した場合は、同じ行に「0」を返します。
ATV1 <input type="checkbox"/>	OK	
ATX<n>	※1	ビジートーン、ダイヤルトーンの検出を行うかと、接続時の「CONNECT」に速度を表示するかを設定します。 ビジートーン検出：接続先が通話中のとき「BUSY」応答を送出 ダイヤルトーン検出：FOMA端末に接続されているかを判定 n=0: ビジートーン検出なし、ダイヤルトーン検出なし、速度表示なし n=1: ビジートーン検出なし、ダイヤルトーン検出なし、速度表示あり n=2: ビジートーン検出なし、ダイヤルトーン検出あり、速度表示あり n=3: ビジートーン検出あり、ダイヤルトーン検出なし、速度表示あり n=4: ビジートーン検出あり、ダイヤルトーン検出あり、速度表示あり（お買い上げ時） n=0に設定すると、AT&EおよびAT%Vコマンドが無効になります。
ATX4 <input type="checkbox"/>	OK	
ATZ	※3	現在の設定を記録された内容に戻します。 通信中に実行すると、回線を切断（「NO CARRIER」を表示）してから戻します。
ATZ <input type="checkbox"/>	OK（オフライン時）	
AT%V		FOMA端末のバージョンを表示します。
AT%V <input type="checkbox"/>	Ver1.00 OK	
AT&C<n>	※1	DTEへの回路CD（DCD）信号の動作条件を設定します。 n=0: 常にON    n=1: 回線接続状態に従い変化（お買い上げ時） n=0に設定すると、接続完了時の「CONNECT」を送出する直前にCD信号をONにします。回路が切断され、「NO CARRIER」を送出する直前にCD信号をOFFにします。
AT&C1 <input type="checkbox"/>	OK	
AT&D<n>	※1	オンラインデータモード時、DTEから受け取る回路ER（DTR）信号がONからOFFに変わったときの動作を設定します。 n=0: 状態を無視（常にONとみなす） n=1: ONからOFFに変わるとオンラインコマンドモードに移行 n=2: ONからOFFに変わると回線を切断しオフラインモードに移行（お買い上げ時）
AT&D2 <input type="checkbox"/>	OK	
AT&E<n>	※1	接続時の速度表示を設定します。 n=0: 無線区間通信速度を表示 n=1: パソコンとFOMA端末間の通信速度を表示（お買い上げ時）
AT&E1 <input type="checkbox"/>	OK	
AT&F		現在の設定をお買い上げ時の状態に戻します。 通信中に実行すると、回線を切断（「NO CARRIER」を表示）してから戻します。
AT&F <input type="checkbox"/>	OK（オフライン時）	
AT&S<n>	※1	DTEへ出力するデータセットレディ（DR）信号の制御を設定します。 n=0: 常にON（お買い上げ時）    n=1: 接続時にON
AT&S0 <input type="checkbox"/>	OK	
AT&W		現在の設定をFOMA端末に記録します。
AT&W <input type="checkbox"/>	OK	
AT * DANTE		FOMA端末の受信レベルを「* DANTE: <n>」の形式で表示します。 n=0: 圏外    n=1: FOMA端末の受信レベルのアンテナが0または1本 n=2: FOMA端末の受信レベルのアンテナが2本 n=3: FOMA端末の受信レベルのアンテナが3本 AT * DANTE=? : 表示可能な値のリストを表示
AT * DANTE <input type="checkbox"/>	* DANTE: 3 OK	

上段：コマンド 下段：実行例	説明
AT * DGANSM=<n> ※2	パケット着信呼に対する着信拒否/許可を設定します。
AT * DGANSM=0 <input type="checkbox"/> OK	n=0：着信拒否設定OFF、着信許可設定OFF（お買い上げ時） n=1：着信拒否設定ON n=2：着信許可設定ON AT * DGANSM?：現在の設定を表示 AT * DGANSM=?：設定可能な値のリストを表示
AT * DGAPL=<n> [<cid>] ※2	パケット着信呼に対して着信を許可する接続先（APN）を設定します。APNは+CGDCONTコマンドで定義した<cid>を使用します。
AT * DGAPL=0,1 <input type="checkbox"/> OK	n=0：着信許可リストに追加 n=1：着信許可リストから削除 <cid>を+CGDCONTコマンドで定義していない場合でも、リストへ追加/削除します。 <cid>を省略した場合は、すべての<cid>をリストに追加/削除します。 AT * DGAPL?：現在の設定を表示 AT * DGAPL=?：設定可能な値のリストを表示
AT * DGARL=<n> [<cid>] ※2	パケット着信呼に対して着信を拒否する接続先（APN）を設定します。APNは+CGDCONTコマンドで定義した<cid>を使用します。
AT * DGARL=0,1 <input type="checkbox"/> OK	n=0：着信拒否リストに追加 n=1：着信拒否リストから削除 <cid>を+CGDCONTコマンドで定義していない場合でも、リストへ追加/削除します。 <cid>を省略した場合は、すべての<cid>をリストに追加/削除します。 AT * DGARL?：現在の設定を表示 AT * DGARL=?：設定可能な値のリストを表示
AT * DGPIR=<n> ※2	パケット通信確立時の発信者番号通知を設定します。発信時、着信時に有効です。
AT * DGPIR=0 <input type="checkbox"/> OK	n=0：APNにそのまま接続（お買い上げ時） n=1：APNに184を付けて接続 n=2：APNに186を付けて接続 ダイヤルアップネットワークでも通知/非通知を設定した場合→P12 AT * DGPIR?：現在の設定を表示 AT * DGPIR=?：設定可能な値のリストを表示
AT * DRPW	FOMA端末が受信する電波の受信電力指標を表示します。
AT * DRPW <input type="checkbox"/> * DRPW : 0 OK	AT * DRPW=?：表示可能な値のリストを表示
AT+CAOC	直前通話料金を表示します。
AT+CAOC <input type="checkbox"/> +CAOC : "000024" OK	
AT+CBC	FOMA端末の電池残量を「+CBC : <bc>,<bcl>」の形式で表示します。
AT+CBC <input type="checkbox"/> +CBC : 0,100 OK	bc>=0：電池パックから電源の供給あり bc>=1：電池パックから電源の供給なし bc>=2：電池パックが取り外されている bc>=3：電源供給エラー bcl=0：電池残量なしまたは電池パックが取り外されている bcl=1~100：電池残量あり AT+CBC=?：表示可能な値のリストを表示
AT+CDIP=<n> ※1	着サブアドレスの通知の有無を設定します。また、マルチナンバーの契約状況を確認できます。
AT+CDIP=0 <input type="checkbox"/> OK	n=0：サブアドレスを表示しません。（お買い上げ時） n=1：サブアドレスを表示します。 m=0：マルチナンバー未契約 m=1：マルチナンバー契約中 AT+CDIP?：「+CDIP:<n>,<m>」の形式で現在の設定と状態を表示 AT+CDIP=?：設定可能な値のリストを表示
AT+CEER	直前の切断理由を表示します。
AT+CEER <input type="checkbox"/> +CEER : 36 OK	切断理由一覧→P25
AT+CGDCONT ※2	パケット通信の接続先（APN）を設定します。→P25
→P25	
AT+CGEQMIN ※2	パケット通信確立時にネットワーク側から通知されるQoS（サービス品質）を許容するかの判定基準を設定します。→P26
→P26	
AT+CGEQREQ ※2	パケット通信発信時にネットワークへ要求するQoS（サービス品質）を設定します。→P26
→P26	
AT+CGMR	FOMA端末のバージョンを表示します。
AT+CGMR <input type="checkbox"/> 1234567890123456 OK	
AT+CGREG=<n> ※1	ネットワーク登録状態（圏内/圏外）を通知するかを設定します。
AT+CGREG=0 <input type="checkbox"/> OK	n=0：通知なし（お買い上げ時） n=1：圏内から圏外または圏外から圏内へ移動時「+CGREG : <stat>」の形式で通知 stat=0：パケット圏外 stat=1：パケット圏内 stat=4：不明 stat=5：パケット圏内（国際ローミング中） AT+CGREG?：「+CGREG : <n>,<stat>」の形式で現在の設定と状態を表示 AT+CGREG=?：設定可能な値のリストを表示

上段：コマンド 下段：実行例	説明
AT+CGSN	FOMA端末の製造番号を表示します。
AT+CGSN <input type="checkbox"/> 123456789012345 OK	
AT+CMEE=<n> ※1	FOMA端末のエラーレポートの有無を設定します。 n=0：リザルトコードを使用せずに「ERROR」を表示（お買い上げ時） n=1：リザルトコードを使用し、数字で理由を表示 n=2：リザルトコードを使用し、英数字で理由を表示 n=1またはn=2に設定すると、「+CME ERROR：xxxx」の形式で理由を表示します（xxxxには、数字または英数字が表示されます）。→P25「エラーレポート一覧」 AT+CMEE?：現在の設定を表示 AT+CMEE=?：設定可能な値のリストを表示
AT+CMEE=0 <input type="checkbox"/> OK	
AT+CNUM	FOMA端末の自局電話番号を「+CNUM：「<number>」,<type>」の形式で表示します。 number：自局電話番号 type=129：国際アクセスコード+を含まない type=145：国際アクセスコード+を含む
AT+CNUM <input type="checkbox"/> +CNUM：「090XXXXXXXX」, 129 OK	
AT+COPS=<n>,2,<oper> ※2	接続する通信事業者の検索方法を設定します。 n=0：オート（お買い上げ時） n=1：マニュアル n=3：マッピングしない n=1に設定した場合は、<oper>にPLMN Numberを16進数で設定します。 AT+COPS?：現在の設定を表示 AT+COPS=?：設定可能な値のリストを表示
AT+COPS=0 <input type="checkbox"/> OK	
AT+CPAS	FOMA端末が外部機器にATコマンドを送受信できるかを「+CPAS：<n>」の形式で表示します。 n=0：可能 n=1：不可能 n=2：状態不明 n=3：可能かつ着信中 n=4：可能かつ通信中 AT+CPAS=?：表示可能な値のリストを表示
AT+CPAS <input type="checkbox"/> +CPAS：0 OK	
AT+CPIN="<pin>",<newpin>"	PIN1コードON時、PIN1/PIN2コードやPINロック解除コードの入力が必要な場合に入力します。PINロック解除コードの入力が必要な場合は、<newpin>に新しいPIN1/PIN2コードを入力します。PIN1/PIN2コードの入力が要求されているときに<newpin>を入力しても、PIN1/PIN2コードの変更はできません。 n=READY：コード入力の要求なし n=SIM PIN：PIN1コード入力待ち n=SIM PIN2：PIN2コード入力待ち n=SIM PUK：PIN1ロック解除失敗によりPINロック解除コード入力待ち n=SIM PUK2：PIN2ロック解除失敗によりPINロック解除コード入力待ち AT+CPIN?：現在の要求されているコードを「+CPIN：<n>」の形式で表示
AT+CPIN="0000" <input type="checkbox"/> OK	
AT+CR=<n> ※1	接続時に「CONNECT」が表示される前に、通信の種別を表示するかを設定します。 n=0：表示しない（お買い上げ時） n=1：「+CR：<serv>」の形式で通信の種別を表示 serv=GPRS：パケット通信 AT+CR?：現在の設定を表示 AT+CR=?：設定可能な値のリストを表示
AT+CR=0 <input type="checkbox"/> OK	
AT+CRC=<n> ※1	着信時に+CRINGのリザルトコードを使用するかを設定します。 n=0：使用しない（お買い上げ時） n=1：「+CRING：<type>」のリザルトコードを使用する type=GPRS "PPP"...<APN>：パケット通信 AT+CRC?：現在の設定を表示 AT+CRC=?：設定可能な値のリストを表示
AT+CRC=0 <input type="checkbox"/> OK	
AT+CREG=<n> ※1	ネットワーク登録状態（圏内/圏外）を通知するかを設定します。 n=0：通知なし（お買い上げ時） n=1：圏内から圏外または圏外から圏内へ移動時「+CREG：<stat>」の形式で通知 stat=0：音声圏外 stat=1：音声圏内 stat=4：不明 stat=5：音声圏内（国際ローミング中） AT+CREG?：「+CREG：<n>,<stat>」の形式で現在の設定と状態を表示 AT+CREG=?：設定可能な値のリストを表示
AT+CREG=0 <input type="checkbox"/> OK	
AT+CUSD=<n>,<str> ※1	ネットワークサービスの追加サービス（USSD登録）を設定します。<str>には、ドコモから通知されたサービスコードを入力します。 n=0：中間リザルトを応答しない（お買い上げ時） n=1：中間リザルトを「+CUSD：<m>,<str>,<0」の形式で応答する m=0：情報の要求なし m=1：情報の要求あり AT+CUSD?：現在の設定を表示 AT+CUSD=?：設定可能な値のリストを表示
AT+CUSD=0,"012345678" <input type="checkbox"/> OK	
AT+FCLASS=<n> ※1	FOMA端末がサポートする通信種別を設定します。 n=0：データのみサポート（固定値） AT+FCLASS?：現在の設定を表示 AT+FCLASS=?：設定可能な値のリストを表示
AT+FCLASS=0 <input type="checkbox"/> OK	

上段：コマンド 下段：実行例	説明
AT+GCAP	FOMA端末でサポートしているATコマンドの範囲を「+GCAP:<n>」の形式で表示します。 n=+CGSM：GSMコマンドをサポート（一部のみサポートの場合を含む） n=+FCLASS：+FCLASSコマンドをサポート n=+W：+Wコマンドをサポート
AT+GCAP [ ] +GCAP:+CGSM,+FCLASS, +W OK	
AT+GMI	FOMA端末のメーカー名を表示します。
AT+GMI [ ] FUJITSU OK	
AT+GMM	FOMA端末の機種名を表示します。
AT+GMM [ ] FOMA F05B OK	
AT+GMR	FOMA端末のバージョンを表示します。
AT+GMR [ ] Ver1.00 OK	
AT+IFC=<n,m> ※1	パソコンとFOMA端末間のローカルフロー制御方式を設定します。 n, m=0：フロー制御を行わない n, m=1：XON/XOFFフロー制御を行う n, m=2：RS/CS (RTS/CTS) フロー制御を行う（お買い上げ時） AT+IFC?：「+IFC:<n>,<m>」の形式で現在の設定を表示（nはDCE by DTE, mはDTE by DCEの値を示す） AT+IFC=?：設定可能な値のリストを表示
AT+IFC=2,2 [ ] OK	
AT+WS46=<n> ※1	発信時に使用する無線ネットワークをnの値で表示します。 変更はできないので、AT+WS46=<n>と入力すると、ERRORを返します。 n=12：GSMネットワーク n=22：3Gネットワーク（FOMA）（お買い上げ時） n=25：GSMおよび3Gネットワーク（FOMA） AT+WS46?：現在の設定を表示 AT+WS46=?：設定可能な値のリストを表示
AT+WS46=<n>	
AT+MS	現在設定されている各コマンドとSレジスタの内容を表示します。
AT+MS [ ] E1 Q0 V1 X4 &C1 &D2 &S0 ... (中略) ... S104=001 OK	
AT+MV<n> ※1	接続時の拡張リザルトコードの使用を設定します。 n=0：拡張リザルトコードを使用しない（お買い上げ時） n=1：拡張リザルトコードを使用する
AT+MV0 [ ] OK	
+++	通信中に入力すると、オンラインデータモードからオンラインコマンドモードに移行します。
+++ (非表示) OK	エスケープガード区間は1秒の固定値です。

※1 &WコマンドでFOMA端末に記録されます。

※2 &FおよびZコマンドによるリセットは行われません。

※3 &Wコマンドを使用する前にZコマンドを実行すると、最後に記録した状態に戻り、それまでの変更内容は消去されます。

## 切断理由一覧

値	理由
26	APNが存在しないか、または正しくありません。
27	
30	ネットワークによって切断されました。
33	パケット通信の契約がされていません。
36	正常に切断されました。

## エラーレポート一覧

数字表示	文字表示	理由
10	SIM not inserted	FOMAカードがセットされていません。
15	SIM wrong	ドコモ以外のSIM (FOMAカードに相当するICカード) が挿入されています。
16	incorrect password	パスワードが間違っています。
100	unknown	不明なエラーです。

## ATコマンドの補足説明

- <cid>は、FOMA端末内に登録するパケット通信での接続先 (APN) を管理する番号です。FOMA端末では「1～10」が登録できます。お買い上げ時、1にはmoperaに接続するためのAPN「mopera.ne.jp」(PPP接続)が、3にはmopera Uに接続するためのAPN「mopera.net」(IP接続)が登録されています。<APN>は接続先を示す接続ごとの任意の文字列です。

### ■ コマンド名：+CGDCONT= [パラメータ]

#### ・ 概要

パケット通信の接続先 (APN) を設定します。

#### ・ 書式

+CGDCONT= [<cid> ["<PDP\_TYPE>" ["<APN>"]] ]

#### ・ パラメータ説明

<cid> : 1～10

<PDP\_TYPE> : IPまたはPPP

<APN> : 任意

※ <cid>はFOMA端末内に登録するパケット通信での接続先 (APN) を管理する番号です。FOMA端末では「1～10」が登録できます。お買い上げ時、USB接続のcid1にはmoperaに接続するためのAPN[mopera.ne.jp] (PPP接続)、cid2にはmopera Uに接続するためのAPN「mopera.net」(PPP接続)、cid3にはmopera Uに接続するためのAPN「mopera.net」(IP接続)が登録されています。

#### ・ 実行例

PPP接続の「abc」というAPN名を登録する場合のコマンド (<cid>=2の場合)

```
AT+CGDCONT=2,"PPP","abc" 
```

OK

#### ・ パラメータを省略した場合の動作

AT+CGDCONT=: すべての<cid>をお買い上げ時の状態に戻します。

AT+CGDCONT=<cid>: 指定した<cid>をお買い上げ時の状態に戻します。

AT+CGDCONT?: 現在の設定を表示します。

AT+CGDCONT=? : 設定可能な値のリストを表示します。

## ■ コマンド名：+CGEQMIN= [パラメータ]

### • 概要

パケット通信確立時にネットワーク側から通知されるQoS（サービス品質）を許容するかの判定基準を設定します。

### • 書式

AT+CGEQMIN= [<cid> [,<Maximum bitrate UL> [,<Maximum bitrate DL>]]

### • パラメータ説明

<cid>：1~10

<Maximum bitrate UL>：なし（お買い上げ時）または384

<Maximum bitrate DL>：なし（お買い上げ時）または7232

※ <Maximum bitrate UL>および<Maximum bitrate DL>では、FOMA端末と基地局間の上りおよび下りの最大通信速度(kbps)を設定します。「なし（お買い上げ時）」に設定した場合は、すべての速度を許容しますが、「384」および「7232」を設定した場合、これらの速度以下の接続は許容されないため、パケット通信が接続されない場合がありますのでご注意ください。

### • 実行例

(1) 上りと下りですべての速度を許容する場合のコマンド (<cid>=2の場合)

```
AT+CGEQMIN=2 [↵]
```

OK

(2) 上り384kbps、下り7232kbpsの速度のみ許容する場合のコマンド (<cid>=4の場合)

```
AT+CGEQMIN=4,,384,7232 [↵]
```

OK

(3) 上り384kbps、下りすべての速度のみ許容する場合のコマンド (<cid>=5の場合)

```
AT+CGEQMIN=5,,384 [↵]
```

OK

(4) 上りすべての速度、下り7232kbpsの速度のみ許容する場合のコマンド (<cid>=6の場合)

```
AT+CGEQMIN=6,,7232 [↵]
```

OK

### • パラメータを省略した場合の動作

AT+CGEQMIN=：すべての<cid>をお買い上げ時の状態に戻します。

AT+CGEQMIN=<cid>：指定した<cid>をお買い上げ時の状態に戻します。

AT+CGEQMIN?：現在の設定を表示します。

AT+CGEQMIN=?：設定可能な値のリストを表示します。

## ■ コマンド名：+CGEQREQ= [パラメータ]

### • 概要

パケット通信の発信時にネットワークへ要求するQoS（サービス品質）を設定します。

### • 書式

AT+CGEQREQ= [<cid>]

### • パラメータ説明

上り64~384kbps、下り64~7232kbpsの速度で接続を要求するコマンドのみ設定できます。各<cid>にはその内容がお買い上げ時に設定されています。

<cid>：1~10

### • 実行例

(<cid>=3の場合)

```
AT+CGEQREQ=3 [↵]
```

OK

### • パラメータを省略した場合の動作

AT+CGEQREQ=：すべての<cid>をお買い上げ時の状態に戻します。

AT+CGEQREQ=<cid>：指定した<cid>をお買い上げ時の状態に戻します。

AT+CGEQREQ?：現在の設定を表示します。

AT+CGEQREQ=?：設定可能な値のリストを表示します。

## リザルトコード

- ATVコマンドがn=1（お買い上げ時）に設定されている場合は英文字、n=0の場合は数字でリザルトコードが表示されます。→P21

### ■ リザルトコード

数字表示	文字表示	意味
0	OK	正常に実行しました。
1	CONNECT	相手と接続しました。
2	RING	着信しています。
3	NO CARRIER	回線が切断されました。
4	ERROR	コマンドを受け付けられません。
6	NO DIALTONE	ダイヤルトーンの検出ができません。
7	BUSY	話中音の検出中です。
8	NO ANSWER	接続完了タイムアウト。
100	RESTRICTION	ネットワークが規制中です（通信ネットワークが混雑しています。しばらくたってから接続し直してください）。
101	DELAYED	リダイヤル発信規制中です。

### ■ 拡張リザルトコード

- AT&Eコマンドがn=0に設定されている場合

数字表示	文字表示	FOMA端末－基地局間の接続速度
122	CONNECT 64000	64000bps
125	CONNECT 384000	384000bps
133	CONNECT 3648000	3648000bps
135	CONNECT 7232000	7232000bps

- AT&Eコマンドがn=1に設定されている場合

数字表示	文字表示	FOMA端末－パソコン間の接続速度
5	CONNECT 1200	1200bps
10	CONNECT 2400	2400bps
11	CONNECT 4800	4800bps
13	CONNECT 7200	7200bps
12	CONNECT 9600	9600bps
15	CONNECT 14400	14400bps
16	CONNECT 19200	19200bps
17	CONNECT 38400	38400bps
18	CONNECT 57600	57600bps
19	CONNECT 115200	115200bps
20	CONNECT 230400	230400bps
21	CONNECT 460800	460800bps

※ 従来のRS-232Cで接続するモデムとの互換性を保つため通信速度を表示しますが、FOMA端末－パソコン間はUSBケーブルで接続されているため、実際の接続速度と異なります。

### ■ 通信プロトコルリザルトコード

数字表示	文字表示	意味
5	PACKET	パケット通信で接続

## ■ リザルトコード表示例

### ATX0が設定されているとき

AT¥Vコマンドの設定に関わらず、接続完了の際に「CONNECT」のみ表示されます。

文字表示例：ATD\*99\*\*\*1#

CONNECT

数字表示例：ATD\*99\*\*\*1#

1

### ATX1が設定されているとき

- ATX1、AT¥V0（お買い上げ時）が設定されている場合

接続完了時に、「CONNECT<FOMA端末-パソコン間の速度>」の書式で表示します。

文字表示例：ATD\*99\*\*\*1#

CONNECT 460800

数字表示例：ATD\*99\*\*\*1#

1 21

- ATX1、AT¥V1が設定されている場合<sup>※1</sup>

接続完了時に、次の書式で表示します。

「CONNECT<FOMA 端末-パソコン間の速度><通信プロトコル><接続先APN>/<上り方向（FOMA端末→無線基地局間）の最高速度>/<下り方向（FOMA端末←無線基地局間）の最高速度>」

文字表示例：ATD\*99\*\*\*1#

CONNECT 460800 PACKET mopera.ne.jp/384/7232

(mopera.ne.jpに、上り最大384kbps、下り最大7232kbpsで接続したことを表します。)

数字表示例：ATD\*99\*\*\*1#

1 21 5

※1 ATX1、AT¥V1を同時に設定した場合、ダイヤルアップ接続が正しくできないことがあります。AT¥V0だけでのご利用をおすすめします。